

富山大学におけるFD活動報告書

2020

富 山 大 学

教育・学生支援機構教育推進センター

目次

はじめに

1. 全学FD2020実施報告

当日プログラム	5
参加者・グループ分け一覧	6
話題提供資料	7
参加者感想	53
参加者アンケート	57

2. 遠隔授業の実施に関するFD研修会実施報告

当日プログラム	63
参加者一覧	64
話題提供資料	65

3. 各部局におけるFD活動報告

人文学部	119
人間発達科学部	120
経済学部	121
理学部	124
医学部	125
薬学部	129
工学部	131
芸術文化学部	133
都市デザイン学部	134
教養教育院	139
生命融合科学教育部	142

4. UD トークについて

	143
--	-----

5. 全学におけるアンケート結果

DP達成度調査結果	147
卒業時調査結果	174
遠隔授業の実施に関するアンケート結果	
・オンライン授業の受信環境調査（4月実施）	179
・遠隔授業実施に関するアンケート（5月実施）	182
・遠隔授業実施に関するアンケート（8月実施）	216

6. 全部局FD活動一覧及び参加状況

	238
--	-----

7. 各種資料

	246
--	-----

結びに代えて

はじめに

昨年度から全学FD報告書をWeb版に切り替え、各部局のFD報告や学生参画型FD活動の概要なども採録する形にしました。御協力頂いた各部局の関係者に御礼申し上げます。

今年度は春先からのコロナ禍によって、参加者が1つの場所に集まっての対面式・集会式のFDはほとんど開催できず、オンライン開催が主になりました。授業も遠隔授業が中心となり、当初は教職員も学生もかなりの戸惑いがありましたが、時間が経つにつれて、遠隔式授業・会合の長所も活かせる面も出てきました。FDで扱う内容もそうした状況下での教員の工夫や努力の共有が主なものになったという点で昨年度までとは大きく様相を異にした感があります。

11月に開催した全学FDもオンライン開催としましたが、これまでの「討議型FD・全構成員型FD・楽しむFD」の伝統を何とか継承すべく、Zoomのブレイクアウト機能等を活用しながら、参加者同士が活発に議論する形を模索しました。

基調講演の代わりに二人の教員と学生から話題提供をしてもらい、それを受けて、数人ずつのグループ討議を行いました。話題提供者となった学生以外にも数人の学生の参加があり、学生の参加度が例年より高くなった印象もありました。また、教員のオンライン実践報告もいわゆる先進的な成功事例だけではなく、戸惑いの中で上手くいかなかった悩みの紹介もあり、オンライン上ではありましたが例年にも増して議論が活発に出来たようにも思います。本学のように討議に力点を置くFDの場合、(学生を含めた)参加者がフランクに話せるかどうかが大切なポイントであり、オンライン開催ではなおさらそのことが重要になります。

一方、各部局においても、全学的な試行錯誤の教育展開の中で、例年とは違う形でそれぞれ活発なFD活動が展開され、本報告書が果たすような「情報共有」も昨年度以上に意義が大きいと思われます。学生参画型FDイベントの「UDトーク」もオンライン開催の副産物として海外で日本語を学ぶロシア人学生の参加があるなど思わぬ広がりを見せました。

2021年度の大学教育及びFDがどのような形になるかは予断を許しませんが、今年度の模索の中で見えてきた遠隔授業・オンラインFDの長所なども最大限に活かしながら、一層の教育改善が進むことを期待しています。本報告書がその一助になれば幸いです。

教育推進センター 副センター長
全学FD・教育評価専門会議議長
橋 本 勝

1. 全学FD2020実施報告

遠隔授業の今後のあり方を議論する

全学FD2020

プログラム

11月4日（水） 13:30～16:00

「Zoom」ミーティングによるオンライン開催

全体のコーディネーター 橋本教育推進センター副センター長

13:30～13:35 開会挨拶 磯部教育推進センター長

13:35～13:40 趣旨説明 橋本教育推進センター副センター長

13:40～13:55 話題提供1 人文学部 小助川 貞次 教授

13:55～14:10 話題提供2 教養教育院 杉森 保 准教授

14:10～14:25 話題提供3 UD Mates 益田 耕佑（都市デザイン学部1年）

14:25～14:30 小休憩

14:30～15:15 グループ討議

15:15～15:20 小休憩

15:20～15:50 全体討議

15:50～16:00 総括・閉会挨拶 橋本教育推進センター副センター長

【参加人数】

学内教員	
役員	1
人文科学系	4
教育学系	6
社会科学系	5
教養教育学系	10
医学系	4
薬学・和漢系	3
理学系	3
工学系	10
都市デザイン学系	2
教育研究推進系	7
小計	55

学内職員	6
------	---

学生	
人文学部	3
人間発達科学部	1
理学部	1
都市デザイン学部	1
小計	6

学外者	6
-----	---

合計	73
----	----

【グループ分け一覧】

A

人文科学系	教授
理学系	教授
工学系	講師
教養教育学系	准教授
教育学系	教授
他大学	助教
理学部	1年

B

工学系	教授
工学系	講師
教養教育学系	教授
教育研究推進系	准教授
他大学	教授
学務課	職員
人文学部	1年

C

教育学系	准教授
工学系	助教
教育学系	教授
教育研究推進系	教授
他大学	講師
人間発達科学部	4年
都市デザイン学部	1年

D

教育学系	教授
教育学系	教授
教育研究推進系	准教授
他大学	教授
他機関	その他
人文学部	2年

E

社会科学系	准教授
教養教育学系	准教授
教育研究推進系	講師
他大学	その他
学術情報部	職員
人文学部	1年

前期・教養原論 「言語と文化」を振り返って

人文学部・小助川貞次

1

前期・授業概要

	1限	2限
月	東アジア言語文化特殊講義 2年:21 3・4年・留:13 [34]	(教養原論)言語と文化 1年:52 2-4年:60 [112]
火	日本語学講読 2年:9 3・4年:20 [29]	日本語学演習 2年:11 3・4年・留:22 [33]
水		国語科教育法Ⅲ 3年:13 [13]
金	言語文化入門(5.22の1回) 1年:109 2年:3 3・4年:2 [114]	

1年:52 2年以上:169 (+留学生:2 院生:2)

2

(教養原論)言語と文化(月2限)

授業のねらいとカリキュラム上の位置付け (一般学修目標) ／Course Objectives	教育目標 ／Educational Goals	
★漢文訓読史から見た敦煌文献の世界★ 「訓読」は古典籍（特に漢文文献）を読解する方法の一つです。外国語文献として読解する段階と読解者の言語（＝自言語）で読解する段階とがあり、それぞれに応じて古典籍本文に加点現象が起こります。加点には自言語を超えた共通性と、自言語に依存する特殊性とがあり、古典籍の言語と読解者の言語（＝自言語）の種類の違いによって、その内容に異なりが見られます。現在までのところ、漢文文献に直接加点を行った資料が現存しかつ訓読の現象が確認できる言語としては、日本語、中国語、朝鮮語、ベトナム語などが知られています。この授業では、これらの諸言語のうち、唐時代の中国語で漢文文献がどのように読解されていたのかというテーマについて、デジタルアーカイブを利用しながら分かりやすく学んでいきます。		
達成目標／Course Goals ・「漢文訓読史から見た敦煌文献の世界」について説明できる。 ・学問的厳しさ／楽しさを感じ取り、自らの学生生活や人生に関連づけることができる。 ・思い通りにならないことや予期せぬ事態が起きても柔軟に対応できる。		
授業計画 (授業の形式、スケジュール等)／Class schedule 1 大学生のモチベーションをアップする！ 2 敦煌莫高窟第17窟のロマン 3 なぜ敦煌文献はヨーロッパ諸国に持ち出されたのか 4 デジタルアーカイブ (IDPとGallica) を使う 5 「訓読」の新しい考え方 6 カンセキ (漢籍) って何だ？ 7 科段 (内容を大区分する) 8 句読 (構文解析と特定語彙マーク) 9 破音 (多義語を分別する) 10 音注 (自言語で自言語を注解する) 11 うり二つ (日本およびベトナム現存の漢籍と比較する) 12-14 みんなもChallenge 15 調査レポートを作成する&お土産 授業時間外学修 (事前・事後学修)／Independent Study Outside of Class		

3

二転三転からの挫折

- ・ 4月から対面授業を予定して準備(2・3月)
- ・ 授業開始を6月に繰り下げ(＋土日補講)
- ・ 遠隔授業で6月から開始
 - － zoomは使わずmoodleのみの課題学習
 - － 金1の言語文化入門(5.22担当)のみzoom使用
- ・ moodleの内容
 - － 課題文献の学習と課題(感想)提出(オンライン)
 - － 教養原論のみスライド、参考文献、課題(感想)
 - － 提出された課題(感想)に対してコメント付け

4

moodle での「言語と文化」

第2回：敦煌莫高窟第17窟のロマン

第2回は「敦煌莫高窟第17窟のロマン」です。第16窟に入って通路のすぐ右手に3メートル四方の小さな小部屋が隠されていました。1900年ごろ、道士王円録が偶然発見したことが数年後には大発見につながります。それとともに、中国（当時は清王朝）にとっては大変は文化的損失をもたらすことになります。

【学習手順】

1. 「敦煌莫高窟第17窟のロマン」を開き、インターネットで調べながら学習して下さい。
2. 14枚目に井上靖『敦煌』(後日譚)があります。別ファイルにしてあるので、これも読んで下さい。
3. 1と2の学習が終わったら簡単な感想(400字程度)を課題提出機能を使って、ボックスの中にオンラインテキストで直接記入して提出して下さい。

 敦煌莫高窟第17窟のロマン 4.2MB PDFドキュメントアップロード 20年 05月 24日 17:37

 井上靖『敦煌』後日譚 1.7MB PDFドキュメントアップロード 20年 05月 24日 17:38

 簡単な感想(400字程度)

第2回の授業について簡単な感想をオンラインテキストで提出して下さい。提出期限は8月14日です。数回分をまとめて一気にしようとしなくて、計画的に進めて下さい。

5

授業スライドと課題 言語と文化(第2回)



第2回はここまで

- 簡単な感想(400字程度)をMoodleで提出
- 第3回予告
 - なぜ敦煌文献はヨーロッパ諸国に持ち出されたのか
- 興味があれば調べてみて下さい
 - ※以下はレポートの提出不要です
 - 帝国主義
 - 大英図書館(BL)とフランス国立図書館(BnF)

16



第2回はここまで

- 簡単な感想(400字程度)をMoodleで提出
- 第3回予告
 - なぜ敦煌文献はヨーロッパ諸国に持ち出されたのか
- 興味があれば調べてみて下さい
 - ※以下はレポートの提出不要です
 - 帝国主義
 - 大英図書館(BL)とフランス国立図書館(BnF)

16

6

課題(簡単な感想)とコメント付け

簡単な感想(400字程度)

一見、17窟は何もない部屋のように見えるので、3メートル四方の小さな部屋に、何万もの古文書が積まれていたのは驚きだった。さらに、古文書は意図的に残そうとしたわけではないので、そのような資料のなかに学術的・芸術的価値のあるものがあり、すごいことだと思った。後世に伝わらなかったものもあり、それらにもなにか価値のあることが書かれていたのではないかと考えた。また、その古文書をめぐって世界各地から様々な学者が、調査に訪れていることがわかった。国立情報学研究所に資料があるということなので、どのようなことが書かれているのか興味をもった。また、井上靖の『敦煌』に一部フィクションではあるが、当時の状況が細かく書かれていたので、小説を読んでみたいと思った。映画もあるので、敦煌文献をあまり知らない人でも、本や映画で気軽に知ることができると思った。(人間発達科学部1年)

教員からのコメント

井上靖の『敦煌』は奴隷に売られていた王族の娘(中川杏奈)と主人公(佐藤浩市)との悲恋が一つのテーマになっています。敦煌文献としてのロマンとは別のロマンとして読むことができます。映画よりは原作の方がもちろん、詳しくて私は好きです。高校一年の国語の指定図書だったのですが、あまりのつまらなさに途中放棄でした。大学院時代に漢文訓読を研究するようになってから読み返したら、一気に読み切りました。そんな本です。

7

課題(感想)提出数とコメント付数



- 課題提出の方法
 - オンラインテキスト
- 提出期限
 - 1～7回:8月14日
 - 8～15回:8月28日
- コメント付け
 - 提出順／学籍番号順
 - すべてをExcelで記録
 - 最終は7月6日

回	スライド提示日	感想提出数	コメント付数
1	5.16	104	93
2	5.24	102	94
3	6.4	102	45
4	6.17	102	26
5	6.29	102	17
6	7.3	100	4
7	7.4	100	0
8	7.22	99	0
9	7.22	94	0
10	7.22	95	0
11	7.22	91	0
12	7.22	92	0
13	7.24	86	0
14	(7.24)	78	0
15	7.24	76	0 ⁸

昨年度 言語と文化(第2回)



- 紙媒体
- シャトル形式
 - 簡単な感想
 - 検印スタンプ
 - コメント付け(あったりなかったり)
- 全部の感想とコメントが見える

コメントシート

001

濃い筆記具（HB以上）を使用し、ていねいに記入して下さい。このシートは半年間使います。

教員：小田川 寛子		学年科目：言語と文化	月：曜：時限	黒板 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y (後ろ)
人文 学部 人文		学科/コース ()	分野 / 年	
氏名： ()		()		

この授業に臨むあなたの意気込みや抱負(自己紹介のつもりで書いて下さい)

数文皇文庫の面白さを理解する

月/日	今日の授業に対する感想・意見	検印
1回目 席 G.1 4/15	高校までは物事を深く学ぶことが無かったので、初めての体験が楽しかったことにワクワクしています。 言語による訳のニュアンスの違いが特に気になっています。	検 小田川
2回目 席 L. 4/22	数文皇文庫が重要視されているのは、当時の普通がわかるのだと思いました。 とれた物が少ないかと思いましたが、まあいいでしょう。	検 小田川
3回目 席 I. 5/19	数文皇文庫は遅れたのだという主張は、私は持っていないとは、 気持ちよく分かってきました。 貴重な文庫にはしない方がいいかなって思っています。	検 小田川
4回目 席 5/13	お休みの日。 全く見えていない。 見るのが大変。	
5回目 席 G. 5/20	Gallicaで便利だなと思いました。 穴が白く埋まってるページが若干読めずつたり、 字が入っていないところもありました。	検 小田川
6回目 席 B. 5/27	ペーパーレスで河内と書くのは。 資料を、教育委員会、教員、 資料館、白木が作った。いまは今更かな。保存の法がわからない。 もう中学生に思わせた方がいいかな。正確に書けると思います。「国語」にはいい。 その部屋は、とても空気がいいです。とても整った感じ。 言いたいこと、一日だけ写経のようなことをして、 この意味は何かという言葉をかりました。 私典本文と注釈書が別モノなのは納得です。	検 小田川
7回目 席 B.G. 6/13		検 小田川

001 9

二転三転からの挫折

- なぜ授業開始を6月に繰り下げたのか
 - 対面授業の可能性への強いこだわり
 - 遠隔授業の虚しさ(だったら放送大学でいいじゃん)
 - 遠隔授業に対する技術的未熟さ
- なぜmoodleのみの課題学習にしたのか
 - zoomを双方向で使うにはあまりにも煩雑
 - moodleの方が単純で使いやすい(自由なペース配分)
- なぜコメント付を途中で放棄したのか
 - 毎日コメント付けに終われる生活(毎週200名)
 - 学生はコメントを見ていないのではないか

後期の授業

- 担当コマ数：学部2.5コマ、教養1コマ
- 従来の紙媒体のコメントシートは使わない
- 授業資料の提示と課題(感想)にmoodle利用
 - － 参考資料の羅列はしない(授業で配布)
 - － 授業資料(スライド)は授業終了後から利用可能
 - － 課題提出は200字に削減(前期400字)
 - － 課題提出に締切を設定(翌日13時)
 - － コメント付けを簡素化(Excel化もしない)

授業で無理をしない (エフォート管理) + 学生にも厳しくない

11

後期の課題(感想)提出状況

日本語学講読(火1)		日本語学演習(火2)		教養総合科目(水2)	
2-4年:19名		2-4年:18名		170名 (1年:147 2-3年:23)	
1	16	1	15	1	162
2	10	2	9	2	143
3	休講	3	休講	3	120
4	13	4	12	4	102
5	?	5	?	5	?

12

総合科目「アカデミック・デザイン」初回(10.7)

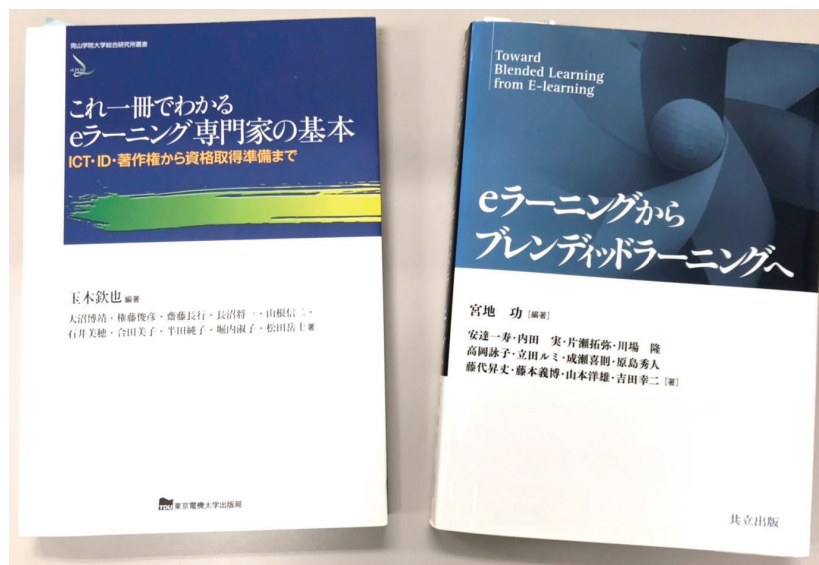


後期:教室収容率上限70%で対面実施
前期:対面でできたのではないかな？

13

何となくハイブリッドに向かって行く

- 技術的なことや教授法はいずれ克服できる
- e-learningの手法や議論は多くの蓄積がある
 - 手許にある図書:宮地功2009、玉木欣也2010



14

国立情報学研究所

【第20回】4月からの大学等遠隔授業に関する 取組状況共有サイバーシンポジウム

- 日時：令和2.11.6（金）10:30～12:30（予定）
- 主催：国立情報学研究所・大学の情報環境のあり方検討会
- 遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み
- プログラム：<https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/#20>

15

学生が大学生生活に期待しているもの

- 専門的な学び（学部学科を選択したので当然）
- モラトリアム（高学歴社会になると当然）
- 大学入学（後）まで曖昧だった将来の進路



- 新しい出会い（彼・彼女・友人。。。）
- ちょっとしたことを相談できる身近な仲間
- 教養教育一元化による多様な出会い

16

月光仮面(1958-1959)

♪どこの誰かは
知らないけれど♪

月光仮面は誰でしょう

17

報告は以上です

18

全学FD2020

遠隔授業の今後のあり方を議論する

話題提供 (2)

教養教育院 准教授 杉森保

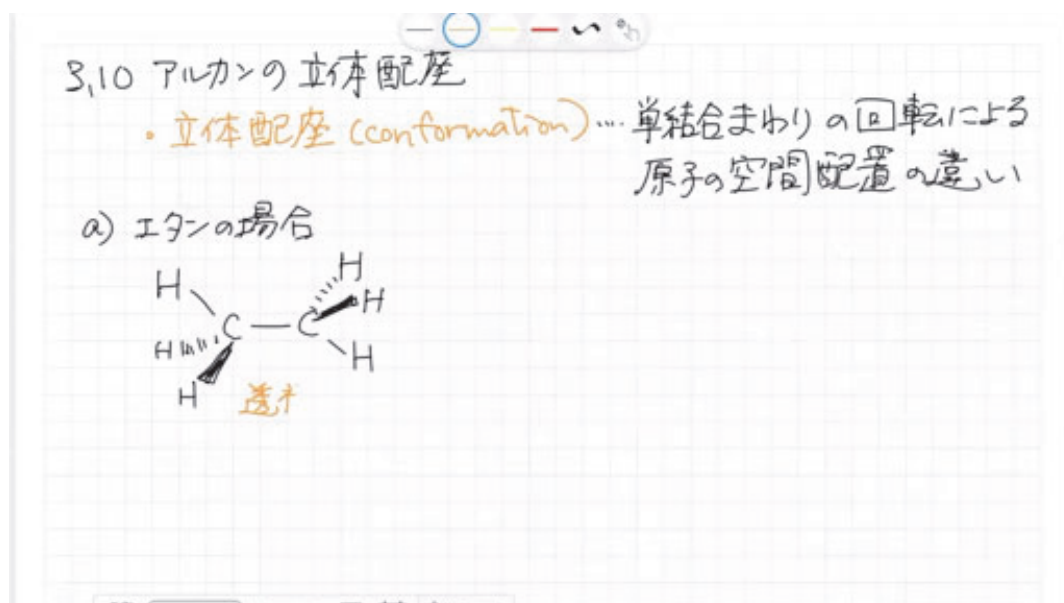
話題

- 前期の実例紹介
- ・ 利用したツール／今後も使えるツール
- ・ 遠隔授業の印象と今後

前期の実例

- ・ 授業はオンデマンド動画（前日夕方に公開、一ヶ月後まで視聴可能）
- ・ 授業時間は出席確認を兼ねてZoomで質問対応＋Moodleでオープンフォーラム（記名）
- ・ 適宜Moodleで理解度チェックの小テスト実施
- ・ 期末試験は対面で実施

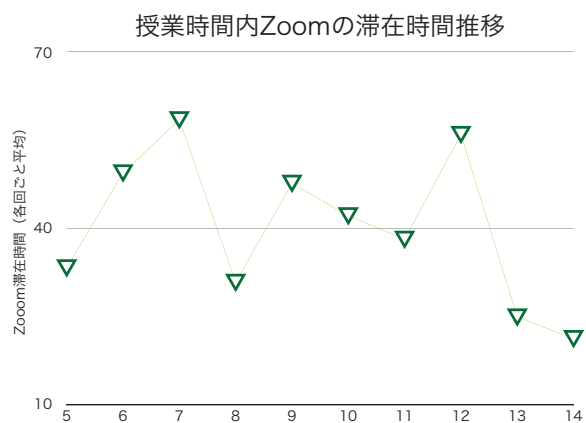
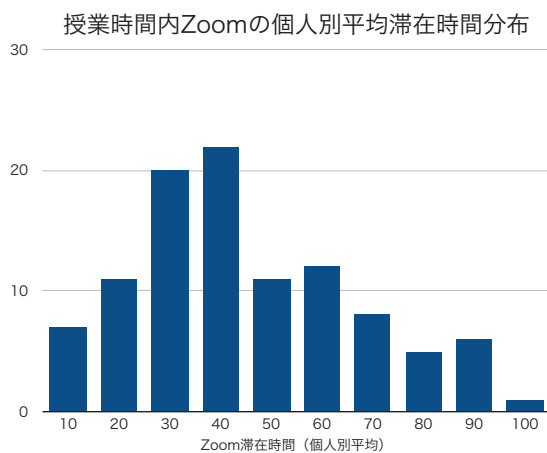
前期の実例



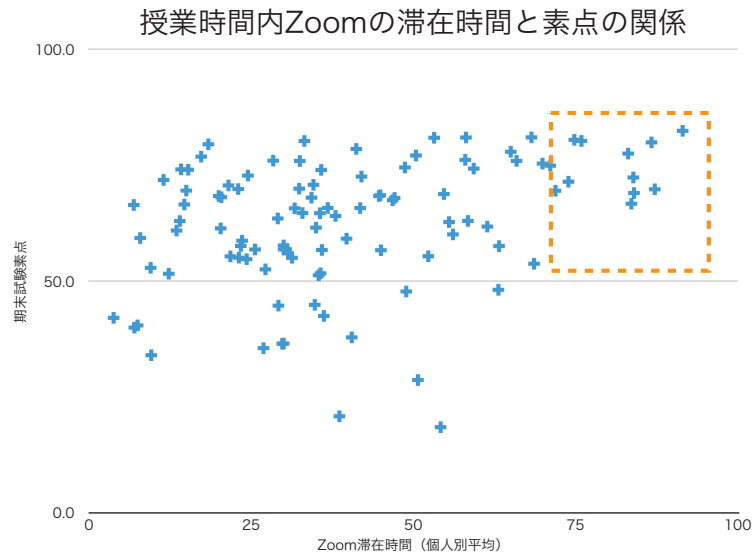
前期の実例

- ・ 前日受講者は少数。ほとんどは当日朝以降。一部遅れる人あり
- ・ オープンフォーラムでしっかりした質問を書く人は少数。多くは「見ました」とか感想
- ・ Zoomで質問する人もそれほど多くないが、少数でも質問やコメントは活発

前期の実例



前期の実例



富山大学 全学FD2020 教養教育院・杉森保

2020・11・4

話題

- ・ 前期の実例紹介
- ・ **利用したツール／今後も使えるツール**
- ・ 遠隔授業の印象と今後

遠隔授業で使えたもの

- CommentScreen

授業時間内の質問対応、Zoomの補助手段

学生同士で疑問点の解決も

コメント記入者が特定できないことが、学生には好評

授業に関係の無い質問などで教員との交流も

もともとは対面で使うツールで、
対面授業のプレゼンテーションでも利用できる



遠隔授業で使えたもの

- Moodle

学期開始時に受講生登録（必修科目のため）

重要事項の迅速な連絡。様々な授業リソースへのポータル。

匿名のオンラインフォーラムで質問対応

出席確認とは別に作成。学生同士での疑問点の解決。

オンラインテスト（評価対象）の実施

数値をランダム化した計算問題などCBTとしての利用

ルーブリックによる評価と結果の通知

特に実験レポート（オンライン実習）のフィードバック

対面授業でもつかえるもの

・ Zoom／YouTube

授業内容の補足動画をオンデマンドで提供

理解度の向上 & 再説明時間の節約

教室の画面では見にくい画像も確認しやすく

対面授業でもつかえるもの

・ Googleフォーム

紙で集めていた自由コメント（出席票）の代替

手書きのコメントを入力し直す必要がない

出席管理には向かない面もある

学生の声を吸い上げる手段として

実際のフォームの例

生体有機化学第4回 (2020/10/29)

授業に関するコメントを集めるためのフォーム

メールアドレス *

有効なメールアドレス

このフォームでは回答者のメールアドレスを収集しています。 [設定を変更](#)

学籍番号

記述式テキスト (短文回答)

氏名 *

記述式テキスト (短文回答)

今日の内容の理解度 (自己判断) *

☐ 理解できた

富山大学 全学FD2020 教養教育院・杉森保

2020 • 11 • 4

昨年度までの場合

[illegible]

富山大学 全学FD2020 教養教育院・杉森保

2020 · 11 · 4

集めたコメントの例

生体有機化学 第2回出席票	
2回目の内容に関する質問または感想・コメントなど	教員からの回答・コメント
Googleフォームですが、携帯が死んだり忘れてきたりするときはどうすればいいんですか？	授業でも説明したと思いますが、次の日の昼頃までに入力してもらえれば良いです。
σ 結合と π 結合のエネルギーの大ききの差が難しかったです。基礎化学の復習が必要だと感じました。分子の構造を考えるときは、ルイス構造を描くことで、その形から混成軌道 (sp^2 や sp^3) が推定できる、ということですか？	Lewis式から電子対の数がかかるのでそこから混成の種類が類推できます。補足を考えておきます。
「分子の形から軌道が分かる」という部分がわかりませんでした。	
ルイス構造から混成軌道を予想する説明の理解が曖昧だった。	
σ 結合と π 結合の比較で安定性について原子核の距離が関係するところで、図1.10で σ のときは π より安定で、 σ のときは π より安定ということですか？	σ の方が π より二つの原子の軌道の間の相互作用が大きい(結合性でも反結合性でも)ので、結合性の場合には安定化の効果が大きく、反結合性の場合には不安定化の効果が大きくなります。
N2の π と σ の安定性がO2の π と σ の安定性と違っているのが分からなかったです。教科書読み込んでなお分からなかったら質問します。	この理由は難しく、教科書の脚注の説明以上の説明は、私も(今は)できません。量子化学的に説明できるはずなんですけどね。
混成軌道のあたりは前期あまり理解出来ていなかったのですが丁寧にやってもらってありがたかったです。図1.10の π 軌道と σ 軌道のエネルギーの大小については、重なり具合で決まる、つまり電子の集まり具合によって決まるということで良かったですか？	
「結合の極性は連続的に変化する」とのことでしたが、何に応じて連続的に変化するのですか？共有結合もイオン結合も、電気陰性度という観点から見ると同じものをみているのだからということとはわかるのですが、いまいち「連続的に変化する」というのがわかりません。	・電気陰性度の差に応じて、です。 「連続的に変化する」というのは結合の性質が「共有結合」と「イオン結合」の間で変化するということです。たとえば「この結合は共有結合性が70%、イオン結合性が30%」などのように考えて、その数値が無限に変化しようということです(もちろん合計は100%)
15分程度早く終わるのであれば、休憩も開始40分程度で行う(または休憩をしない)とメリハリがついて集中できる気がします。	確かにそうですね。初めての教科書で初めての授業ということもあり、毎回の授業の長さが十分に予想しきれないところがありますが、うまく配分を考えて工夫します。
1s軌道と結合性軌道のエネルギー差と1s軌道と反結合性軌道のエネルギーの差は同じでしょうか？前期教えてもらった気もしますが、もう一度教えてほしいです。	まったく同じにはならないですね(核間の反発があるため)。前期に説明した記憶があるので、提供している動画にあれば良いのですが。
4つの結合性軌道が結果的に等価というところがよくわかりませんでした。	メタンの話かと思いますが。これは教科書でも補足扱いなので、この部分をよく読んでもらう方が良いでしょう。電子対ごと奪ったのが陽イオンだからですね。
CH4からCH3にした際に形がアンモニアと同じ形の立体ではなくて平面になるのは为什么呢？	今回はマイクの感度が少し低くなっていたようなので、次からはそのあたりも気をつけます(翌日の混成軌道はそういうものだと思ってもらえば良いです)。
電子対ごと奪ったためですか？	
たまに聞き取りづらい時があるのもう少し大きく話してもらえたらうれしいです	
sp結合は実際の結合の事象を説明するために用いる仮想的な軌道という解釈で正しいですか？	
アセチレンのルイス式について、Cに8個の電子があると安定するのはわかるのですが、このCの持つ電子が8個と数えられるのがよくわかりません。CとHの結合で2×2=1個、C同士の結合で6×2=3個の合計4個にはならないのですか。	電子数なので8個ですよ。その計算だと「電子対」を数えていることになりますね。
エチレンやアセチレンが塩素や臭素などの付加反応が起こりやすいのは、p軌道の電子が残っているからだという考えで合っていますか？	p軌道の電子ですが分子になっているので π 結合の電子がそういう反応に関係します。
シグマ結合とパイ結合、混成軌道が何回聞いてもいまいち理解できません	その中でも「何が」わからないのかをはっきりさせると理解が進むと思います。漠然としているなら結合の数(結合次数)についても説明が不足していました。次回補足するか、説明動画を作ります。
ブラス分子の結合への話について、なぜ反結合性軌道と結合性軌道とで打ち消しあった結果が分子間の結合の数になるのか分からなかったです	

富山大学 全学FD2020 教養教育院・杉森保

2020・11・4

話題

- ・ 前期の実例紹介
- ・ 利用したツール／今後も使えるツール
- ・ 遠隔授業の印象と今後

前期の印象

- ・ 教員の取り組み方やスキルによって差がついてそう（イメージ）
- ・ 学生も授業に対する積極性で差がついてそう（アクセスログからのイメージ）

遠隔授業の受け止め方

- ・ 学年によって印象は違うはず
 - ・ 新入生（多くは大学生活や授業を未経験）
 - ・ 在学生（すでに大学生活や対面の授業を経験済み）

遠隔授業の受け止め方

- ・ 教員も受け止め方は違ったはず
 - ・ 以前からMoodleなどを活用していた授業
 - ・ 学生も含めた対話を重視していた授業
 - ・ 対面以外に実施が難しい科目（実習系）

今後に向けて

- ・ 多くの教職員／学生が得たオンラインツールでの経験を将来に活かすために何が必要か

より良い授業を実施したい教員が「やりたいこと」を実現するための支援体制の構築

より良い授業を受けたい学生が「やってほしいこと」を実現するための支援体制の構築

教職員だけでなく、ICTに長けた学生も含めた支援体制づくり？

全学FD2020 話題提供の報告、および感想

富山大学教養教育院 准教授 杉森保

【報告の概要】2020年度前期の授業は、本学では一部の実習を除いてオンラインで実施することとなった。報告では最初にその実例を紹介した。

前期に担当した授業では4, 5回の授業を経た結果として、下表にまとめたような点を中心に留意して実施した。全体を通して、授業では【対象が新入生であること】【そのために少しでも不都合があると大きな不安を抱える可能性があること】【不安を解消するためには希望者には接触の機会を確保する必要がある】などを基本として判断した。

	授業での対応、注意した点	対応の根拠・理由
1	授業は板書形式を反映させたオンデマンド動画として、授業前日の夕方に公開した。板書形式の動画はタブレットの画面を黒板のように利用して書き込みながら説明することで作成した。	授業の特性としてスライド形式では理解が進まないと考え、板書形式をオンライン化した また、オンラインのリアルタイム授業とすると、通信環境などで不利を被る学生がいると予想された。実際、Twitterなどで学生たちを見ていると、開始時刻に繋がらなかったり、さらにいろいろ対処しているうちに授業には入れないことがあるとわかったため
2	実際の授業コマに対応する時間帯にはZoomで質問対応を行った。このZoomにログインすることを一つの出席の条件とした。ただし、状況に鑑み、出席については柔軟に対応した。	当初はオンデマンド授業だけのつもりだったが、新入生ということもあり、大学の授業の生活リズムをつかんでもらう意味でも、決まった時間に必ず何かするという形をとった方がよいと判断したため
3	Moodle上に設置した各授業回のセクションにオープンフォーラムを置き、毎回必ず何か（できるだけ質問）を書き込んでもらうこととして、これも出席確認の条件とした。	
4	Moodleには適宜練習問題を設置して、成績に反映させた。	今期から、成績に占める期末試験の割合を減らす方針だったことに伴うもの
5	LINE公式アカウントを設置し、随時質問対応するとともに、要請がある場合には可能な限りZoomでのオンライン質問対応を実施した。	学内メールの学外転送禁止に伴って、連絡の即時性を確保するために設置したLINE公式アカウントを、質問対応に積極的に利用しようと試みたもの

報告ではさらに表の2に挙げた対応に注目して、この質問対応に長く滞在する参加者が回を追うごとに減っていったこと、この質問対応への平均滞在時間が長い学生数名は最終成績では上位に位置することを紹介した。

報告ではあまり触れていなかったが、入学してすぐにオンライン対応となってしまう学生間の交流の機会が失われていることに配慮して、週末に希望者向けのZoomミーティングを開催して希望者に交流してもらう機会を設けた。必修科目を担当していることを活かしたもので、当初は履修者の半数以上の学生が出席してくれた。回を追うごとに人数は減ったものの、毎回20名前後の学生の参加があり、学生からも「よい交流の機会だった」との意見をもらったことを紹介しておく。

報告の後半では、遠隔授業の実施によって得たツールを、対面の授業でも利用できるという視点から、後期に対面授業で取り入れている手法について紹介した。

まず、対面授業でもオンデマンドの動画の利用により、質問の多かった内容の補足や、発展的内容の紹介ができることを紹介した。オンデマンド動画はYouTubeに限定公開しており、このような手法はこれまでも十分可能であったにもかかわらず利用できていなかった手法で、今般の遠隔授業への対応を経て得られた有用な手段と考えている。

次にGoogleフォームによる出席票（コメント・質問票）の回収を紹介した。昨年までの授業ではA6サイズの「質問票」を毎回配布し、ここに何かの質問を書いてもらうことで出席の確認を兼ねていたが、感染予

防の観点からこれをGoogleフォームに書き込んでもらうことを後期から実施した。昨年まではさらに紙に書き込まれた質問などをパソコンで書き起こし、それに対して回答やコメントをつけてMoodleで公開していたが、書き起こしの手間がなくなって省力化できた。加えて、学生も手で書くよりも打ち込む方がたくさん書ける人がいるようで、文章量が多くなった傾向が見てとれた。この方法は別の先生から「授業中にGoogleフォームで意見を書かせている」という手法を紹介していただいたことに発想を得ているが、これも今後とも継続して利用可能な手段と考えている。

最後に、遠隔授業を実施した感想を述べた。遠隔授業は、学生が通学することなく授業に参加できるという点で非常に有用な手段である。一方で、出席のためだけにいやいやながらも教室に来ているような学生は教室に来ることで「話を耳にすること」だけは可能だったのが、オンライン化によって「見たふり」だけで見ずにすませることができる。実際、MoodleやZoomの履歴から推測するとこのようなツールにおける積極性の格差は大きい。このように遠隔授業は「学生本人のやる気」に大きく依存して、これまでよりもさらに格差が拡大する可能性を持っており、この点については注意が必要であると考えている。問題を抱えた学生を発見しにくくなる点も、同様に懸案となるだろう。大学として入学後の早い段階から多くの窓口を提供して学生の不安感や困惑を受け止める仕組みを提供するべきである。また、ひとりひとりの教員は授業を通して学生との信頼関係を構築し、批判も含めてできるだけ多くの意見や質問を表出させてもらえるように工夫すべきではないかと考えている。

【FDに参加した感想】 オンラインでのFDはこれより前に数回参加し、発表も行っていたので特に戸惑いもなく、時間内で発表することができた。今後もこのような形式での発表や、意見交換の機会は増えると予想できるので、Zoom以外のプラットフォームで実施する可能性も含め検討したらよいと思う。また、オンライン形式であれば参加者は移動の手間がないので、外部講演者の依頼も容易になるだろうし、逆に外部のFDに参加することも容易になるだろう。内外の情報交換を積極的に行っていく好機と考えている。

最後に、上記報告内で紹介している板書形式のオンデマンド動画の例（１）と授業時間中のZoomでの質問対応例（２）については動画へのリンクをQRコードで以下に紹介しておくので、参考にしていただければ幸いである。



1



2

授業に対する学生の現状と声

～学生へのアンケートから考える～

話題提供 (3)

都市デザイン学部 1年
益田 耕佑

アンケートの概要

アンケート名：コロナ禍の授業についての
アンケート

実施期間：2020年10月16日～11月2日

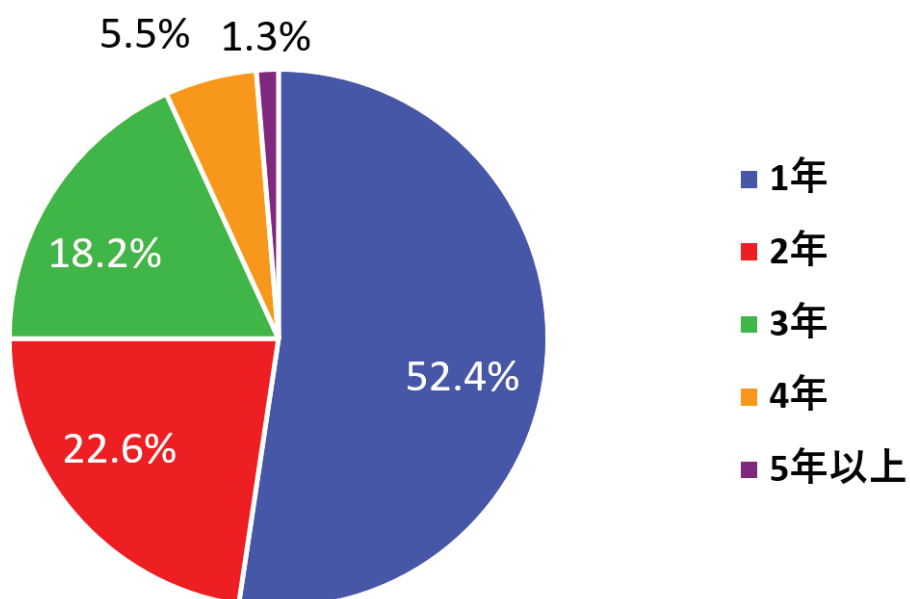
利用サービス：Googleフォーム

発信方法：LINE、Twitter

回答人数：380人

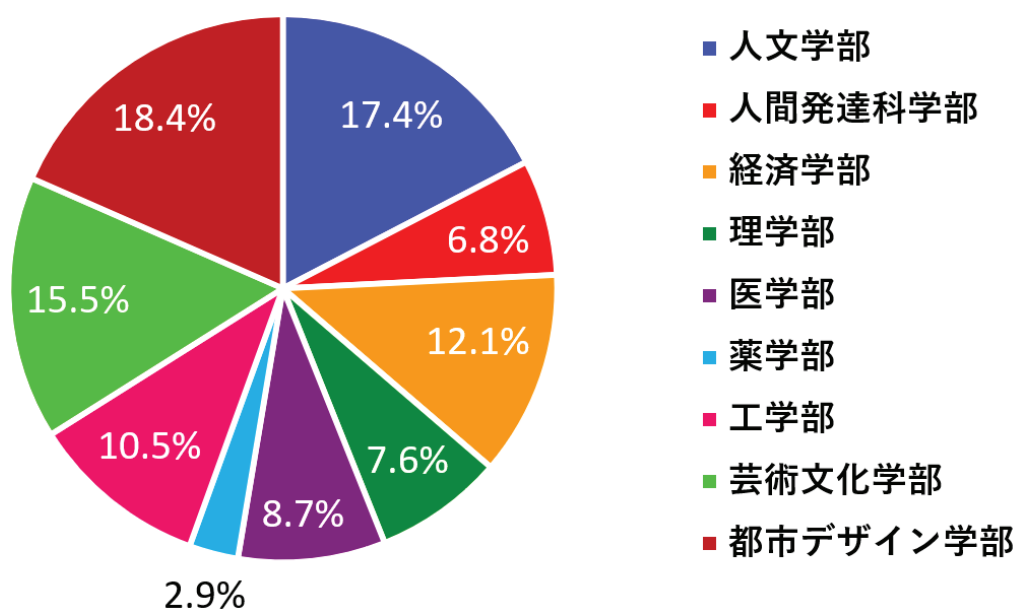
学年

n=380



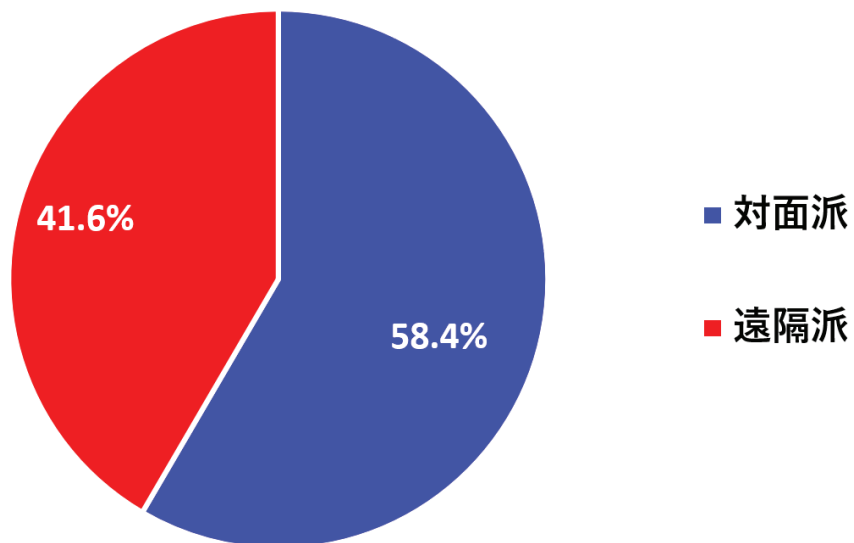
所属

n=380



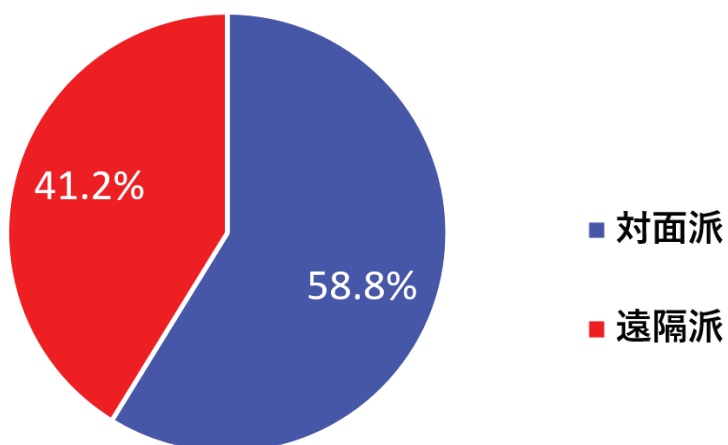
あなたは対面授業派ですか？
遠隔授業派ですか？

n=380

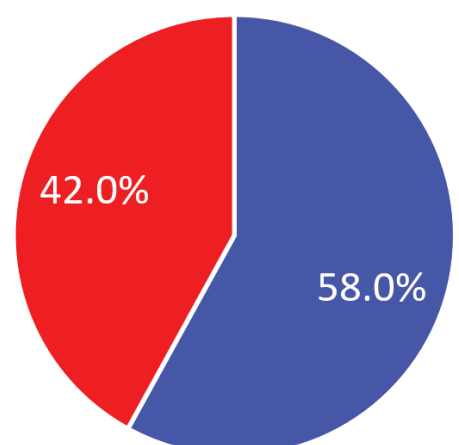


あなたは対面授業派ですか？
遠隔授業派ですか？

1年生 n=199

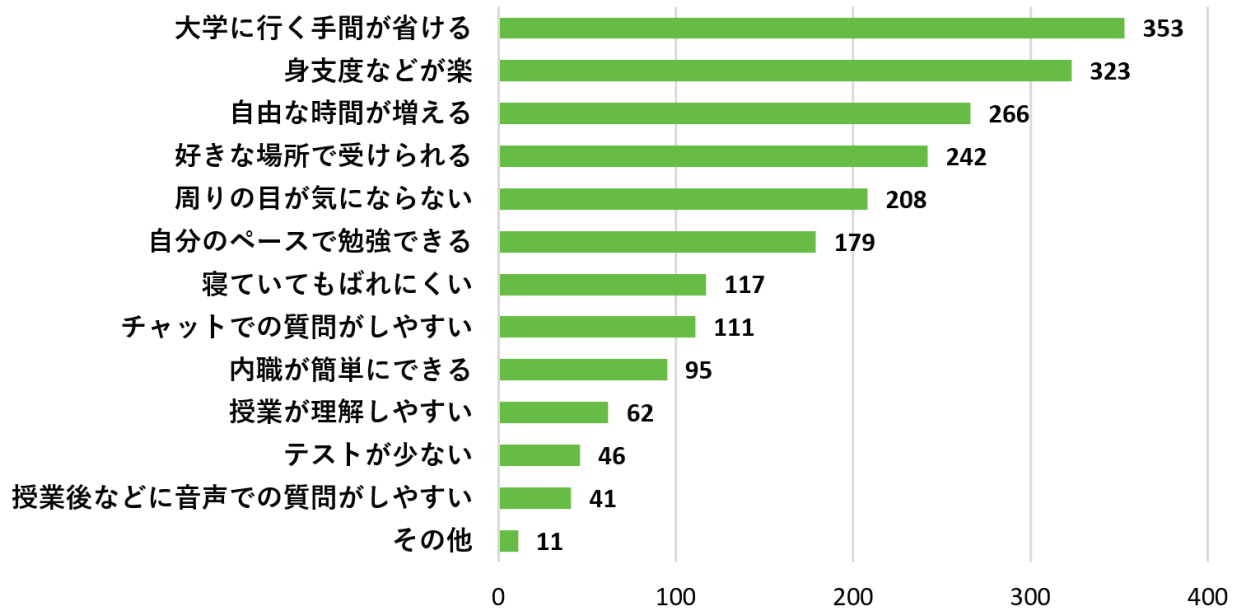


2年生以上 n=181



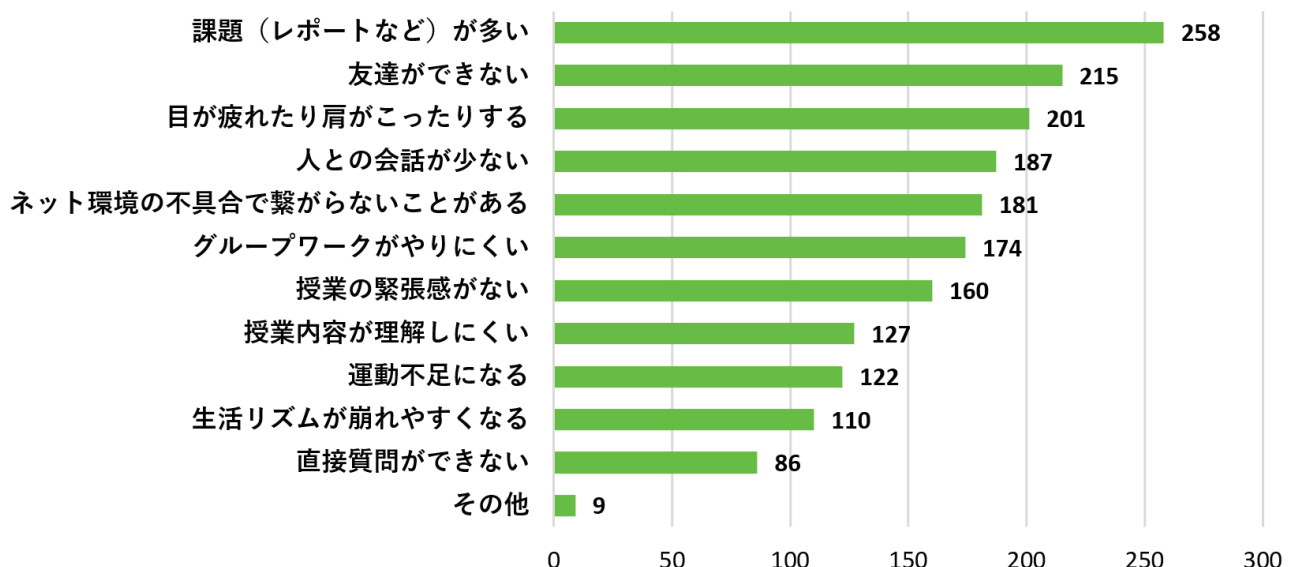
遠隔授業のメリットはどんなところにあると思いますか？（複数回答可）

n=380



遠隔授業のデメリットはどんなところにあると思いますか？（複数回答可）

n=380



対面授業のメリット、デメリットがありましたら記述してください。（1年生対象）

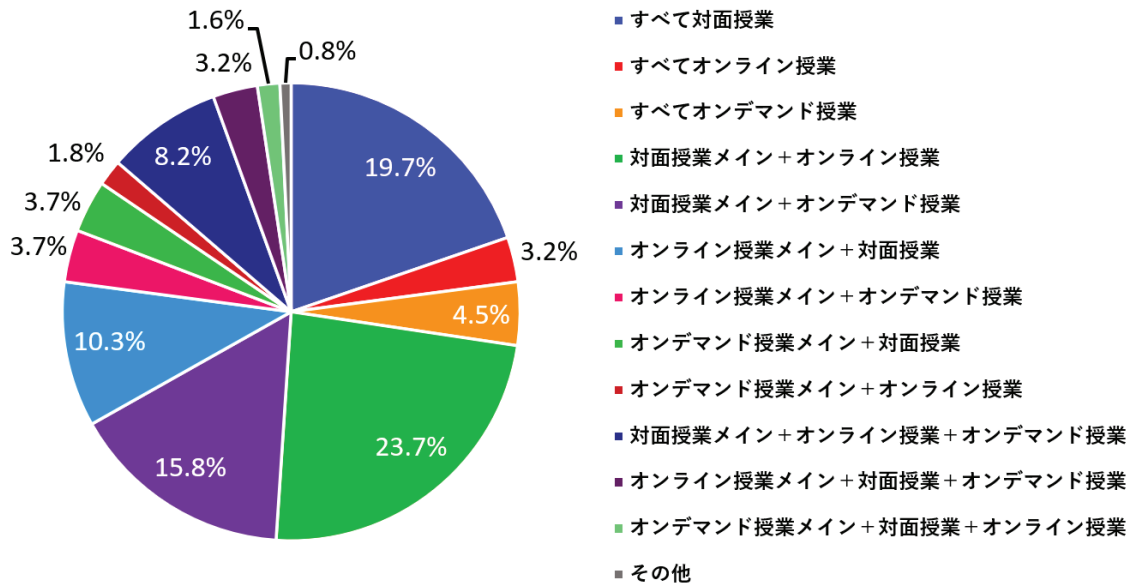
メリット	デメリット
・ 友達が簡単にできること ・ 遠隔授業より課題が少ないこと ・ 大学生感があること ・ 勉強のモチベーションが上がること ・ 他人の目があるので集中できること ・ 緊張感をもって授業に参加できること ・ 遠隔授業より理解しやすいこと など	・ どうしても密になってしまう授業があること ・ 自由な時間が減ること ・ キャンパス移動や教室移動が面倒に感じる ・ 板書やスクリーンが見えにくいこと ・ 対面でも会話が制限されること など

コロナ前後の対面授業で変化したことがありましたら記述してください。（2年生以上対象）

- ・ **グループワーク**が極端に少なくなった
- ・ 受講人数の多い講義を受けるのが怖くなった
- ・ 飛沫感染防止のためか先生が学生に**質問するという機会が減った**ような気がする
- ・ 教卓の**透明ビニールやパネル**のしわ、反射のせいで黒板が見えにくい
- ・ Moodleを使う先生が増えて**資料管理が簡単になった**
- ・ オンラインで慣れてしまったせいか、**長時間座って授業を受けるのがしんどい。** など

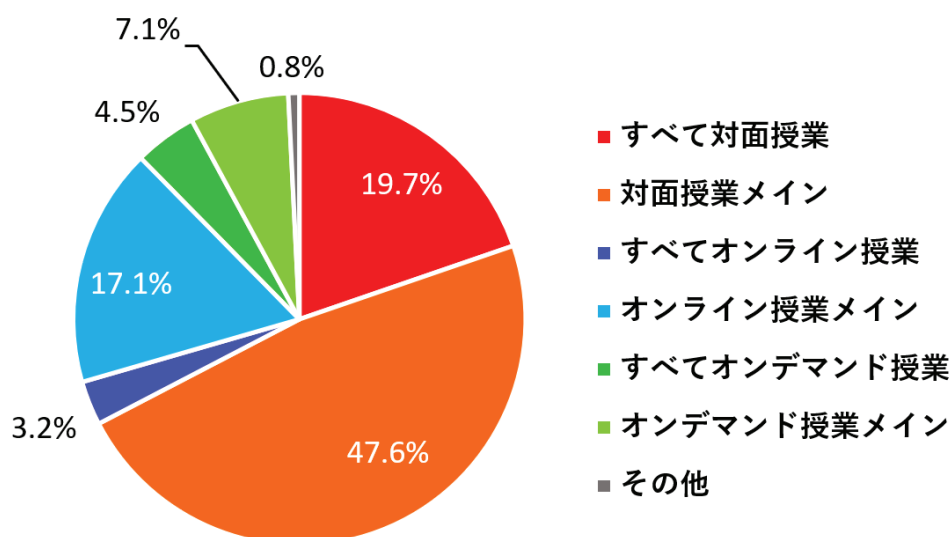
今後の授業形式についてあなたが最も望ましいと思うものはどれですか？

n=380

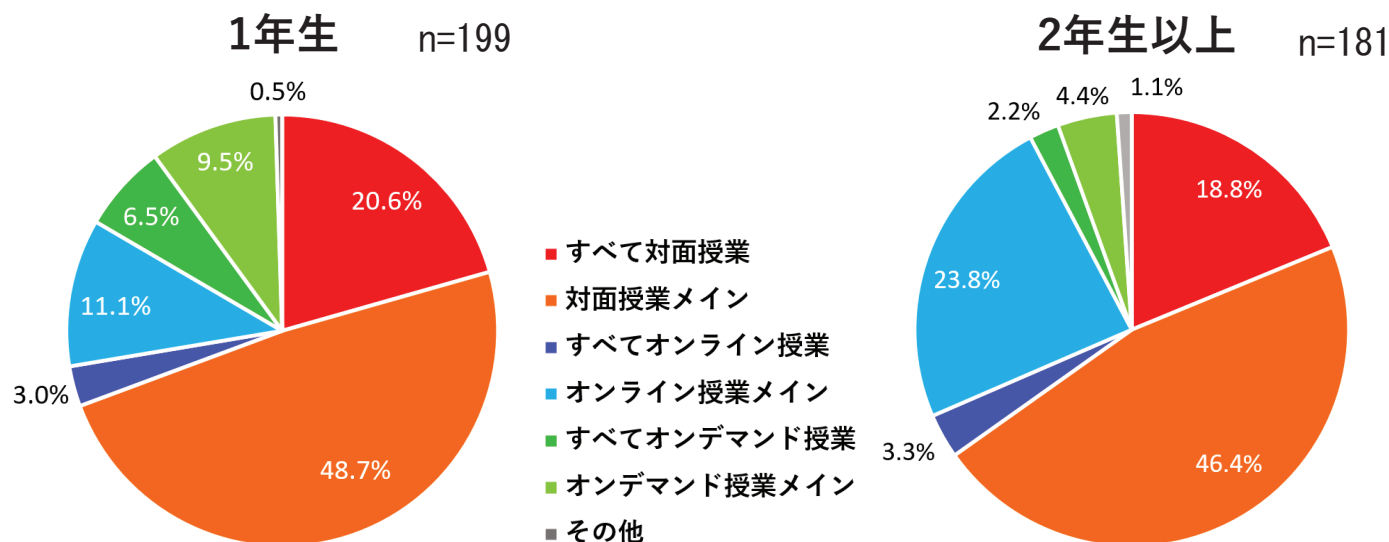


今後の授業形式についてあなたが最も望ましいと思うものはどれですか？

n=380



今後の授業形式についてあなたが最も望ましいと思うものはどれですか？



先生方に伝えたいこと、コメントなどがありましたら記述してください。

- 対面が始まってでも**グループワーク**がないとあまり意味ない気がします。
- 対面のメリットはないです。英語の授業なのにお互いの顔を見て話せないのにはびっくりしました。こんな授業をするくらいならzoomできちんと**お互いの顔を見て**話し合ったほうがいいと思います。
- 4月に対面授業を強行しようとした結果、前期の開始時期が遅れ、**夏季休暇の就職活動**に多大な影響が出た。

- 先生の**豆知識**的な話が面白い。
- コロナで学生に話させることが出来ないため、授業中一言も話さない授業もあります。そういった授業は**動画のコンテンツとして用意**して貰えた方が、理解しているところは倍速し、分からなかったところは繰り返し見るのでやりやすいです。
- 気持ちが落ち込んでしまうこともあると思います、**メンタルヘルスの保持**にも気を配っていただけると、とても嬉しいです。もちろん学生本人がしなければならぬこともあると思いますが、例えば相談先を紹介したりだとか...

- コロナ禍によって学生以上に、オンライン授業の準備や実施に計り知れない負担を強いられながらも、ご自身の研究の合間を縫って授業や成績評価をしていただけること、学生の立場としても**非常にありがたいと思います**。
- YouTubeなどに無断アップロードされたであろう動画を、URLで教材として提示する先生がいらっしゃいました。また、zoomでの授業をWikipediaを見せながら行う先生もいらっしゃいました。学生たちはWikipediaを教えて頂く為に授業料を収めている訳では無いと思います。**確実に授業の質は下がっているのに**同じ額を支払っている理由が分かりません。

- 対面授業が始まり、前期よりモチベーションが上がっています。コロナ禍でも工夫を凝らして対面授業を実施してくださっている**大学関係者の皆様に感謝**しています。
- 学生のために色々と頑張っていただいている先生と、機器に習熟していない先生の差が大き過ぎると思います。zoom使っているのにホストの設定ミス(参加者の名前変更が出来なかったり画面共有での不備、雑音が入る等)が多く、授業が滞ることが何回もありました。**大学側で先生任せにせず、講習会等を実施**すべきかと思います。

- 先生がずっと説明し続けるだけの授業はどこにいても学生にとっては同じことなので、移動の時間が省ける遠隔授業で、**グループワークなど学生どうしの活動**がある場合、遠隔授業であると雰囲気がかめないので**対面授業**にすべきだと思う。
- 対面授業で声を通らないからと言って**マスクを外して大声を出すのはやめて欲しい**
- 対面授業なら**ディスカッションを多くしたい**です
- **課題が多すぎる**と処理できません。

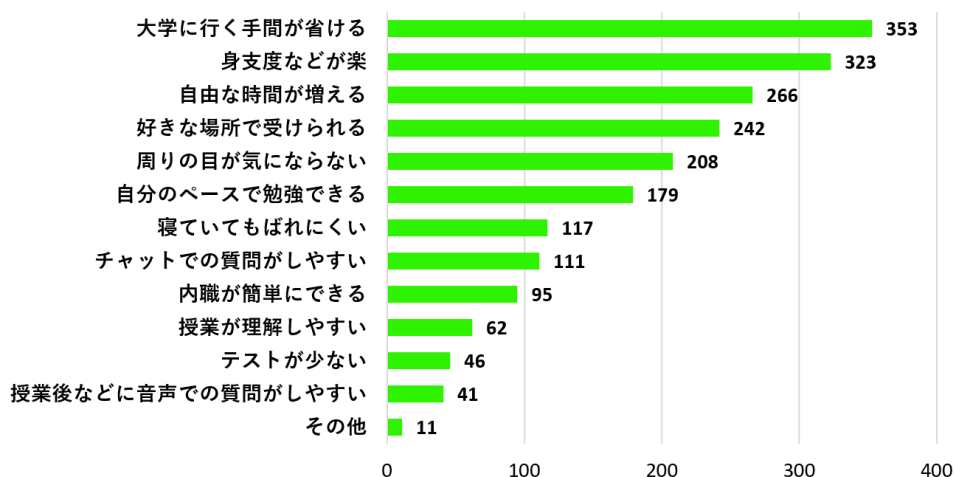
- ・ 対面授業なら**ディスカッション**を多くしたいです
- ・ オンラインになって**課題を増やすのはやめて欲しい**
- ・ 対面講義が始まってから**人との関わり**が増えて**日々の生活が充実**するようになった。よほど危険な状態にならない限りは対面講義を継続してほしい。
- ・ 評価のための授業や課題ではなく、**学びのための授業**にしてほしい。学びたいと思う学生のために授業をしてほしい。

まとめ

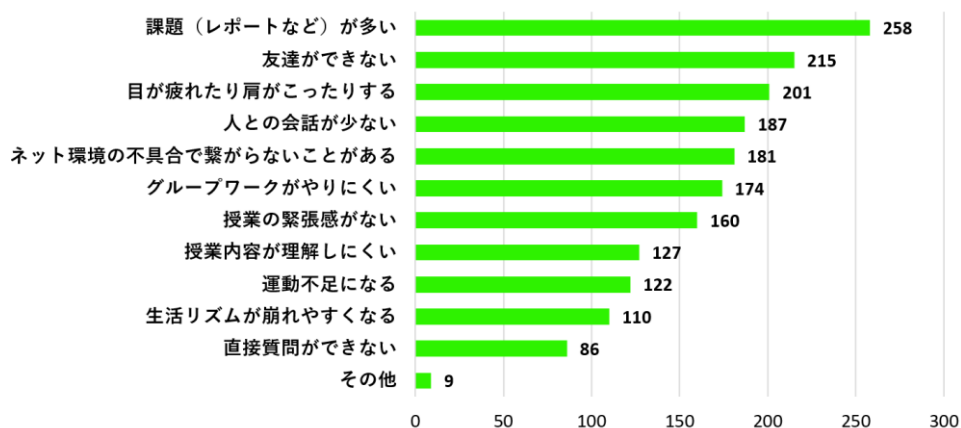
- ・ 対面授業メイン＋遠隔授業
- ・ 立場を超えた意見交換
- ・ 柔軟な対応

アンケート結果

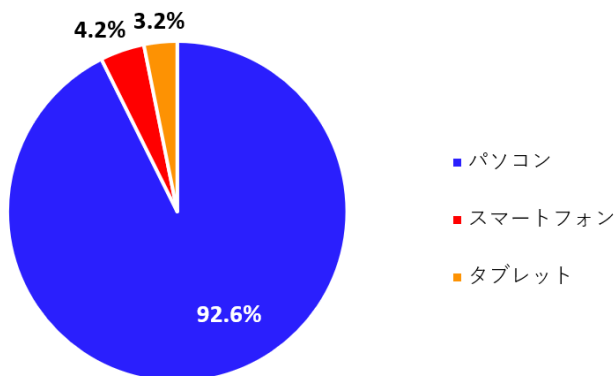
Q. 遠隔授業のメリットはどんなところにあると思いますか？（複数回答可）



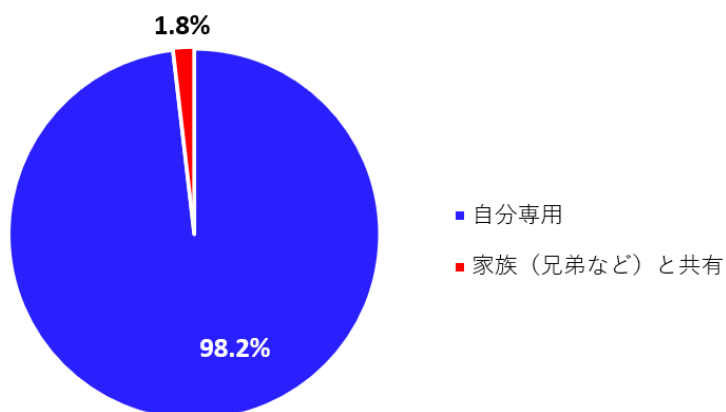
Q. 遠隔授業のデメリットはどんなところにあると思いますか？（複数回答可）



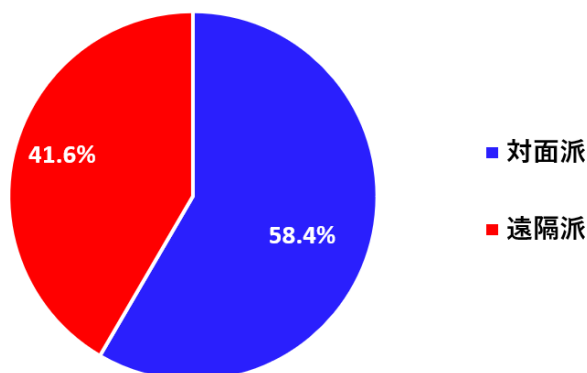
Q. 遠隔授業を受けるとき使用する頻度が一番多い端末はなんですか？



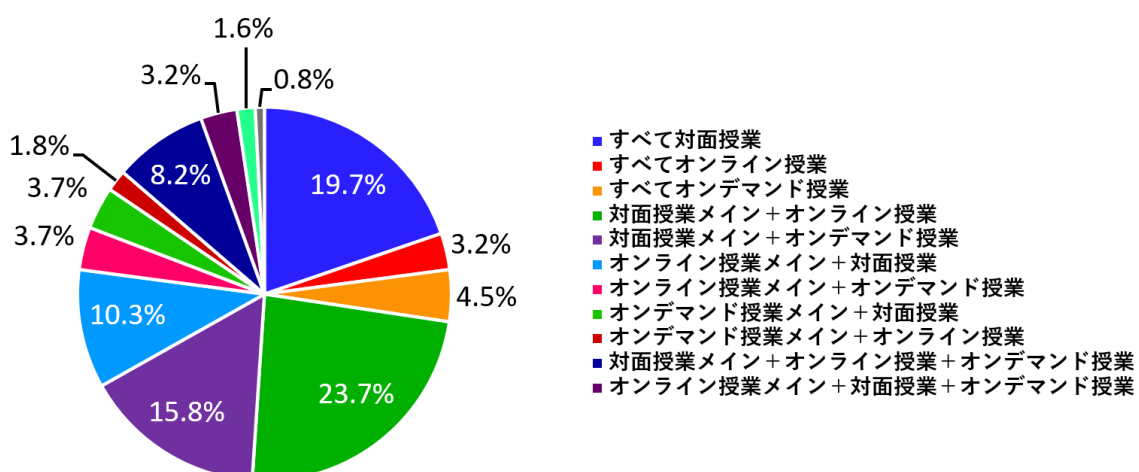
Q. 上の質問で回答した端末はあなた専用ですか？誰かと共有していますか？



Q. あなたは対面授業派ですか？遠隔授業派ですか？



Q. 今後の授業形式についてあなたが最も望ましいと思うものはどれですか？（オンライン=zoom など オンデマンド=Moodle など）



1 年生に質問です。対面授業のメリット・デメリットがありましたら記述してください。（自由記述）

- ・友達ができる
- ・課題が少ない
- ・雑談(教授の個人の話)が多い時があるので動画で良い。思うことがしばしばあります。1 時間半授業あるから、1 時間の内容をあえて1 時間半に伸ばしているような授業もいくつかあります。
- ・メリット 友達ができる
- ・デメリット 学校に行くのがめんどくさい
- ・教室移動が大変、そのため空き時間を目一杯使うことができない。
- ・人と交流ができる
- ・メリット:友達がつくりやすい。授業の説明が入ってきやすい。
- ・デメリット:通学するだけで疲れる。一限からだ通勤、通学時間と被っているため人が多く、道が混みやすいため遅刻しそうになる。
- ・五福に行かなくてすむ
- ・眠くなっている人が見えると少し安心する。
- ・聞き直しが出来ないため集中はしやすい。
- ・オンラインで甘やかされたので外に出るのが本当に辛い。
- ・メリット:友達と直接話せる、大学生感がある
- ・デメリット:通学が大変
- ・一限目の準備が面倒くさい
- ・メリットは人と触れ合えるのでその点でのストレスを溜め込まない点
- ・デメリットは自分の自由時間が多く減る点
- ・メリット:授業内容が理解しやすい
- ・受けている教養教育科目の社会学系の授業が何の説明してるのかわかりづらい(後期)
- ・クラスメイトと会話したり、分からない所を教えてもらったり出来る場所。
- ・先生の言葉や板書が座る場所や、周りの環境によって差が出る場所。
- ・メリットは友達が出来ること。
- ・デメリットは三密回避が不可能なこと。
- ・友達に会えることです。
- ・前期と比べて課題の量は少なくとても楽です。
- ・友達ができる。周りの人と一緒に勉強している感じがしてモチベーションが上がる。先生が前に居るので集中できる。質問しやすい。
- ・とても密になる授業があるので心配
- ・友達できない
- ・【メリット】他人の目がある状況下できっちり授業を受ける環境が出来上がっているのも、カメラオフのzoomでの授業に比べ集中して講義を受けるようになる。

オンデマンドの授業だと講義資料の確認や課題の提出などを後回しにしがちであるが、対面だと講義時間がはじめてから指定されているため主体性のない学生にしてみれば必要な勉強時間が受動的に確保される。生活リズムが崩れにくい。

・【デメリット】デメリットというより学生の本音といったところであるが、否が応でもきっかり 90 分講義を受けることになるため面倒で嫌だと感じる。

・3 蜜対策が不十分

・行くのが面倒で、パフォーマンスが高い時間に重要な科目を勉強できない

・メリット:友達がしやすい、集中できる

・デメリット:座席によっては資料や板書が見えづらいことがある

・好きなときに授業が視聴ができること

・オンデマンドは授業を受けた気がしない

・友達と励まし合いながら勉強できる。緊張感がある。

・メリットは、友達が出来たことです。デメリットは、移動時間が 2 時間くらいかかるようになったことです。

・時間と場所の制約があること。

・友達を作りにくい環境だったが、テストが楽だったため大学のスタートダッシュも楽にできた。

・対面授業は、遠隔授業よりも安心感があります。一方で、(特に 1 時間目の授業がある日は、)通学時間(約 1 時間半)がかかるので非常に辛いです。

・メリット 実技等、直接指導してもらえる 緊張感のある授業を受けられる

・デメリット コロナの心配 体調が悪いと受けることが困難

・どうしても密になる場面があり、対面授業では感染のリスクがある

・メリット、ギリギリまで寝られる

・デメリット、理不尽な量のレポートでやりたい勉強ができない

・人が多い

・座る席が選べないと厳しいときがある

・とにかく友達が増えた。

・シャトルバスでの移動、他学部の学生との接触は明らかにリスクを高めている。各キャンパスで授業すべき。出来ないならオンラインにすべき。

・メリットは、自分の好きな時間に課題等に取り組めるため、焦ったり、「人に監視されている」と感じることも無く活動出来る点

・デメリットは、生徒同士のグループディスカッションなどで、スムーズに活動が出来ない点、また、緊張感がどうしても薄れてしまう点

・デメリット・遠方の学生が通学に苦勞している

・対面授業のメリットは人と関わること、授業を受けているという実感がオンライン授業よりも強いこと、デメリットは人数が多い時にコロナ感染の不安を感じる、移動に時間がかかることだと思います。密になり放題になってしまう。

- ・授業中に寝ることが減る
- ・対面のメリットは、忘れ物が少ない、いつもあまり会話しない人とコミュニケーションがとれる等があると思う。一方デメリットは、何か受講し忘れたり提出し忘れたりしやすい、また不安になりやすい、まわりの勉強状況や、理解度がどうか分からず不安になる等があると思う。
- ・勉強は本来自分でするものであり、理解の補助に授業があるのだと思います。ですから、必ずしもリアルタイムのオンライン授業である必要はなく、個々の理解の程度に応じて視聴をすることが出来るオンデマンド授業が良と思います。また、富山県は雪の多い地域なので、杉谷キャンパスなどへの交通の便を考えると必要な実習以外はオンデマンドにすることが学生、教員双方の利となると思います。
- ・デメリットとして挙げられる運動不足に関しては、普段から運動をしない人は対面でも変わりませんし、運動をする人はオンラインでも運動をします。
- ・集中しやすい
- ・友達ができた。学校に行っているかんが有る。聞いてるだけ、たまに寝ても授業を受けた気になれる。
- ・デメリット→90分やらずに60分程で終わる授業を家でオンラインで受けていれば自由に使えた時間があつたが、対面だと次の授業まで学校に拘束されて自由な時間が減る。
- ・移動が大変であること
- ・デメリットはありません。身支度を面倒と思わないのでメリットしかないです。
- ・教室の大きさに対して学生数が多いため密になっている
- ・メリット 友達と相談しやすい 先生に質問しやすい
- ・デメリット 密にならないようにとのことだが、正直言って普通に密 通学時間が長い
- ・寝坊の危険が高い(デメリット)
- ・デメリットというか、対面が始まってグループワークがないとあまり意味ない気がします
- ・仲の良い人とは話しやすい
- ・友達ができる
- ・人と話せる
- ・緊張感がある
- ・大学生らしい生活ができる。多くの人は対面のキャンパスライフを想像していると思う
- ・メリット 先生の話を生で聞けること。
- ・デメリット 対面でも会話が制限されること。
- ・人と関わる機会が増える
- ・知り合いが増えない。それは大学生活で致命的。
- ・先生の豆知識的な話が面白い
- ・友達との交流が増える
- ・友達と実際に会って話すことができるのはメリットだと思うが、スライドが見にくかったり、グループワークができないというデメリットもある。
- ・メリット 先生の目線がわかる。周りの空気感やリアクションを感じられる。分からないことを友達などにすぐ聞ける。

- ・デメリット バスで通うのが大変。家事をためるようになった。
- ・メリット先生と直接顔を合わせることができる。 グループワークでスムーズに話しやすい。
- ・デメリット板書やパワーポイントの画面が見にくいことがある。
- ・メリットはあまり感じないです。デメリットは人が多過ぎて密を避けられないことや、シャトルバスが極端に少ないこと、五福から高岡までの移動時間が長すぎる、バスが満員で感染確率が上がるなどがあります。
- ・早起きづらい
- ・知り合いが出来にくい
- ・メリットは、授業に緊張感があること。デメリットは、マスク着用により眠たくなる。
- ・友達がしやすい
- ・拘束時間が増える。移動時間がかかる。
- ・対面授業が始まると、私服の劣化（消耗）が激しくなりました
- ・デメリット 大学周辺の道路が混む
- ・メリット 友達ができた
- ・対面のメリットはないです。英語の授業なのにお互いの顔を見て話せないのにはびっくりしました。こんな授業をするくらいなら zoom できちんとお互いの顔を見て話し合ったほうが良いと思います。
- ・通学時間がかかる
- ・教室の移動が面倒
- ・大人数の授業だと、距離を保つことが難しい場合がある。
- ・コミュニケーションがオンラインに比べるとしやすい。
- ・充実してる
- ・オンラインよりも集中できる。
- ・対面授業は人のペースに巻き込まれてやだ
- ・メリットは直接質問できること
- ・デメリットは通学が大変なこと
- ・周りの私語が気になる
- ・理解がしやすい
- ・メリットはない
- ・忘れ物をする可能性が出てくる
- ・メリット、友達ができる。デメリット、学校に行くまでに時間がかかる。

2年生以上に質問です。コロナ（2020年前期）前後の対面授業で変化したことがありますたら記述してください。（自由記述）

- ・対面授業の緊張感に耐えにくくなった。
- ・距離を保つことが面倒、相変わらず食堂は混雑するがそれに対しての有効な策が考えられないまま学生に全て一任していることから感染者が出て大学側は学生を批判できないと思われること。

・4 月に対面授業を強行しようとした結果、前期の開始時期が遅れ、夏季休暇の就職活動に多大な影響が出た。

- ・座席の感覚を広く取るようになった。
- ・教室の換気を行ってる為、服装を考えないといけなくなった。
- ・教室前にアルコールが置かれた。
- ・学校に行くのが辛くなった。
- ・消毒が習慣化した。
- ・課題の多さや、対面で授業をするにも関わらず課題提出はムードル、など混同させられると不便である。
- ・換気を行うようになったため、空調が意味をなさなくなった
- ・飛沫防止パネルの設置により、その向こうの黒板の板書が見えにくくなった
- ・特に変化は感じない。密を避けると言いながらも、以前と変わらず小さな教室に詰められて授業を行っている。

・密になる状態を、「少しの間なら我慢できる？」と仰る先生が居たが、我慢どうこうの問題だと認識している時点で間違っていると思う。

- ・授業への集中が減った
- ・席の間隔を空けるようになった。
- ・座る場所の制限
- ・Moodle での資料配布増加
- ・マスクで息がしにくく、授業に集中できない。この後期の授業では人との距離が近く不安がある。
- ・グループワークが極端に少なくなった。
- ・指導教員が増えた
- ・机の間隔をあけて座る
- ・友達との交流が少なくなった。
- ・時間が進むのが早く感じた。
- ・受講人数の多い講義を受けるのが怖くなった
- ・オンライン受講できる対面授業の存在が生じた。
- ・間隔を空けて座るためグループでの活動が難しくなった。
- ・友達と会う機会が減った
- ・座席の固定、なるべく離れて座るなど感染対策が行われている。
- ・実験が減った。Moodle を使う先生が増えた。資料の配布が Moodle になった。
- ・生徒間の間隔が広がった
- ・ビニールシートがほとんどの教室にできた
- ・Moodle を使用した課題などのおかげで、授業中に紙を配ったり書いたりするといった手間が省けた。

(オンラインの方が手書きよりも早く終わるので)

- ・また、飛沫感染防止のためか先生が学生に質問するという機会が減ったような気がする。
- ・集中を維持しやすくなりました。1 時間半座り続けるのは正直しんどいものがありました。家で受けられ

ば、ちょっと立ち上がったたり時々体を動かしながら授業を受けることができます。授業の時間だけで内容を理解できるようになりました。

・間隔を開けて座るので、2 つ机を使えたり、大きめの机を 1 人で使えたり、自分が使用できるスペースが増えた気がする。

・オンラインで慣れてしまったせいか、長時間座って授業を受けるのがしんどい。

・久しぶりに大人数がいる空間で授業を受けると、人の気配でストレスを感じる。

・成績が非常によくなった

・コロナ対策で学校に来られない学生がいることを配慮して出席出来なくてもテスト受講の権利を失わなくなった講義がある。

・書くほどのことではないが、みなマスクをつけている。

・仕切りができた、間をあけて座るようになった、広い教室を使うようになった

・グループワークなどは距離感に気を使うようになった

・教卓の透明シールドのせいで黒板が見え辛い

・友達と隣で座れない

・食堂に行かなくなった

・ゼミのみ受講のため、普通の授業の事は分かりません。ゼミは Zoom で行われたため、不明点の質問がしにくくはなりました。

・Moodle に資料がアップされ、各自で印刷することになり、授業で資料を手渡しされなくなった。

・生徒間の距離ができた(物理的)

・先生が喋ってるのが辛そう

・Moodle を使う先生が増えた

・資料が moodle に上がるようになって整理しやすくなった。

・対面式が増えた

・前より人混みを避けるようになった。

・夏はよかったが、冬場は換気を常にしているので寒い。

・出席率があがった。

・少人数になり、他の人の作品を見ることが出来なくなった。

・たくさんの人の講評を聞くことが出来なくなった

・学籍番号順に座る

・実習の機会が例年より少なくなった

・生徒間の距離を開けるようになった

・1 人分席を離れて座らないといけなくなったので、グループワークがやりにくくなった。

・マスク、アルコール消毒、換気の徹底が大変であると感じている

・同じ時間の授業でも、生徒によってオンラインの人と対面の人がいて、結局 moodle 上の課題をやらな
いと出席にならない、というのはどうなのか。

・はっきり言って、zoom を受けずに課題だけやる人と時間通りに大学に来てしっかり授業を受ける人とが

いて、双方の成績の付け方が同じなのはおかしい。zoom ならば zoom 内で出席をとり、対面なら学生証で出席を取るなどして公平にするべきである。

- ・ 学生同士のコミュニケーションが取りづらくなった
- ・ マスクが暑い
- ・ 金が無い
- ・ 周囲と距離を空けて着席するようになり、より授業に集中できるようになった。
- ・ ただ、物理的距離があるのでコミュニケーションのとりづらさを感じます。
- ・ マスク着用。間隔を空けて着席。実習の回数が減ったり簡略化された。
- ・ 経済学部教卓にある透明なシートが反射して、黒板の文字が見えないことが多い。
- ・ 消毒の徹底、体温計測
- ・ 課題の量が爆増した
- ・ 教室の席が全部使えなくなった。
- ・ 机の上にある飛沫防止のパネルで黒板が見えにくくなった。
- ・ 一部の講義で資料を自分で印刷しないといけなくなった。
- ・ この時期に対面で授業をする意味がわからないし、オンラインの方がわかりやすい。対面で授業をやる意味を見いだせなくなった
- ・ オンライン授業が増えたことにより、明らかに課題の量が膨大になりました。先生方は、オンライン授業になったことで、学生の時間に余裕が出来たと勘違いされているようです。しかし、学生はあくまで授業がオンラインか対面かの違いだけであって、その他の時間はなにも変化していません。
- ・ 友達の隣に座れなくなった。
- ・ 毎授業のリアクションシートが moodle 上で提出になった（ペーパーレス）
- ・ ソーシャルディスタンス
- ・ 以前は学校で授業の合間や授業中に友達と相談しながら課題をしていたのでやりやすかったが、コロナ後は LINE 等でのやりとりになって課題の難易度が上がったのも相まって取り組みにくかった。
- ・ 何も変わっていない。
- ・ 睡眠時間が以前より取れるようになった。しばらく気が緩んでいる気がした。
- ・ 席の座り方、プリントは自分で印刷することが増えた
- ・ マスクが苦しい
- ・ マスク着用が辛い

**先生方に伝えたいこと、コメントなどがありましたら記述してください。（自由記述）
たくさんの先生方がご覧になります。**

- ・ コロナで学生に話させることが出来ないため、授業中一言も話さない授業もあります。そういった授業は動画のコンテンツとして用意して貰えた方が、理解しているところは倍速し、分からなかったところは繰り返し見るのでやりやすいです。
- ・ 私は経済学部生なのですが、正直専門科目を非対面で行う必要はないと思います。人数の関係があるの

は分かっていますが、一般教養の授業でも席の間隔を開けてない人が多く見られます。

・気持ちが落ち込んでしまうこともあると思います、メンタルヘルスの保持にも気を配っていただけると、とても嬉しいです。もちろん学生本人がしなければならないこともあると思いますが、例えば相談先を紹介したりだとか...

・4 月に対面授業を強行しようとした結果、前期の開始時期が遅れ、夏季休暇の就職活動に多大な影響が出た。

・オンラインと対面をハイブリットするのであればオンラインはオンデマンドのみにしてライブを諦めていただきたいです。

・文学系や語学などの非対面の授業で資料だけ載せられても理解しにくい。

・現在の対面授業で、本当に完全な感染対策が取られていると言えますか？富大から感染者が出たことを隠したまま、密な状態での対面授業を続けることには反対です。

・実技系はそのままに、講義系は遠隔でいいと思います。

・授業中に席を一つ空けて座っても、結局友達と一緒に行動したり、学食に長蛇の列ができたりと、感染対策はほぼ意味がない。

・また、学生の中で感染者がいるという噂があるが、教授たちは「感染者はまだ(あまり という人もいる)出ていない」とおっしゃっている。どちらが正しいのか明確にするべきである。

・対面の方がいいです。

・コロナ禍によって学生以上に、オンライン授業の準備や実施に計り知れない負担を強いられながらも、ご自身の研究の合間を縫って授業や成績評価をしていただけること、学生の立場としても非常にありがたいと思います。

・Dailymotion や YouTube などに無断アップロードされたであろう動画を、URL で教材として提示する先生がいらっしゃいました。課題はその動画を踏まえて答えるものであったので視聴しましたが良い事なのでしょうか。疑問です。

・また、zoom での授業を Wikipedia を見せながら行う先生がいらっしゃいました。学生たちは Wikipedia をわざわざ教えて頂く為に授業料を収めている訳では無いと思います。

・確実に授業の質は下がっているのに同じ額を支払っている理由が分かりません。

・zoom やオンデマンドの講義は先生方の技術力の差が出たと思った。

・Moodle では映像で講義を提供してくれた場合は、分からなかった所を何度も見直したり出来た。でもテキストのページと課題を記載するだけの先生もいらっちゃって、しかもドイツ語だったので自分一人で勉強するのは厳しかった。

・ありがとうございます

・芸文生ですが、五福へ行くため密のバスで往復 3 時間です。感染しそうで怖いです。

・対面授業をする際にコロナ対策として窓を開けておくのはやめてほしいです。寒いです。そういった対策をするのであればオンラインに切り替えたほうが良いと思います。

・zoom での授業で、先生が話すのに夢中で生徒のチャットを見てくれなかったり質問などの音声が届かない場面がよく見られるので、定期的にチャットを見て欲しいし音声も聞いて欲しいです。あと、オンデマ

ンドで授業を行っている先生で、メールアドレスも分からないしチャットも出来ないし連絡が全く取れず分からないことや聞きたいことを質問できないときがありました。メールアドレスを Moodle のどこかに載せてほしいです。

- ・オンラインになって課題を増やすのはやめて欲しい
- ・月曜二限アカデミックデザイン、月曜 4 限言語表現、火曜 3 限言語と文化がとても密です。
- ・オンデマンド授業をメインにして欲しいです。朝から晩まで連続で授業を受けさせられて、集中力を保てられる訳がありません。
- ・対面授業で声が通らないからと言ってマスクを外して大声を出すのはやめて欲しい
- ・一限がオンラインで二限が対面のように授業と授業の間が 15 分しか空いていないのに家から学校に移動するのはきつく、毎日遅刻してしまうため、どちらか一方にしてほしい。また、端末室で受けるには集中しづらい。
- ・対面と非対面が一日の中に混在するのは、空き教室の確保の点からも難しいため避けて欲しい。
- ・教養の授業で窓は開けてあるもののほぼ無風で、隣の人と接していて教室ギリギリまで人が入っている授業があります。教員と学生の距離は 2m ほどありますが、学生同士の距離は肘がぶつかるギリギリです。こうなるならオンラインにしてほしいです。
- ・対面が主になってる時にオンデマンド授業を混ぜられるとやる気が出ない
- ・やるなら全て対面かオンデマンドじゃなくてズームにして欲しい
- ・対面授業が始まり、前期よりモチベーションが上がっています。コロナ禍でも工夫を凝らして対面授業を実施してくださっている大学関係者の皆様に感謝しています。
- ・先生、お願いしますから zoom に慣れておいてください
- ・資料掲載のみのオンラインは本当に授業料を払う価値がないと思うので、しっかり音声や映像で授業をしていただきたい
- ・教室が狭苦しいです。
- ・冬の期間は zoom での授業を希望します。
- ・マスクしながらマイクで話すとモゴモゴしていて聞き取りづらかった。
- ・せっかくオンライン授業ができるのだから、教養教育は、今後もわざわざ五福キャンパスまで行って受ける必要はないのではないかな？
- ・引越し予算、移動費、移動時の疲労や時間の無駄があると感じている。移動中に勉強すればいいという意見もあるが、車酔いする人も多い。酔ったまま授業を受けるのは、環境としてよくないのでは？
- ・授業で使ったスライドを Moodle に上げて貰えると事後学習に利用できて助かる
- ・対面である必要がない授業は非対面にすべき
- ・オンライン授業やオンデマンド授業を行うことでテストが行えない、ということになった時に課題が多くなる理由はわかるのですが、他の先生方も同じように課題を増やされ、学生側の負担もかなり大きいです。そのことを今一度考え、提出課題の量を減らすまた期限の見直しをしていただきたいです。
- ・学生のために色々と頑張っていただいている先生と、機器に習熟していない先生の差が大き過ぎると思います。zoom 使っているのにホストの設定ミス(参加者の名前変更が出来なかったり画面共有での不備、

雑音が入る等)が多く、授業が滞ることが何回もありました。大学側で先生任せにせず、講習会等を実施すべきだと思います。

- ・使う資料などは moodle で授業前か後に pdf 等でアップロードしてもらえるとありがたい。タブレット端末で見るのに便利なため。

- ・オンライン授業の方が遠方の学生にも学業に集中しやすく、自分の時間も作りやすいです。たまに対面を挟むことによって友人も作りやすいと思います。ぜひオンライン授業をメインにしてください。

- ・実験などは対面でする必要があると感じますが、講義は遠隔の方がやりやすかったです。

- ・自分は朝早く起きて、時間通りか時間より早く動画をみて、復習や演習問題が出来るのですが、自分で勉強を進んで出来ない人や、忘れてしまっている人にはオンラインは大変だったかもしれないと思いました。(最もそういう人は対面にでてこない?)

- ・とりあえず課題を出しておけば授業の体裁は整うだろうという姿勢を全ての科目で導入されると、学生側がパンクします。

- ・先生がずっと説明し続けるだけの授業はどこにいても学生にとっては同じことなので、移動の時間が省ける遠隔授業で、グループワークなど学生どうしの活動がある場合、遠隔授業であると雰囲気がかめないので対面授業にするべきだと思う。

- ・休講にして補講にするならオンデマンドでその回だけやって欲しい

- ・対面授業ならディスカッションを多くしたいです

- ・芸術文化学部学生の私からすると、五福キャンパスでの教養授業はオンラインの方が受けやすいと感じます。

- ・そう思う一番の原因は通学時間です。例えば、8時45分開始の一限に出席する場合は7時20分高岡キャンパス発のシャトルバスに乗る必要があり、約1時間ほどかけ五福キャンパスに向かうことになります。また、授業終了時間によっては帰りのシャトルバスに乗るために大きく時間が空くことがあります。私の場合は火曜日が四限で終了しますが、四限終了時刻(16時15分)周辺にシャトルバスが出ず、18時20分まで待つ必要があり、そこからまた約1時間かけて高岡キャンパスに向かうため家に到着する時刻が19時30分程になります。

- ・五福キャンパスでの教養授業を対面にするメリットはもちろんありますが、今かかっている通学時間のことを思うと教養授業はオンラインの方が嬉しいなと感じます。

- ・これから頑張りますので、宜しくお願い致します。

- ・課題が多すぎると処理できません。

- ・家で zoom やオンデマンドで受けても大丈夫だし学校に行って直接受けても大丈夫という授業において、対面とできるだけ同じだけのクオリティを家で受ける場合にも提供していただけたらと思います。zoom の場合は良いのですが、パワポの配布だけ、などでは理解が厳しいです。

- ・冬になるにつれ、換気のため窓を開けて極寒の中授業を受けるなら自宅でオンラインのほうがいいです。(実習系を除いて)

- ・前期のオンライン授業では、先生によって授業のクオリティの差が大きかった。

- ・対面講義が始まってから人との関わりが増えて日々の生活が充実するようになった。

- ・よほど危険な状態にならない限りは対面講義を継続してほしい。
- ・積極的な学生、そうでない学生がいるように、それは先生方にも当てはまっていて、やる気のない授業を展開する先生（先生とも呼びたくない）には辟易した。わかりますよ？そういうの。教育者がそれでいいんですか。胸に手を当てて心当たりがあるかないか自問してください。
- ・般教はオンラインがいいです
- ・語学はオンライン授業の方が良かった。対面授業だと感染対策のため発音練習等がしにくい。
- ・評価のための授業や課題ではなく、学びのための授業にしてほしい。学びたいと思う学生のために授業をしてほしい。
- ・対面授業の際、本当にしっかり感染予防がされているのかとても不安です。
- ・教室ではスライドが見にくいので、事前に資料を Moodle にあげていただきたいです。
- ・慣れないオンライン授業、お疲れ様です。
- ・高岡から五福まで通うのがバスが少ない、時間がかかる等などの面で本当に大変なので交通面でも遠隔授業の方が有難いです。質問があったら五福まで向かうという方が効率が良く、合理的だと思います。
- ・前期にパソコンの中でだけお姿を拝見し、お声を拝聴していた先生の授業を後期に対面で受けると、本物だ～、喋り方おんなじだ～と思い、なんだか不思議な気分になりました。
- ・雪の日は通学が困難になるため遠隔授業にしてほしい。せっかく整えた環境なのに前学期のみ使用して今後に活かさないのは勿体なさすぎる。また、遠隔授業は面倒だからと敬遠する教員がいて残念だ。学生もかなりのお金をかけて環境を整えたのに教員側がそんなことでは職務怠慢ではないかと疑問に感じる。
- ・オンデマンド型であると課題が多すぎて大変でした。多くの先生が課題を課しているため配慮してほしい。
- ・大人数かつ大教室で授業を受けるくらいなら、オンラインの方がいいと思います。
- ・対面にしないといけない授業は数少ないと思う。実験などを除きできるだけオンデマンドや Moodle でやって欲しい。対面でもオンラインでもサボる人はサボるしちゃんとやる人はちゃんとやる。友達だって対面がないとできないわけではなかった。
- ・授業によっては一般の社会人の方のお話を聞く機会があるのですが、しかしながら、そのほとんどは社会人から学生への一方通行ばかりで、お互いに議論し合うような機会はあまりありません。社会人の方とお話がしたくても、僕たち学生は、バイト先の社員などのごく一部の社会人しかコミュニケーションを取る機会がないので、会話を通してしか知ることのできない価値観や文化などを学ぶことができなかったり、授業が社会人から学生への一方通行であることで、なにか疑問を持っても授業に来ていただいた方に質問をできないでいる学生がいたりするかもしれません。
- ・大学の先生方に協力していただき、民間企業にお勤めの方や公務員など、より多くの方とお話がしたいです。
- ・今まで通りの講義ができなくなった前期、オンラインでも分かりやすい講義動画や資料を作って下さりありがとうございました。実際に臨床現場で働いていた先生方のお話を直接聞くことが出来なかったのは心残りではありますが、遠隔授業でも十分に学ぶことができたと思います。
- ・密な授業がありこわいです。また、昼食も結局話してしまうので濃厚接触になっています。身内に体の

弱い人がいるのでオンライン授業がいいです。

・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、今後は対面授業とオンライン授業を併用していくことは必要であると考えます。しかし、何事においても学生の立場に立って考えて頂きたいです。よくあることですが、オンライン授業において、準備不足の教員が混乱している様子を学生は呆れ顔で眺めています。教員が混乱しているようでは、学生は授業で何も得ることは出来ません。

・話を聞くだけの授業は嫌で、例えば、問題を解くこととか、パワーポイントの空白部分を埋めるとか、一緒に作業しながらの授業をしたいです。

・友達と家にいるとき友達の授業も覗けて、それが結構いい授業だったので個人的に質問できたのが楽しかったし、チャットは zoom 受けてる人の名前で投稿できるので専門以外の他学部の授業が考え方の多様性について学べてとてもためになった。なので、授業が単位はいらないし、テスト受けるような責任あるものであって欲しくないという人もいるということを知ってもらって身元を明らかにしたら、どんな授業でも断片的に受けれるようなシステムになって欲しいと思った。今日やっている授業一覧など見やすいものができたらもっと自主性が育つのかなと思いました。

・実技系の講義（特にプリント、教科書を読むだけのもの）は、オンラインでもじゅうぶん可能な講義があるのではないかと考えます。

・高岡キャンパスと五福キャンパスとの行き来は、密の状況を作りやすく時間がかかること。杉谷キャンパスよりもバスの便数が少ないことから、遠隔での配信を希望します。

・原則対面という愚策でしかない馬鹿なことをしているのは富山大学だけ

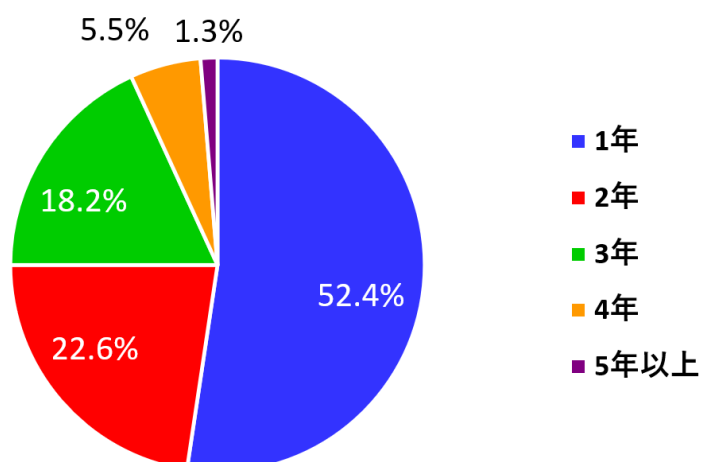
・教科によってオンラインか対面かが違うとやややりにくいです。

・今年など特に大雪が予想される年は学校にいくのが困難なとき(公共交通の停止)はオンラインでの授業を取り入れてほしい。

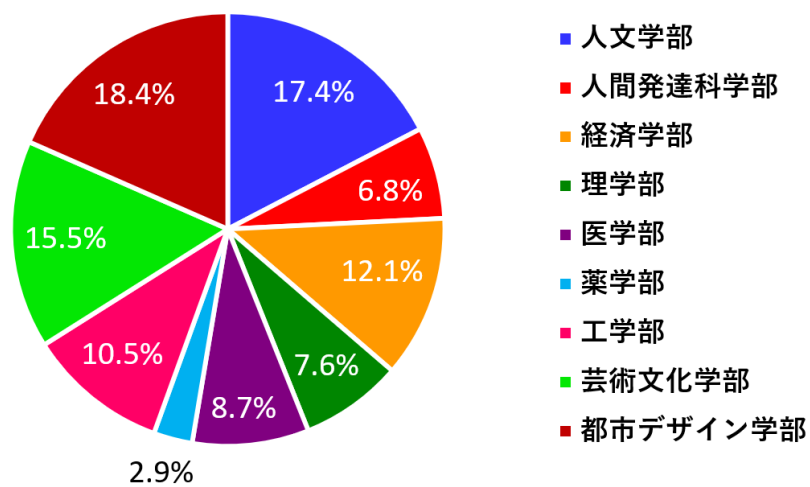
・講義や座学などはオンラインにしてしまった方が良いと感じる。

・高岡とか五福とか関係なく受けられるのがオンラインの良いところだと思う

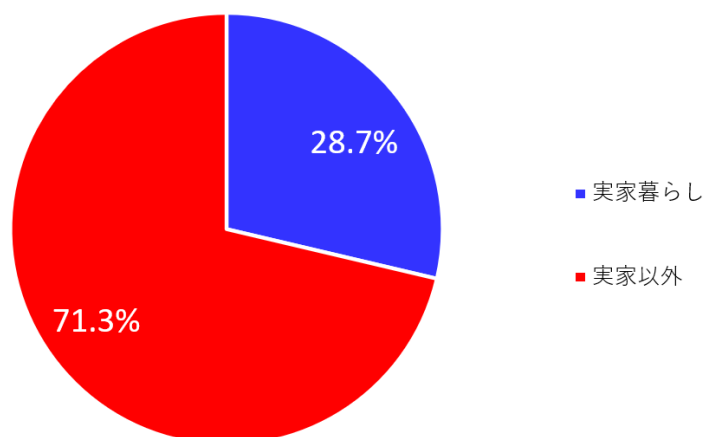
学年



所属



実家暮らしかどうか



【参加者感想】

【話題提供者からの感想】

話題提供者としてのコメント

人文学部 小助川 貞次

どんなに困難な状況の中にあっても、教員も学生も、高等教育の質を落とさないように努力していることが伝わって来た研修会だったと思います。特に、学生からの「生」の話題提供があったことは、通常の授業評価アンケートでは絶対に分からないことが、参加者にはよく認識されたと思います。何事もない平穏な状況でないからこそ、見えて来ることなのでしょう。その意味で、このタイミングでの研修会はとても良かったと思います。

私自身の話題提供でもお話ししましたが、遠隔であっても対面であっても技術的な授業技法の問題は、（やる気さえあればだれでも）克服していけるでしょうし、今後さらに優れた技法を開発することも可能でしょう。そのための全学的な支援は当然必要になり、大学としてコストを注入することも当然だと思います。教員・学生の「やる気」だけに頼るような精神論的な方策は時代錯誤も甚だしいと言えるでしょう（かつての軍隊では精神注入棒というのがあって、私が過ごした中学校（1970 年代初め）の部活では、バットがその代用品でした。「～山チョップ」とか「～山おろし」と言っていました）。本当に必要なことは、技術的なことでも精神論的なことでもなく、学生の学びたいという気持ちに大学・教員がどれだけ寄り添えるかということだと思っています。

これは実は意外と難しくまた面倒なことでもあって、現在高等教育に求められているアクティブラーニングだったり厳密な評価だったり、不要だとは申しませんが、それだけでは学生の学びたいという気持ちに応えることはできないと思います。遠隔か対面か、あるいはハイブリッドかという授業の実施形態とは別のところに、寄り添い方や応え方の答えがあって、少なくとも私たち教員は終生それを考えて続けていくのだろうと、この度の研修会を通して深く感じた次第です（やはり精神論に陥っているのか？）。

全学 FD 2020 話題提供を終えて

都市デザイン学部 1 年 益田 耕佑

他の 2 つの話題提供が先生方からのものということだったので、私は、学生目線で話題提供しようと思いました。また、参加される教職員の方も 1 学生の声を聴こうと思えば身近な学生に尋ねることができると考え、できるだけ多くの学生の声を先生方に伝えられたらとの想いで学生対象のアンケート調査を実施しました。

このアンケートで一番意識したのは、大学が全学の学生を対象として行ったアンケートとは異なる質問をすることです。例えば「あなたは対面授業派ですか？遠隔授業派ですか？」などです。

実際に発表をして、準備不足で時間配分がうまくできなかったために、持ち時間を超えてしまったり、後半部分が急ぎ足になってしまったりしたことが反省点としてあげられます。また、発表内容もアンケート結果の説明が多くなってしまい、他のデータとの比較や細かい分析ができなかったことが心残りです。

次にこのような機会があったら、調査・準備段階から発表内容までしっかり計画を立てて進めるようにしたいです。

【参加教員からの感想】

大学院教職実践開発研究科 黒田 卓

今回の全学 FD2020 では、話題提供のあと、少人数グループに別れてグループ討議が行われた。グループには本学の教員や学生だけでなく、外部からご参加いただいた他大学の教員も含まれており、本学で行われた遠隔授業だけでなく、他の大学での取り組み事例も伺うことができ、より幅広い遠隔授業のアイデアや工夫を共有することができた。また、学生からは、前期に受講した授業での改善点や問題点について、具体的な指摘もいただき、今後の遠隔授業実施の際に、気をつけるべきことを改めて考えさせられた。

やはり、多人数に向けての一方的な講義だけでは、なかなか集中を維持することは難しく、参加者のビデオをオフにした状況の講義では、やはり聞いていないことも多いようである。1画面に入り切る程度の人数での授業や、大人数での講義でも今回のグループ討議で利用しているようなブレイクアウトセッションを利用することで、お互いの顔をみながら授業を進めたり、学生同士の話し合いを加えたりしていく工夫の必要を強く感じた。また、対面授業ではプレゼン資料や板書が見えにくかったり、教員の話が聞こえにくかったりすることもあるが、遠隔授業では、資料が手元のパソコンで見えたり、教員の話もよりはっきり聞こえるといった話もあり、遠隔授業を通して、通常の対面授業の改善点も見えてきた。

話題提供者のお話も大変有益な内容であったが、それに加え、参加者同士のアイデアを共有することで、より多くの遠隔授業実施のアイデアをいただき、有益な研修になった。

【参加学生からの感想】

全学 FD 2020 に参加して

人文学部 1 年 広辻 瑞紀

(UD Mates メンバー)

全学 FD を通して、私はとても貴重な経験を得ることができました。普段は知ることのできない教師側の意見を聞くことができたからです。今回の全学 FD では主にオンライン授業についてでした。学生、教師ともに初めてとなる形式での授業、それにまつわる失敗と成功の例を教師の目線から聞くことができました。

そこで気付いたのは、教師の方々も多くの苦労を味わいながら、何とか試行錯誤して授業を行っていてくれたのだということです。正直、私は新入生で、右も左もわからないままオンライン授業に移行してしまったこともあり、教師の方々の苦労などはあまり考えられていませんでした。しかし、教師の方々の話を聞いて、初めてであるのは同じであるのに、私たち学生のことを思って授業がうまくいくように試行錯誤してくださっていたのを知って、頭が下がる思いでした。また、成功談だけではなく、失敗してしまった、上手くいかなかったと思うことも発表されているのが私にはとても新鮮なことに感じられ、教師の方々の苦労がよりよくわかりました。

ブレイクアウトセッションでは、教師の方々も不慣れで顔の見えないオンライン授業に苦労していたこと、学生のメンタルも気にしてくださっていたことなどの、多くの有意義な話を聞くことができました。

今回の全学 FD で、教師の方々の苦労や意見などを聞くことによって、オンライン授業では遠く感じてしまっていた先生方のことをより近く感じ、より授業を真剣に受けようと思うことができました。また、学生が教師の方々の率直な意見や考えを知ることはとても意義のあることだと思ったので、ぜひ機会を増やしてほしいです。

全学FD2020 参加者アンケート

この度は、11/4（水）に開催しました全学FD2020に御参加いただき、ありがとうございました。
今後の企画の参考にさせていただくため、アンケートに御協力をお願いします。

身分と御所属をお教えてください。

身分 1) 教員 2) 職員 3) 学生 4) その他

所属 1) 人文学部 2) 人間発達科学部 3) 経済学部 4) 理学部 5) 医学部 6) 薬学部
7) 工学部 8) 芸術文化学部 9) 都市デザイン学部 10) 教養教育院
11) 大学院教職実践開発研究科 12) 和漢医薬学総合研究所 13) 研究推進機構
14) 地域連携推進機構 15) 国際機構 16) 総合情報基盤センター
17) 環境安全推進センター 18) 保健管理センター 19) 他大学等 20) その他

問1 今回の企画の各パート及び全体について評価をしてください。

	良くなかった	あまり良く なかった	どちらとも いえない	おおむね 良かった	良かった
1) 話題提供	1	2	3	4	5
2) グループ討議	1	2	3	4	5
3) 全体討議	1	2	3	4	5
4) 企画全体として	1	2	3	4	5

問2 全学FDでは、討議型FDを取り入れ、グループ討議及び全体討議を実施していますが、
どのように思いますか。

1) このままでよい 2) 変えたほうがよい 3) その他 ()

この回答について、理由・意見があれば記載してください。

問3 開催時期について、どう思いますか。

1) 今のままでよい 2) 変えた方がよい（時期： ）

問4 コロナ禍の影響を鑑み、今回はZoomを利用したオンライン開催としましたが、オンライン開催で
良かった点及び悪かった点について、ご意見があれば記載してください。

良かった点 _____

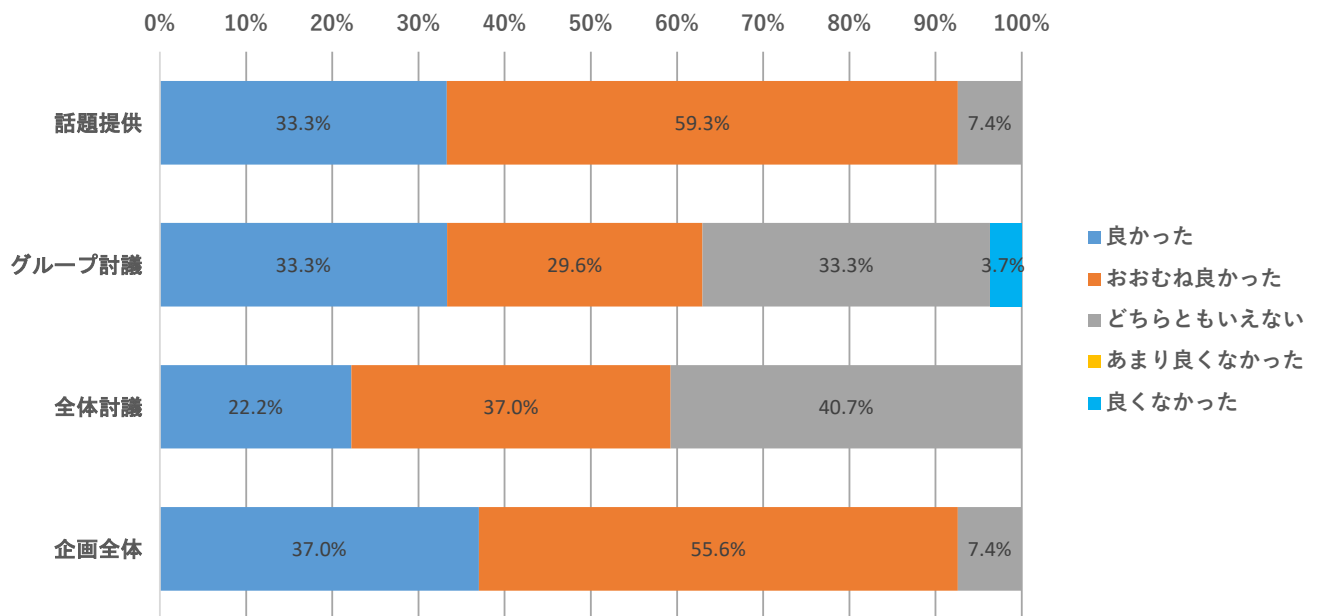
悪かった点 _____

問5 今後、より多くの教員・職員・学生に全学FD研修に参加していただくために、良い考えがあれば記載してください。

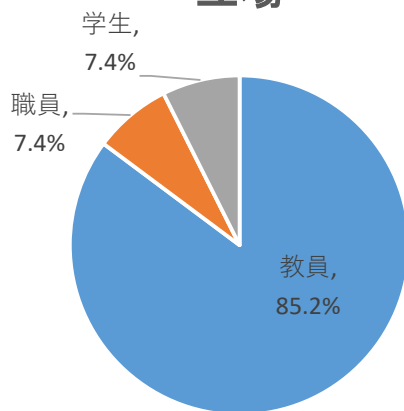
問6 今後の全学FD研修で、実施して欲しいテーマがあれば記載してください。

御協力ありがとうございました。

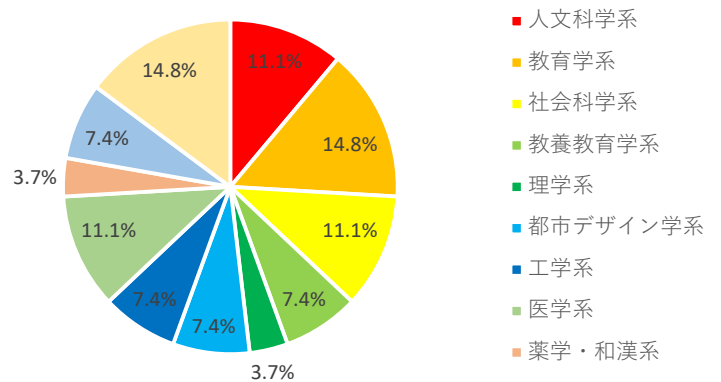
全学FD2020 参加者アンケート集計



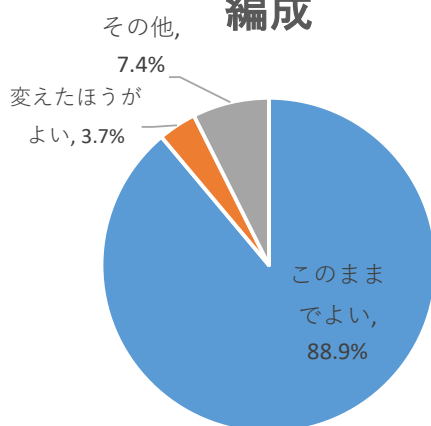
立場



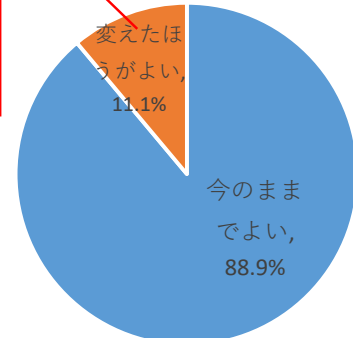
所属



編成



開催時期



代わりの時期

- ・ 後期開始前
(後期の授業に活かすため)
- ・ 年に1回ではなく、時期を変えて数回行う

○問2 全学FDの編成について

- ・ 学生さんの話を直接伺えてとても良かった。
- ・ 学生とともに大学の授業の改善を考える機会となり、全学的に取り組まれることに敬意を表します。
- ・ 学生・教員・職員が話し合える場はとても貴重です。
- ・ 今回のようなケースなら話題提供なしでいきなり討議しても良かったかも。
- ・ zoom で実施する場合、1グループを4、5人までにしたほうが、ミュートせず話せて良いと思います。

○問4 オンライン開催で良かった点及び悪かった点について

—良かった点—

- ・ ブレイクアウトルームの利用が有効だった。
- ・ どこにいても参加できる。
- ・ 気軽に参加できる。
- ・ 新型コロナウイルス感染の心配をしなくて良いこと。
- ・ 資料等も見やすく、参加しやすかったです。
- ・ 比較的気軽に参加できて、話をじっくり聞けて良かった。
- ・ 移動などの面が省けるので、他の予定時間の合間を縫って参加しやすいという点がとても良かった。少し質問の趣旨からずれますが、学生さんが、とてもうまく、学生さんの目線からオンライン授業についての意見をまとめてくださったのは、とても興味深かったです。とても素晴らしい発表だったと思います。やはり学生さんの意見を聞けるというのはとても良いことだと思いました。また教員側の事情、教育にかけている気持ちなども学生さんに知っていただける交流機会となれば、双方にとってとても良いFDであると思います。
- ・ 小助川先生の本音の★もやもや★（もやもやは、頑張ってきて、あと一步のところまで来ていることの証）を聞かせていただきました。最後の最後に、やり過ぎないという極意を体感されて、秋に望みますとの決意表明は、うれしくなりました。
- ・ 学生さんと一緒に議論できたことです。課題の量でなく、その課題の意味ややるべきであるという意識を持たされる必要があるという意見は参考になりました。そんなことは学生自身が考えることで、主体性がないという批判は簡単ですが、授業は学生と教員と一緒に作るものであると考えています。橋本先生がいらっしゃらなくなるとのことですが、今後も学生さんと一緒にFDを実践していただきたいと思います。

—悪かった点—

- ・ グループ討議から全体討議への移行が強制的過ぎた感。
- ・ 学生と教職員の対話が、もう少しあれば良かったです。

- ・これは、どこの大学でもあることですが、討議に残らない先生が比較的いらっしまったので、できるだけ参加されるように出来たらいいと思います。とはいえ、文科省の言いなりになり強制参加などする必要はありません。FDの内容を魅力的にしていって地道な努力を続けるのが一番であると思います。
- ・貸してもらった機材に不慣れで音声が届かないことがあったこと。
- ・グループ討議に参加できなかった。
- ・時間配分。
- ・討議のマネージが難しいこと。
- ・グループ討議が対面より難しい。

○問5 今後、より多くの方に全学FD研修に参加していただくためのアイデア

- ・教職員への広報を、諸会議を通じてもっと行うとよい。知られていない。
- ・今後もオンラインで開催する。
- ・学生への周知を徹底する。学部レベルで広報活動をする。
- ・職員の発言が必要です。
- ・今回のような、オンラインも組み合わせた参加方法はとても良いと思います。特に聞きたい話題などを重点的に聞くこともできて、とても有難いです。
- ・執行部による具体的なゴールを明確に示し、大学としてどうありたいかを先に示し、そのための具体策を検討する会として欲しい。

○問6 今後の全学FD研修で実施して欲しいテーマ

- ・遠隔授業（ハイブリッド型も含む）は今後の大学教育に必要不可欠であると思われるので、何度も取上げ、継続的に議論してほしい。
- ・学生の反応が鈍い時の対処法。
- ・学生の多様化への対応等。
- ・母校愛について語り合うこと。
- ・文化系学生への理系科目の習得（統計学など）。

2. 遠隔授業の実施に関するFD 実施報告

遠隔授業の実施に関するFD

プログラム

9月28日(月) 13:00～15:00

「Zoom」ミーティングによるオンライン開催

全体のコーディネーター 橋本教育推進センター副センター長

13:00～13:10 開会挨拶 磯部教育推進センター長

13:10～ 事例報告…各学部・教養教育院より優れた取組みを報告

13:10～13:20 人文学部 安藤 智子 准教授

13:20～13:30 人間発達科学部 小川 亮 教授

13:30～13:40 経済学部 岩田 真一郎 教授

13:40～13:50 理学部 望月 貴年 教授

13:50～14:00 医学部 三原 弘 助教

14:00～14:10 薬学部 友廣 岳則 教授

14:10～14:20 工学部 黒岡 武俊 准教授

14:20～14:30 芸術文化学部 奥 敬一 准教授

14:30～14:40 都市デザイン学部 矢口 忠憲 教授

14:40～14:50 教養教育院 杉森 保 准教授

14:50～15:00 閉会挨拶 橋本教育推進センター副センター長

【参加人数】

教員	
役員	4
人文科学系	13
教育学系	19
社会科学系	17
芸術文化学系	6
教養教育学系	14
理学系	21
都市デザイン学系	16
工学系	53
医学系	22
薬学・和漢系	10
教育研究推進系	14
小計	209
職員	
	13
合計	222

遠隔授業の実施に関するFD研修会

2020/9/28

事例紹介

人文学部（言語学）

安藤 智子

0 担当した授業のタイプ

1. 講義 = 説明が主体
2. 演習 = 学生による研究発表 + 意見交換
3. 音声学 = 説明 + 聞き取り + 発音

...すべてのタイプでZoomとMoodleを使用。

1-1 講義でのZoom

- ☹️ • 出席のチャット...Moodleにすればよかった。
- 質問のチャット...最初は多かったが減少。
- 説明：講義資料PPTの共有
- 練習問題：PPTで提示 → 指名 → 解答
- 👑 • 例を挙げる活動等：ブレイクアウトセッション
- ☹️ • ホワイトボード等への書き込み...やや難しい。

1-2 講義でのMoodle

- ☹️ • 講義資料(PPT)、補助資料の提示...前日が精一杯。
- 👑 • フィードバック：アンケートを事前に実施し、結果をグラフ化→Zoomで共有
(川柳の字余り感、幼児期の言い間違い etc.)
- 👑 • 小テスト：練習問題の自動採点。
設定で2度受験可能→高点採用
- 👑 • 課題：自動で採点できない問題・感想シート・レポートの提出先として便利。
- フォーラム：質問などのやり取り

2 演習での研究発表

- ・ 事前準備：Zoomやメールで指導教員と相談
- ・ 前日までに発表者がMoodleフォーラムにハンドアウトを掲示。発表方法を選択。

Zoom

- ・ 授業時は発表者を共同ホストに。
- ・ コメントは音声で。



人数が多いとコメントが出にくい。
(ボーナス点有りだが...)

Moodle

- ・ 授業終了までに**全員**がフォーラムにコメントを書き込む（教員は授業直後）。
- ・ 翌日までに発表者がコメントに返信する。



学生が非常によく理解し、コメントできることがわかった。

3-1 音声学でのZoom

- ・ 説明：PPTでのイラスト、アニメーション
-  模型教材：教員側のビデオを活用
- ・ 映像資料：共有
- ・ 音声教材：教員の発音・教科書指定DL音声・様々な言語の教材のCDの再生
-  口の形：学生のビデオをオンにして確認
-  発音チェック：ビデオ...操作に時間がかかる。
➤ 視覚的には良いが、**音の質は環境次第**。

聞き分け

 [r]  [ɹ]
 [l]  [r]

- れっしゃ
- らっぱ
- ろっこつ
- くるま
- くれは
- コロナ

音声学の授業で表示した
スライドの例
(聞き分け練習)

ギャラリービューで
学生の解答を確認

3-2 音声学でのMoodle

- 講義資料 (PPT) の掲示
- 小テスト：発音記号の記憶の確認。
2度受験可能→平均点採用

 • 発音記号もほぼ使えたが、一部で**文字化け**
 →期末試験ではPDFを追加して対処。

 • 期末課題：録音音声を提出→コメント・採点

4 オンライン期末試験

- ☹️• 「持ち込み可」しか公平にできない。
 - なるべく、**理解していないと解けない問題**に。
 - 記憶が求められる問題については、「持ち込み可だが、時間の余裕はないので復習しておくこと」と事前通知。**時間はMoodleで制御**。
 - Zoomを用いた聞き取り問題は、解答後ただちにMoodleで送信できるように準備し、時間を制限することで不正防止に努めた。

心理学教育におけるzoomとMoodleの利用した実践

富山大学人間発達科学部

小川 亮

gawagawa@edu.u-toyama.ac.jp

本日の報告内容

1. 講義科目：教育心理学
ZoomとMoodleを利用
2. 演習科目：心理統計学
対面＋オンラインの並行実施
3. 事の始まりと現在の研究と
今後の展開・課題

1. 教育心理学における授業実践

- 受講生90名弱の中規模講義
- 例年は、Moodle＋シャトルカード利用
- 今年は、Zoom＋Moodle遠隔授業100%
- 最近10年で、講義資料100%デジタル化
 - Moodle上で資料として配布
- 講義内容（映像）もMoodleで利用可能
- 今回はネットワーク負荷を考慮してビデオ映像を音声ファイルに変換

【授業内容】

回	内容	教材
1	教育心理学と「生きる力」	6
2	3つのアプローチ（行動/認知/状況）	5
3	知識とは	4
4	熟達化	3
5	動機づけ1（反転学習1）	4
6	動機づけ2（外発、内発、向上管理）	3
7	学習の転移1	3
8	学習の転移2	3
9	個人差（知能測定と期待、知能観）	5
10	個人差（ピアジェ理論、学習と性格）	4
11	学習指導（完全習得、CAI、ICT）	5
12	学習環境1（反転学習2）	5
13	学習指導（発見学習、有意味受容学習）	6
14	学習環境（授業形態、ジグソー学習）	10
15	測定と評価（尺度、ポートフォリオ）	9

教育心理学の授業（進め方）

1. 授業の最初の15～30分で、その回の授業概要を伝える ⇒ 個人作業へ
2. 各自、Moodle上の音声ファイルを聴いて、Moodle上の課題に回答
3. 授業時間中は、zoomで質問可能
4. 15回の講義の内、2回は反転授業（学生がグループ内で相互に教え合う）
ブレイクアウト・ルームを利用
5. 初回授業は冒頭で接続の確認（練習）

2. 演習授業「心理統計学」

- 6月まではzoomとmoodleで遠隔授業
- 各自の環境を考慮して、JMPを必要とする実習は後半に移した
- 前半の実習は、js-STARでできる範囲
- 7月から情報基盤センタ端末室で演習授業＋zoomでの参加も認める並行授業を実施

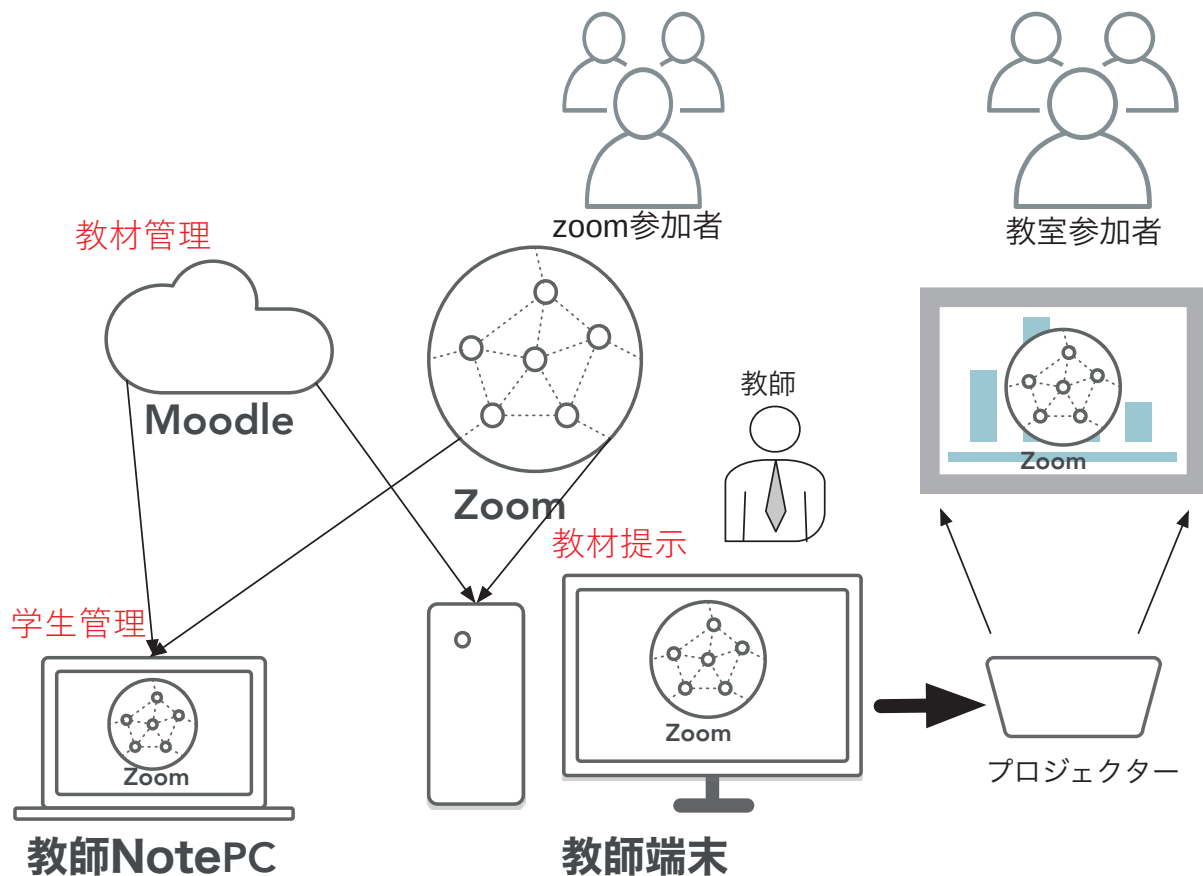
【授業内容】

回	内容	教材
1	なぜ統計学が必要か 仮説検証の基礎	2
2	尺度、サンプル、代表値、分散、分布	2
3	信頼区間 検定力	3
4	独立変数、従属変数、剰余変数	1
5	研究計画の立て方	4
6	度数の偏り（カイ二乗検定）	2
7	2群の平均値の比較-1（t検定）	2
8	2群の平均値の比較-2（対応のあるt検定）	1
9	3群の平均値の比較（分散分析）	4
10	2要因配置による分析（交互作用）	2
11	被験者内要因、被験者間要因	2
12	相関係数、回帰分析	8
13	順序尺度の検定	3
14	名義尺度の検定	2
15	因子分析の基礎	

心理統計学の授業（進め方）

1. zoomで講義形式の授業＋演習
2. moodle上の動画で、予習復習できる
3. 授業の最後に zoomで質問タイム
4. 学んだ内容について課題を提出
5. 対面とzoom遠隔の並行授業
6. 試験は知識問題と計算実技

並行授業の進め方

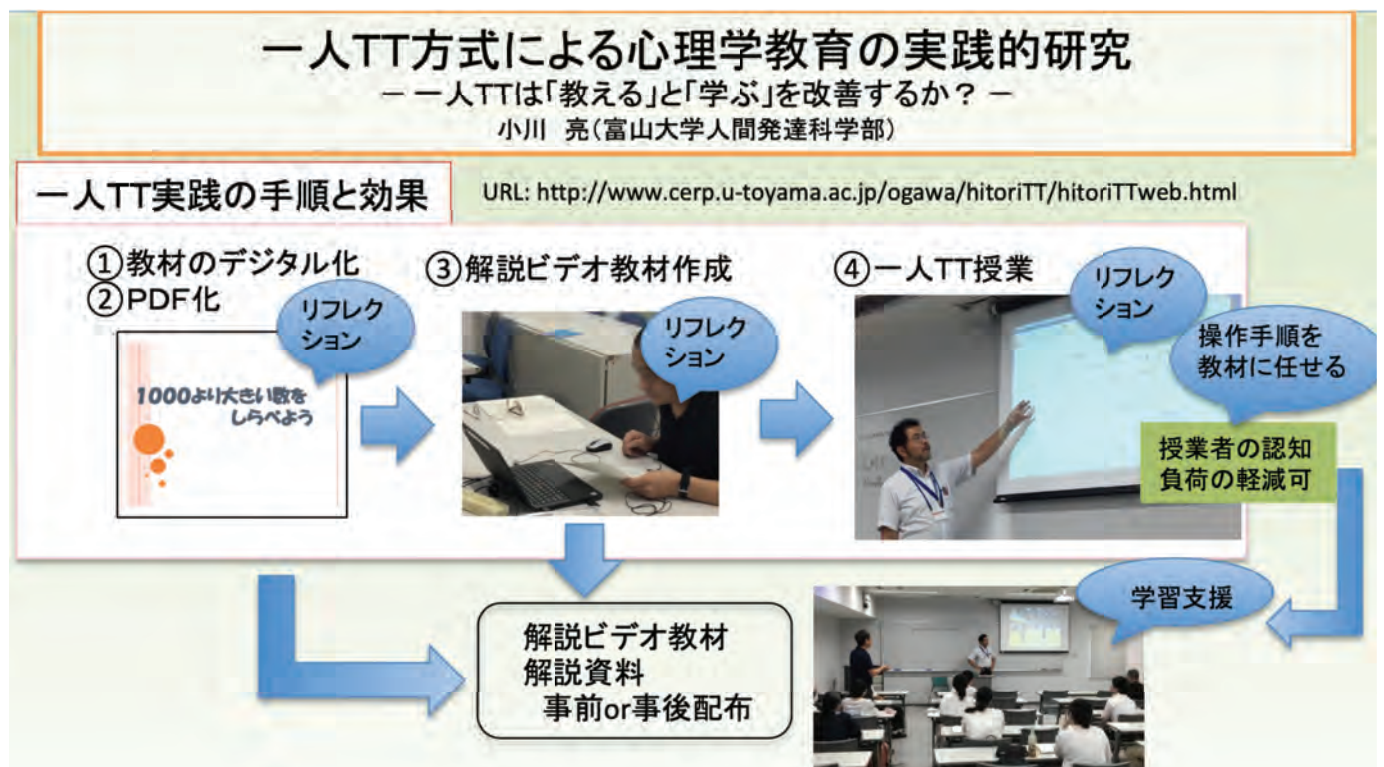


3 a. 事の始まり

- 2001年 Murray 州立大学訪問
- 2003年 Muuray 州立大学で研修
- 2007年 情報基盤センター広報
 - Black Board System を利用した授業運営の現状と課題
- Black Board SystemからWeb-CTへ
- Web-CTからmoodleへ
- SCS, テレビ会議からSkype, zoomへ

3 b. 現在の研究

- ① 一人TT方式による教育改善
- ② 授業（指導）をデジタル録画
 - 教材のすべてをデジタル化(PDF)
 - 授業資料を作成
 - 授業資料を用いた授業をデジタル録画
 - Screen-O-Matic等を利用
- ③ 録画した授業を用いて一人TT授業
 - ①～③の過程でリフレクション効果
 - ②で資料と録画を共有して学習支援



3 c. 今後の展開・課題

- 以前の課題（小川, 2007）
 - 学外からLMSにアクセスしにくい
 - 学内LANのIDとLMSのIDの一元化
 - 授業資料のデジタル化の教師負担 △
 - テスト問題の作成と管理 △
 - 匿名の調査しかできない
 - 全教員に資料のデジタル化を義務化？
 - 遠隔授業の必然性があれば，大学として遠隔教育を行える？

3 c. 今後の展開・課題

- 現在の課題
 - 学生のアクセス環境に差がある
 - 学生のPC環境が分からない
 - 授業資料のデジタル化の教師負担
 - テスト問題の作成と管理
 - 遠隔で期末試験を実施するか
 - 学生からのフィードバックが希薄
 - ブレイクアウトルームの使い勝手
 - 今後，遠隔教育に大学としてどのように向き合っていくのか
 - 遠隔教育のバックヤードを整備して，学生の学びの裾野を広げる？

経済学部 岩田真一郎

遠隔授業の実施に関するFD 資料

これまで

- 講義ノートを作成
 - 重要な専門用語，図，数式．．．を埋める
 - 各回10～15頁 こちらで印刷
- 講義中
 - 練習問題（講義ノートに連動）を取り組む
- スタディ・ガイド
 - ウェブ・サイト（PDF），任意

2020年前期

- 講義ノート
 - Moodleにアップ
 - 印刷の問題（各自）
- スクリーンに映していた資料
 - Moodleにアップ
 - それだけで分かるように修正
- Zoomミーティングの利用
 - 学生の通信環境の問題

2020年前期

- 講義中
 - 練習問題 ⇒ テキスト取り止め
 - 取り組む問題数大幅減少
- スタディ・ガイド
 - Moodleにアップ，期日なし 成績に反映

遠隔授業の実施に関するFD

Zoom授業と成績評価（生物学概論） （基礎生理学）

望月 貴年
理学部 生物学科

- 生物学概論Ⅰ（専門基礎科目）後半7回
対象：理学部数学科、物理学科
都市デザイン学科 計72名
- 基礎生理学（専攻科目）15回
対象：理学部生物学科計 41名（必修）

通常の授業時間（火1限、木1限）ログオン率は約75%

スライド資料はMoodleで事前に配布

Zoom授業は70分程度、残りは提出課題時間とする

生物学概論Ⅰ 授業計画

- #9 ガイダンス（日本人の健康問題）
- #10 ヒトの発生、細胞の分化
- #11 生命の物質的基盤Ⅰ（タンパク質、アミノ酸）
- #12 生命の物質的基盤Ⅱ（糖質、脂質、代謝疾患）
- #13 脳の恒常性調節、食欲
- #14 日内リズム、睡眠覚醒調節
- #15 中枢神経疾患
- #16 まとめと試験（対面）

課題 # 15

マウスを用いたオープンフィールド行動解析で評価できる事項について、簡単に説明しなさい。

（WordでA4サイズ1枚以内）

スライド内容を、参考書、web等で調べて、言葉を補完すればできる課題にする

提出期限：授業翌日12時（24時間）

Moodle課題提出

期限後も受け付ける

欠席者もMoodleで課題が見られる

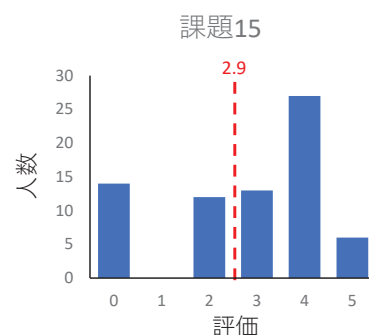
課題 # 15 次回授業で解答例を示し、コメントする

- マウスを用いたオープンフィールド行動解析で評価できる事項について、簡単に説明しなさい。

オープンフィールド行動解析とは、ホームケージとは異なる新奇環境下で自発的な活動量、活動パターンを測定する行動解析であり、一般に、マウスの不安様行動を定量化する手法として用いられる。

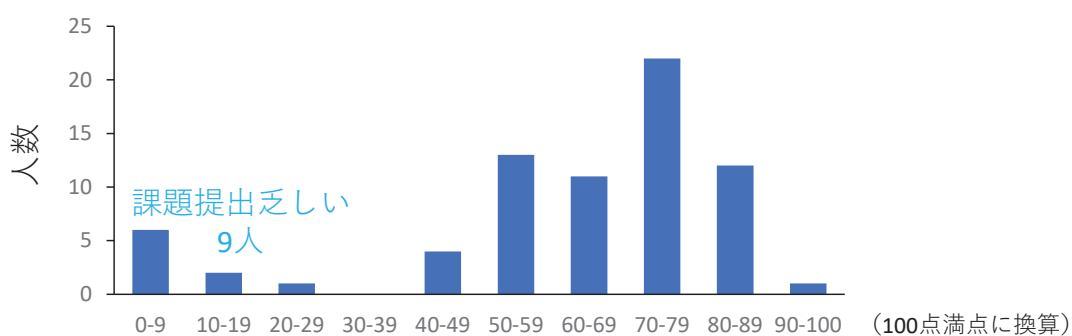
広く明るい環境にマウスを入れると、マウスは危険を避ける本能により、オープンフィールドの隅にいる時間が長い（接触走行）。しかし、抗不安薬を投与したマウスや、遺伝子組換え等により神経活動が変異したマウスでは、中央エリアに滞在する頻度・時間が比較的、長くなることから、不安行動が抑制したと考えられる。

このように、本解析は、不安のメカニズム研究や、抗不安作用を持つ新規化合物のスクリーニングに応用されている。

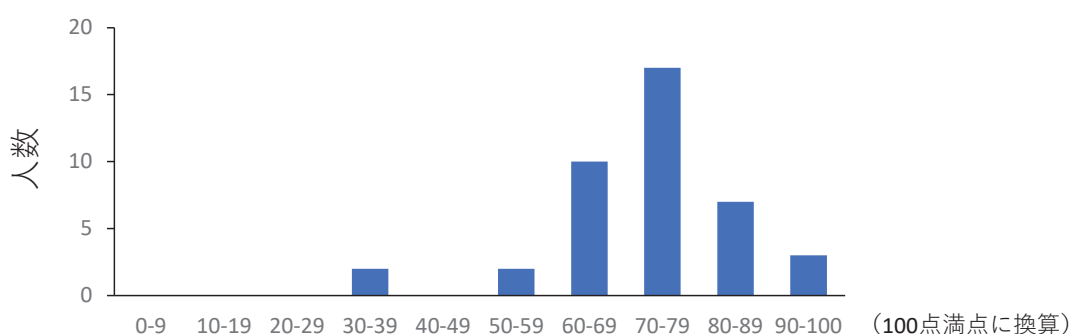


提出課題の成績はそれなりに正規分布する

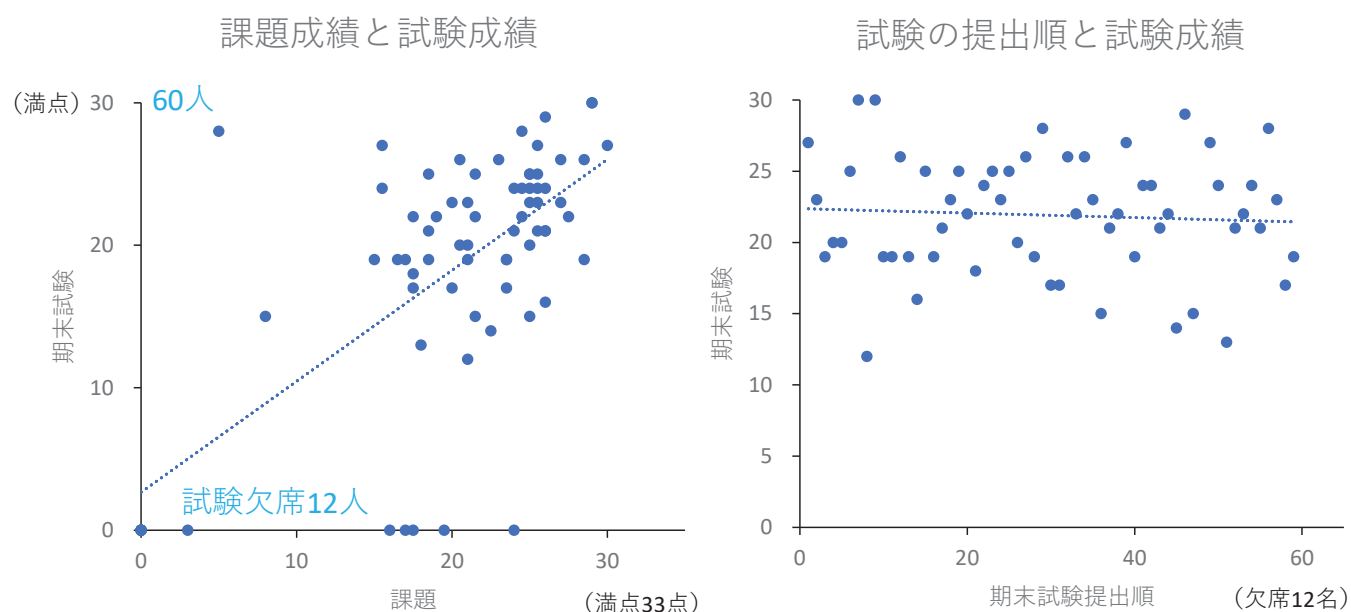
生物学概論Ⅰ 7課題成績 (72人)



基礎生理学 15課題成績 (41人)



提出課題の評価と期末試験成績は正の相関を示す



小さな課題の習慣により、学習成果が期待できる

まとめ

- 通常の授業時間でZoom授業をする
- 提出期限24時間で小さな課題を与える
- 次回までに採点可能な量の課題とする
- 課題のフィードバックを必ずする
- 課題の累積評価は期末試験と正の相関
- 欠点者には、追加課題を与えてもよい
(未提出課題)

杉谷キャンパスのコロナピンチはチャンスばかり



(4/20～)

①オンライン臨床実習
消化器内科
血液内科、他



(5/7～)

②オンライン定期試験
検査・輸血細胞治療部
消化器・腫瘍・総合外科
医療情報部

(8/22)④テレビ会議と簡易型マネキンでの実技評価
卒業時実技評価試験委員会
(PostCC-OSCE)

⑤ピアシミュレーション訓練

医師キャリアパス創造センター
総合情報基盤センター杉谷支所
等々



(～7/31)③自宅実技訓練

医療学入門新入生（2学部4学科約300人）蘇生講習会

医学科

看護学科

薬学部

(4/2～)杉谷地区オンライン授業実行委員会

医学部医師キャリアパス創造センター
杉谷地区オンライン授業実行委員会
三原 弘

講演会Zoom対応・講習会オンデマンド
Moodle試験化

富山大学附属病院

卒後臨床研修センター

専門医養成支援センター

感染制御部

医療安全支援チーム

会議・カンファレンスのZoom対応

次は、
リモート実技指導
リモート施設見学
AIオンライン試験監督
オンライングループ学習
自宅訓練

国立情報学研究所、医学教育サイバーシンポジウム、医学教育学会誌、日経メディカル、日経新聞



富山大学

第1回医学教育サイバーシンポジウム
これからの臨床実習
2020年5月30日(土)14～16時



LMSとZoom、携帯電話で実践するオンデマンド消化器内科臨床実習 ～課題シナリオ、臨床推論小テスト、ショートレクチャー集の活用法～

富山大学附属病院消化器内科

三原弘、元尾伊織、安藤孝将、田尻和人、安田一朗

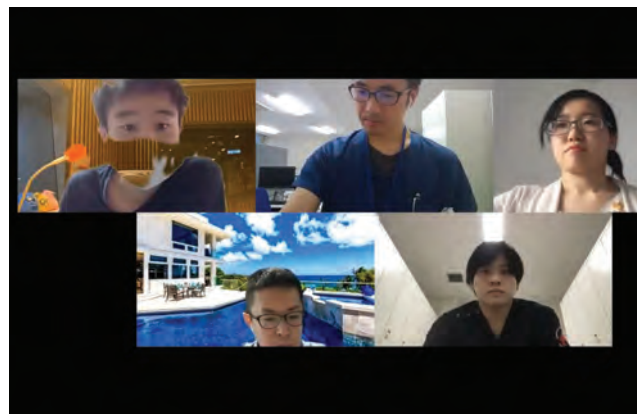
同 血液内科

和田曉法、佐藤勉

医師キャリアパス創造センター
医学教育学会認定医学教育専門家



詳細はこちら 医学生、研修医、指導医でロールプレイ 症例検討会は見やすく、質問しやすい



(動画供覧許可に感謝します)

自分から 医学生 (ト)

はい

伊織 元尾 から 全員:

CTは治療前が前医で、1コース後が当院であり、どちらも早期相ですが、時間がずれているようです。

宗八 南條 から 全員:

一般的に、薬剤性の胆汁鬱滞性肝障害でDLST陽性になるのでしょうか??

医学生 員:

あまり聞いたことのない疾患の症例で勉強になりました。胸腺腫に特徴的な症状などはあるのでしょうか。

医学生 (パート)

自分から 南條先生が話したがつてますよ

自分から 全員:

南條先生が話したがつてますよ

医学生 全員:

神経内分泌腫瘍 (NET) と、神経内分泌癌 (NEC) の違いを教えてください。

医学生 員:

今回の症例で、CT画像では転移がかなり多く感じられたのですが、根治は目指せるのでしょうか。

ogayoko

三原 弘

Kazuto Tajiri

宗八 南條

藤原 斗

村上 純

Clinical trial availability (see page 3)

Yes

Yes

Yes

その他3試験



アンケート結果と考察 通常とオンライン臨床実習の活動

黄色
オンラインでは
苦手

緑
どちらでも可能

青
オンライン向き

	通常	オンライン
チーム回診	○	X
臨床カンファレンス	○	X
外来参加	○	X 指導負担が減る
検査参加	○	X
薬剤説明	○	X
リクルート活動	○	△ 小セミナー、Zoom、携帯、LMS上のやり取りに期待
Mini-CEX	○	△指導医が模擬患者
カルテ記載	○	△模擬カルテ
出席確認	○	○電話
小セミナー	○	○
抄読会 (匿名化) 症例検討会	○	○
経験する症例	リアル・専門的	模擬・典型的
感想・質問	△	○
小テスト	X	○
自修時間	拘束時間が長い	十分とれる

学生の積極性、理解度、時間外学修、双方向性が高まり、実は教員熱意は伝わっている



Moodleオンライン定期試験の検討と3回の経験

三原弘*1#、岸裕幸*1、足立雄一*1、清水貴浩*2、
酒井秀紀*2、奥牧人*3、藤井厚子*3、原田健右*4、
中川肇*5、松井恒志*6

*1,2,3富山大学杉谷キャンパスオンライン授業実行委員会

*1富山大学医学部

*2富山大学薬学部

*3総合情報基盤センター杉谷支所

*4検査・輸血細胞治療部

*5附属病院医療情報部

*6消化器・腫瘍・総合外科

#日本医学教育学会認定医学教育専門家

模擬オンライン試験



方法

- ・4月23日にMoodle3から全学生に一斉メール
 - ・4月27日学科・学年毎に2時間、3問で実施
 - ・試験前個人認証をZoomで実施
- ①学生証と顔、②チャットに学籍番号記載。

結果

- ・時間内の回答率74.3% (1135/1528)
- ・1週間後回答率96.2%→受験案内は1週間前
- ・3年医学科100%

オンライン授業における評価ならびに不正防止策

1. 総合判定とする

小テスト

フォーラムへの積極性

定期試験結果

Zoomでの顔・学生証での本人確認
(**生年月日**が同時に入室した同級生に見えてしまう、という問題)

2. 監督

監督者が待機し、学生からのメールによる情報提供を受ける

試験前の本人確認

3. Moodle上の設定、記録

時間制限

IPアドレス記録

問題順・選択肢順のランダム化

解答後にも正解が表示されない

体調不良、通信障害でも、途中から再受験可

4. オンライン受験案内に注意事項を**通知**

不正行為禁止

未受験者、遅刻についての注意



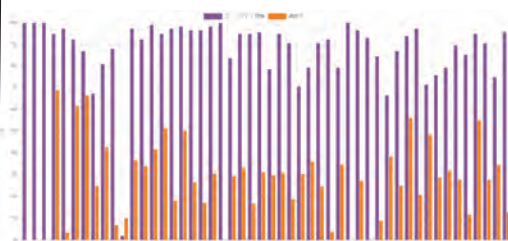
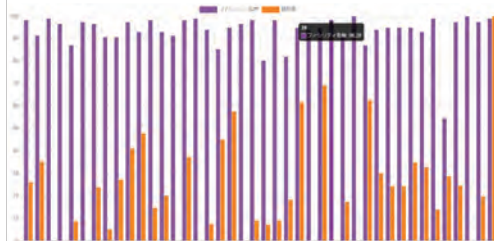
試験結果

・3年医学科受験率 100%

科目A

科目B

科目C

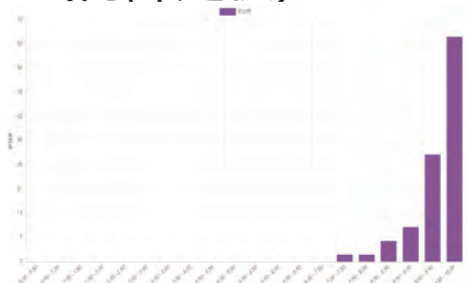


・試験後修正数

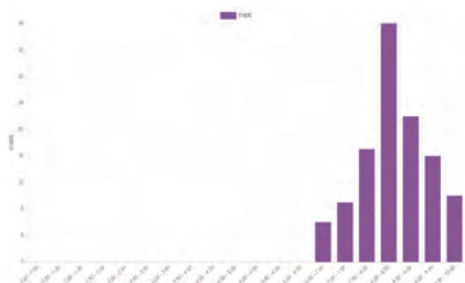
1/42問題

・成績分布

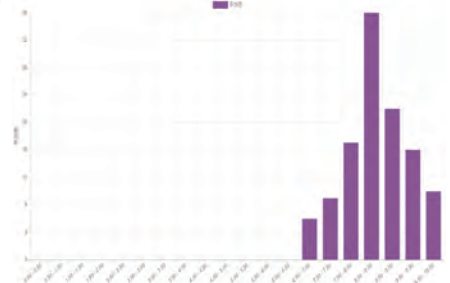
(再評定後)



2/50問題



2/25問題



感想

オンライン自宅試験は、学内ペーパー試験に比べて
「1.非常に悪い」から「5.非常に良い」の5段階



受験生 (n=56)

教員 (n=3)

	平均
全体的に	3.6
事前案内	3.6
試験実施自体	3.6
不正対策	2.2
事後の情報提供や 疑義照会	3.7

	平均
全体的に	3.3
事前案内	3.0
試験実施自体	3.0
不正対策	1.7
事後の情報提供や疑 義照会	2.3

(7/11,12)

外部模試にてZoomオンライン試験監督を実施



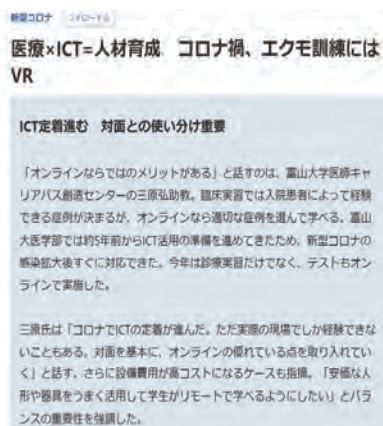
メディア、公開講座、学会誌で情報共有

日経メディカル



富山大学公開講座
コロナ禍で学修・教育
はどう変わるか～ICT
を活用したオンライン
事例から考える～

日経新聞



地方大学医療系キャン
パスでのオンライン授
業導入報告.医学教育
2020,51:255～257

③自宅実技訓練

医療学入門新入生（2学部4学科約300人）蘇生講習会

- 受講前 アンケート
- JRC蘇生ガイドライン2015対応 一次救命処置の手順
- 著作権表示
- スマホ撮影した実技を登録する方法
- チャプター1はオープニング
- オープニング
- チャプター2は器具の準備
- 器具の準備
- チャプター3は胸骨圧迫と人工呼吸
- 胸骨圧迫と人工呼吸
- 胸骨圧迫と人工呼吸 実施動画提出先
- 胸骨圧迫と人工呼吸 質問受付

新しいフォーラム投稿

mighty.med 三原 弘
62日前
明記されていません

63日前
胸骨圧迫と人工呼吸実施動画の提出に...

- チャプター4は反応の確認
- 反応の確認
- 反応の確認 実施動画提出先
- 反応の確認 質問受付

新しいフォーラム投稿

mighty.med 三原 弘
33日前
音声

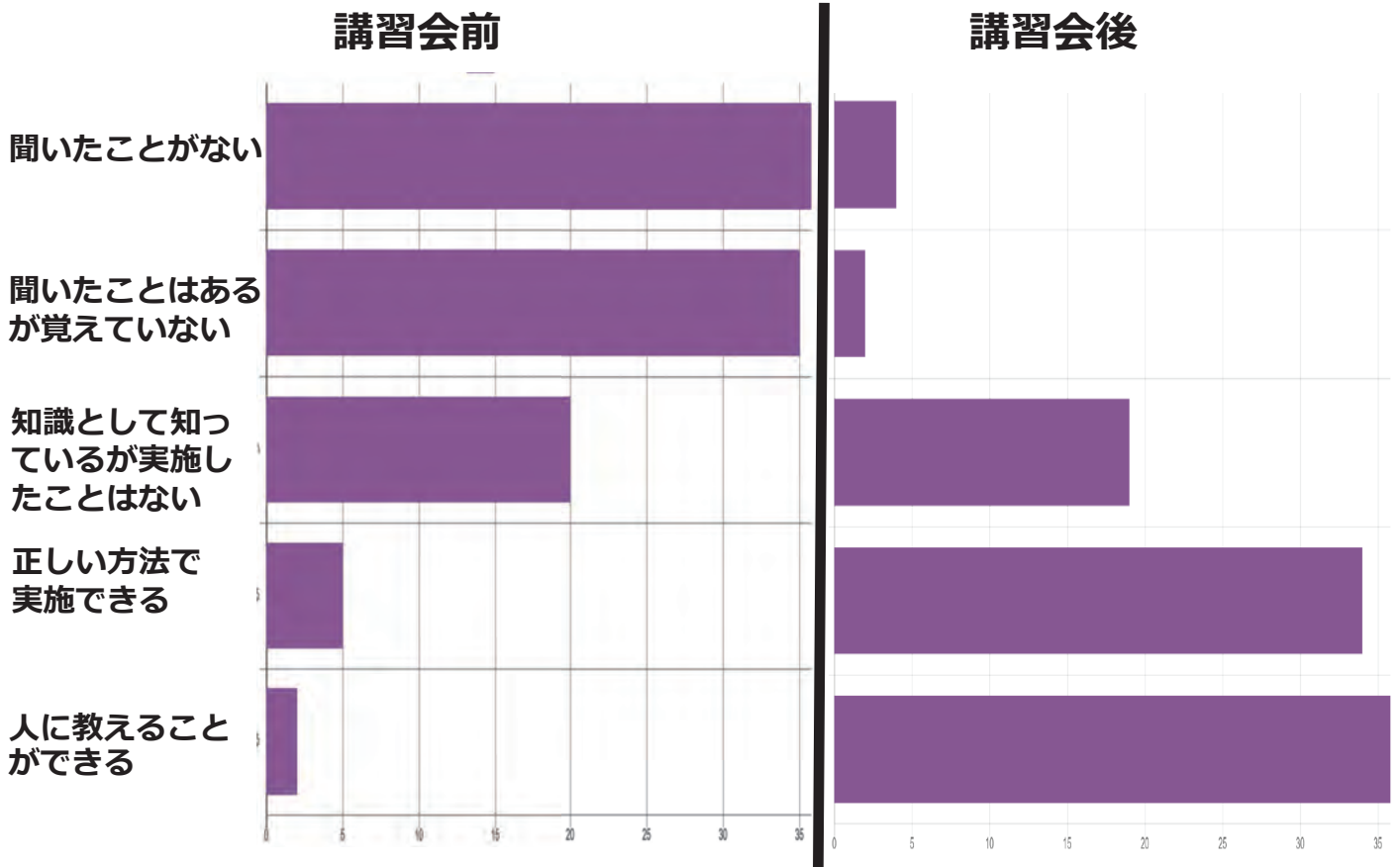
36日前
Re: 音声について

- 1) 資料、動画掲載
- 2) 動画で実技と録画・登録方法を説明
(デモンストレーション)
- 3) 質疑応答はオープンフォーラム
- 4) 1ヶ月以上時間を与える
- 5) Zoomブレイクアウトセッションで
4学科学生が動画を観あってピア評価



例) 死戦期呼吸 (医学科)

対面授業よりも教育効果がある可能性



(8/22)④テレビ会議と簡易型マネキンでの卒業時実技試験 (PostCC-OSCE)

コロナ前



コロナ中・後



⑤ピアシミュレーション訓練

1. 臨床実習で学生が行うことが期待される行為のコンテンツを全て

Moodle3から提供し

2. オンライン動画で予習し、

3. 学生の個人端末、安価マネキンとモデルでピアロールプレイ・評価をし

4. 高い経験率と費用対効果、一定以上の信頼性を目指している



まとめ

- 杉谷キャンパスは、領域別認証評価対策として、2015年よりICT、Moodle利用を推進し、コロナ禍が強く後押しする形となった。
- 講義・定期試験、講演会・講習会、会議、臨床実習、実技講習・試験、グループ学習のオンライン/ハイブリット化を経験し、メディア、学会誌、社会と情報共有を行った。
- コロナ禍を好機ととらえ、ICTを活用した効果的で効率的な教育プログラムの確立を目指している。

謝辞

コロナ禍においても、杉谷キャンパスにおける教育活動の維持・改善に貢献されている教職員・学生さんに感謝します。

薬学部における 遠隔授業の取り組み事例の紹介

薬学部 友廣岳則

薬学部における on line 講義への基本対応

- 主に on demand 型講義、on time 型講義は1件
ただし、外部講師の場合には、希望により on time 講義を実施。実習は on line と対面を併用して進めた。
- 講義資料 pdf は1週間前にアップロード。
- 動画は授業当日から最低1週間の視聴可能時間を設けた。
- 小テストによる出席確認（実習、演習ではレポート）
- オープンフォーラムによる質疑応答

多くの教員は資料や動画作成、配信で手一杯の状態でした。

— 丁寧な資料の作成と説明 —

on demand では学生の反応をリアルタイムで確認できないことから、明瞭な内容構成の資料作り、および丁寧な説明を心がけた、との意見が多かった。

- 復習用の資料を別途作成し、講義後にアップロードした。小テスト内容の解説に加え、基本・応用問題とそれらの丁寧な解説をつけた。
- on line 実習では、1つ1つの実験操作の意味や留意点を、文章と写真、動画で丁寧に説明した。

— on demand 型授業での取り組み例 —

繰り返し視聴や個人にあわせた視聴が可能

- 繰り返し授業を閲覧できることから、対面授業に比べて教える量を増やし、話すべき内容は全て資料に記載することで、理解度が上がるように努めた。
- 動画を単に視聴するだけでは学習効果が薄いため、1) 事前に予習問題を与え、2) 視聴中に動画を一時停止させ問題を解くようにした。
- 動画を必ず見る (再視聴) ように、動画中に小テスト問題を入れた。
- 15回を前半と後半に分けて、各範囲の総復習課題を「試験とは別に」アップロードした。それに伴い、その範囲の講義動画を3週間程度公開し、再度視聴できるようにした。

— on line 授業で工夫／配慮したこと —

例年に比べ課題が多くあり、対応が難しい学生がいた

- カリキュラム密度が高いため、過重負担にならないように課題の設定を考慮した。
- なるべく90分で、講義、小テスト、課題の提出を収められるように要点を絞った説明をした。
- 小テストの採点／フィードバックはその日のうちに行った。
- 土日を活用したいという意見を考慮して、動画教材の日曜受講を認めるなど、柔軟に対応した（月曜授業）。

— 質問しやすい環境作り —

オープンフォーラムを利用した質問は多くはなかった

質問からどの部分がわかり難いのか、説明不足なのかがわかる。できるだけ多くの質問を受け付ける環境作りが大切である、という意見が複数。

- 質問対応の窓口をいくつか用意した。Moodle 以外にメールなどでこまめに対応。LINE公式アカウントを運用することで質問数がUPした。
- 毎回、Googleフォームで確認テストを行い、その最後に質問を記載できるようにしたところ、質問数が増えた。回答は、オープンフォーラムで行った。
- メールなどによる質問に対する回答を、次回の講義資料の一つとしてアップロードした。

2020年度 遠隔授業に関するFD

オンライン講義

- 良かったところ・困ったところ -

2020年9月28日

工学部 黒岡武俊

はじめに

私よりもっと上手に、Zoomを活用した授業をされている先生は、たくさんいると思います。また、講義内容や学生のタイプによって、当然ながら適切な方法は異なります。

今回は、皆様が遠隔授業を振り返り、改善するための “たたき台” としてのお話をさせていただきます。

前提：遠隔講義開始前 - プレ講義 -

Zoomを使った講義実施決定

➡ 授業開始前にプレ講義を実施

<目的>

教員・学生のお互いの不安の軽減・払拭

- 配信・受信環境に問題はないか？
- 基本的な使い方を分かっているか？
- トラブル（音声不良など）に対処できるか？

とにかくスタートアップでつまずいて、
取り残される学生がいないように気を付けた。

試行錯誤あれこれ - カメラはON？ -

学生側

- 学生の反応を見ながら授業をしたいので、本当は学生側のカメラもONにして欲しい。
⇒ プライバシー & 通信負荷の問題で断念した。
(時間帯によっては通信が非常に不安定)
⇒ 反応は、挙手機能やチャット機能で確認した。

教員側

- 通信負荷を下げるため・・・
⇒ 授業冒頭のみカメラON。後はカメラOFF。
⇒ 説明中は、私の顔よりスライドを見てる（はず）
- 学生に安心感を持ってもらうため冒頭は顔を見せた。

試行錯誤あれこれ - 音声チェック -

- プレ講義で音声に不具合のある学生が複数名いた。
⇒ マイク & スピーカの調整の仕方を説明。
⇒ プライバシー設定でマイクをOFFにしていないかなど、周辺の設定の確認方法も説明。
- 毎回授業冒頭で、音声ちゃんと聞こえているかを確認する（「挙手機能」で全員に挙手してもらう）。



⇒ 単なる音声チェックのみでなく、能動的に操作してもらうことで学生の気持ちのスイッチをONにすることを目指した。不具合が発生時は、学生からはチャットで連絡があった（最初の頃は頻発）。

試行錯誤あれこれ - 話す速さ -

授業の録画記録をチェック

- ⇒ 調子に乗ると早口になる傾向あり。
- ⇒ 特にZoomを介すると通信状況によっては聞き取りにくくなる。
- ⇒ 通常よりゆっくり目に話すことを心掛けた。

調子に乗ると早口になるのは、通常の授業でもおそらく同様の傾向があると思われる。今回のオンライン授業で、そのことが確認できたのは有益であった。

試行錯誤あれこれ - 質問受付 -

- 積極的な学生は、説明中でもチャットやマイクを通じて質問してきた。
- ただし、どうしても対面授業よりも、学生からのフィードバックは少ない。
⇒ なるべく授業の最後に、5-10分程度の演習時間を取り、（休み時間も含めて）その日のうちに質問を受け付ける機会を設けた。

試行錯誤あれこれ - 提出物 -

- 授業中の演習課題や宿題（手書き分）は、スマホのカメラやスキャナなどで作成した電子ファイル（主に写真）を、Moodleで提出してもらった。
⇒ ただし、他の科目でも課題が増えがちなのを考慮して提出期限には余裕を持たせた。
⇒ また、完答できなくても、できたところまでを必ず提出するように促した。

ここは便利

- 注釈機能 & ホワイトボード -

対面授業の板書・ノート

以前

パワーポイント & 配付資料に種々書き込み。
ノートはメモ程度。
板書はアクセントとして。

現在



板書の機会を増加させている（特に演習の解答）
パワーポイントでの説明では、
ついてこれない人が増えている。
ノートをとることで（良くも悪くも）安心する人も多い。

ここは便利

- 注釈機能 & ホワイトボード -

- 作成済みのスライドに注釈機能で書き込む。
（矢印などを、その場で手書きで書き込む。）
⇒ ポインタを使うより（おそらく）視覚効果が高い。
- 板書代わりにホワイトボードにその場で書き込む。



いずれも保存しておけば、

後で学生から「もう一度板書を見せてほしい」
「もう一度説明してほしい」といったリクエス
トがあっても容易に対応にできる。

ここは便利



⇒ 不

- 高い。

む。

いず

後で

「も

トが

後で学生から「もう一度板書を見せてほしい」

「もう一度説明してほしい」といったリクエスト

トカ

ここは便利

- 画面共有の使い方（学生側） -

- ⇒ 本人同意のもと、質問者の画面を共有しても

らい、注釈機能などを利用して指示や助言することで、他の学生の疑問解決に役立つ。

通常は何人にも同じ説明をしたり，最初の質問者に説明後，あらためて全員に説明する必要がある。

ここは便利

- ブレイクアウトルーム (グループ別小会議室) -

- グループワークに便利（1年生の専門基礎ゼミナールで試用）。
- 9月21日以降（Zoom v.5.3.0）は、各ルームを参加者が自由に行ききできるようになり、利用の際の自由度が上がった。
 - ⇒ 演習でTAに個別指導してもらうのに利用できる。
 - ⇒ 演習中、学生同士で相談するのに利用できる。

補足： 学生同士の相談

オンライン講義では、演習における学生同士の相談がやりにくくなる（ほとんどできていなかった）

- Zoom v.5.3.0以降では、ブレイクアウトルーム機能を使えば相談しやすくなる可能性あり。

相談できる環境は一長一短

- 教えることで、自分の理解が深まる。
- 教員に教えられるより抵抗なく理解できることもある。

その反面

- 相談できると、自分であまり考えず、すぐ人に尋ねたり、丸写ししたりする学生がでてくる。

⇒ うまくコントロールすることが必要

成績は下がった？ or 上がった？

私の授業での成績分布は、これまでとほぼ同様（むしろ成績がよかった）

- 学年ごとに理解度の傾向は大きく異なるので、単体の科目で正確な判断はできない。
- ただし、少なくとも理解不足にはなっていない。
- 科目の内容によっては遠隔講義は効果的である可能性が高い。

学生によっては非常に有効な可能性

ドロップアウト者がほぼ皆無

- 例年、半分程度の出席をした後、授業に出なくなる学生が何名かいる。
- 本年度は、そのような学生はゼロだった。
⇒ 特に、大学に来ること自体が困難になる学生に対して、オンライン授業が有効の可能性あり。

最後に

- オンライン講義は、うまく活用すれば，科目や学生によっては，高い教育効果が期待できる。
- 前期でノウハウや授業資料を蓄積した教員も多いと思われるので，今度も対面授業と併用して，うまく活用していただけることを期待する。

芸術文化学部の遠隔授業に関する取り組み

遠隔授業の実施に関するFD資料
20200928

学部FDの実施

- 学部FD: 2020年8月26日実施(参加者: 33名)
- 内容
 - 遠隔授業での工夫に関する情報交換会(R2.6.19)報告
 - 政府: 遠隔教育システム活用ガイドブック(H30年度)報告
 - 教員の工夫による特徴的な取り組み紹介
 - 3班に分けた自由討論実施(以下に主要討論内容を示す)
 - 登校できない1年生への対応
 - 実習授業の問題点、取り組み方
 - オンデマンドの効果的な活用
 - Moodleの活用
 - その他(自由討論自体もZoomのブレイクアウトルーム機能を用いて実施)

芸術文化学部取り組み

- 1年生への対応
 - － 専門授業の導入となる「芸文基礎演習A」(必修)
 - 授業の前後(各1時間)に自由に話し合える場をZoomで準備
 - 雑談する、友人を作る、教員に気軽に相談する機会を提供
 - － 課外活動に1年生を取り込む試み(建築コンペゼミ)
 - アイデアコンペ等に挑戦する機会と議論の場を提供
 - 提案作成のための、情報収集、情報分析、立案を指導
 - その後、キャンパスで提案書のまとめや出力等を実施

遠隔技術の活用

- Zoom(双方向)の活用
 - － ペンタブまたはiPad利用による板書の再現
 - － ブレイクアウトルームによるグループワーク
 - － 同じ時間帯に他大学で行われているゼミとの合同ゼミ
- オンデマンド教材の活用
 - － Youtube利用による動画配信
 - 限定公開: URLを知っていれば見ることができる(動画名では検索できない)
 - 非公開: 指定のメールアドレスでログインが必要(やや困難かも)
- CG入門基礎演習: 1年次
 - 動画の完全公開...学生が繰り返し学習できる + 外部(海外)からの評価が届く(著作権には注意)
 - 国際的な授業発信の基礎として活用できる可能性
- CG入門演習(3D): 2年次
 - Rhinoレンダラーを用いたレンダリング01
 - https://www.youtube.com/watch?v=PCTIFI_3jsM

実習における遠隔授業利用例

- 絵画実習
 - 絵画制作の実習であり、全てをオンラインではできない
 - ただし、可能な部分がある（画面構成、色面構成）
 - それを如何に実施するかが今後の課題
 - 言葉ですべてを説明できない部分是对面でないと困難
- 空間分析（建築設計）
 - 調査、最終成果物のプレゼン等はオンラインでは困難
 - ただ、エスキース等については方法によっては可能
 - 教育の質が担保できるかについては今後の検証が必要

遠隔授業の実施に関する FD

都市デザイン学部 教授 矢口 忠憲

本学では、数理・データサイエンス教育プログラムに加え、学際融合教育プログラムも推進しています。その学際融合の目玉となる「全学横断 PBL」が3日間の集中講義で始まっているところで、今回紹介する授業は、この「全学横断 PBL」の前段階となる「**デザイン思考基礎**」で、都市デザイン学部の2年生を対象にした必修科目で PBL 系のグループワーク主体にしたものです。

「悩んだ末の、遠隔によるグループワークを実施してみて…」

学生たちは、差があれどもアクティブラーニングの経験はしていると思われるが、「デザイン思考」（ブレインストーミング）は馴染みもなく、初めての経験であると思われる。

●対面グループワークに近い環境の準備

通常のブレインストーミング（オンタイムで皆が、話しながら模造紙に書き込み、資料やポストイットの貼り付けなどできる環境を作ることを考え、多くのアプリケーションの中から、Google スライドを選んだ。（PPT と同じで学生たちに馴染みがある、ドロー系の要素があるので、グラフィクレコードに適していることから）

・学生に Google アカウントを作成してもらい提出してもらい（授業以外では使わないことで）、教員が（ホストとなって）全てのグループ設定（今回は 14G）をする。

★メリットー1： 同時進行の G ワークの進捗を教員が瞬時に把握することができ、必要に応じてブレイクアウトルームに入室してアドバイスができる。

★メリットー2： 通常は、他のグループの様子が伺い知れる（偵察？）ことで、刺激や参考になるが遠隔では孤独なグループ作業となる。一斉レクチャーの時間帯に他の班の様子を紹介することで共有し、補うことができる。

★メリットー3： 資料が蓄積され、前の資料を参考（振り返り）にしながらワークできる。

★メリットー4： スライドのデータを利用できるので、最終プレゼンテーション資料を効率よく作成できる。

★メリットー5： 最大の特徴ともいえることに、次の授業までの1週間の有効利用がある。班員それぞれが、役割分担した作業を授業間の都合の良い時間帯に自分のペースで進める（書き

込む) ことができ、それを皆が共有できる。必要に応じてメール、zoom でのプチ MTG が可能。

●ブレイクアウトルームに分かれての G ワーク

一斉授業の各 G 発表と、グループワーク時は原則ビデオオンで実施する。合わせて、グループワークは、各班でレコーディング担当を決めてレコーディングしてもらい、後に提出、評価対象にする旨を伝えておく。

●学生たちが自ら遠隔ワークでの工夫をし始める

遠隔でも対面に近い感覚の工夫、遠隔の注意点、遠隔ならではの目的を達成するための工夫が生まれる。

- ・アイスブレイク： 場を和ませる（盛り上げる）ためにどうすれば良いか・・・。
- ・名札をグループでデザインして発表した際、zoom 画面の背景にしたチームが出てきた。
- ・ファシリテーター、グラフィックレコーダー、タイムキーパー、アイスブレイクの企画実施などを各回でローテーションすることで、少しずつ学習し、ブラッシュアップ・・・。
- ・ etc.

●振り返りの多きに・・・

最初は対面でない不安・不満もあったが、遠隔で画面共有・共同作業ができることの有効性・可能性を感じ、これからのウィズコロナ時代に使えると感じたようで、早くに経験できてよかったという意見が多かった。（一方で、対面の良さ大切さも改めて感じたところも重要）

●実施体制：

遠隔でのグループワークは、zoom のブレイクアウトルームの設定や、トラブル対応などアシスタントが絶対に必要！将来は経験ある TA もあるが、Zoom の操作＋グループワーク熟知していることが要件になるか。

University of Toyama : Design Thinking Education デザイン思考 × 専門性 = 社会が求める人材

富山大学の全学部の学生を対象とし、異なる学部で異なる専門教育を受ける学生達が混成チームを組み、デザイン思考による協働ワークショップを通じてイノベティブな課題解決を目指す。個々の学部の中では狭くならがちな視野や発想の幅を拡げ、異なる専門性を有する者同士のコミュニケーションがいかにより効果的にイノベーションを生み出し得るかを体験的に学修します。実施にあたっては、学内のみならず企業や行政とも連携し、産官学の協働によるクリエイティブな課題解決プロセスを学びます。



- **ここが Point**
- **さまざまな他学部学生との共創、だから生まれ出るイノベーション！体験**
富山大学の利を最大化した教育、その創設の可能性、法則の有用性について学ぶ。やって見なければわからない。
 - **社会人（学費資金）との協働による、より実践的な学修**
新しい事業に参画し、様々な分野の社会人の方々に加わり、実践的な学修、定めたインターンシップ。
 - **多様なテーマの中から選んで、チャレンジ！**
「社会問題」に就いたテーマの中から、興味のあるものを選び、モチベーション高くチャレンジ。
 - **自身の専門性の再確認、今後（進学・就職）の応用展開に役立つ**
異なった専門的人材と協働することにより、自身の深い専門性がいかに必要か、イノベーションに活用できる再認識。

富山大学
〒930-8655 富山県富山市五五2180
学務部 学務課 Tel. 076-445-6078 E-mail: jgakumu@adm.u-toyama.ac.jp URL: http://www.u-toyama.ac.jp

令和2年度から夏期集中講義で開講!!
富山大学の学際融合教育プログラム「全学横断PBL」

「全学横断PBL」で目指す共通目標は、「富山の地域循環共生圏」創りです。
ちょっと固い言葉ですが、つまり、私たちの暮らしが今より安全で安心、豊かになるように、そしてその生活が持続できるように、皆で「ワイガヤ」し、新たな仕組みや考え方を生み出そう！ということです。

(理想的な学びのフィールド) ここ富山で、「気づき・考え」
生まれ出たアイデアを、全国・全世界に発信！！

● 3日間のタイムテーブル

9月28日(月)	9月29日(火)	9月30日(水)
8:45 オープニング 全体説明 ウォーミングアップ グループ・ワーク	8:45 全体説明 ミニ・講義会 (前期研修) グループ・ワーク	8:45 全体説明 プレゼン準備 (ポスター制作)
10:00 昼食	10:00 昼食	10:00 昼食
11:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク	11:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク	11:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク
12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食
13:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク	13:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク	13:00 教員・外部メンバー紹介 グループ・ワーク
14:00 グループ・ワーク	14:00 グループ・ワーク	14:00 グループ・ワーク
15:00 グループ・ワーク	15:00 グループ・ワーク	15:00 グループ・ワーク
16:00 グループ・ワーク	16:00 グループ・ワーク	16:00 グループ・ワーク
17:00 グループ・ワーク	17:00 グループ・ワーク	17:00 グループ・ワーク
18:00 グループ・ワーク	18:00 グループ・ワーク	18:00 グループ・ワーク

● 履修登録とその後の流れ:

- **履修を希望する学生は、前期の履修登録期間中に、下記テーマに希望チェックと、所属氏名を記入の上、各学部学務課の窓口へ提出。**
- **上記(120名)を超えた場合は抽選とします。(その場合、学部毎に一律の削減率で受入人数を決定します。)**
- **抽選に当たらない場合は、改めて各学部学務課に案内をします。**
- **希望した履修学生の希望テーマを元にグループ分けし、その結果をそれぞれの学生に連絡します。(自分選でテーマ考えたい)を希望した学生には事前に集まってもらう予定です。)**
- **開講日までの期間、班員各自にそれぞれのG・テーマに係る調査やフィールドワークなど、現状・実態把握に努めてもらいます。**
- **※ 必要に応じて、履修学生に各種情報(デザイン思考関連情報/調査・フィールドワークについて/当日までの準備・心構えについて/参考になると思われるシンポジウムや講演会・企画イベント開催案内など)を提供したいと考えています。**
- **※ 「デザイン思考」を経験したことがない、経験はあるがちょっと不安といった学生のために、簡単な「デザイン思考・プチ体験WS」を2回程度(夏季休暇の前半と後半半、半日程度のプログラム)開催する予定です。**

● テーマ:

- 今年度は、下記の17個のテーマを用意しました。希望するテーマの□にチェックしてください。(5個以上、できるだけ多く)
- | | |
|---|--|
| ☐ どのテーマでも良い
☐ 1. ゴミを管理！ - 環境に優しい社会を目指し -
☐ 2. 健康で楽しい「歩き」のデザイン
☐ 3. 地域資源の活用方 - 「富山海」 -
☐ 4. 「高齢者」の「楽しい」をデザインする
☐ 5. 生活の中の「思いやり・優しい」をデザインする
☐ 6. データから考える富山の課題
☐ 7. 歴史・文化的視点による富山発見
☐ 8. 「コンビニ」で、SDGs
☐ 9. 富山の未来観光を考える | ☐ 10. 路面電車南北延伸後の街づくりを考える
☐ 11. 富山大学の「リ・デザイン」
☐ 12. これからの時代の新たな - シェア - を考える
☐ 13. レジリエンなまちづくりを考える
☐ 14. 里山の - 新たな境界 - をデザイン
☐ 15. 空き家・空き店舗を素材とした中心市街地の活性化
☐ 16. 富山の地名を作る (企業からの提示テーマ)
☐ 17. 自由テーマ
(※ 共通目標に沿って、自分選でテーマを考えて取り組みたい) |
|---|--|
- ※ 上記の希望を参考に、複数学部学生が混成するようグループ分けします。
※ 希望者が多かったテーマは、複数のグループで取り組んでも構いません。
※ できるだけ多くのテーマで実施してもらいたいので、3名以上の希望者がいるテーマには、「どのテーマでも良い」をチェックした学生、場合によっては希望チェックがなかった学生にも加わってもらうことがあります。ご理解ください。
※ また、希望者が0~2名であったテーマは、今年度は実施しません。

● 参加予定企業等:

基本的には学生主体でワークを進めてもらいますが、できるだけ多くの学部の先生方に加え、様々な分野の社会人の方にもそれぞれのグループに加わっていただき、生活者の先輩として、それぞれの専門的立場で意見やアドバイスをいただこうと考えています。現在、行政、各種製造業、金融、農林水産業、加工業、宿泊施設、店舗、コンビニなど各地に多く点在する拠点、エネルギー関連、交通・運輸、サービス業、建設施設、環境、病院・介護施設、メディア、通信、マーケティング関連の組織と調整中です。

学部名:	学科・コース名:
学番番号:	氏名:

※ 提出の際、各学部学務課にてコピーし、原稿はその場でお返しします。

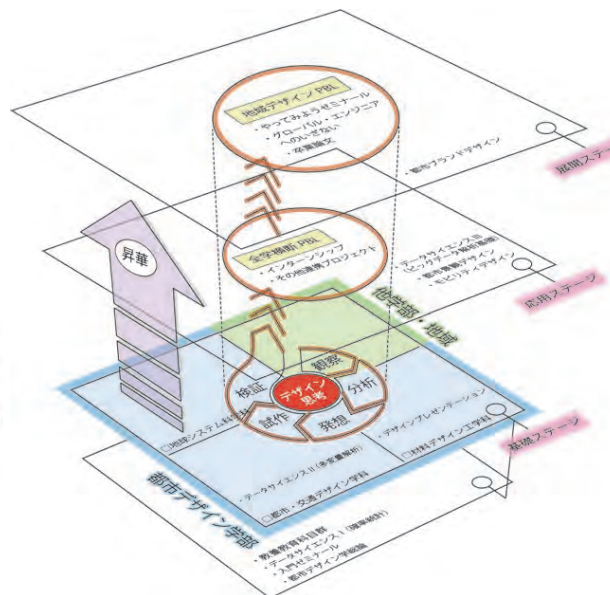


「都市デザイン学部」の特色

都市デザイン学部は、人間が日々の生活や社会活動、文化的活動を営むあらゆる領域を都市と捉え、自然科学と科学技術を基盤として社会科学的要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」にかかわる国際水準の教育・研究を行い、地域や都市の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的としている。

そのため、本学部は学際融合教育を重視し、あらゆる分野の課題解決に活用可能なデザイン思考をその融合の手法として取り入れ、今までにない新たな提案ができる、創造力ある人材育成を目指している。

また、このような学際融合教育は、本学部だけでなく各学部でも実施展開されているところであるが、総合大学の利点を大いに生かして社会のニーズに応えるため、全学展開(学部横断)を推進していくことが理想であると考えます。



4 年次

卒業論文においてデザイン思考を実践。

3 年次

地域デザインPBL:

多分野の人間の知識や経験の活用という観点から、学部の3学科の学生の混成チームで行う演習。(デザイン思考を用いた地域の課題解決を実践。ここではループを繰返し、よりデザイン思考を深く学ぶ)

全学横断PBL:

多分野の人間の知識や経験の活用という観点から、富山大学の全学部の学生を対象として参加者を募り、多学部の学生の混成チームで行う演習。(デザイン思考を用いた課題解決を実践)

1・2 年次

デザイン思考基礎とこれに用いるデータサイエンスを演習を混じえながら教育する。

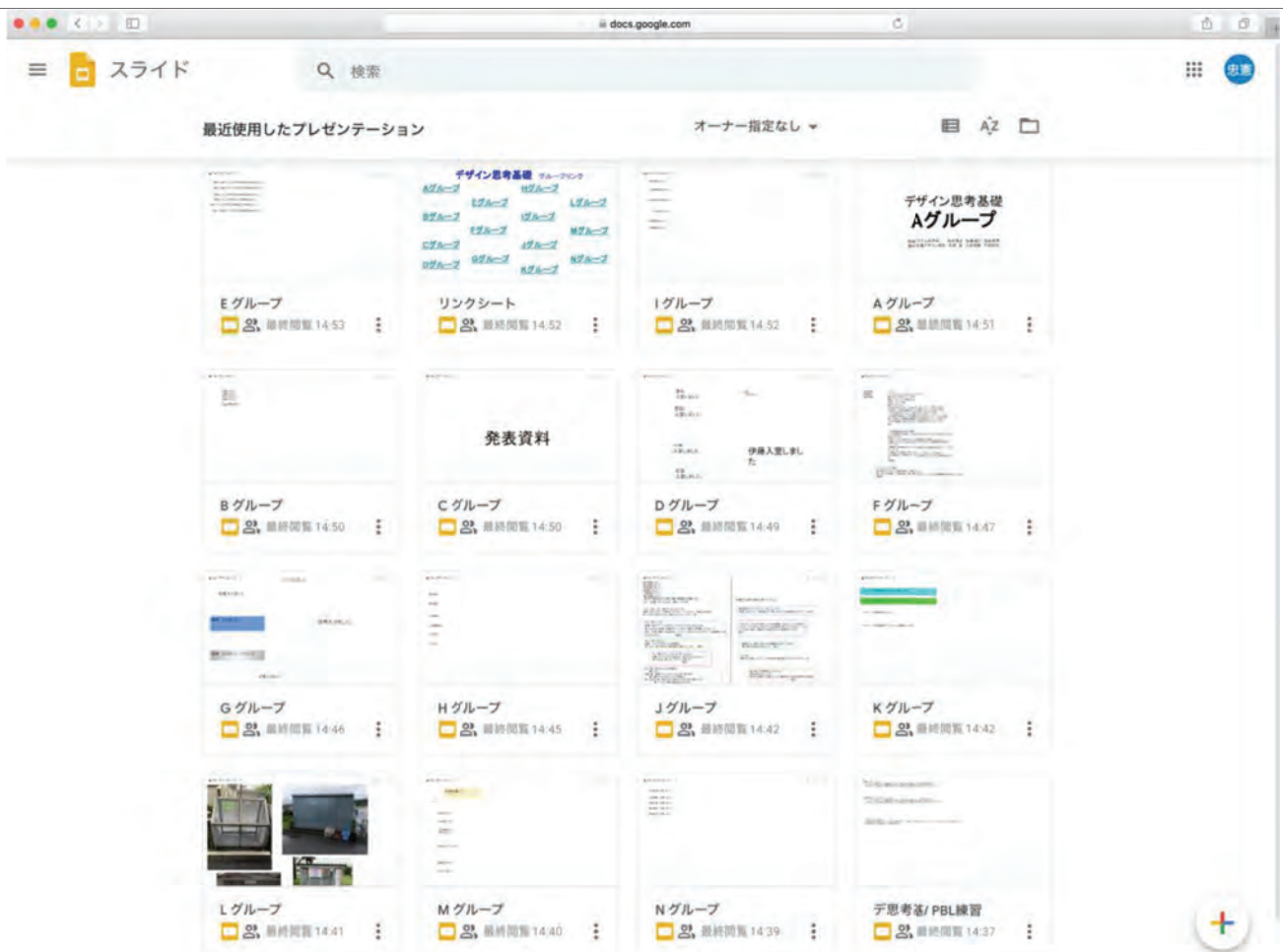


全学横断PBL Cross-Faculty PBL of Design Thinking

- まずは、ブレストしながら、皆で模造紙に書き込む、ポストイットを貼り付ける。アイデアを検討するなどを、対面に近い感覚で進めることのグループワーク環境をいかに準備するか、学生に過度な負担をかけずに・・

- 採用したのが、Google スライドでした。

- ・ 学生にGoogleアカウント作成 → 提出してもらう。
(9割は既に持っている。本授業に限り使用する！)
- ・ 教員側 (ホスト) で全てのグループ設定する。
(これがポイントで途中・後に確認・適宜に共有できる。)



docs.google.com

デ思考基/PBL練習 ☆ 共有

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 スライド 配置 ツール アドオン ヘルプ 最終編集:7月8日

プレゼンテーションを開始

あ 背景 レイアウト テーマ 切り替え効果

1 2 3

使用しないケースは、新うた
んでしまっているが、見た目が
悪い！どこかに置かなくてはい
けない。ゴミ袋が汚いのであれば、
置き場所がないのであれば、置
ける場所、ゴミ袋が汚いのであ
る。・・・

(実例)

ゴミ袋による上置きの問題/ノックダウンのどつてか？
何故ゴミ？ 金銭的な面では？ お客さんや子供が使える？
特にゴミは置けない？ 金銭的な面では？

高いがこもらないような通路口

内側に張り込んで、家賃に平気でノックダウンされるのだら
う！この作業は一人では？ 危険はないか？ 変更案：ヒア
リング

クリックするとスピーカー ノートを追加できます

全学横断PBL Cross-Faculty PBL of Design Thinking

●副産物？：授業間での個別作業を、個々のペースでできる。他の班員も常に更新情報を共有できる。

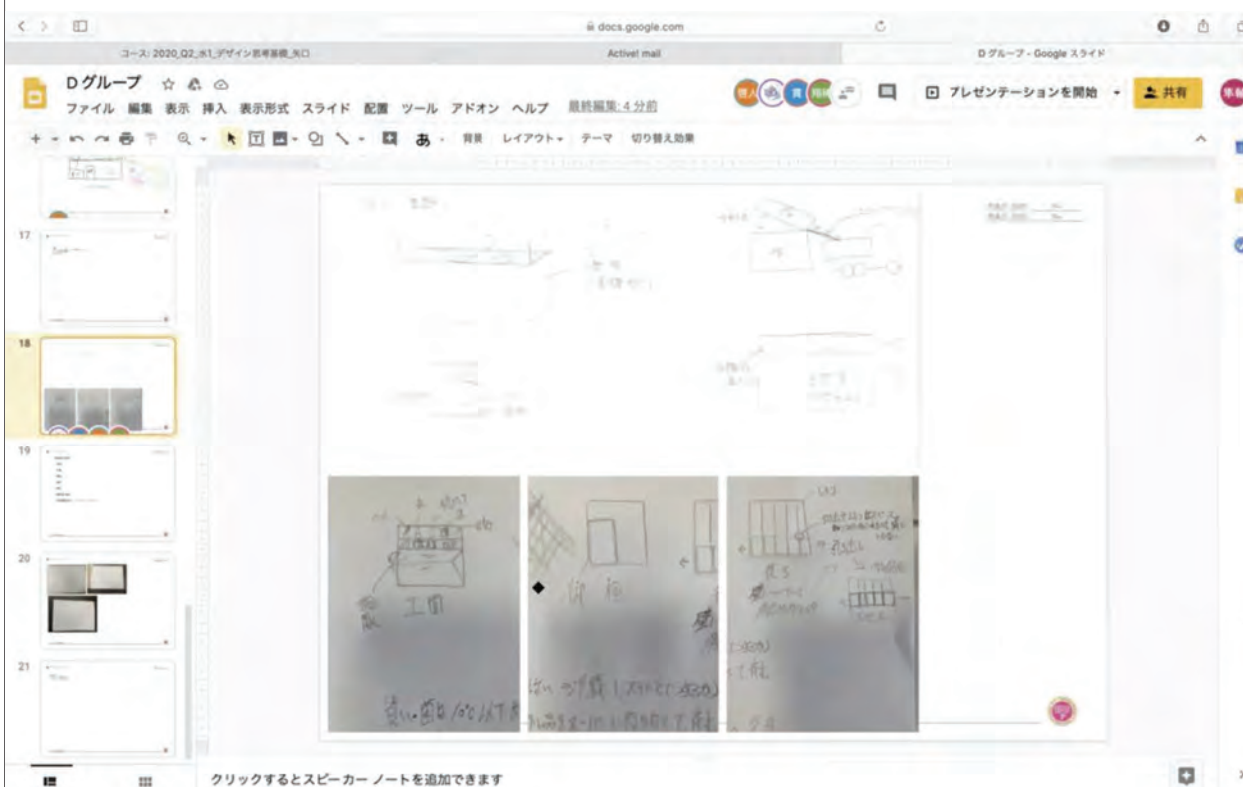
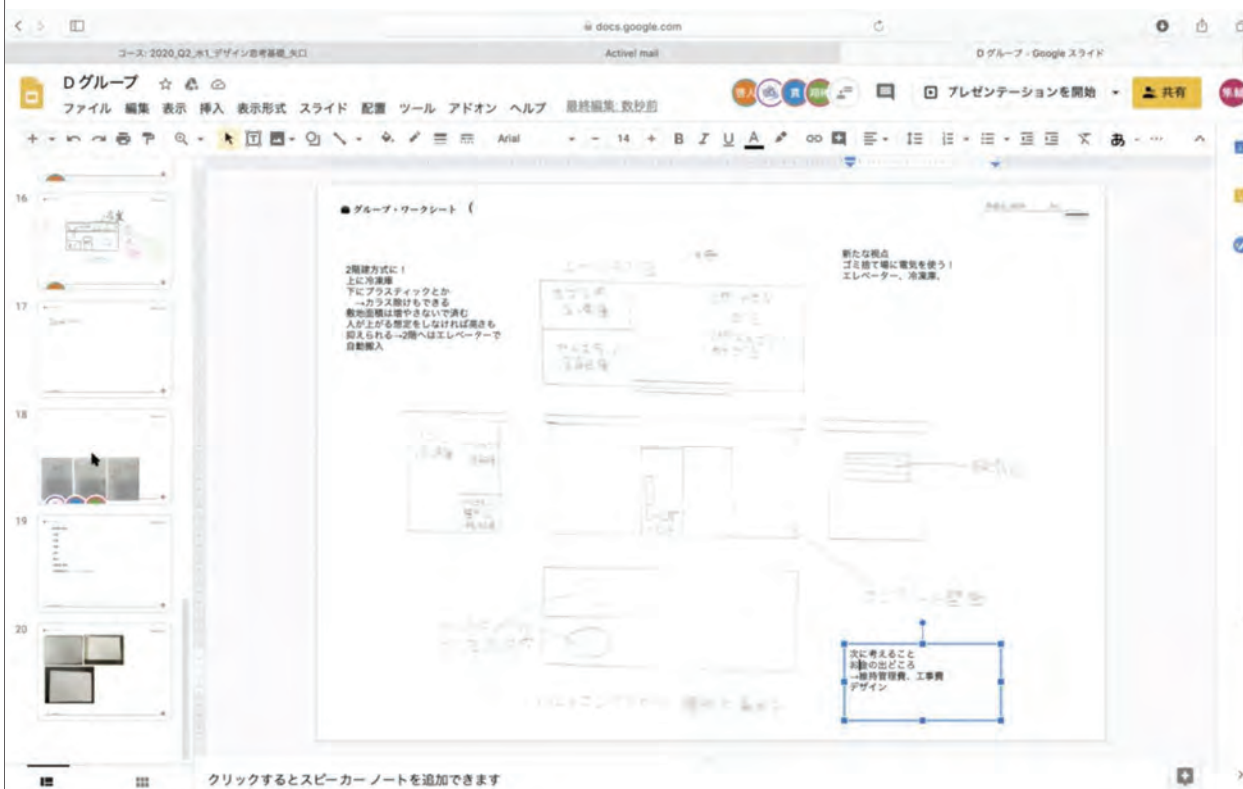
(必要に応じて、プチMTGをzoomで設定して確認！！)

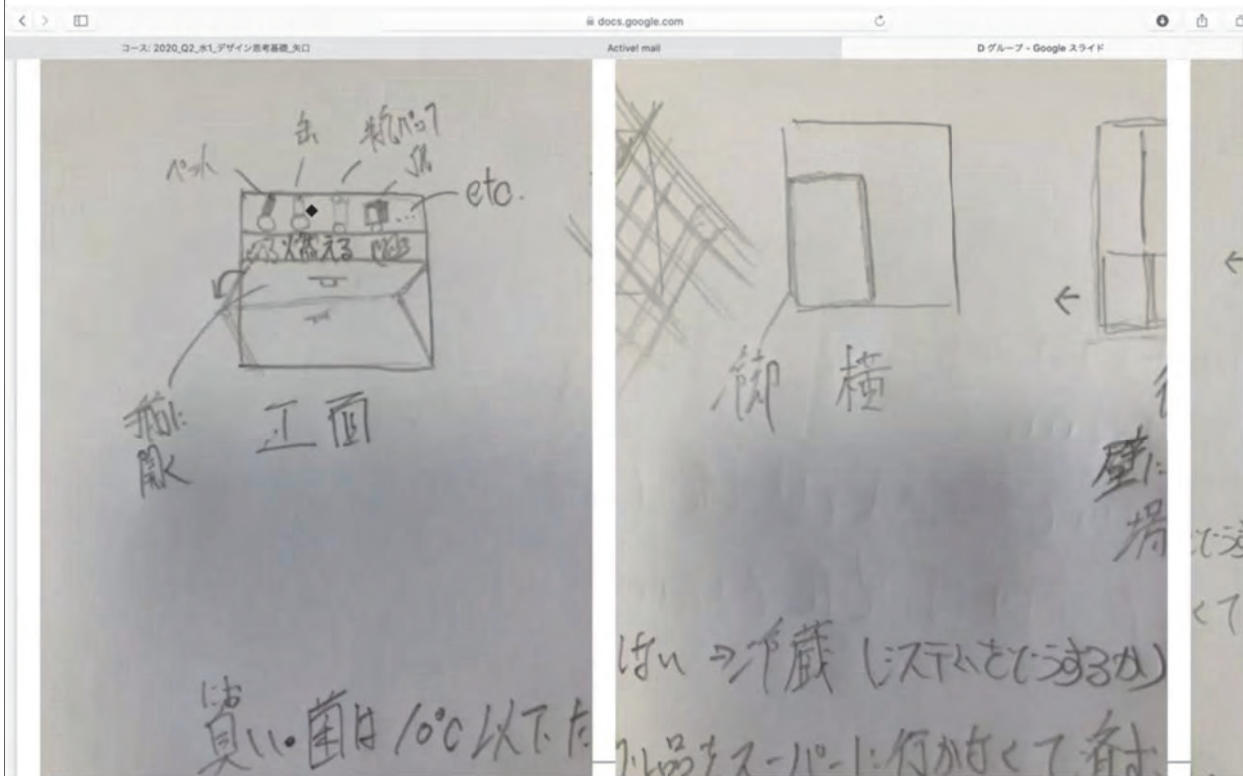
●副産物？：作業過程が蓄積、振り返りしやすい。最後のプレゼ資料の作成の素材として使える。

(必要に応じて、プチMTGをzoomで設定して確認！！)

●工夫！：書き込みは最小限！手元のメモで図示化して、カメラで即共有（後にスライドに貼り付け）

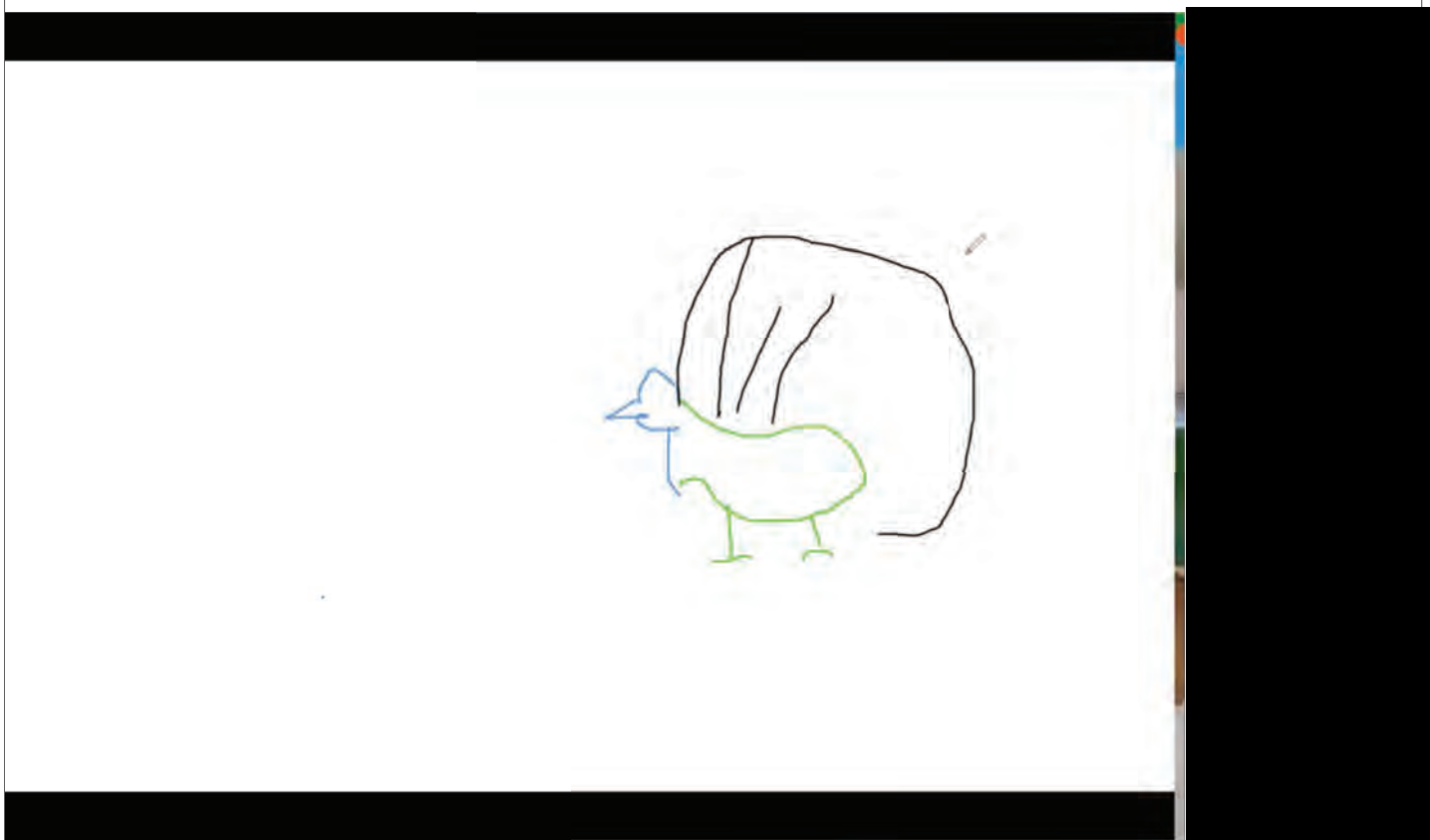
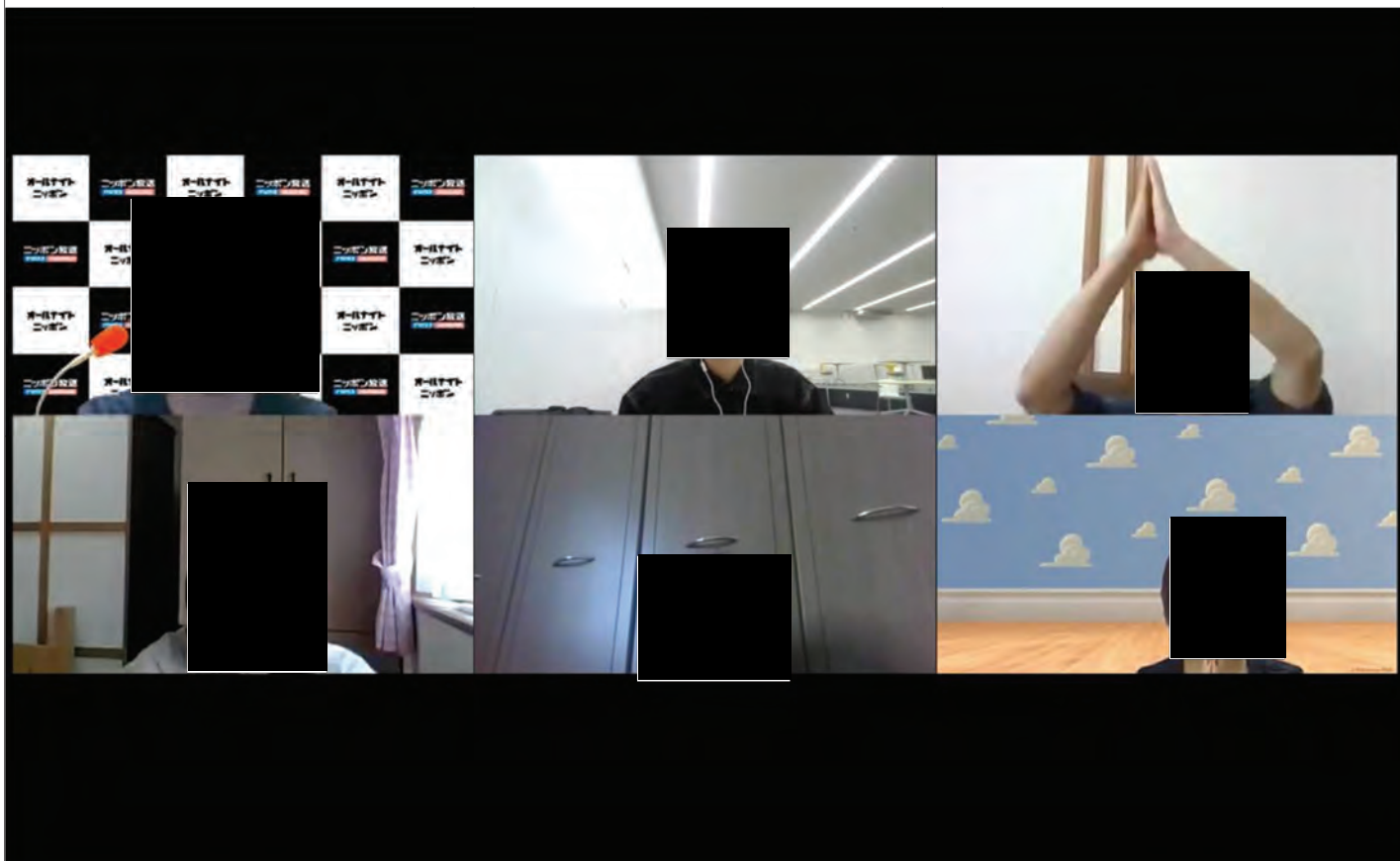
・書き込みは、黙らず、ブツブツ喋りながら・・・。





- 対面でない不安・不満から・・・
- 各役割、ファシリテーター／グラフィックレコーダー／アイスブレイクなどを経験しながら学習・・・
- ・ リアクションはとにかく大きく、最低で頷きや？
- ・ アイスブレイクの成功はその後のGWがスムーズ
(アクションものが良い、考え込むものはダメ・・・)
- ・ 下手でも可視化する (図やスケッチで・・・)
- ・ etc.





●実施体制、補助員は必要。

- ・今回は、都市デザイン学部のデザイン思考PBL WGメンバーの安江先生に並走してもらい実施ができた。
- ・今後はTAなども準備が必要
(ただし、PBL系の経験、zoom等PC・アプリに習熟していること)



1. 受講生の立場から見た遠隔授業（特に新入生の立場から）
 - ・わからないことだらけ（履修・単位・授業・教科書などなど）
 - ・尋ねようにも知り合いがそもそもいない
2. 受講生の不安や困り感を減らすためにできそうなこと、やろうとしたこと
 - ・窓口の多様化、アクセシビリティの向上
 - ・情報更新とその周知の頻度を上げる
 - ・レスポンス（フィードバック）を可能な限り早く、的確にする
 - ・「よりどころ」の一つとしての存在、そのための信頼感の向上

3. 活用できそうなオンラインツール

- ・Zoom（主として質問対応に使用）
- ・Moodle
- ・YouTube（オンデマンド動画授業の配信）
- ・LINE公式アカウント
- ・CommentScreen（右QRCodeおよび質問対応例参照）



4. 実際に受講生に評価されたと思われる取り組みの例

- ・授業動画の事前提供と、授業時間中のZoomによる質疑応答（下記QR参照）
- ・ループリックを利用したフィードバックの提供（特にオンライン実習）
- ・Moodleのオープンフォーラムでの疑問の解決、学生相互での解決
- ・LINE公式アカウントによる連絡、質問対応
- ・受講生間の交流の機会提供（休日のZoom交流会開催）

5. 学修内容の定着度の比較検討（概観）

- ・オンデマンド形式の効果
 - 繰り返し受講できることによる理解度の向上
- ・「受講態度」との関連性
 - どれだけの時間を割くかによる理解度の格差は拡大する可能性



オンデマンド授業の例
（4分ほどの動画）



Zoomでの質問対応例
（5分ほどの動画）

以上

3. 各部局におけるFD活動報告

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 人文学部・人文科学研究科

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】【取組事例】

本年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、前学期のほぼすべての授業がオンラインで行われ、ＦＤ活動もオンライン授業に関わる内容が主となった。

- ・第１回ＦＤ研修会：オンライン授業緊急対応説明会（４月８日、Zoom）
Zoom 体験、人文学部の授業構成とオンライン授業準備の現況、Moodle の初歩について教員から報告
- ・第２回ＦＤ研修会：前期授業評価アンケートの自由回答から（１２月９日、Zoom と対面）
Zoom（双方向コミュニケーション、資料の提示、ビデオカメラ ON/OFF、授業動画の提供、技術的トラブル）、Moodle（資料提示、課題）について教員から報告

また従来参加してきた全国規模のＦＤ関連行事への参加は見合わせた。

【得られた成果とその活用】

教員個々に温度差はあるとしても、オンライン授業に関する知見の蓄積にはなったが、組織としての成果については不明である。

【今後の課題】

ここ数年で教員数が激減する本学部・研究科にあっては、それぞれの取組を組織としてどのように共有し、教育改善・教育評価に反映させていくかという問題は、ＦＤ活動だけを切り離して解決できる問題ではないという点が、最大の課題である。

部局名 人間発達科学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

（これまで各部局で行ってきたＦＤを踏まえ、今年度に取り組んだ概要などを記載）

【取組事例】

（どのような取組みを行ったかを具体的に記載

教育改善・教育評価に資するＦＤの実施状況を記載してもよい）

【得られた成果とその活用】

（ＦＤを実施したことによりどのような成果があったか等を記載）

【今後の課題】

（今年度のＦＤの実施により明らかになった課題等を記載）

令和2年度FD活動報告

部局名 経済学部

【令和2年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

例年、経済学部では、FD研修会を年5回開催している。本年度も、年度初めに実施計画を学部FD委員会で検討し、5つのFD研修会を企画した。検討に際しては、学部の中期計画・中期目標に関連して継続的に実施している研修会（PROGテスト関連）に加え、時代のニーズや学部の教育・指導上の課題に対応したものを企画し、教員の意識向上と学生への教育・指導効果の向上を図るべく取り組みを行っている。

今年度企画した研修会は以下の5つであり、その概要は次の通りである。

第1回：「経済学部 Moodle 講習会」（令和2年4月10日開催：34名参加）

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度前学期（第1ターム）の授業を4月23日から遠隔により開始するとの全学方針を受けて、経営学科 柳原 佐智子 教授による「経済学部 Moodle 講習会」を実施し、Moodle 利用の基礎、Moodle の活用方法、Moodle を活用した授業の実施方法等について教職員が研修した。遠隔授業実施に向けて事前準備を行うにあたり、有意義な研修会であった。

第2回：「PROGテストの結果報告会」（当初、令和2年7月中旬開催予定）

7月中旬に、株式会社リアセック キャリア総合研究所 主任研究員の 谷川 雅之 氏を講師にお招きして、新入生に対して行ったPROGテストの結果－PROGテストで測定されるリテラシーおよびコンピテンシーの本年度新入生の能力ならびに他の国公立大学等の学生の能力との比較結果等－について報告していただく予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高度警戒地域在住の講師が来学できないこととなり、中止となった。

第3回：「授業満足度の向上に向けて」（令和2年9月9日開催：41名参加）

経済学部における授業満足度の向上をテーマとし、令和元年度の授業満足度が高い教員（経済学科：王 大鵬 教授、経営学科：廣橋 祥 准教授、経営法学科：増田 友樹 准教授）に事例について紹介いただくとともに、学部内で情報共有を図り、授業満足度に関する経済学部の現状及び令和3年度の全体目標3.94の達成が組織として必要であることを周知することを目的として、教職員を対象に開催した。

第4回：「大学における新型コロナウイルス感染症対策について」（令和2年10月14日開催：45名参加）

令和2年度後学期（第3ターム）の授業を原則対面により実施するとの全学方針を受けて、本学附属病院総合感染症センター長の 山本 善裕 教授を講師にお招きして、新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、大学での対面授業再開にあたっての留意点や教員・学生が気を付けるべきこと等について知識を深め、意識の向上を図ることを目的として、教職員を対象に開催した。

第5回：「PROGテストにみる1年次から3年次の成長」（令和2年12月9日開催：43名参加）

（概要については、以下の【取組事例】を参照。）

【取組事例】

今年度、経済学部で行ったFD研修会の具体的な取組事例として、令和2年12月9日に開催した第5回の「PROGテストにみる1年次から3年次の成長」（43名参加）について紹介させていただく。

PROG（「PROGRESS REPORT ON GENERIC SKILLS」）テストとは、学校法人河合塾及び株式会社リアセックが実施している、①リテラシー（現実場面で知識を活用する能力）と、②コンピテンシー（自分を取り巻く環境に実践的に働きかけ、対処する能力）という2つの能力（ジェネリックスキル）を学生がどの程度身に付けているかを計測し可視化するテストのことである。

経済学部では、学生自身がこれら2つの能力を現時点（新入学時）でどの程度身に付けているかを把握し、今後の学生生活の中で優れた能力をより一層高め、また不足している能力については取得・育成していくという意識を高めていくことを目的として、平成27年度より実施している。実施方法としては、新入学時に受験し、その後、3年次後期に再度受験するという形をとっており、新入学時から2年半にわたる学生生活を通じた自らの成長を把握し、その成果を就職活動にも活かせるようになっている（なお、平成27年度は3年次学生のみの実施であり、平成28年度より1年次と3年次の学生に対して実施している）。

本研修会では、株式会社リアセック キャリア総合研究所 主任研究員の 谷川 雅之 氏を講師にお招きして、3年次学生（全体ならびに学科別）のリテラシー及びコンピテンシーの各能力について、他の国公立・私立大学の学生やモデル社会人・グローバル人材との比較、本学部における過去の受験者との比較を交え報告をいただき、また1年次に受験した時から2年半の期間にわたる学生の能力の成長等についても報告いただいた。

研修会での報告は、詳細な分析データ資料に基づくものであり、各教員は本年度3年次学生の能力の特徴を把握したうえで、今後より効果的な教育・指導を行っていくための検討課題を明確にすることができた研修内容であった。

【得られた成果とその活用】

【取組事例】で紹介したFD研修会「PROGテストにみる1年次から3年次の成長」の成果については以下のとおりである。

本研修会を通じて、本年度3年次学生の能力の特徴と成長の状況を、他の国公立・私立大学の学生や本学部における過去の受験者との比較を通じて把握することができたことで、現時点での検討課題が明確になり、今後の授業やカリキュラムの改善等へ活かすことが期待される成果が得られた。

特に、これまでも課題となっていたコンピテンシーの向上という問題に対するアプローチのヒントが得られたことは大きいものと考えられる。すなわち、本学部学生のPROGテスト結果の例年の傾向として、リテラシーは他大学平均に対して高い傾向があるのに対して、コンピテンシーが低い傾向にあり、今年度も同様の傾向を示しているが、コンピテンシーを効果的に高めるために具体的にどのような取り組みが必要なのかこれまで大きな課題となっていた。今年度の研修会でも、コンピテンシーを高めるために他大学等で行われている事例の紹介がなされ、今後、本学部で学生のコンピテンシー向上へ向け取り組みにあたり、大いに参考となった。

【今後の課題】

PROGテストに関しては、FD研修会そのものの課題というよりも、その実施についていくつか課題が生じており、それが間接的に教員のFDに影響を与えているものと思われる。

1つめは、PROGテストの結果については、全体の傾向のみの把握にとどまっており、学生個人の成績については個人情報の観点からゼミナールの指導教員にも開示されておらず、個人の能力の成長へ向けた踏み込んだ指導へ役立てられていないということが現状としてある。

2つめは、PROGテストの大きな意義として、1年次から3年次への能力の成長を測ることにあるが、残念ながら3年次学生の受験率が3割程度と本年度も低くなっている。本年度のPROGテストについては、新型コロナウイルス禍の折、WEBによる受験とし、受験期間を3週間（土・日含む）、学生の都合の良い時間に在宅で随時受験として実施したが、受験率は向上しなかった。それによって、多くの学生がテスト結果に基づく自己能力の分析・把握によるメリットを享受できず、また教員側も今後の教育上の改善策を検討する際に制約を受ける可能性がある。したがって、テスト結果を有効に活用し、授業やカリキュラムの改善を進めるためにも、3年次学生の受験率向上のための方策を継続して検討していく必要がある。

3つめは、依然として、教員側でPROGテスト実施の意義に必ずしもコンセンサスが得られていないことがあげられる。すなわち、PROGテストは、前述のような目的で実施されており、学部の中期計画・中期目標に関連した学生の学習成果の可視化に対する資料として活用されているものである。学部全体として同テストの意義について改めて議論をし、明確なコンセンサスのもとに、積極的な役割をもったものとして実施していく必要があるだろう。そのような形での実施が実現できれば、より有効なテスト結果の分析・検討も可能となり、結果的に、それをもとにした教育の改善等として教員のFDとしてもより効果的なものになるものと考えられる。

また、学部FD研修会の全体的な課題として、FD研修会の実施に際しての予算の確保が難しいということがあげられる。今年度から、学部FD研修会に参加した教員に対して事後アンケートを行い、研修会のテーマや内容、実施方法等に関する評価、教員の満足度や成果等について把握するとともに、教員が興味・関心を持っている研修テーマについての意見も集約している。教員の興味・関心の高いテーマで研修会を開催したくとも、予算の制約がある場合、学内もしくは近隣の大学で講師が見つかるか否かによって研修テーマがある程度限定されてしまうということである。たとえ学部の教育・指導上の課題に対応した研修テーマであったとしても、学内もしくは近隣の大学で適切な講師が見つからない場合、予算の関係で当該テーマでは開催できない可能性もあるということは残念なことである。

以上、いくつかの課題を指摘したが、こうした課題と向き合いながら、今後とも、教員一人ひとりが教育の現場で直面している問題に対するサポートとなるようなテーマを通して魅力的な研修会を企画し、教員のFDの意識を少しでも高めていけるよう取り組みを進めていきたい。

以 上

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 理学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

令和２年度は、新型コロナウイルスの影響のため、４月には遠隔授業を実施するための情報共有を目的としたＦＤ研修会を開催し、さらに前学期末前に遠隔授業下での試験実施の事例報告のＦＤ研修会を開催した。１２月には授業評価アンケートの授業満足度向上のためのＦＤ研修会を開催した。

【取組事例】

第１回ＦＤ研修会「オンライン講義に関する情報交換会」令和２年４月１７日（金）３限

ZOOM, Moodle についての情報交換

第２回ＦＤ研修会「遠隔授業における期末試験に関して」令和２年７月８日（水）１３：００～１３：３０

事例報告：藤田安啓教授

第３回ＦＤ研修会「学生の授業満足度を高める工夫について」令和２年１２月２日（水）１３：００～１３：３０

事例報告１：上田肇一教授「解析学Ｂ」

事例報告２：今野紀文講師「基礎動物形態学」

【得られた成果とその活用】

コロナ禍での混乱の中、ZOOM や Moodle を利用した遠隔授業の対応を急遽迫られたが、情報共有を通じて各教員が抱えている不安をなんとか乗り越えて、前学期の授業を開講することができた。

前学期の中間試験を、遠隔授業で工夫して行ったという事例の情報共有により、学期末の試験対応の参考とすることができた。

昨年度後学期の授業評価アンケートで授業満足度の高かった２つの授業の取り組みを知ることにより、受講生に対する配慮などの工夫等の情報を共有することができた。

【今後の課題】

非常事態下の授業実施では、各教員が試行錯誤で対応せざるを得なかったが、もっと早く相談しながら対応すれば実現できたもの（Google classroom など）もあったと考えられる。

令和2年度FD活動報告

部局名 医学部医学科

【令和2年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

平成31年（令和元年）度は、医学科の共用試験である臨床実習後OSCE（客観的臨床能力試験）が令和2年度から本格実施されるのを受け、「臨床実習後OSCEへの備え」というタイトルで令和元年6月7日にFDを行った。また、10月7日には医学科の地域枠により入学した学生の現状と課題について「地域枠制度の現状と課題」というタイトルでFDを行い、課題の把握およびその改善に向けて話し合った。さらに、医学科の試験において患者の個人情報が消されていなかった事案について、「試験問題（教育コンテンツ）と個人情報保護」というタイトルで、個人情報の取扱い、注意すべき点などについて、情報を共有した。

令和2年度の活動に関して、医学部医学科では、毎年、臨床実習に入る前の学生に対して、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構が行う共用試験を実施し、学生が臨床実習を行い患者に一定の医療行為を行うに足る資質があるかを評価している。その中で、医療面接などの実技試験OSCEがある。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、6月26日に「コロナ禍時代の OSCE 実施方法」というタイトルで、臨床実習後の学生に対して行うOSCEをオンラインで行うための方策を教員内で共有した。また、10月12日には、「授業満足度向上にむけて」というタイトルで、富山大学内での医学部の満足度の現状と改善の必要性について情報共有し、どのようなことが授業満足度の向上につながるかを検討した。さらに医学科は公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構よりcomputer based testing（CBT）で用いる試験問題の作成を毎年依頼されており、令和3年2月12日に「CBT問題作成技法のアップデート」というタイトルで、CBT問題の作成法の注意事項などについて、確認を行った。

【取組事例】

令和2年6月26日（金）第1回医学科FDを行い、「コロナ禍時代の OSCE 実施方法」ということで、模擬患者の代わりに人形を用い、また、模擬患者役の教員は学生の医療面接の質問に対してZoomを使って回答するなど、いかに接触を避けてOSCEを行うことができるか、について、参加者で実施・検討を行った。

令和2年10月12日（月）第2回医学科FDを行い、「授業満足度向上にむけて」ということで、まず、富山大学全体における医学部の授業満足度および個々のアンケート結果、および、そのアンケート結果に基づいたIRの結果からどのような改善が必要か、検討を行った。

令和3年2月12日（金）第3回医学科FDを行い、「CBT問題作成技法のアップデート」ということで、CBT問題作成にあたり、気をつけなければいけないポイントについての解説を行い、CBT問題作成の例を見ながら、参加者と一緒に、どのような点を改善すべきかのワークを行った。

【得られた成果とその活用】

第1回 令和2年6月26日（金）18：00～19：15「コロナ禍時代の OSCE 実施方法」

令和2年8月22日（土）に臨床実習後OSCE（PostCC OSCE）、同年9月26日（土）に臨床実習前OSCEが実施され、コロナ禍でありながら、信頼性、妥当性を維持したOSCEが実施可能であった。

第2回 令和2年10月12日（月）17：30～18：30「授業満足度向上にむけて」

授業満足度に関するIRデータを共有し、各授業科目で授業満足度向上にむけて対策を練る機会を得た。

第3回 令和3年2月12日（金）17：30～18：30「CBT問題作成技法のアップデート」

CBT問題作成技法の修正点を共有した上で、新規作問者を中心に、作成法のポイントについて情報共有することができた。現在、関連教室にCBT問題作成の依頼をしており、質の高いCBT問題の作成が期待できる。

【今後の課題】

第1回 令和2年6月26日（金）18：00～19：15「コロナ禍時代の OSCE 実施方法」

Zoomを用いたテレビ会議システムを用いた学習者評価の課題が明確となり、教職員による対策を行うことが可能となった。

第2回 令和2年10月12日（月）17：30～18：30「授業満足度向上にむけて」

FDに参加しない授業科目への対応が課題である。また、個別の授業で如何に授業満足度を改善させるかは次に課題である。

第3回 令和3年2月12日（金）17：30～18：30「CBT問題作成技法のアップデート」

CBT問題作成可能な教員の学外転出等のため、CBT問題を作成・指導する人員確保が課題であり、今後とも適宜実施する。

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 医学部看護学科

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

看護学科における過去数年のＦＤに関する内容は、「看護学科におけるアクティブラーニング」「障がいのある学生に対する支援」「パフォーマンス課題と評価」である。毎年、看護学科の教員がほぼ全員参加で実施しており、その年度の課題を中心に、講義、グループディスカッション、全体討議等で、教育に関する情報共有、教育における課題や解決の方向性を具体化している。

今年度は、COVID-19 対策のため非対面授業が多くなる中、アクティブラーニングとしては、これまでの授業実績を踏まえて、Zoom でのグループディスカッションや、課題学習（課題の選定、自己学修、フィードバック、紙面上でのプレゼンテーション等）を自主的に行うためのプログラムを実施してきた。また、演習・実習等においては、学生の体調管理や感染予防対策を徹底した上で、グループワーク、実技演習、一部の実習を行うことができた。

次に、教育評価については、昨年度に「パフォーマンス課題と評価」のＦＤを行い、評価の視点を明確にするための具体策を討議し、今年度のシラバス内容や各教員による教育評価に反映した。

【取組事例】

今年度は、「看護学科全教員による看護学科改革案の検討」をテーマに、教員一人ひとりが、自己の教育活動について評価し、改善への取り組みの方向性を具体化することを目的にＦＤを行った。

方法としては、講座単位（または個人ワーク）での研修として、「５年後の看護学科構想」「そのための改革」「強みを踏まえた具体的な改革案」等の課題について考え、改革案を出した。その際、学生による授業満足度調査から分析した内容も踏まえることで、現段階での教育に対して具体的な改善を検討する機会となった。

また、今年度は、学生とのカリキュラム検討の必要性から、「看護学科カリキュラム専門委員会」を設置し、看護学科ＦＤの取り組みとして位置づけ、対面での会議を行った。学生による看護学科カリキュラムアンケートの結果を踏まえて学生委員とともに情報の共有や議論を行った。今後は、学生の意見を反映した教育改善およびカリキュラム改革をめざしていく。

【得られた成果とその活用】

今年度のＦＤで検討した内容は、報告書として作成し、全講座の検討内容を共有するとともに、今後の授業内容、教育方法、教育環境等の改善の具体的な目標となる。早速、来年度のシラバス等に反映しており、具体的な改善策が取られている。また、今後の看護学分野別評価を見据えて、今年度は看護学科教務委員会を通してカリキュラム内容の見直しを行った。そこから見てきた課題については、再度、委員会で追加内容を検討して、関連科目による追加改善がなされた。

また、学生とのカリキュラム検討で出された意見については、看護学科教務委員会および看護学科運営会議で共有し、学修環境、授業方法、授業内容、開講時期等の改善を行った。

【今後の課題】

今年度は、看護学教育のカリキュラム改正や大学の方針を受けて、教育内容、教育方法、開講時期、授業時間等を見直し、改善を多角的に行ってきた。その中で、特に、重複内容の整理や学生の自己学修時間の確保等を課題に検討しかつ改善計画を実行している段階にあるが、まだまだ十分ではない。今後も検討を続け、より良い教育を実施・評価できるような取り組みを継続・発展していく。

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 薬学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

薬学部では、これまで薬学教育の現状における問題点と方策に関する議論を行い、教育改善等に取り組んできた。R2年度ＦＤでは、授業満足度向上とカリキュラム改革に関する２つの課題について検討した。授業満足度向上では、満足度評価の高い科目の講師へのアンケート調査を行い、さらに最近３年間の授業評価の分析結果を基に、その方策を議論した。R4年度改革に向けたカリキュラム改革では、理系基盤科目担当教員にオブザーバー参加頂いて、教養教育と専門教育の分担や継続性を議論し、また専門教育での講義や実習科目の再編成などについて意見交換した。本年度は主に、授業満足度の向上、評価の厳格化、カリキュラム改善と共に、on line 教育などの取り組みの検証なども行った。

【取組事例】

授業満足度向上、評価の厳格化

- ・ 教務委員会によるシラバスチェック及び指導を行った。
- ・ ＦＤでは、授業満足度の高い科目の講師へのアンケート調査結果、および授業評価アンケートの分析結果に基づき、満足度向上への方策について意見交換した。満足度の高い講師へのアンケートには on line 講義への取り組みに関する記載が含まれており、その取り組みについてもＦＤで紹介した。
- ・ ＦＤや教授会を通して、科目別の授業満足度や評価に関する結果を公表し、教員の意識改革に取り組んだ。

カリキュラム改善

- ・ 学生を加えたカリキュラム部会を設置し、教養教育の卒業要件の見直し、科目の開講年次変更等を決定した。
- ・ ヒューマニズム教育・医療倫理教育を体系的に行うため、R4年度からの「臨床倫理学」（薬学科）および教養教育「医療心理学」の必修化、さらに「臨床倫理学」については２年次への移行などを決定した。

学生のモチベーション向上

- ・ 実務経験者による特色ある講義については、可能な限り、対面あるいは on time 講義を実施し、学生との討議などを通して、モチベーション向上に取り組んだ。
- ・ 「なんでもＱ＆Ａ」などを利用して、コロナ禍における学生の個別指導、メンタルケアに努めた。

【得られた成果とその活用】

- F Dでの議論や，教授会での授業評価結果の報告などを複数回行った。授業満足度向上や評価の厳密化に対する教員の意識変化は，現段階では明瞭ではない。
- 授業満足度の高い講師による様々な工夫を共有化できた。
- カリキュラム部会では，学生との意見交換を経て，教養教育における必要単位や導入科目への要望がまとまり，さらに，専門科目カリキュラム改善の方向性に関する重要な意見が得られた。

【今後の課題】

- 授業満足度は GPC などには関係がないこと，満足度の高い科目では講義資料の工夫や，板書などの工夫，質問機会の確保など，十分な取り組みがなされていることが明らかになった。

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 工学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

本学は第３期中期目標期間において「戦略１における評価指標（ＫＰＩ）」として、カリキュラム・ポリシーの見直しによる授業科目改善（学生の授業評価における満足度）を設定している。工学部の授業満足度は徐々に改善している方向にはあるが、全学で掲げる目標値を達するために更なる取り組みが求められている。

また、令和２年度は、非対面型授業の実施など、コロナ禍の影響により、受講環境が大きく変わっており、変化に応じた取組も重要性を増している。

ついては、令和元年度ザ・ティーチャーの担当教員から、コロナ時代における学生の満足度を上げる工夫等について講演いただき、工学部全体の授業満足度向上を図ることを目的として研修会を令和３年２月１０日に実施した。

【取組事例】

「Zoom」ミーティングを利用したオンライン配信により、令和元年度工学部ザ・ティーチャー選出教員による学生の満足度が高い授業などの事例発表及び質疑応答を行った。

【得られた成果とその活用】

各コースのザ・ティーチャーに選出された６名の教員による事例紹介を行い、コロナの影響下授業満足度を向上させるためにどのように取り組んだかについて情報共有を行った。その結果、多くの教員が今後の授業改善に役立つヒントを学んだ。具体的には、Zoomによる遠隔授業下、授業満足度を向上させた教員の多くが、板書の視認性が良いという遠隔授業のメリットを生かした講義を行っていた。さらに講義資料をMoodleに載せることで、講義内容が理解しやすくなったとの評価を学生から多く得ていた。また、Zoomでは学生の理解度が判断できず一方的な講義になりがちなので、穴埋め式の資料を配付し、説明と同時に穴埋めを行ってもらい、実際に手を動かすことで集中力を保たせるといった工夫を複数の教員が実践していた。Moodleを利用した小テストを実施している教員も複数おり、授業の復習として有益であったと答えた学生が一定数いた。

【今後の課題】

遠隔授業の最大の課題は、受講している学生の様子が見えない事にある。対面形式の講義では学生の表情を見ることで、すぐに捕捉説明を加えたりできるが、遠隔授業ではその表情が分からないため、一方的な講義になりがちである。Zoomの背景機能等を利用して部屋の様子が分からない状態で顔を見ながら講義できる環境が望まれる。

外国人留学生が入国制限にあって遠隔授業と対面形式のハイブリッド講義をせざるを得ない場合、講義室のWiFi環境の不安定さによってZoomが度々落ちてしまうと講義の大きな妨げとなるので、講義室のネット環境を安定させる改善が求められる。

学生のアンケートによる調査結果によると、一部の教員に対して以下のような問題点を指摘する学生がいたことから、さらなる満足度の向上のためには、学生からの授業評価が低い教員を対象とした教授法の改善プログラムの導入が必要かも知れない。

- ・ずっと自習をしているようで全く授業を受けているという感覚が無かった
- ・資料を読み上げているだけの授業はつまらない
- ・小テストの答えだけでなく解説がほしい
- ・講義の前半は遅く、後半でペースが上がりついて行けなくなる
- ・試験はオンラインで行ったが、学生間でLINEをして答えを共有しあっており不公平
- ・カメラのピントが合っていない
- ・グループワークをやる気が無い人への対策等を考えてほしい
- ・質問や学生同士の議論のためフォーラム機能がほしい
- ・オンラインで自動音声ではなく肉声にしてほしい

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 芸術文化学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

令和２年度は教育の質改善のため、５回のＦＤ研修会を計画し既に４回のＦＤ研修会を実施してきた。狙いとしては、現在進めている様々な制度改革に対する理解を深め、教員相互の認識を確認することとしている。

【取組事例】

具体的な実施状況は、

９月：遠隔授業に関するＦＤ（討論）

いくつかの授業における取り組み事例紹介、遠隔授業の方法論紹介、遠隔授業のメリット・デメリットの分析、現在のカリキュラムで何が問題となっており、次期カリキュラムにおいて取り入れるべきことなどを、参加教員で討論

１０月：クォーター制について考えるＦＤ（討論）：Zoom 使用

芸術文化学部では一昨年度より疑似クォーター制度を試行的に導入しているが、メリットとデメリットが授業ごとにどのような状況にあるかを教員が紹介、問題点の抽出と認識の共有を行った

１２月：文化政策の動向と文化財の保存・活用（講師：文化庁）：Zoom 使用

文化庁より講師を招き、文化政策の動向に関し講演をいただいた。

２月：STEAM 教育について（討論）

現在話題となっている STEAM 教育について、その歴史と流れを紹介し、取り組み方法や姿勢について意見交換を行った。

３月：授業満足度向上のためのＦＤ（討論：予定）

である。

【得られた成果とその活用】

前期は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が困難だったため、９月以降に行った。現在の大学教育環境は著しい速度で変化しているため、その基本となる様々な制度に関する知識を得ると共に、学部としてどの様に取り組むべきかについて、教員間の認識と理解を深めることができた。

【今後の課題】

昨年度および本年度は大学教育が抱える様々な問題点に関して、多くの教員の認識を深めるような討論形式のＦＤ研修会を多く行うようにしてきた。これにより、幅広い教員の問題意識を深めることができたが、それを教育課程にフィードバックする方法にまでは至っていない。今後は、行われてきた議論の結果を分析し具体的な対処方法に関する提案につなげていく必要がある。

令和２年度FD活動報告

部局名 都市デザイン学部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

国立大学改革方針（文科省，R1.6.18）によると，「１．高度で良質な人材育成拠点としての国立大学」において，学修成果の可視化の推進と，教育活動の見直し等への応用が示されているが，都市デザイン学部の設置申請書（設置の趣旨等を記載した書類，2018年4月～）には，学部・学科の特色として，学修の質保証と能力評価の可視化の必要性を示しており，これを受けてヘルンシステムの改修が行われている。

本学修成果の可視化システムは，都市デザイン学部の３学年生より運用されているので，今回，その可視化システムの利用状況と，そのシステム活用によるデータ分析を行い，また，可視化システムを活用したアンケートから見えてきた課題等をまとめて，本学部担当の全学FD研修会として実施した。

併せて，３学科に対して本システムの活用事例やコメントを収集し，また，都市・交通デザイン学科２・３年生に対してアンケート調査をMoodleにより実施した。

【取組事例】

本学部担当の全学FD研修会として，以下のような実施内容で行った。なお，当日の参加者数は72名であった。

都市デザイン学部FD研修会

テーマ：「学修成果の可視化の取組みについて-現状と課題-」

1. 開催日時：令和３年２月１７日（水） １３：００～１４：００
2. 開催方法：「Zoom」ミーティングを利用したオンライン開催
3. 対象者：本学教職員
4. プログラム

（司会進行 松田都市デザイン学部副学部長）

13：00～13：05 開会あいさつ（磯部理事・副学長）

13：05～13：35 学習成果可視化のシステム概要及び設定詳細説明

（堀田都市デザイン学部副学部長）

13：35～13：45 システム活用事例，課題等感想

（矢口都市・交通デザイン学科長）

13：45～13：55 質疑応答

13：55～14：00 閉会あいさつ（渡邊都市デザイン学部長）

【得られた成果とその活用】

○５項目のディプロマ・ポリシーによる積算能力の可視化（累積評価点の伸長，レーダーチャート等）を行うことで，能力評価の高い学生と学科内で平均的な学生の差異が理解できた。各能力

評価項目における卒業時の基準値の設定が行えないので、現段階では、相対評価だけでなく絶対評価（積算値）で対応し、今後、卒業生が輩出できた段階で、望ましい基準値80%の設定を行っていく。

○都市・交通デザイン学科の3学年生（40名）のデータ（2020年度前期終了時）に関してデータ分析を行い、以下のような成果が得られた。

- ・各能力の基本統計量として、「幅広い知識」や「専門的学識」が、「問題発見・解決力」「社会貢献力」「コミュニケーション能力」などよりも平均値が高くなり、科目の重みづけが支配的となることが明らかとなった。また、「社会貢献力」の得点を得る科目数の設定が少ないことが分かった。

- ・「幅広い知識」と「コミュニケーション能力」、「専門的学識」と「問題発見・解決力」と「社会貢献力」が、相関関係が高いことがわかった。

- ・積算評価のヒストグラムでは、データの正規性が見られ、学科内のばらつきが明確になった。

- ・教養教育科目の履修結果に依存しやすい「幅広い知識」に関して、クラス内での偏差がみられた。

- ・A0入試、推薦入試、一般入試（前期、後期）などの入試区分で各能力の平均・標準偏差を求め、分散分析を行ったが入試区分の差はみられなかった。また、一般入試（前期、後期）と、A0入試・推薦入試との2群で分割して分析しても、その差は見られなかった。積算評価に対しても、入試区分の差が見られないことは大きな検証結果であると考えている。

- ・量的評価の代表である全GPAと積算評価との相関係数を求めた結果、0.84と比較的高いことが示された。併せて、全GPAに関しても入試区分の差は見られなかった。

- ・どの入試区分においても、全GPAと積算評価との相関係数は比較的高いが、特に、一般入試前期とは非常に高い。また、全GPAと「問題発見・解決力」との相関係数は非常に高い。

【今後の課題】

◎積算評価とルーブリックによる卒論発表評価における成果の可視化を行うこと。卒業後2年程度の期間をおいた後に卒業生と就職先の上司に対するアンケート調査に関しては、今後、本学部の関係する学部の委員会等で議論し、実践へ向けて計画を進めることが必要である。

◎各学科からの課題

○地球システム科学科

2年次

- ・主として「幅広い知識」が養われている様子がわかる。
- ・続いて「コミュニケーション能力」、「問題発見・解決力」が養われている。
- ・「社会貢献力」と「専門的学識」はこの段階ではやや低い。
- ・上述の傾向はいずれの学生も同傾向。

3年次

- ・「幅広い知識」のみならず、他の4つの能力の獲得が特徴的で、5つの能力に膨らみが増している様子がわかる
- ・「専門的学識」、「問題発見・解決力」、「コミュニケーション能力」が大きく増して、おおよそ同程度であるものの、なかでも「専門的学識」の伸びが顕著である。

- ・年次進行とともに、各能力項目の評価点が確実に上昇している。
- ・2年次と比べて、5つの能力獲得バランスにやや個人差が見られる

○都市・交通デザイン学科

@積算能力表を、どのように利用すれば自分の学修計画に役立つと思いますか？

・どんな能力を身につけるためにどの科目を履修すれば良いかなど、次の履修計画を立てる際に役立ちそう。

- ・シラバスに記載されている習得の項目を意識しながら履修・学習するの に役立ちそう。

(シラバスの記載内容が異なる科目は困るが・・・。)

・ヘルンシステムの成績評価のところに、この能力評価欄を作成して、学科別で順位をつけて欲しい。自分が学科のどの位置にいるのかを把握したい人も多いと思う。総合評価と各能力別の順位が欲しい。(評価方法を示すと非常に役立つデータになる)

@積算能力表を、どのように改良すれば自分の学修計画に役立つと思いますか？

・評価の際どの教科や行動を見ていたかデータ化することで自分の考えの間違いがあったとき、参考にして次に生かすことができる。

・点数を表示するのではなく他国の統計データや他大の統計データなどを比較し常に向上心を絶やさない工夫をこらすべきだ考える。

・幅広い知識の項目が、一年次の一般教養が主な得点源となっているが、2年、3年で学ぶ専門科目でも新たな知識を得ているので加味したほうが良いと考える。(これも学際融合教育を推奨している本学としては、設計に役立ててはどうかと考える)

・各項目における評価方法(基準)や評価対象となる授業や取り組み等を併せて表記・提示してあると、より具体的で効果的になると思う。

- ・インターンシップ先で受験した適性試験と全く違う結果であった。なぜか知りたい。

○材料デザイン工学科

・現状の指標では、当学科の学生は、全員 DP1 と DP2 の 2 点に集中し、逆に DP4, DP5 が低いバランスの悪いチャートとなる。これは、もともとの各項目に分類された科目数の違いによるものである。結果的に現在表示されるチャートは、個々の履修状況の差、学修成果の差がほとんど見分けられないものとなっており、改善の余地があると思われる。

現状の DP のバランスをみるのであれば、各項目を学科毎に設定されている科目単位数で規格化する必要がある。一方で、当学科は JABEE 認定を受けており、各科目を学習・教育到達目標に応じて分類し、それぞれをバランス良く受講するように必要単位数を定めている。しかしながら、これらはディプロマ・ポリシーではほとんど DP2 に分類されてしまうため、この情報は現在のチャートには表示されない。

アンケートの学生のコメントから大きく2つの課題が見えてきている。

●ディプロマ・ポリシーが科目毎にどの割合で設計されているか？

・選定科目として○印をつけている。(複数可) その割合は？(学部・学科毎に配分をつけたとして、公開・説明が必要？)

- ・シラバスで、項目とその割合が表記されて初めて履修時に役立つ？

・但し、評価の基準と連動していなければ意味がない？(PBL 等のコミュニケーション能力の評

価が難しい？)

●それぞれの学部・学科，学生個別の特性に沿ってプログラムがカスタマイズできると，より実感を持って履修計画，学年進行過程での確認，就職・進学時のプレゼ（根拠資料）等になるのでは？

・教養教育科目はもとより，他学部履修も見据えた，全学で統一した基準で展開することが重要である。

令和2年度FD活動報告

部局名 都市デザイン学部

【令和2年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

都市デザイン学部では、令和元年度に「Moodleについての講習会（初級編，応用編）」の，2回のFDを開催した。これを受け，今年度において，Moodleのアンケート用テンプレートを作成することにより，5月に授業評価プレアンケートを，10月にはカリキュラム改善のための学生アンケートを実施した。また，急な遠隔授業への対応において，Moodleへの移行がスムーズに行えた。

【取組事例】

10月前半に，学部3年生を対象に「カリキュラムや授業改善に向けたアンケート」を実施し，引き続き，10月26日にFD研修会「カリキュラムや授業の改善に関する学生と教員の意見交換会」を開催して，アンケート結果を元に，学生の意見を直接聴取する機会を設けた。さらに，ここで聴取した意見を参考に，12月16日に学生と教務委員の意見交換会を開催した。

【得られた成果とその活用】

学生から直接意見を聴取し，また率直な意見交換を行うことができ，令和4年度以降のカリキュラム編成に向けて議論を進めている（当学部は，令和3年度が完成年度であるため，令和3年度にカリキュラムの改定はできないため。）

【今後の課題】

次のような課題を認識でき，課題を解決すべく，現在，検討や対応を進めている。

- ・学部共通科目の科目内容や編成，必修・選択の区分，卒業要件単位などについて改善の要望があり，令和4年度から見直す方向で検討している。また，学部共通科目のうち，互いに関連する科目の内容については，担当教員間ですりあわせなどを行っていくことにした。
- ・英語教育について，2年次以降に英語の学修機会が少ないこと，またTOEICなどを念頭に置いた科目がないことについて改善の要望があり，現在進行中の教養教育での英語科目の内容の改定のほかに，学部としても，2年次以降に新eラーニングシステムを活用した科目の設定を検討することにした。
- ・建築関係科目の履修について，高岡キャンパスで開講される科目が多いことから，キャンパス間の移動方法などについての問題が生じていることが指摘され，改善方法を検討の上，大学での対応を要望していくことになった。
- ・大教室の机の仕様によっては，左利きの学生が受講しにくい場合があるという指摘があり，令和3年度から使用教室について配慮することにした。

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 教養教育院

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

教養教育についての教育改善を図るために次の活動を行った。

- (１) ＦＤ研修会（３回実施，３月中にさらにもう１回実施予定）
- (２) 昨年度の授業評価アンケート結果に関する分析
- (３) 遠隔授業に関する教員・学生アンケートの実施
- (４) 学生による授業アンケートの実施とその結果に対する各授業担当教員からのフィードバック改善報告の依頼
- (５) 授業評価アンケート結果の取扱い方法の整理

【取組事例】

前項に挙げた５つのＦＤ活動について，それぞれの具体的な内容を以下に示す。

(１) ＦＤ研修会（３回実施，３月中にさらにもう１回実施予定）

今年度は３回のＦＤ研修会をこれまでにを行った（それらの概要を次に列挙した）。これらのＦＤ研修会の報告書について，教育改善WGにおいて現在準備中であり，年度内には公表予定である。また，これ以外に３月中に授業満足度の向上をテーマとするＦＤ研修会をさらに行う予定である。

○第１回：遠隔授業での工夫に関する情報交換会

遠隔授業での課題と工夫についての情報共有を図った。最初に，教養教育授業担当教員と学生に対して行った遠隔授業に関するアンケート結果を報告し，それに関する意見交換を行った。その後，教養教育院教員により Moodle, Zoom 等の活用事例について実践を交えた紹介をした。

開催日時：令和２年６月１９日（金），参加人数：教員 65 名，職員 9 名

○第２回：他大学の教養教育の現状に学ぶ

教養教育科目の構成と教養教育の運営体制の改革に向けて，他大学の教養教育についての優れた取組みについての情報共有を図った。昨年度末に実施した山口大学と島根大学への視察から得られた知見について視察者からの報告を行った。また，熊本大学の教育改革を主導した大学教育統括管理運営機構のスタッフに遠隔で参加いただき，その改革の概要についてご講演いただいた。

開催日時：令和２年９月１日（火），参加人数：教員 43 名

○第３回：グッドプラクティス事例紹介-授業満足度の向上に向けて-

教養教育科目における授業満足度の向上を図るため，授業満足度で高いスコアを獲得している授業担当者に授業において工夫している点や心がけていることを紹介していただき，授業満足度を上げる工夫や要因を探った。

開催日時：令和２年１２月１６日（水），参加人数：教員 45 名，職員 5 名，学生 1 名

（２）昨年度の授業評価アンケート結果に関する分析

昨年度の授業評価アンケート結果とそれへの担当教員のフィードバックの内容について、教育改善 WG において調査・分析を行った。特に授業満足度の向上に資する要因について、教養教育の系ごとにその特色を整理した。その調査・分析結果についての報告書を現在準備中であり、年度内には公表予定である。

（３）遠隔授業に関する教員・学生アンケートの実施

コロナ禍のために前期の教養教育は遠隔授業で行われたが、そこでの問題点や課題、あるいは教育効果が上がる工夫等について早期に調査する目的で、6 月上旬に教養教育科目担当教員と学生にアンケートを行った。得られた問題点・課題と工夫について教育改善 WG において整理・分析し、それに基づき第 1 回目の F D 研修会を実施した。

（４）学生による授業アンケートの実施とその結果に対する各授業担当教員からのフィードバック改善報告の依頼

前期と後期それぞれの学期末に、教養教育科目についての学生への授業評価アンケートを実施した。また、前年度後期と今年度前期の授業評価アンケートの集計結果を授業担当教員に示し、そのアンケート結果への自己分析と改善への取り組み、学生の自由記述への回答を求めた。特に、今年度前期の授業評価アンケートにおいて授業満足度のスコアが 3 未満となった授業の担当教員に対しては、その理由についての自己分析を促す理由書の提出を課すとともに、現在計画中の第 4 回の F D 研修会への参加を求めている。

（５）授業評価アンケート結果の取扱い方法の整理

授業実施における優れた工夫や問題点についての情報を収集して教員相互で共有するために、授業評価アンケート結果とそれへの担当教員のフィードバックの内容について、教育改善 WG で集約し、F D 活動につなげていく仕組みを整理した。

【得られた成果とその活用】

行った 5 つの F D 活動の成果について、それぞれ以下に示す。

（１）F D 研修会（3 回実施、3 月中にさらにもう 1 回実施予定）

「第 1 回：遠隔授業での工夫に関する情報交換会」では、遠隔授業の課題・問題についての情報を参加教員の間で共有することができ、それらの解決法と今後の課題を探ることができた。また、Moodle、Zoom 等を上手く活用することによって遠隔授業の質を向上させることを学ぶことができ、各教員のその後の授業運営の向上の一助となったものと思われる。「第 2 回：他大学の教養教育の現状に学ぶ」では、他大学の教養教育についての優れた取り組みについての情報を得ることができた。都市デザイン学部の完成年度となる令和 4 年度には五福一元化後初めて教養科目の変更が可能となるので、それに向けて教養科目の見直しを図っている。この見直しに対して、この F D 研修会で得られた他大学の情報を活用していく。「第 3 回：グッドプラクティス事例紹介-授業満足度の向上に向けて-」では、授業満足度で高いスコアを獲得している授業担当者の取り組み事例の紹介があったが、これはあらゆる授業において参

考となるものであり、各教員の授業運営の向上へ資するものと考えられる。

（２）昨年度の授業評価アンケート結果に関する分析

授業評価アンケート結果についての調査・分析により、教養教育の分野ごとの授業満足度に関する特色を整理し、授業満足度の向上に関連する要因を探ることができた。そこでは、他の調査でも指摘されているように「聞き取りやすさ」や「わかりやすさ」と授業満足度との相関が強く見られている。また、特に理系科目においては、授業満足度のスコアの高い授業では、画像や動画を用いた説明補助手段の工夫を行っているケースが多かった。同一の授業科目で授業内容と実施方法の統一が図られている場合でも、授業担当者によって授業満足度が大きく異なるケースも見られており、担当者間で教授方法については上手く情報交換ができていないことが示唆されるケースも明らかにできた。この調査・分析で得られた知見は、今後のFD活動への有益な情報として活用していく。

（３）遠隔授業に関する教員・学生アンケートの実施

遠隔授業についての問題点や課題を早期に把握し、それをFD研修会につなげることによって情報共有を得ることができた。これにより、以降の遠隔授業の円滑な運営に資することができたものと考えられる。

（４）学生による授業アンケートの実施とその結果に対する各授業担当教員からのフィードバック改善報告の依頼

学生による授業アンケートを実施し、その結果に対する各授業担当教員からのフィードバックを求めることにより、授業担当者の授業に対する自己分析と改善への取り組みのための機会を提供した。この授業アンケート結果と教員からのフィードバックについては、調査・分析を引き続き行い、今後のFD活動に活用していく。

（５）授業評価アンケート結果の取扱い方法の整理

これまでは教育改善WGでは授業評価アンケートの包括的なデータに着目した調査が主であったが、今年度より個別の授業評価アンケート結果と学生の自由記述、教員のフィードバックについても確認することとし、その情報をFD活動に利用していく仕組みを構築した。

【今後の課題】

- ・教養科目の授業満足度のさらなる向上を目指し、教育改善経路の充実化を図る（授業担当教員へのサポート、担当教員の間での教養教育に取り組む意識の共有）。
- ・令和４年度に向けた教養科目の見直しの推進、特に導入科目や理系基盤系科目について引き続き検討する。
- ・全学的なFDに貢献する教養教育院の教育改善活動を充実する。（授業手法などのFD研修会の拡充、教学分析の発信）

令和２年度ＦＤ活動報告

部局名 大学院生命融合科学教育部

【令和２年度の教育改善・教育評価に関する実施状況】

- ・「富山大学大学院改革」をテーマとし、現在進行している大学院の組織改革の方向性について豊岡学長補佐にご講演いただき、これからの学際的な大学院教育について議論を深めた。

【取組事例】

- ・豊岡学長補佐による大学院改革の現状と将来展望に関するご講演
- ・上記講演を基とした全体討議

【得られた成果とその活用】

- ・本学における大学院改革の現状と将来展望について、教員間の情報共有と大学院に対する意識改革の一端となった。
- ・教員は専門のたこつぼ的に１つの組織に閉じこもるのではなく、組織の間を柔軟に動く体制の設計が示され組織構築に至るまでの交渉の詳細を知ることができた。
- ・実際に文部科学省とどのような交渉過程を経て、どのように変化して今の案になったのかを理解することができた。
- ・全体討議においては、企業との連携等、新大学院の KPI になりそうなアイデアを得ることができた。

【今後の課題】

- ・今後の大学院において、具体的にどのように関係、融合していくか。
- ・企業等へのアンケートの結果をカリキュラムの改善に生かすための具体的な方策の一步として、共通科目としてインターンシップを新設した。文部科学省が進めているジョブ型のインターンシップへの参加についてのワーキンググループによる詳細な検討を含めて、学生のキャリアパスや企業からの協力を増やす等の効果につなげることが課題である。
- ・富山大学の今後の方向性について、地方大学により地元、特に県の行政、企業、市民との関係構築を検討していく必要がある。その方策として、企業等へのアンケート結果のまとめを返送し、今後の意見交換のチャンネルを構築する手掛かりを作った。効果につなげることが今後の課題である。

4. UD トークについて

第 11 回UDトークの概要

UDトークは学生参画型FDの恒例イベントとして、学生が企画し、学内外の学生、教職員、市民に参加を呼び掛けて、2012年から毎年開催してきたイベントである。昨年度は5月に第9回を、11月に第10回と年2回開催したが、今年度はコロナ禍でオンライン開催の1回のみ開催となった。但し、この形式をとったことで、遠方の学外者の参加希望が目立ち、特に海外で日本語を学ぶロシア人学生4名が参加してくれ、思わぬ国際交流もできた。学生の視点をFD活動に加味することが、教職員・学生の双方に意義があることは本報告書の全学FDにも学生が参加していることに関し参加者から寄せられている感想などからも明らかである。なお、UDトークは年度によりUD Talk という表記もしているが、本質的に同じものであり、その年の企画・運営する学生たちの好みを優先している。

注) 2001年以降、岡山大学を起点に全国の国公私立大学(80～100大学)で展開されている学生参画型FDの展開のための学生中心組織は様々な形態・名称となっているが、本学では2011年の開始時からUD Mates という名称を用い、教育推進センター副センター長の橋本の授業受講者を中心に自主的な参加者を募り、日常的に活動を継続してきた。橋本の退職に伴って、今後、この活動がどうなるかは不透明であるが、斎藤学長が積極的に展開されている学生たちと学長・副学長との意見交流会にも通じるところがあり、今後も何らかの形で継続することが望まれる。

(UD : University Development)

【第11回UDトーク】

開催日時：令和2年9月26日(土) 10:00～17:00

(本編は13:00～17:00。希望者は午前中のプレ企画から参加。)

トークテーマ：コロナ禍での大学生活

参加者数(運営スタッフ4名を含む)：39名 (事前申し込みでは46名)

[内訳]

学内学生…15名(1年生13名, 2年生2名)

人文4, 人発1, 理1, 工2, 芸文5, 都市2

学内教員…3名

学内職員…1名

他大学学生…6名(東京大学大学院, 岡山大学, ロシア クバン国立大学4名)

他大学教員…5名(金沢大学, 桜美林大学, 京都情報大学院大学, 京都精華大学,
ロシア クバン国立大学)

他大学職員…4名(福井大学, 金沢星稜大学, 文教大学, 摂南大学)

市民……………5名(富山県総合教育センター, 私立大学チューター, 3つのNP0)

《概要》

Zoom のブレイクアウト機能を活用し、オンライン開催ではあるものの数人ずつのグループ討議を活発に行った。コロナ禍での遠隔授業中心という異例のスタートとなった1年生が戸惑う様子が伺えたが、参加した上級生や教職員・市民からの激励を受け、今後の大学生活に期待する場面もあった。ロシアから参加してくれた学生たちからはクバン大学に関するミニ報告もあり、日本と同様のコロナ禍でのロシアの大学教育の現状の様子なども知ることができ、例年にはない話題の広がりもあった。

【開催ポスター】

**大学教育と生活について
話し合う学生企画イベント**

第11回UDトーク
オンライン開催

メイントーク：
午後1時～ オンライン授業について話し合ってみよう！
プレトーク：
午前10時～ 友達の輪を増やそう！（主に学生）

対象：学生、教職員、市民

途中参加・途中退室も可

日時 9月26日(土)午前10:00～午後5:00

形式：Zoom
右のQRコードから入れる 구글フォームで
ご案内します
問い合わせ：vhashi@ctg.u-toyama.ac.jp
(責任教員 橋本)

参加申し込みは、下記URLからも入れます 主催：富山大学UD Mates
グーグルフォーム：<https://onl.tw/vmjzwF2> 協力：教育推進センター

5. 全学におけるアンケート結果

DP達成度調査実施

調査の目的

入学時からこれまでの教育成果を検証するため、全学部の学生(最終学年を除く。)に対し、学年末において裏面の項目についての調査を実施することになりました。

これは、皆さんが、DP(ディプロマ・ポリシー:学位授与方針)に掲げる能力をどの程度身に付けることができたかを調査するためのものです。

皆さんはこの調査への回答を通して、自ら評価し、これまでの本学での学修を振り返って、今後の計画的な履修を行ってもらいたいと思います。

なお、皆さんからの回答は、学部・学科・学年毎に集計を行い、能力達成状況の把握を行うとともに、カリキュラム改善等に活用します。

回答方法

本学の学習支援システム「Moodle」から回答してください。

(本学トップページ)→「在学生・教職員の方」→「Moodle」

<https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php> (学外からもアクセス可)

ログイン後、「DP 達成度調査 2019」をクリックし、回答願います。

※ログイン時のパスワードは、本学情報システム(PC やヘルンシステム等)の利用時と同様です。

ユーザ ID(例) s1812345.ems

スマホからの回答は
こちらから願います



回答期限

令和2年 月 日 17:00まで

留意事項

最終学年以外は、原則として全員が回答することとしますので調査への御協力をお願いします。

なお、未回答の方については、提出期限後に指導教員等を通じて調査回答依頼を行う予定です。

[お問い合わせ]

所属学部の教務担当または学務部学務課修学支援チーム

E-mail: j-gakumu@adm.u-toyama.ac.jp

※裏面は参考として回答項目を掲載

入学からこれまでの教育によって、DP（ディプロマ・ポリシー：学位授与方針）に掲げる以下の能力をどの程度身に付けることができたのかを回答してください。

- 1) 課題や問題を自ら解決する能力
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 2) 組織や社会の一員として責任を持って行動する能力
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 3) 他者と協力し合うコミュニケーション能力
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 4) 口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 5) 母語以外の外国語（英語など）の語学力（聞く、話す、読む、書く）
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 6) 国際的な視点で考えることや国際的な感覚
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 7) 教養教育等による幅広い知識
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 8) 専門教育による深い専門知識・技能
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 9) 幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 10) 地域を志向する意識（富山を通して、地域社会における諸課題を理解し、貢献しようとする意識）
 1. 十分身に付けることができた
 2. ある程度身に付けることができた
 3. あまり身に付けることができなかった
 4. 全く身に付けることができなかった
- 11) 本学での学生生活で得られたこと、あるいは得られなかったことについて、思うところがあれば自由にお書きください。

御回答ありがとうございました。

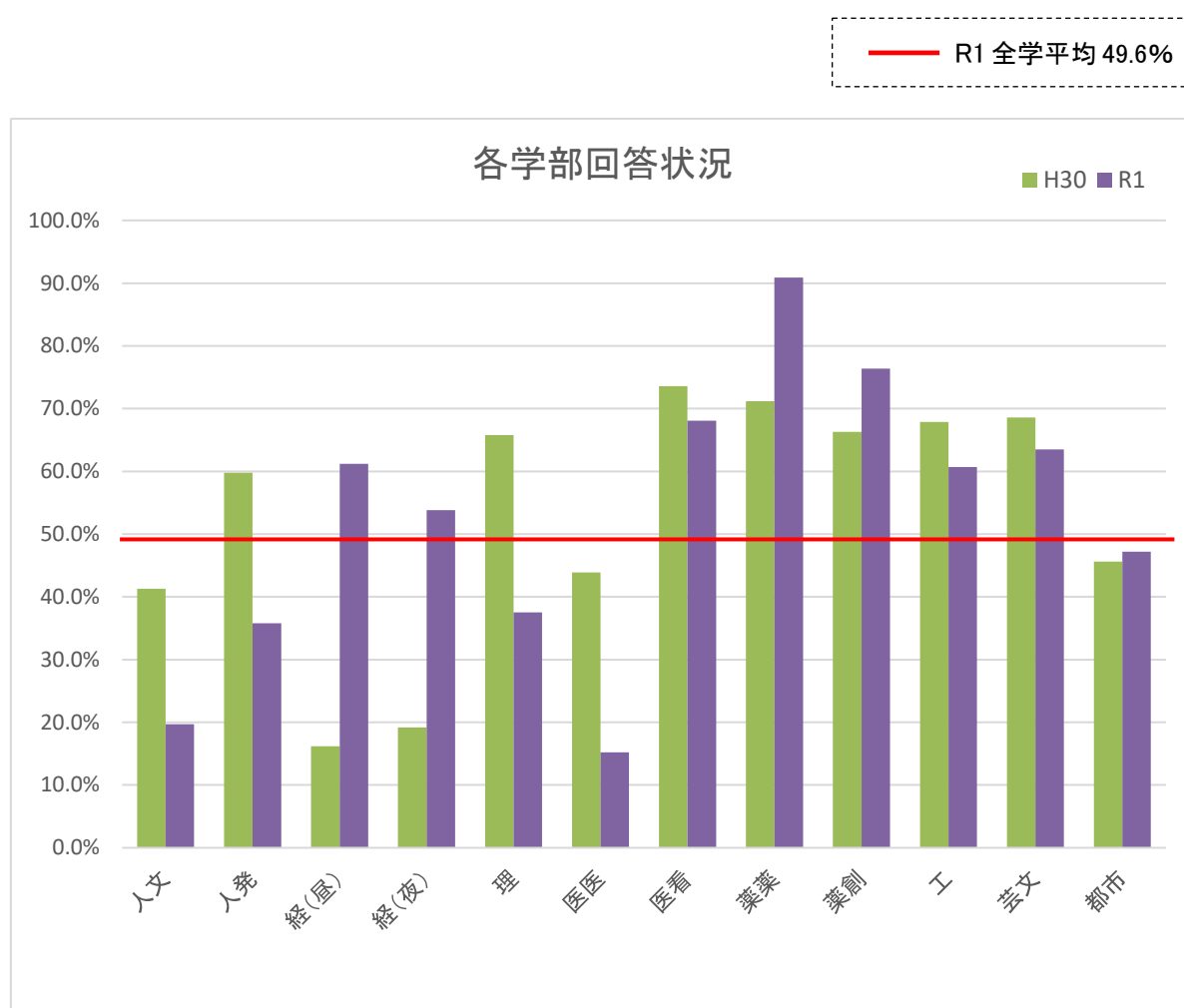
令和元年度DP達成度調査実施結果

実施時期：令和2年1月下旬～4月末（※一部の学部・学科においては、5月中旬に実施）

対象学年：最終学年を除く全学年（対象学生数：5891人）

実施方法：Moodleによる回答

回答学生数：2923人（回答率49.6%）



学部名	学科名	学年	学生数	学部学生数	回答数	学部回答数	回答率	学部回答率
人文学部	人文学科	1	174	543	62	107	35.6%	19.7%
人文学部	人文学科	2	181		33		18.2%	
人文学部	人文学科	3	188		12		6.4%	
人間発達科学部	発達教育学科	1	82	528	38	189	46.3%	35.8%
人間発達科学部	発達教育学科	2	85		42		49.4%	
人間発達科学部	発達教育学科	3	83		28		33.7%	
人間発達科学部	人間環境システム学科	1	91		29		31.9%	
人間発達科学部	人間環境システム学科	2	94		31		33.0%	
人間発達科学部	人間環境システム学科	3	93		21		22.6%	
経済学部(昼間主)	経済学科	1	128	983	72	602	56.3%	61.2%
経済学部(昼間主)	経済学科	2	127		78		61.4%	
経済学部(昼間主)	経済学科	3	141		74		52.5%	
経済学部(昼間主)	経営学科	1	100		66		66.0%	
経済学部(昼間主)	経営学科	2	99		69		69.7%	
経済学部(昼間主)	経営学科	3	120		73		60.8%	
経済学部(昼間主)	経営法学科	1	85		65		76.5%	
経済学部(昼間主)	経営法学科	2	86		51		59.3%	
経済学部(昼間主)	経営法学科	3	97		54		55.7%	
経済学部(夜間主)	経済学科	1	10	117	8	63	80.0%	53.8%
経済学部(夜間主)	経済学科	2	10		6		60.0%	
経済学部(夜間主)	経済学科	3	19		2		10.5%	
経済学部(夜間主)	経営学科	1	9		9		100.0%	
経済学部(夜間主)	経営学科	2	10		8		80.0%	
経済学部(夜間主)	経営学科	3	18		2		11.1%	
経済学部(夜間主)	経営法学科	1	10		10		100.0%	
経済学部(夜間主)	経営法学科	2	10		9		90.0%	
経済学部(夜間主)	経営法学科	3	21		9		42.9%	
理学部	数学科	1	49	650	36	244	73.5%	37.5%
理学部	数学科	2	46		12		26.1%	
理学部	数学科	3	62		9		14.5%	
理学部	物理学科	1	40		23		57.5%	
理学部	物理学科	2	41		9		22.0%	
理学部	物理学科	3	45		12		26.7%	
理学部	化学科	1	38		6		15.8%	
理学部	化学科	2	37		11		29.7%	
理学部	化学科	3	40		16		40.0%	
理学部	生物学科	1	37		21		56.8%	
理学部	生物学科	2	36		17		47.2%	
理学部	生物学科	3	39		9		23.1%	
理学部	地球科学科	3	45		15		33.3%	
理学部	生物圏環境科学科	1	30		18		60.0%	
理学部	生物圏環境科学科	2	31		14		45.2%	
理学部	生物圏環境科学科	3	34		16		47.1%	
医学部	医学科	1	108	541	4	82	3.7%	15.2%
医学部	医学科	2	117		29		24.8%	
医学部	医学科	3	109		47		43.1%	
医学部	医学科	4	104		1		1.0%	
医学部	医学科	5	103		1		1.0%	
医学部	看護学科	1	81	251	71	171	87.7%	68.1%
医学部	看護学科	2	82		24		29.3%	
医学部	看護学科	3	88		76		86.4%	
薬学部	薬学科	1	59	286	54	260	91.5%	90.9%
薬学部	薬学科	2	62		58		93.5%	
薬学部	薬学科	3	56		54		96.4%	
薬学部	薬学科	4	54		43		79.6%	
薬学部	薬学科	5	55		51		92.7%	
薬学部	創薬科学科	1	57	157	32	120	56.1%	76.4%
薬学部	創薬科学科	2	49		43		87.8%	
薬学部	創薬科学科	3	51		45		88.2%	

学部名	学科名	学年	学生数	学部学生数	回答数	学部回答数	回答率	学部回答率
工学部	電気電子システム工学科	2	5	1212		736	0.0%	60.7%
工学部	電気電子システム工学科	3	100		74		74.0%	
工学部	知能情報工学科	2	1		1		100.0%	
工学部	知能情報工学科	3	90		80		88.9%	
工学部	機械知能システム工学科	2	6		4		66.7%	
工学部	機械知能システム工学科	3	105		59		56.2%	
工学部	生命工学科	2	4				0.0%	
工学部	生命工学科	3	52		23		44.2%	
工学部	環境応用化学科	2	1				0.0%	
工学部	環境応用化学科	3	54		33		61.1%	
工学部	材料機能工学科	2	4		1		25.0%	
工学部	材料機能工学科	3	54		10		18.5%	
工学部	工学科	1	374		244		65.2%	
工学部	工学科	2	362		207		57.2%	
芸術文化学部	芸術文化学科	1	117	337	92	214	78.6%	63.5%
芸術文化学部	芸術文化学科	2	112		83		74.1%	
芸術文化学部	芸術文化学科	3	108		39		36.1%	
都市デザイン学部	地球システム科学科	1	42	286	19	135	45.2%	47.2%
都市デザイン学部	地球システム科学科	2	40		7		17.5%	
都市デザイン学部	都市・交通デザイン学科	1	41		20		48.8%	
都市デザイン学部	都市・交通デザイン学科	2	40		28		70.0%	
都市デザイン学部	材料デザイン工学科	1	68		37		54.4%	
都市デザイン学部	材料デザイン工学科	2	55		24		43.6%	
				5891		2923		49.6%
文系				2508		1175		46.9%
理系				3383		1748		51.7%

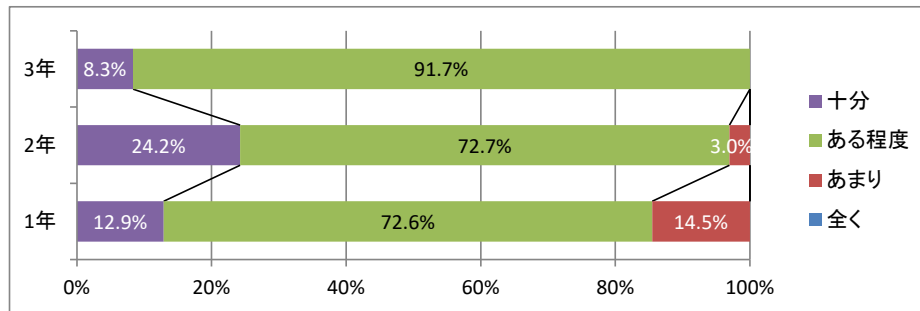
※学生数(休学者を除く。), 回答数は, R01年度における学年を基に集計。

令和元年度DP達成度調査各学部等集計結果

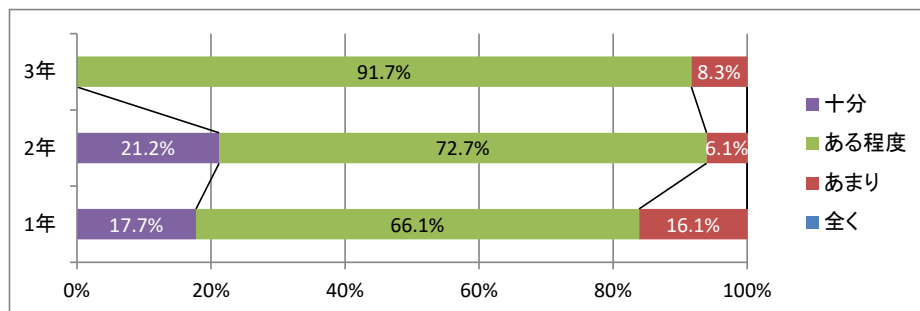
人文学部

DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

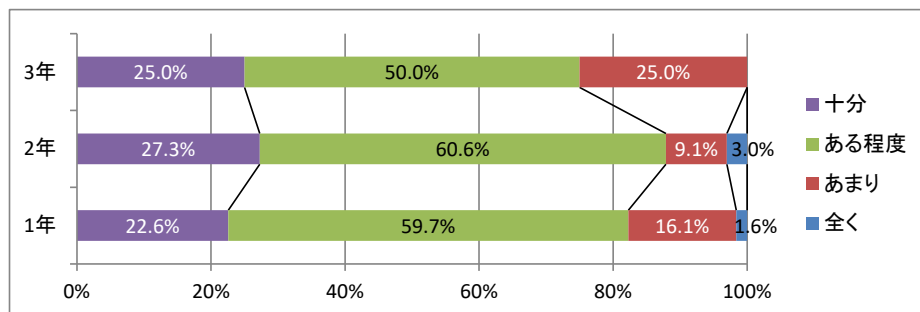
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



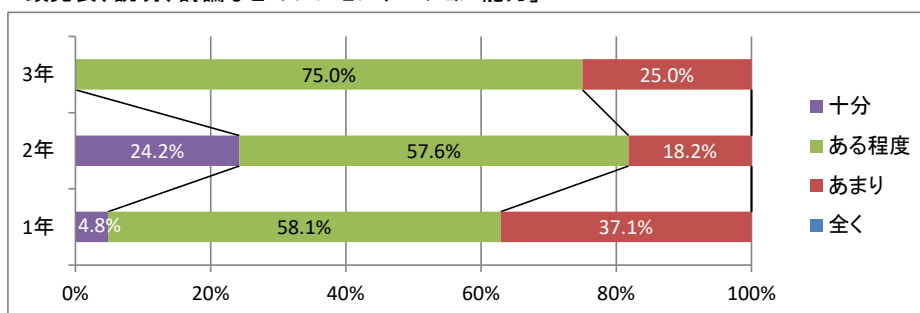
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



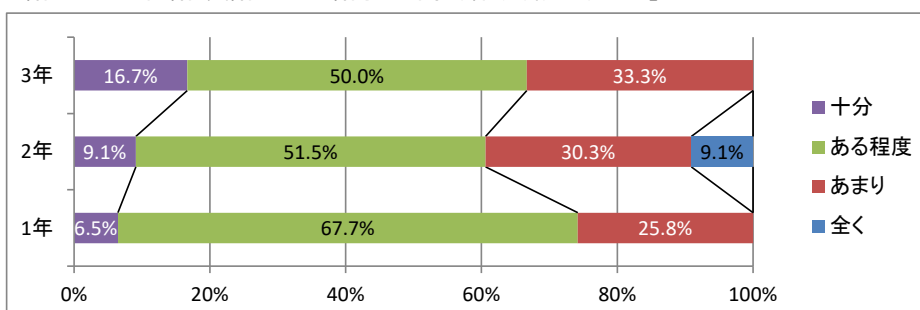
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



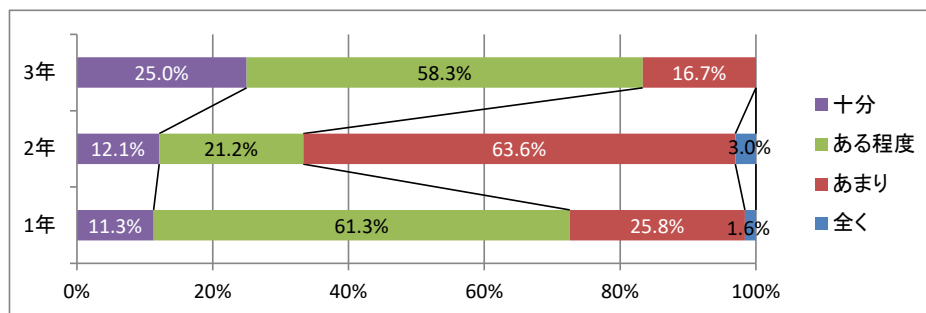
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



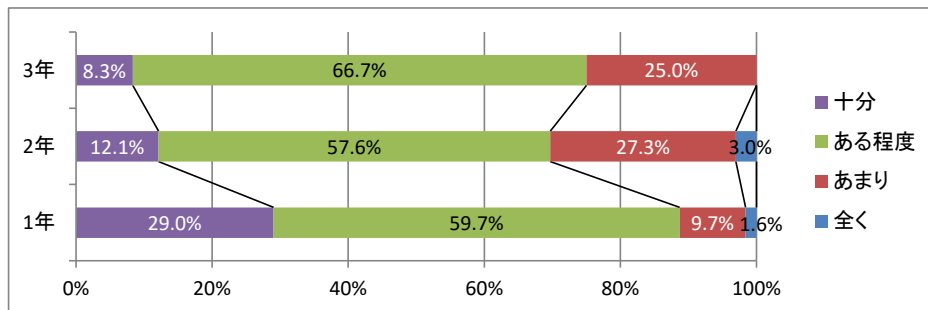
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



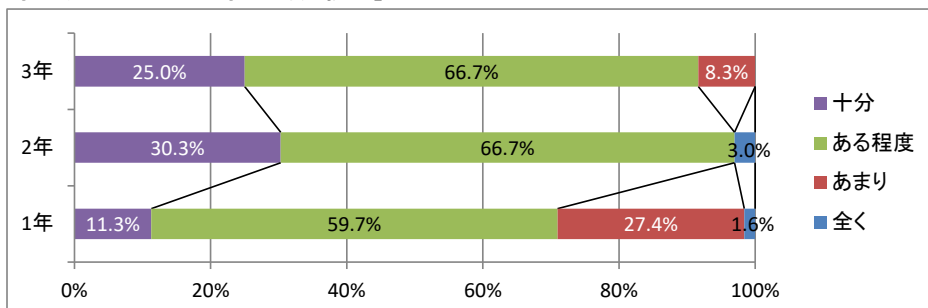
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



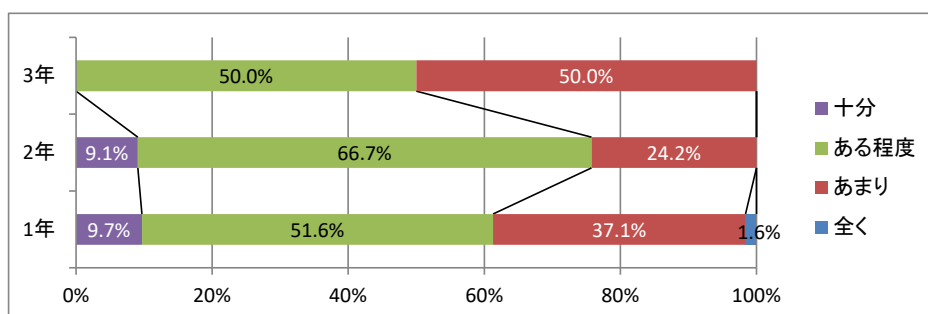
7)「教養教育等による幅広い知識」



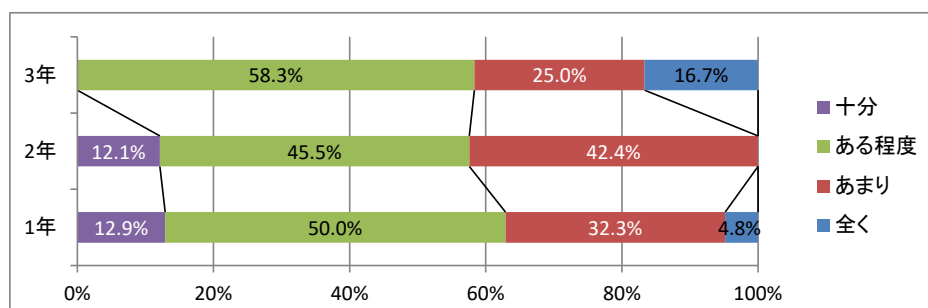
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

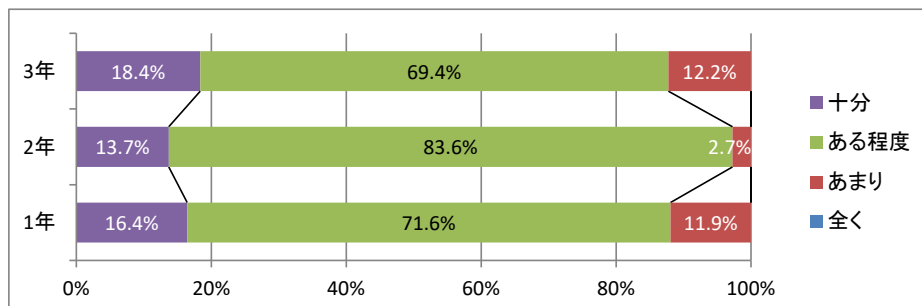


10)「地域を志向する意識」

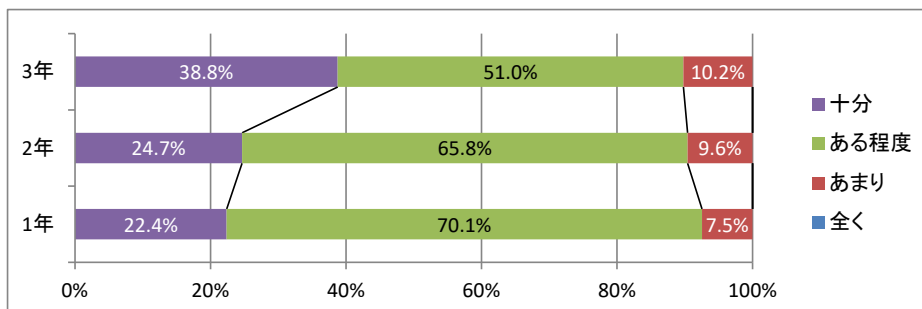


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

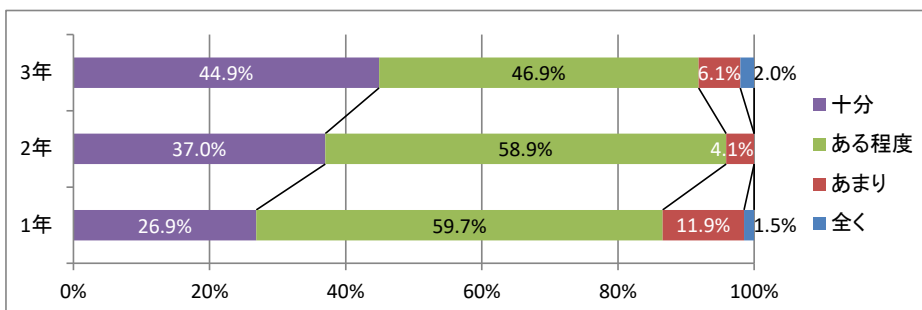
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



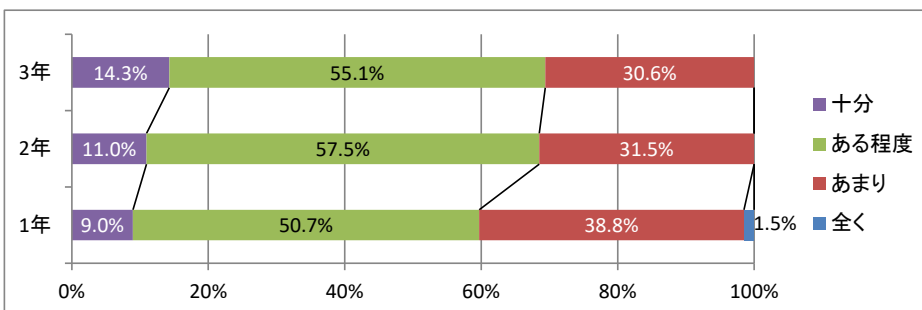
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



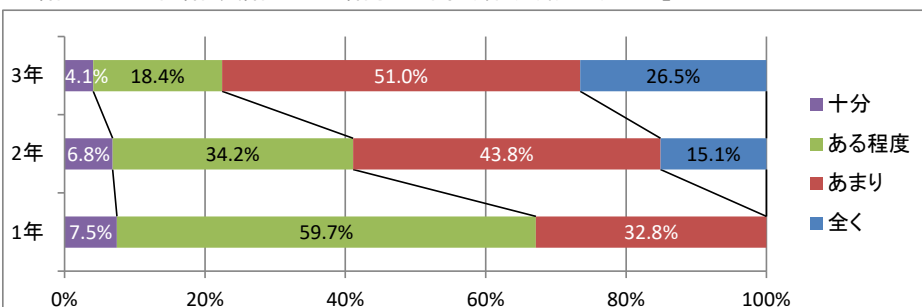
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



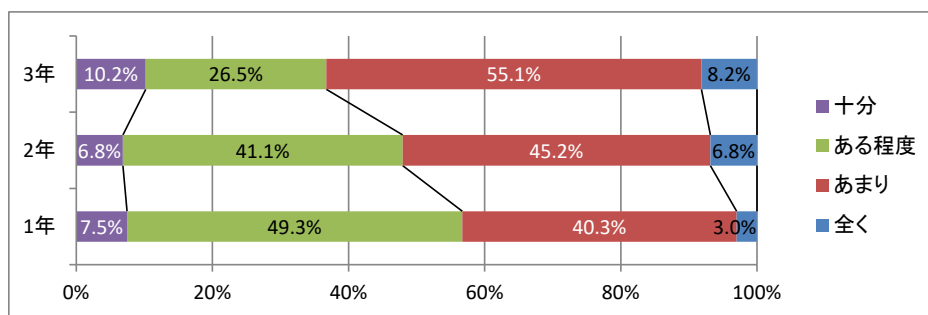
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



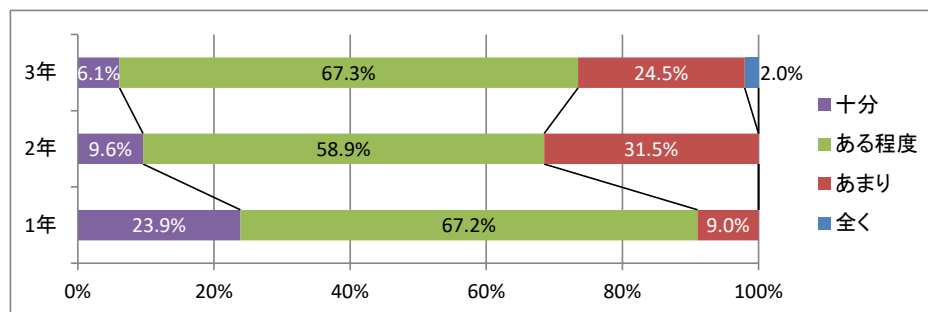
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



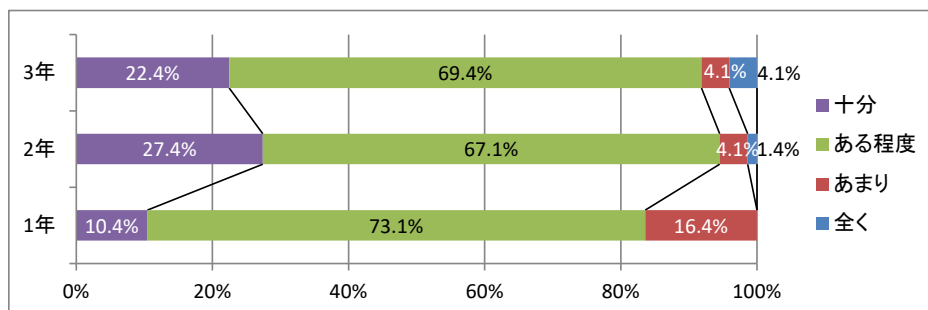
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



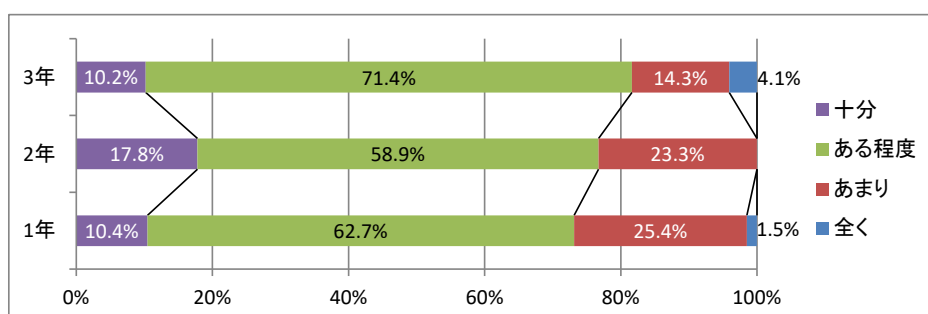
7)「教養教育等による幅広い知識」



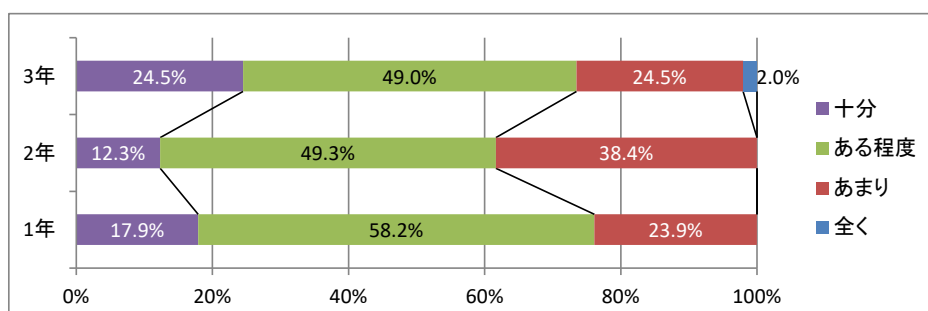
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」



10)「地域を志向する意識」

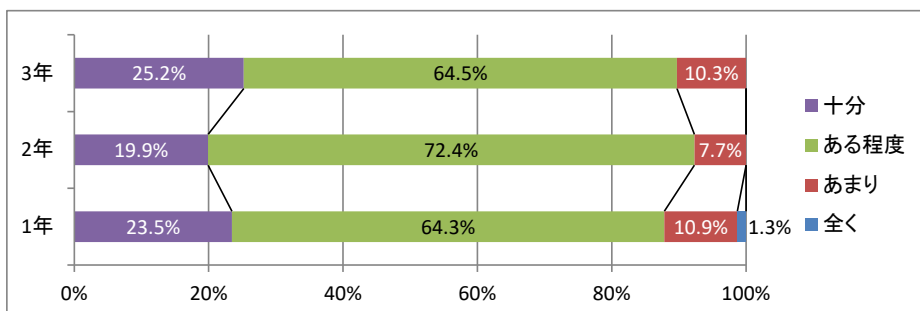


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

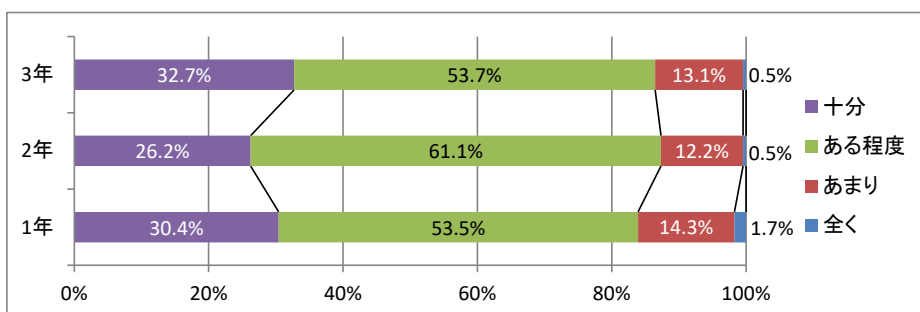
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



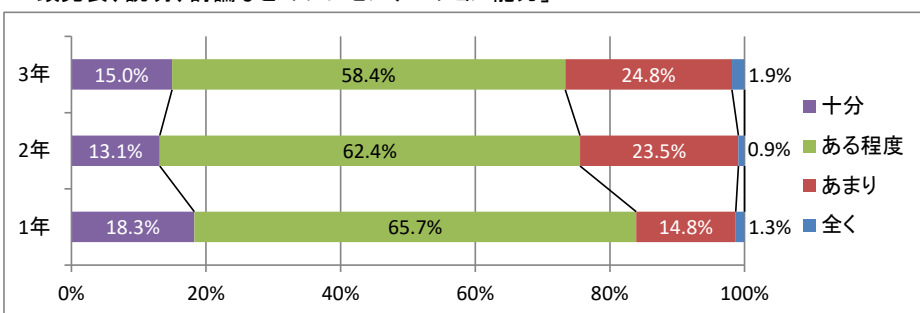
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



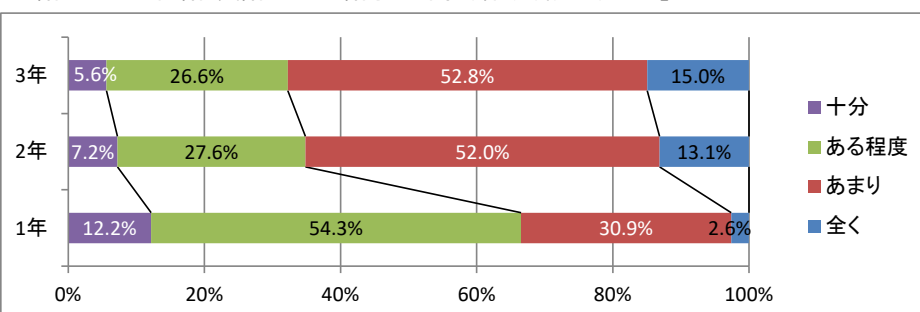
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



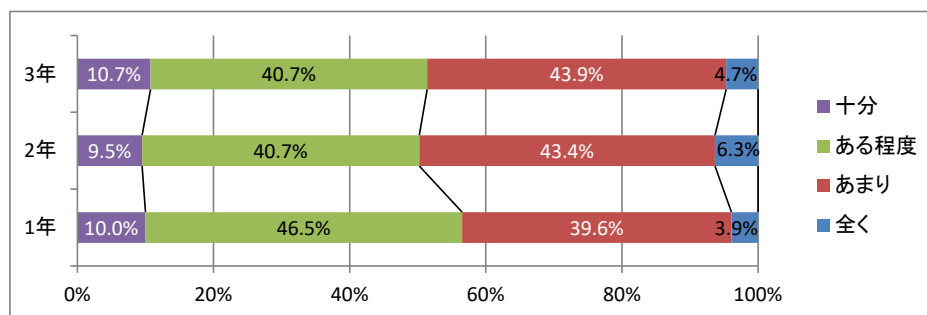
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



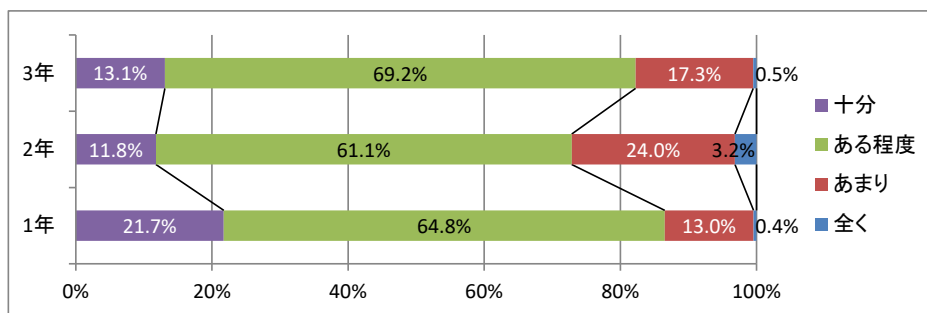
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



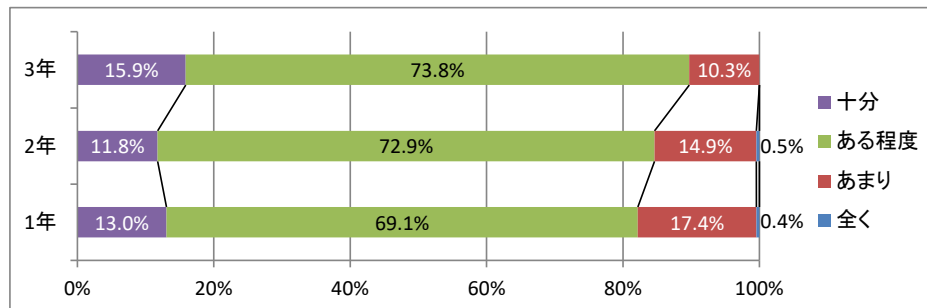
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



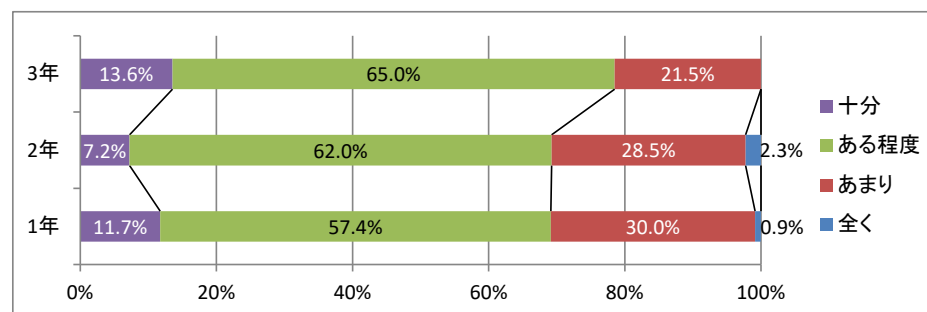
7)「教養教育等による幅広い知識」



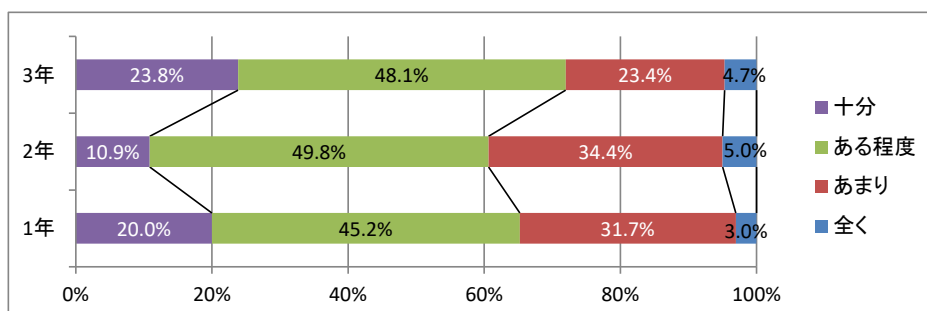
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

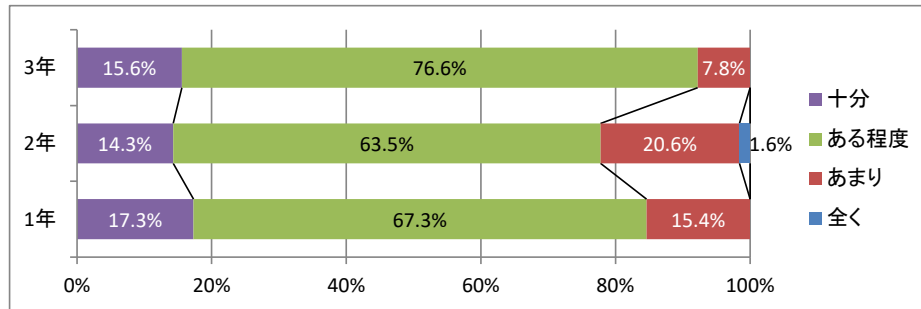


10)「地域を志向する意識」

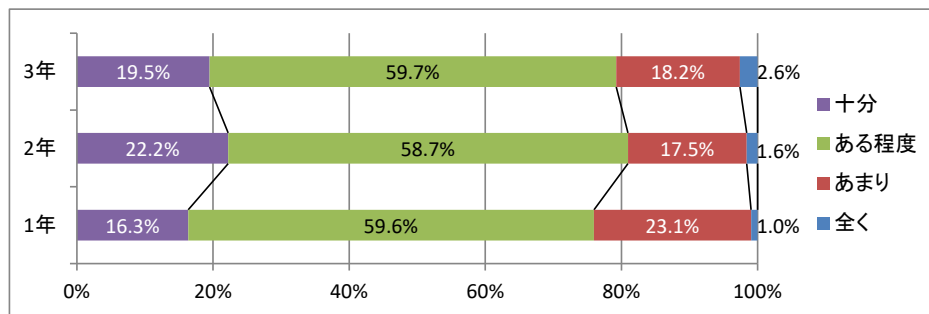


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

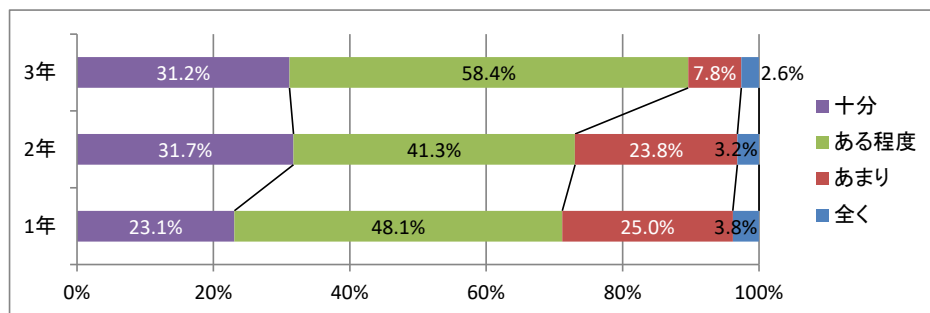
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



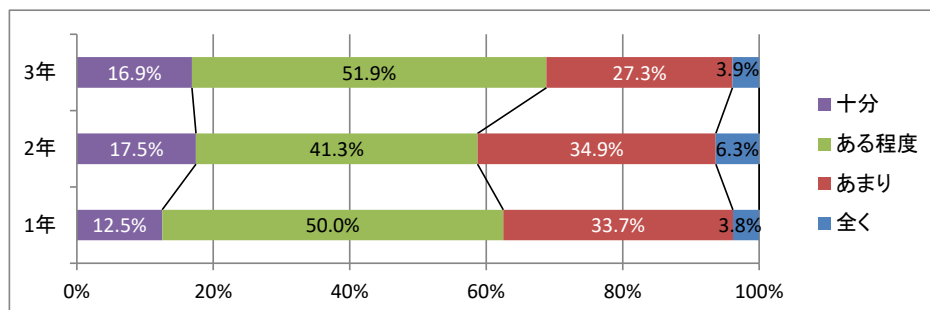
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



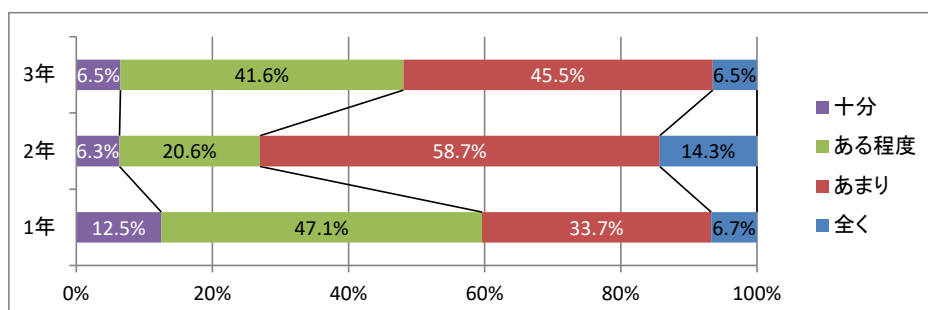
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



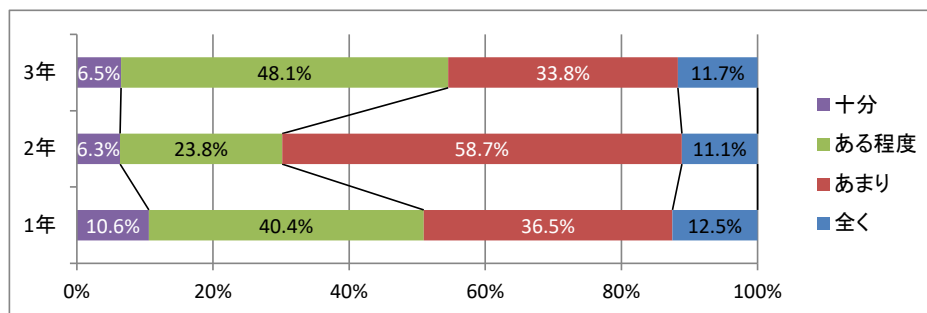
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



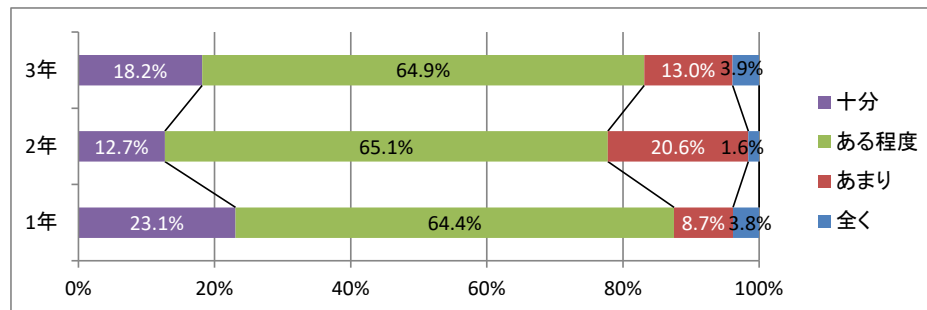
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



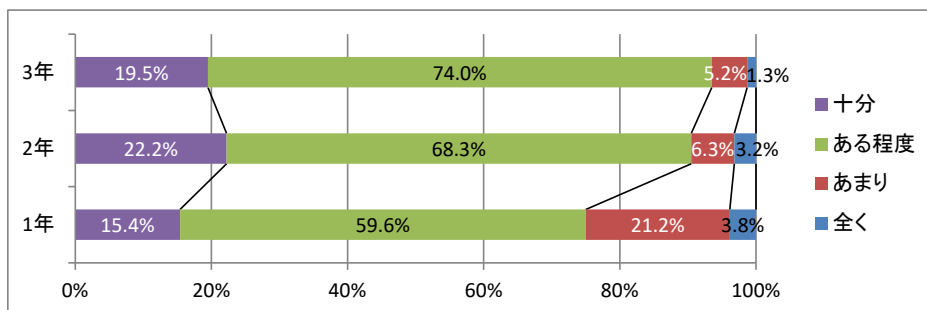
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



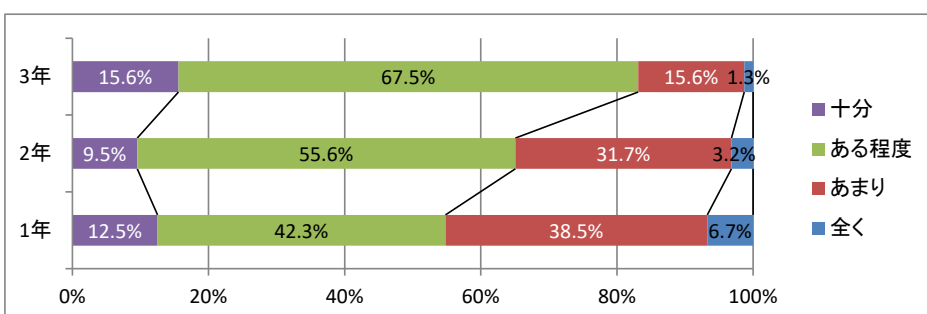
7)「教養教育等による幅広い知識」



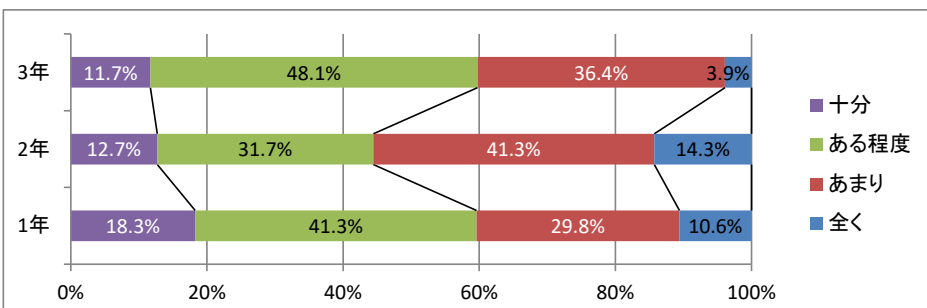
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

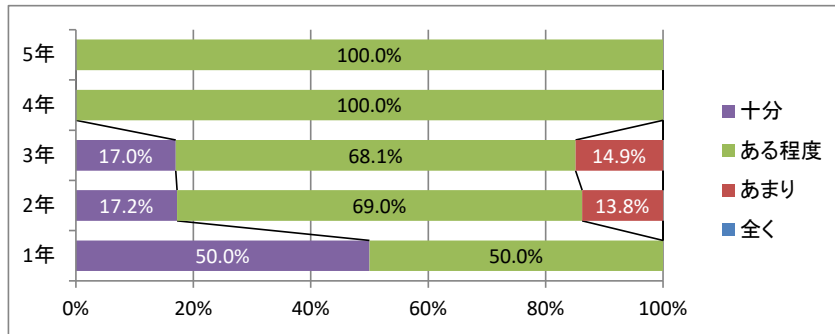


10)「地域を志向する意識」

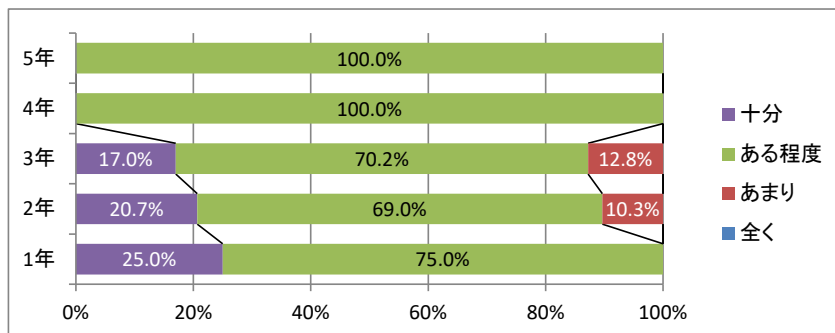


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

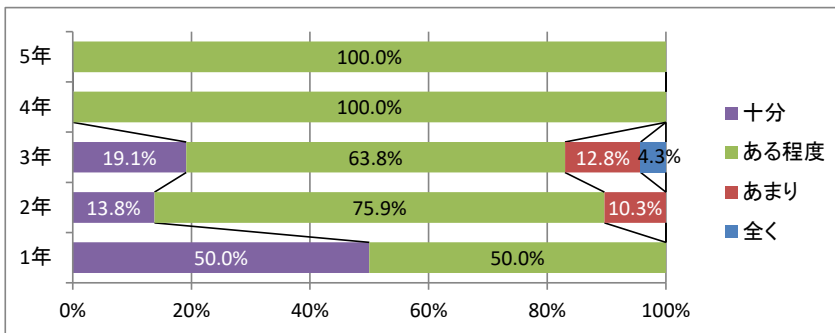
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



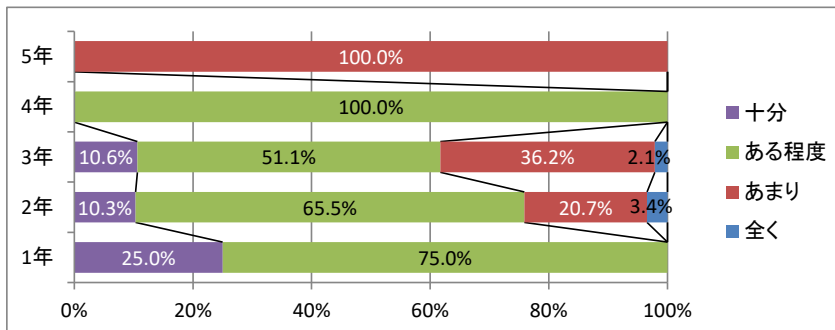
2)「課題や問題を自ら解決する能力」



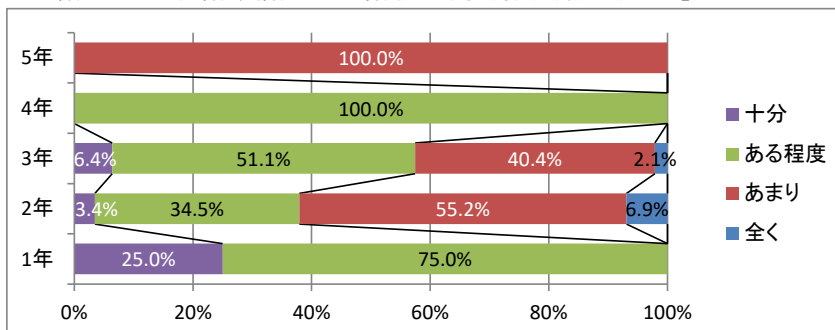
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



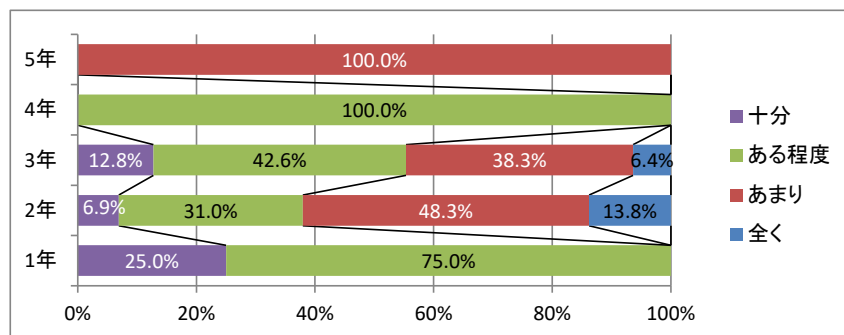
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



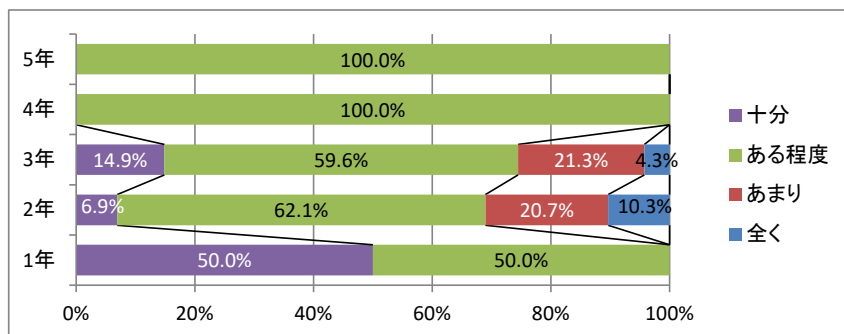
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



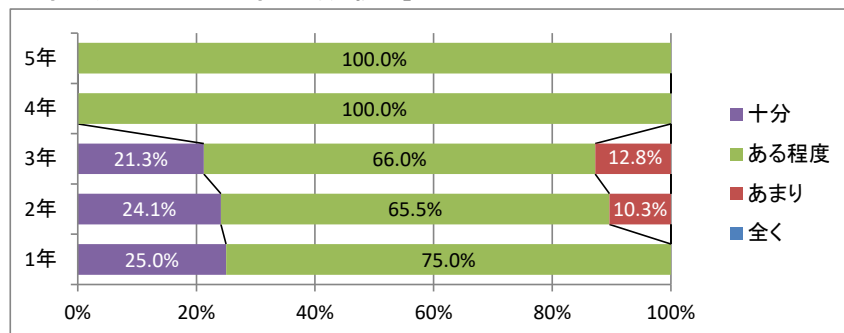
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



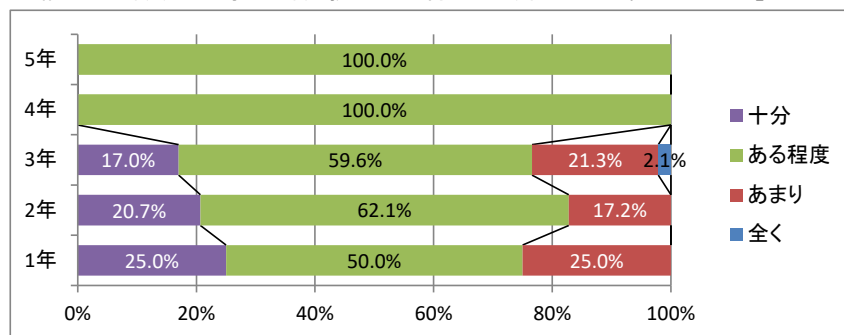
7)「教養教育等による幅広い知識」



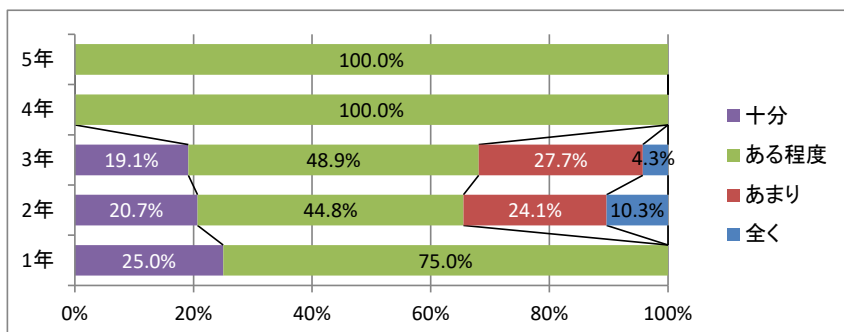
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

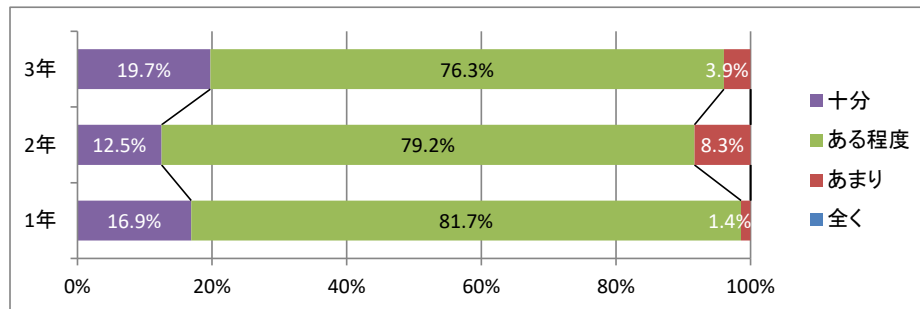


10)「地域を志向する意識」

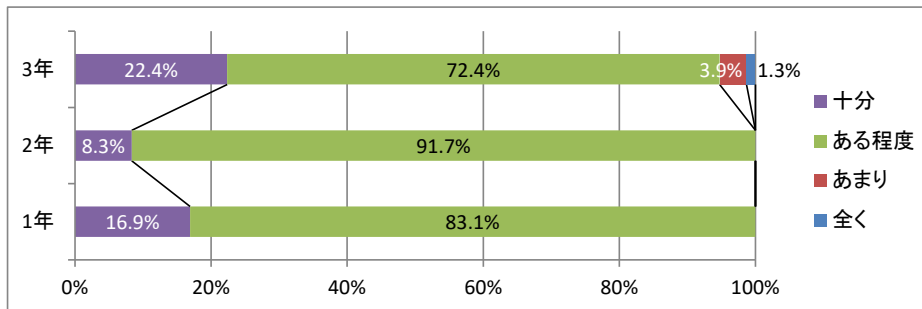


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

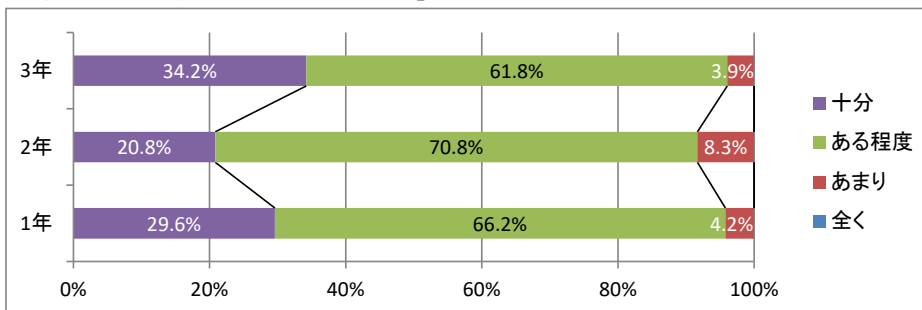
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



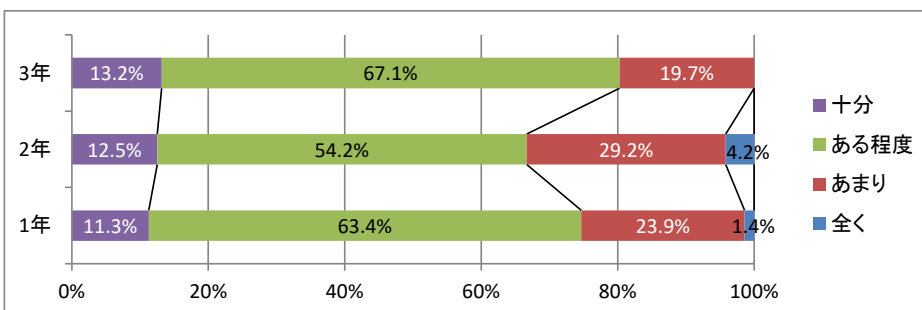
2)「課題や問題を自ら解決する能力」



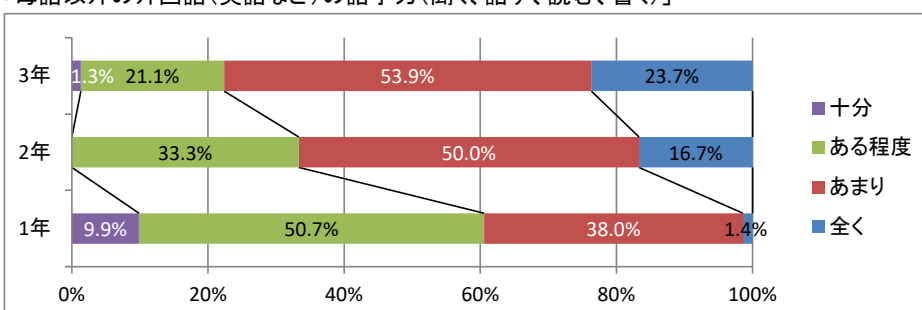
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



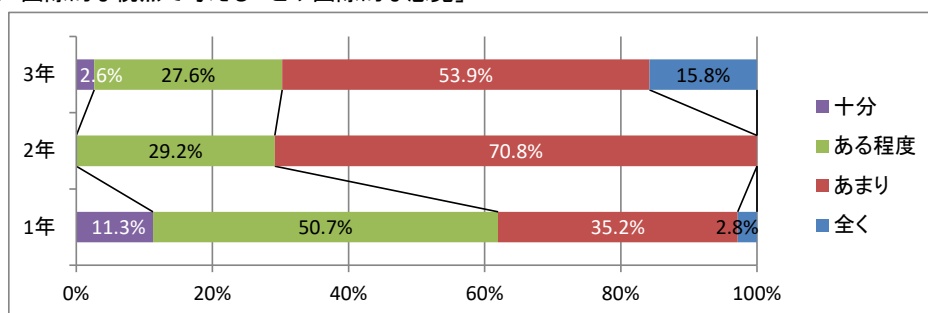
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



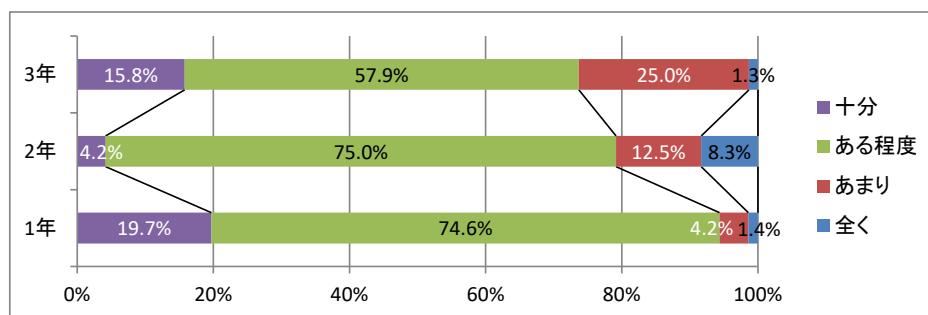
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



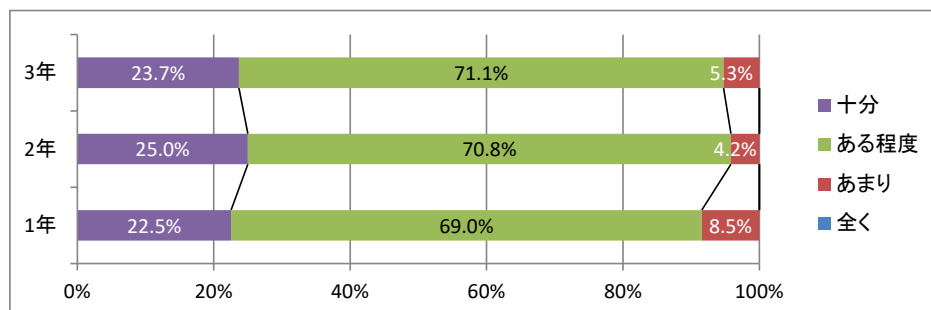
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



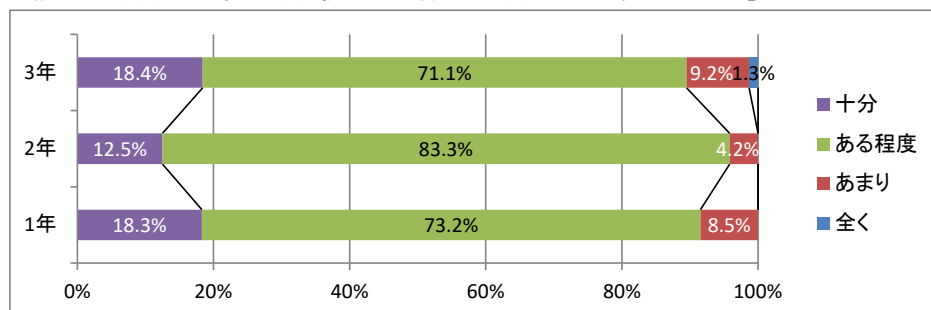
7)「教養教育等による幅広い知識」



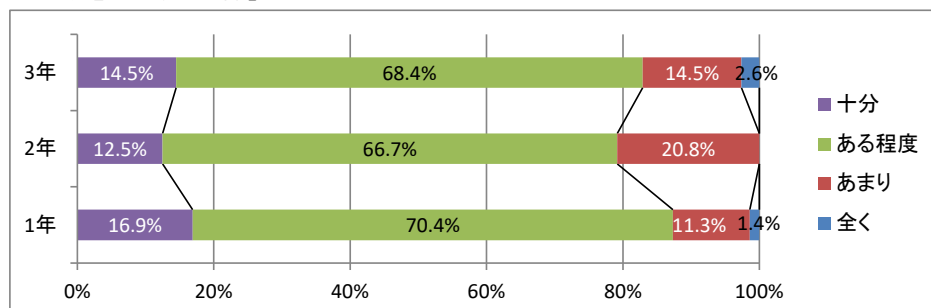
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

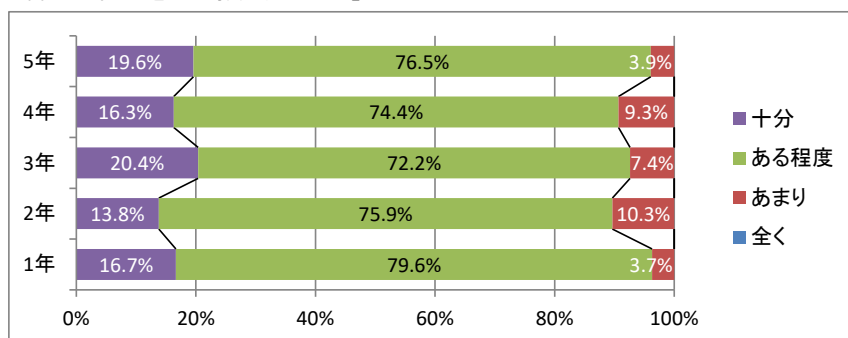


10)「地域を志向する意識」

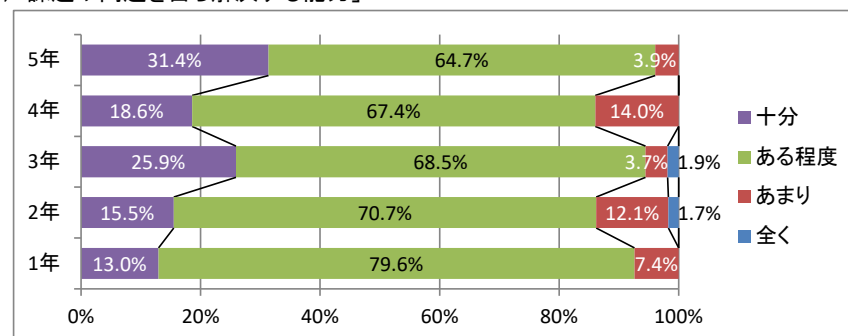


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

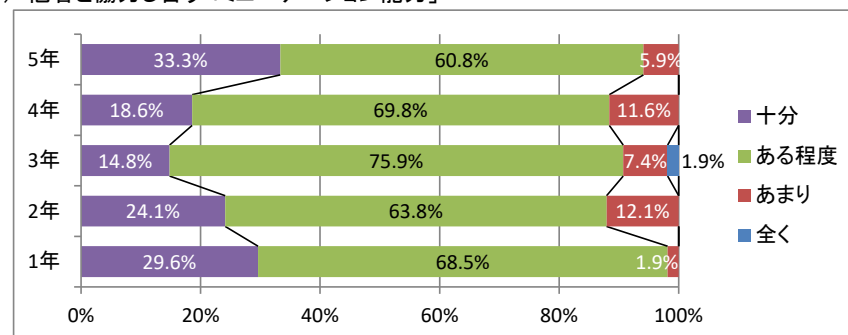
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



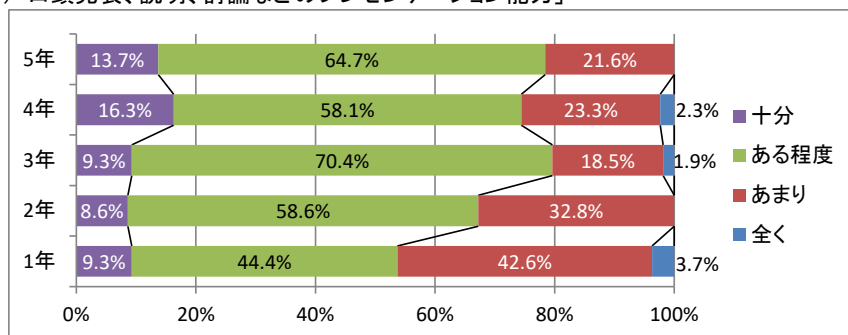
2)「課題や問題を自ら解決する能力」



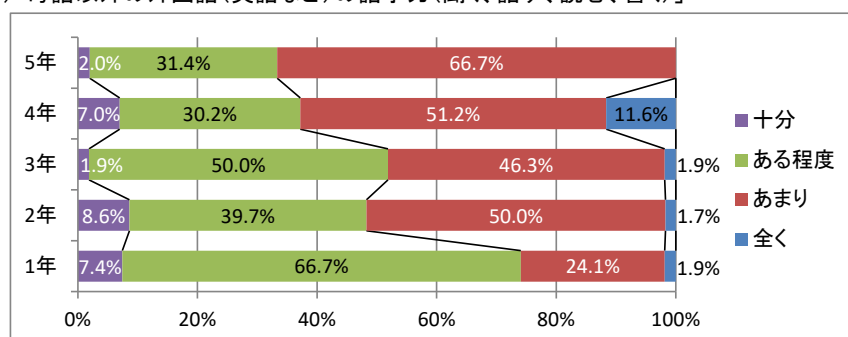
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



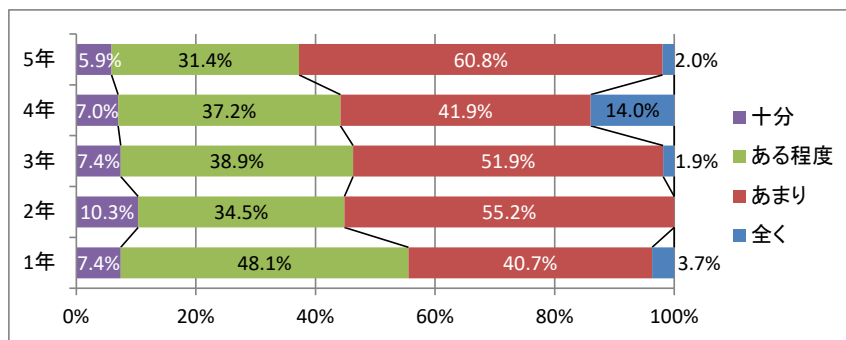
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



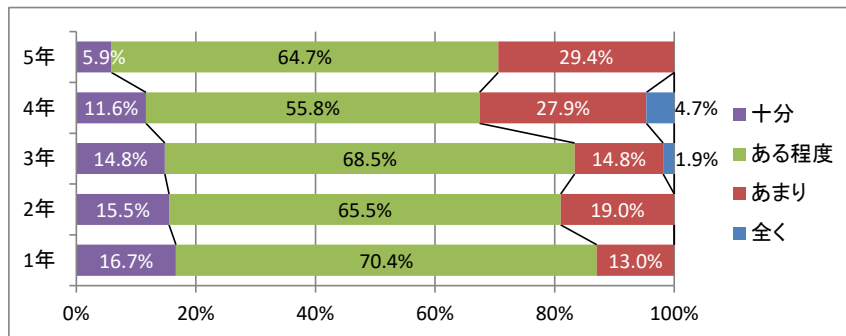
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



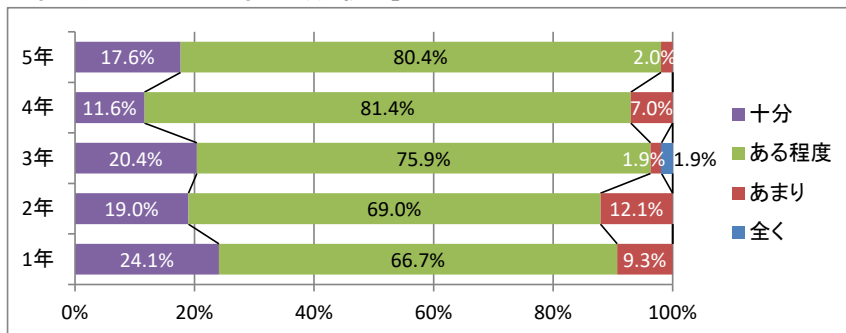
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



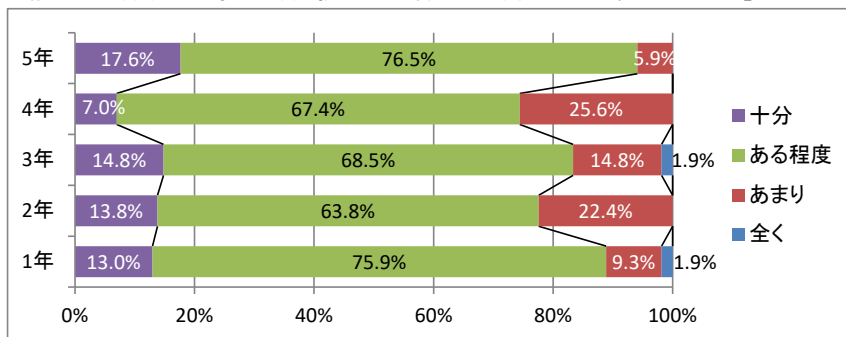
7)「教養教育等による幅広い知識」



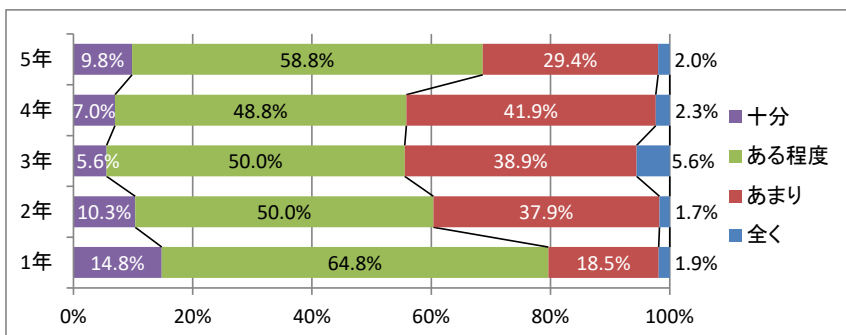
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

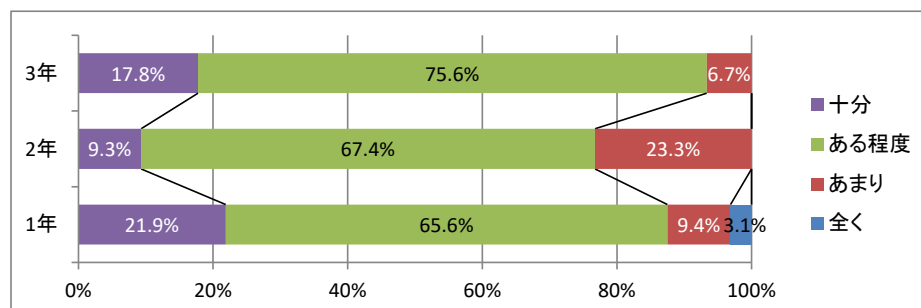


10)「地域を志向する意識」

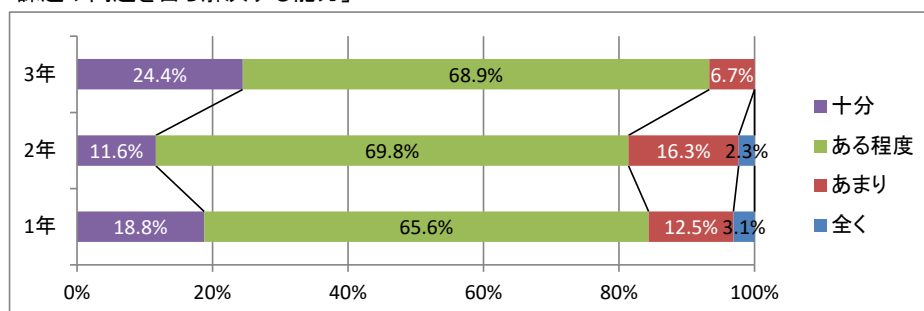


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

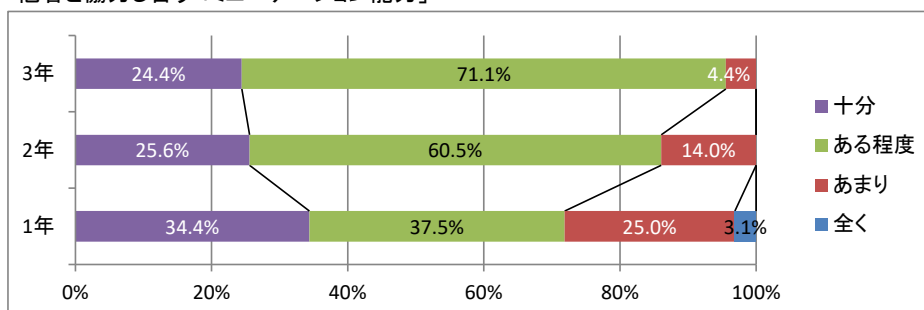
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



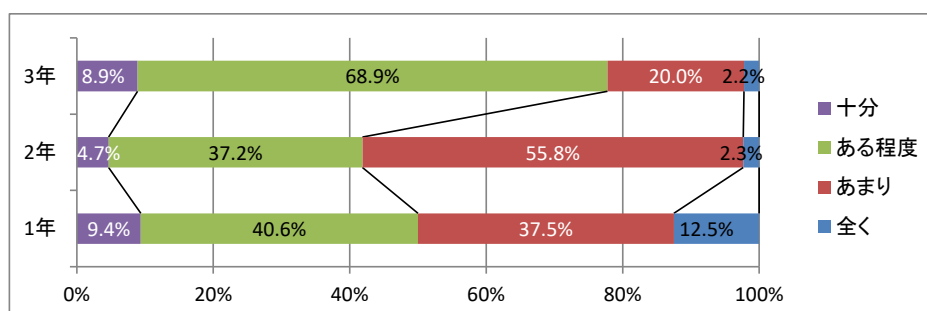
2)「課題や問題を自ら解決する能力」



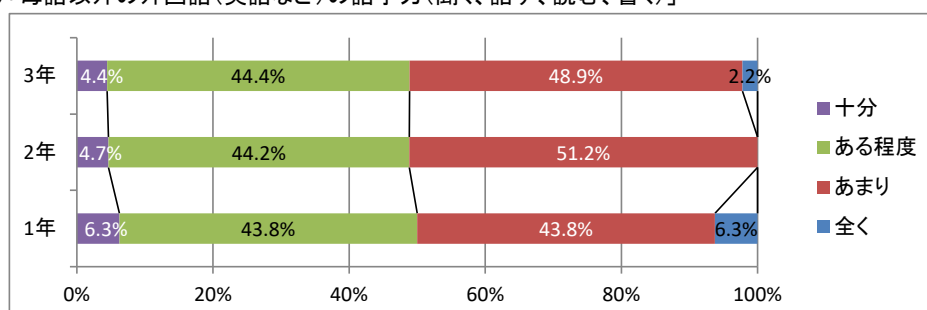
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



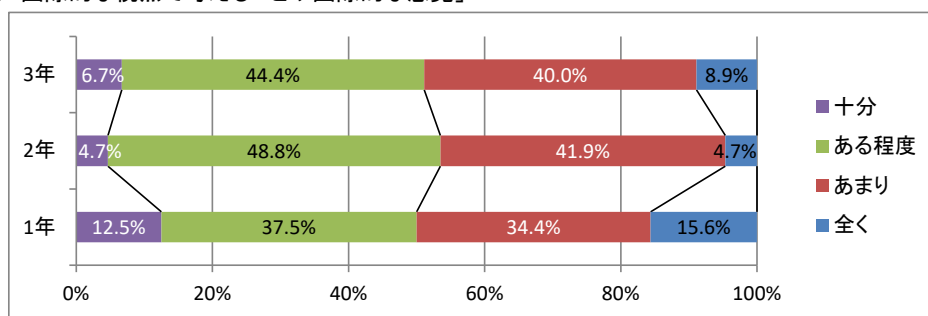
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



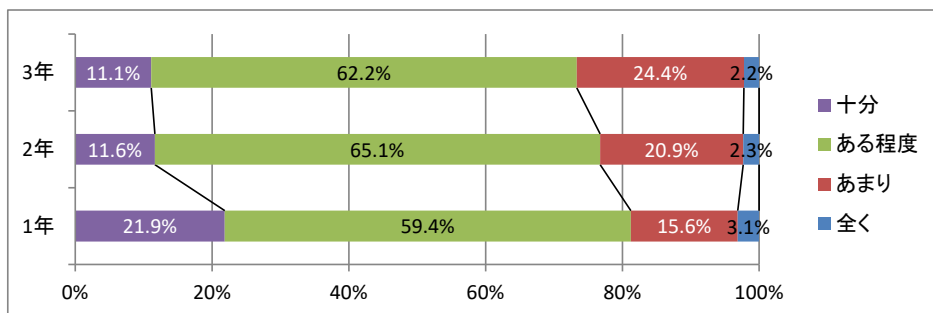
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



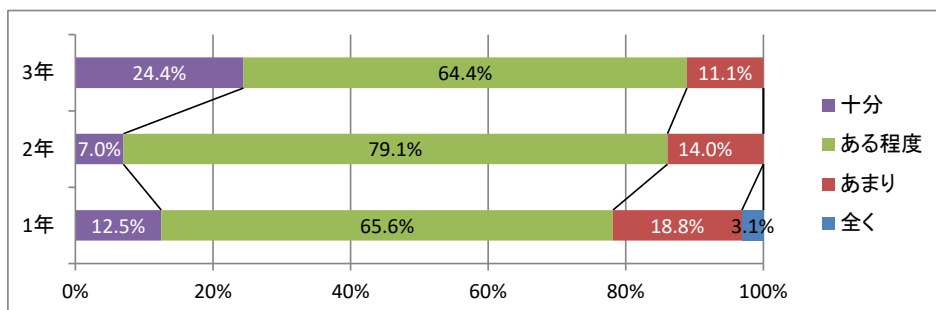
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



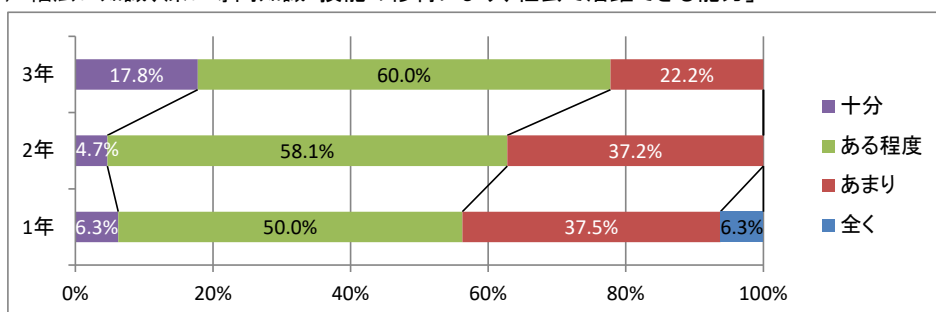
7)「教養教育等による幅広い知識」



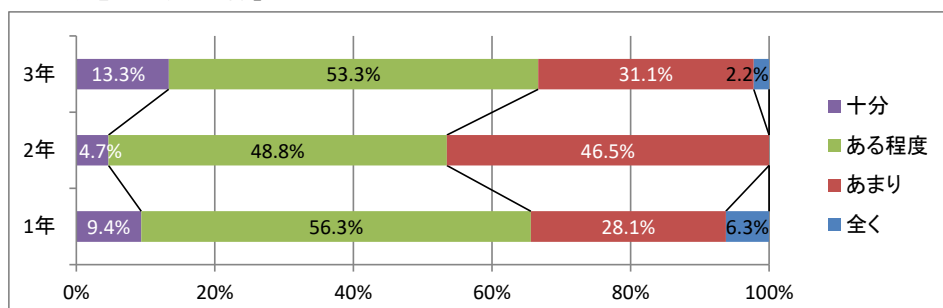
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」



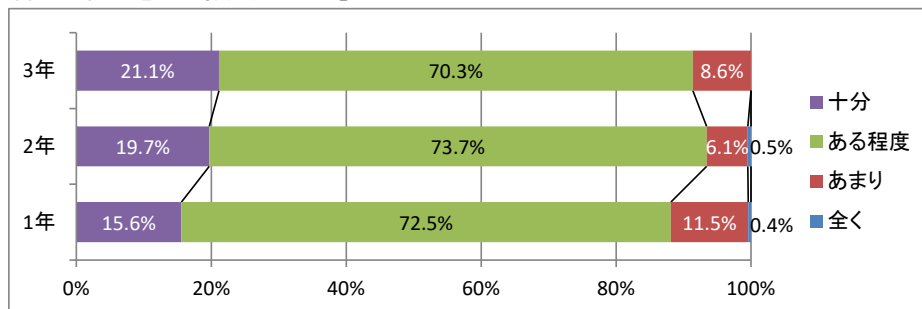
10)「地域を志向する意識」



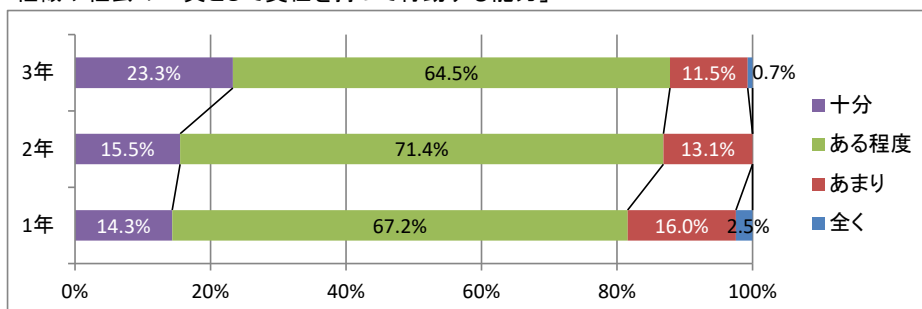
工学部

DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

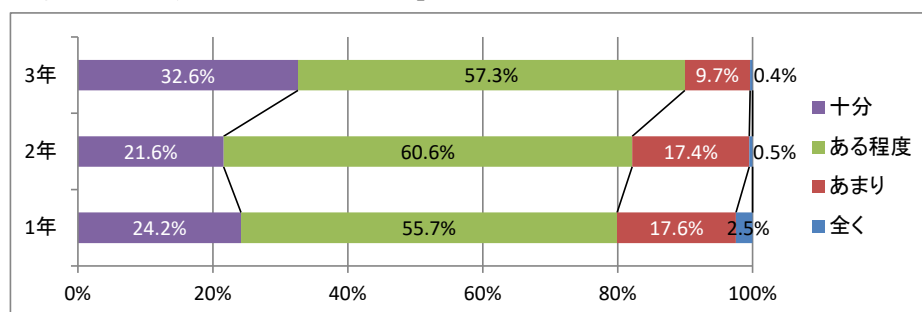
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



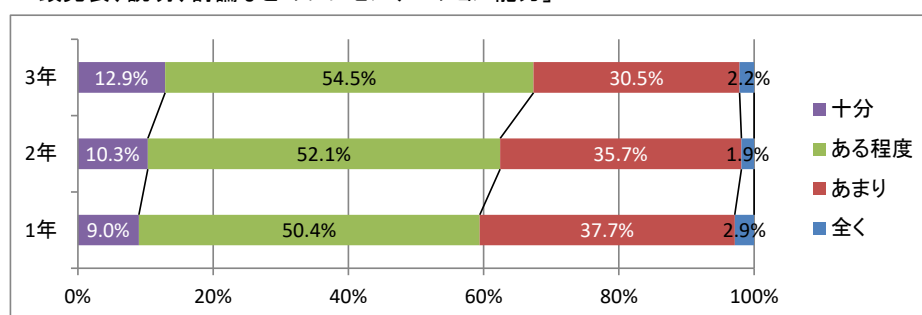
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



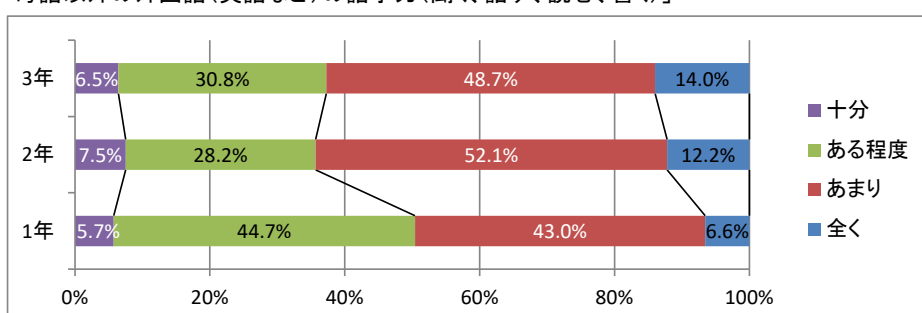
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



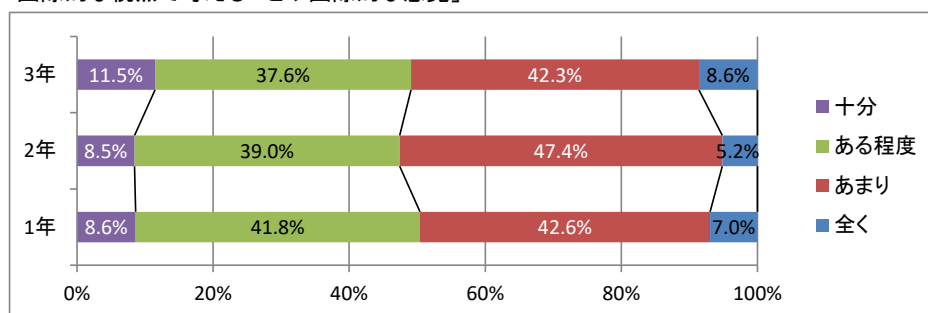
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



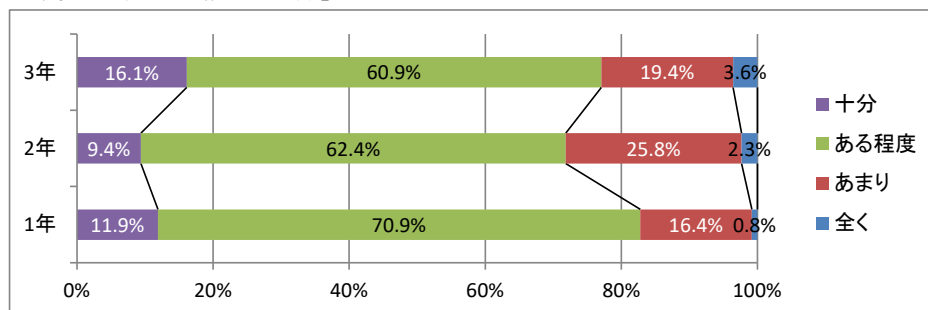
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



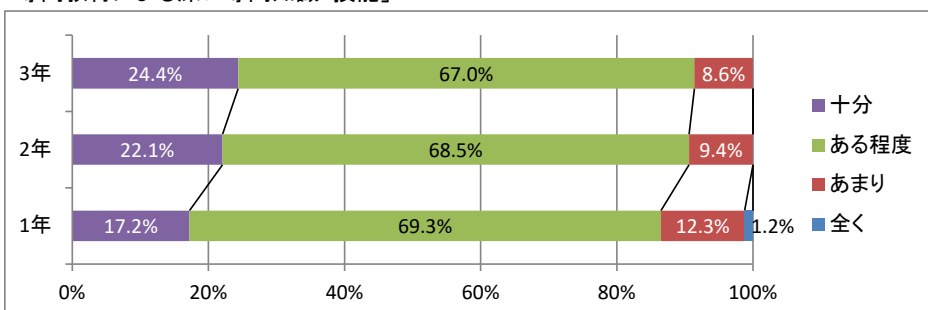
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



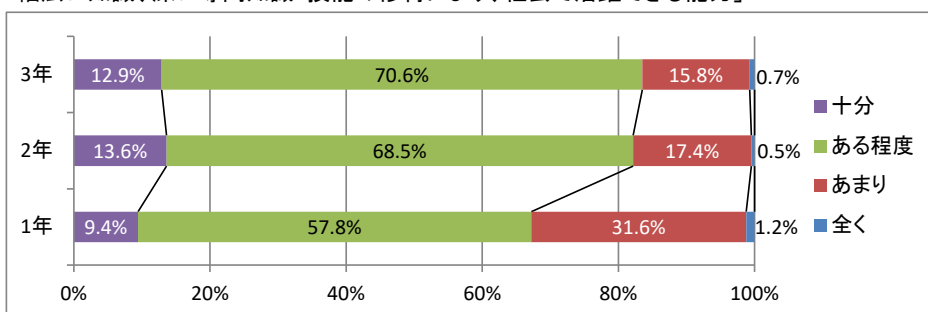
7)「教養教育等による幅広い知識」



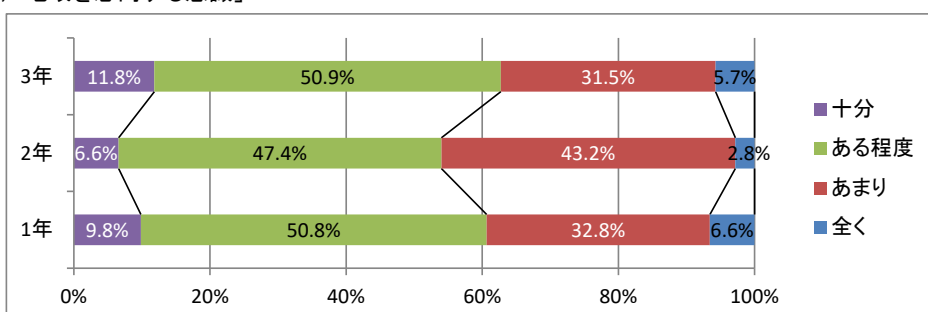
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

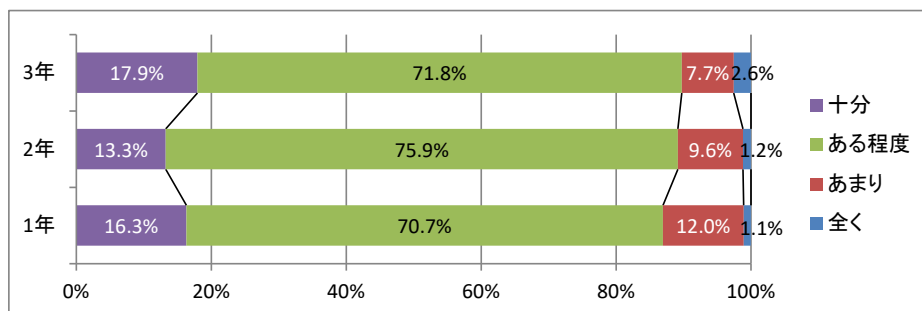


10)「地域を志向する意識」

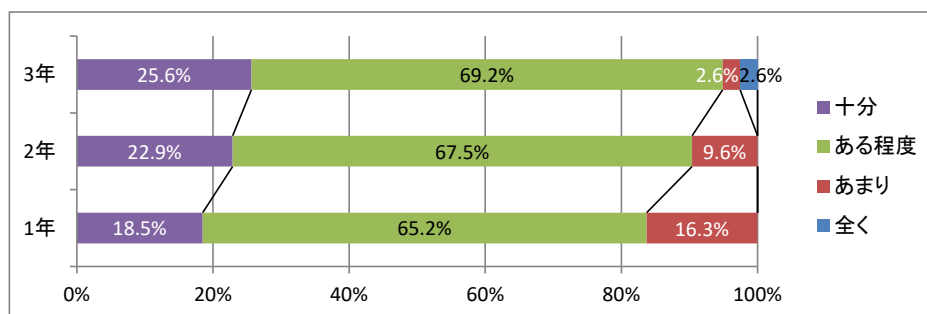


DPに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

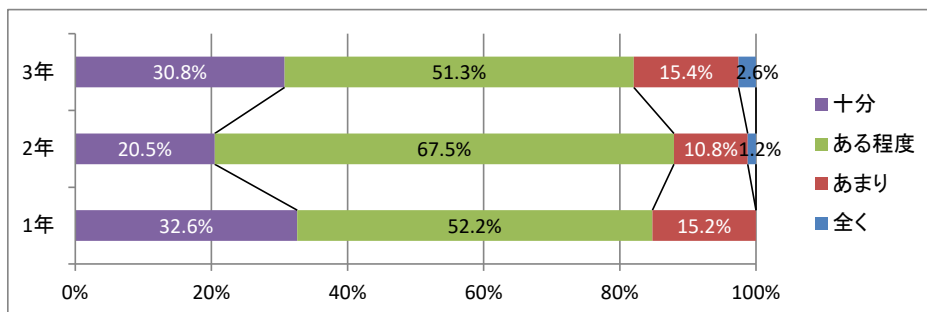
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



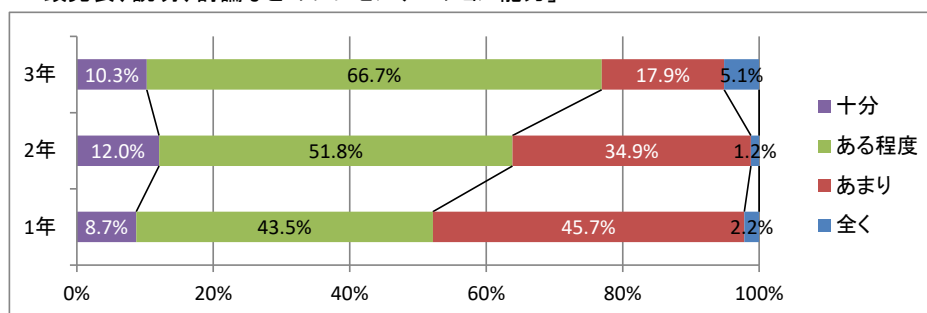
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



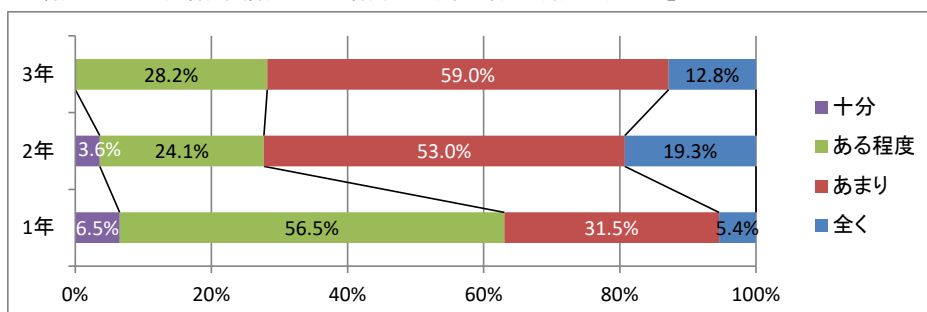
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



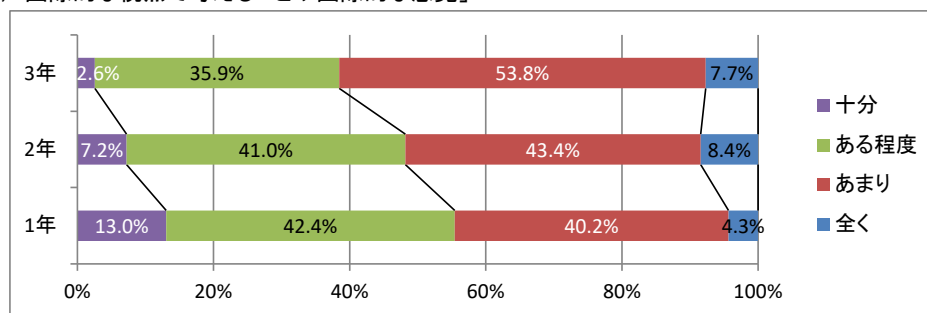
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



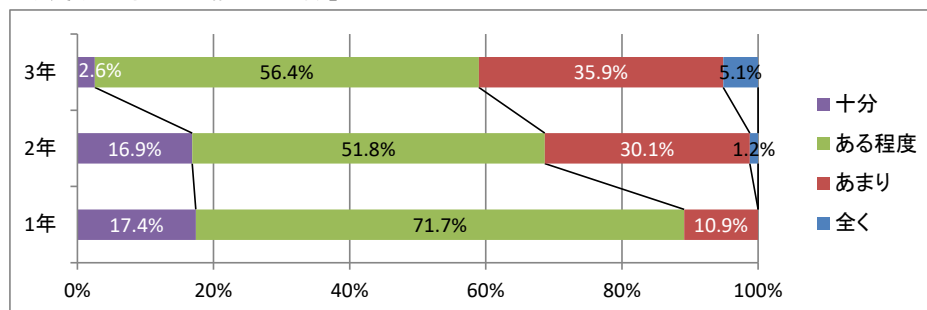
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



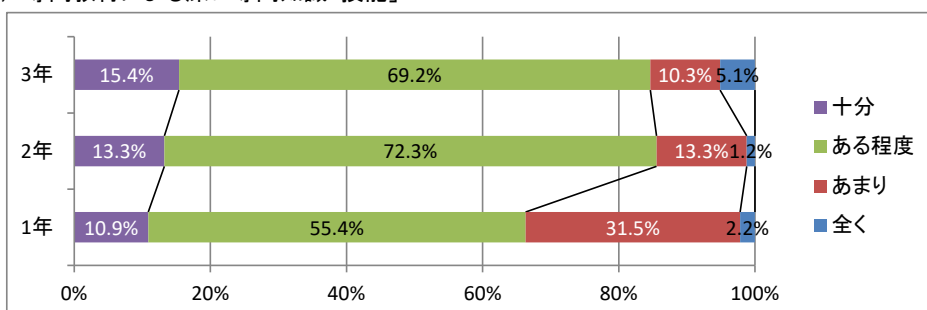
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



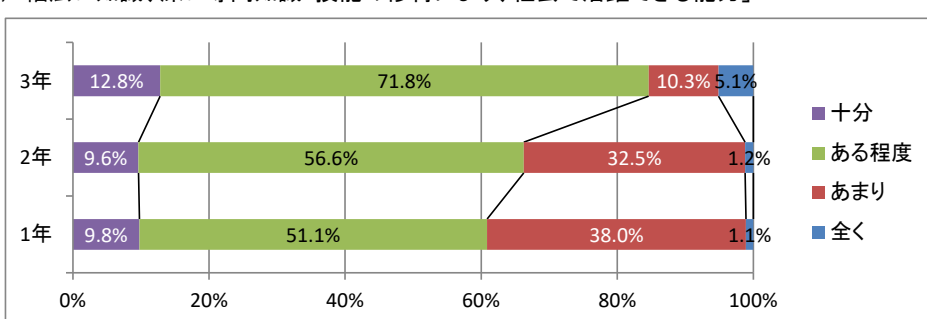
7)「教養教育等による幅広い知識」



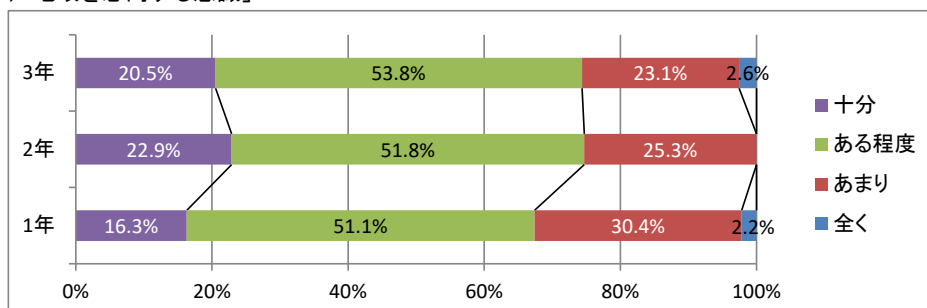
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」

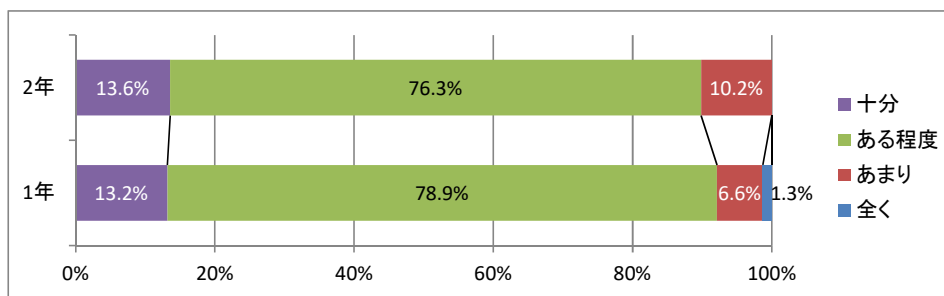


10)「地域を志向する意識」

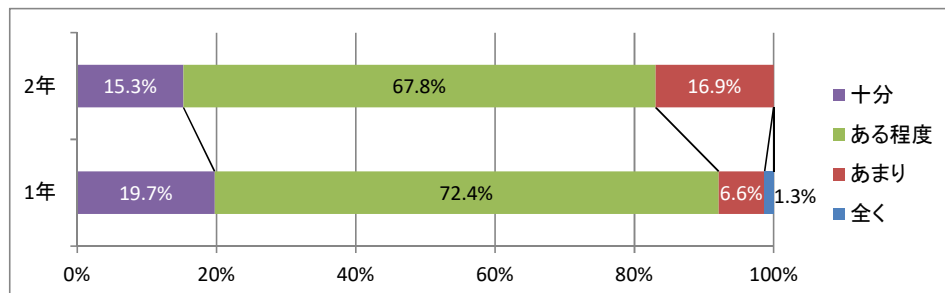


DPIに掲げる能力をどの程度身に付けることができましたか？

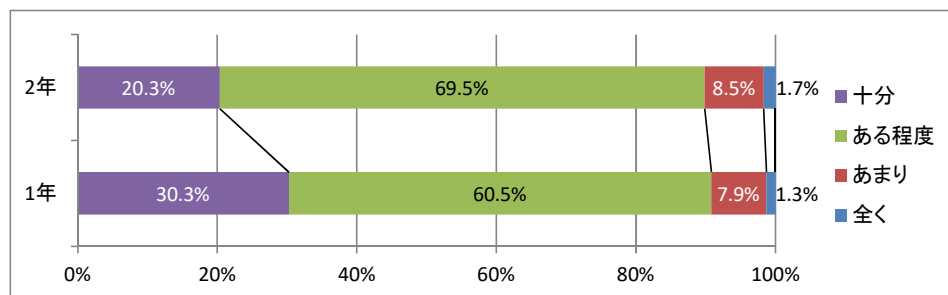
1)「課題や問題を自ら解決する能力」



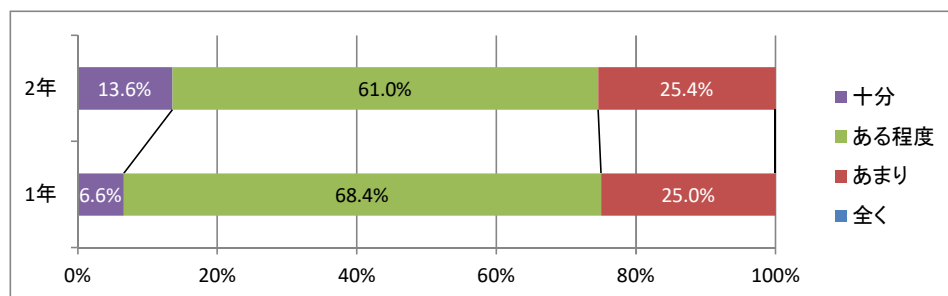
2)「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



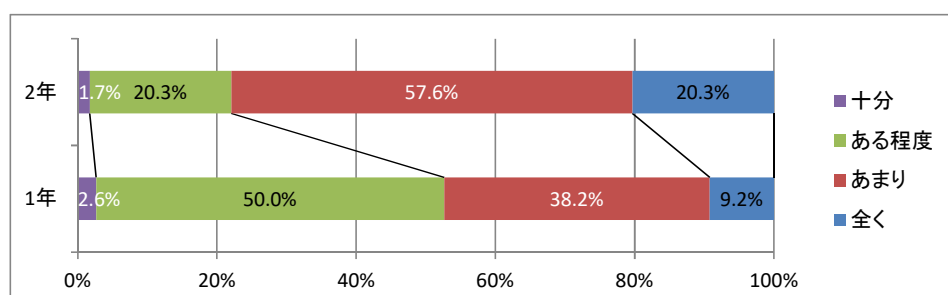
3)「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



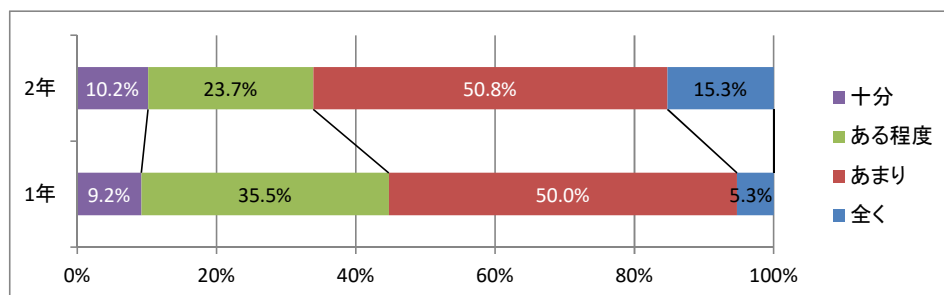
4)「口頭発表、説明、討論などのプレゼンテーション能力」



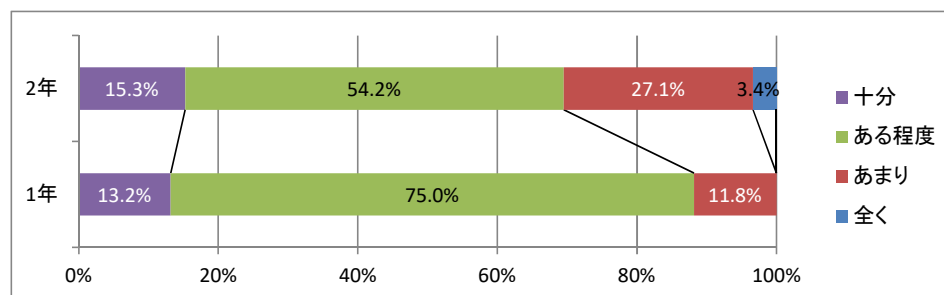
5)「母語以外の外国語(英語など)の語学力(聞く、話す、読む、書く)」



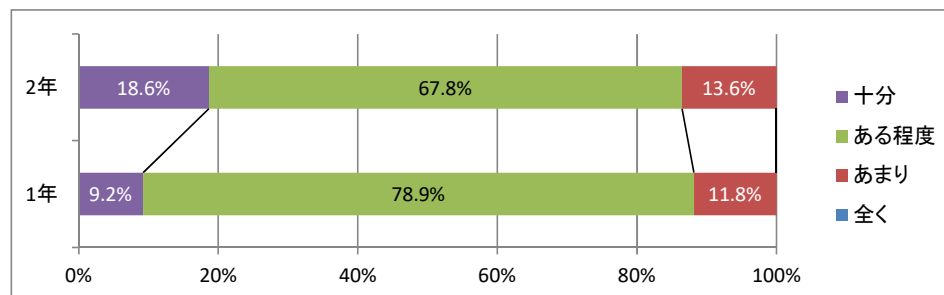
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



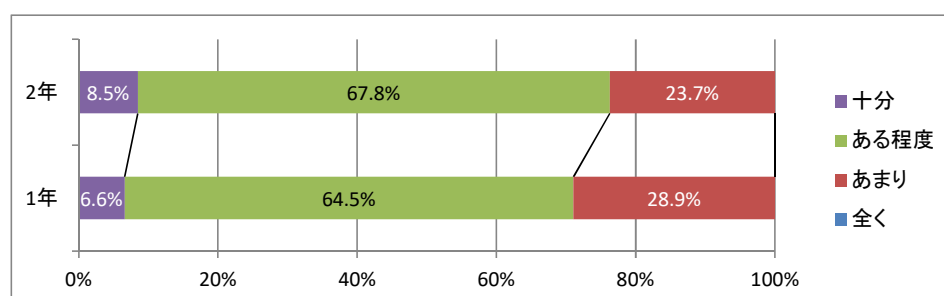
7)「教養教育等による幅広い知識」



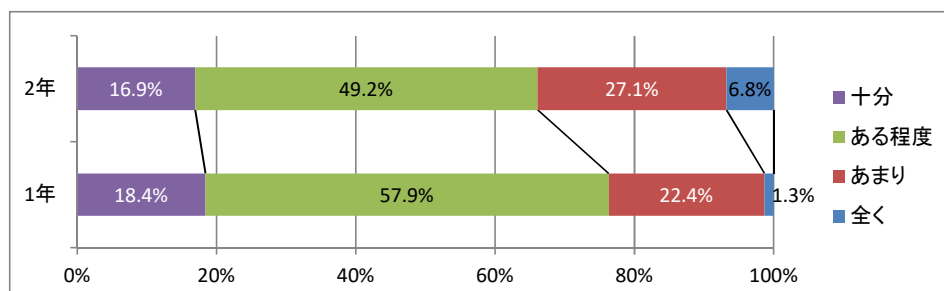
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」



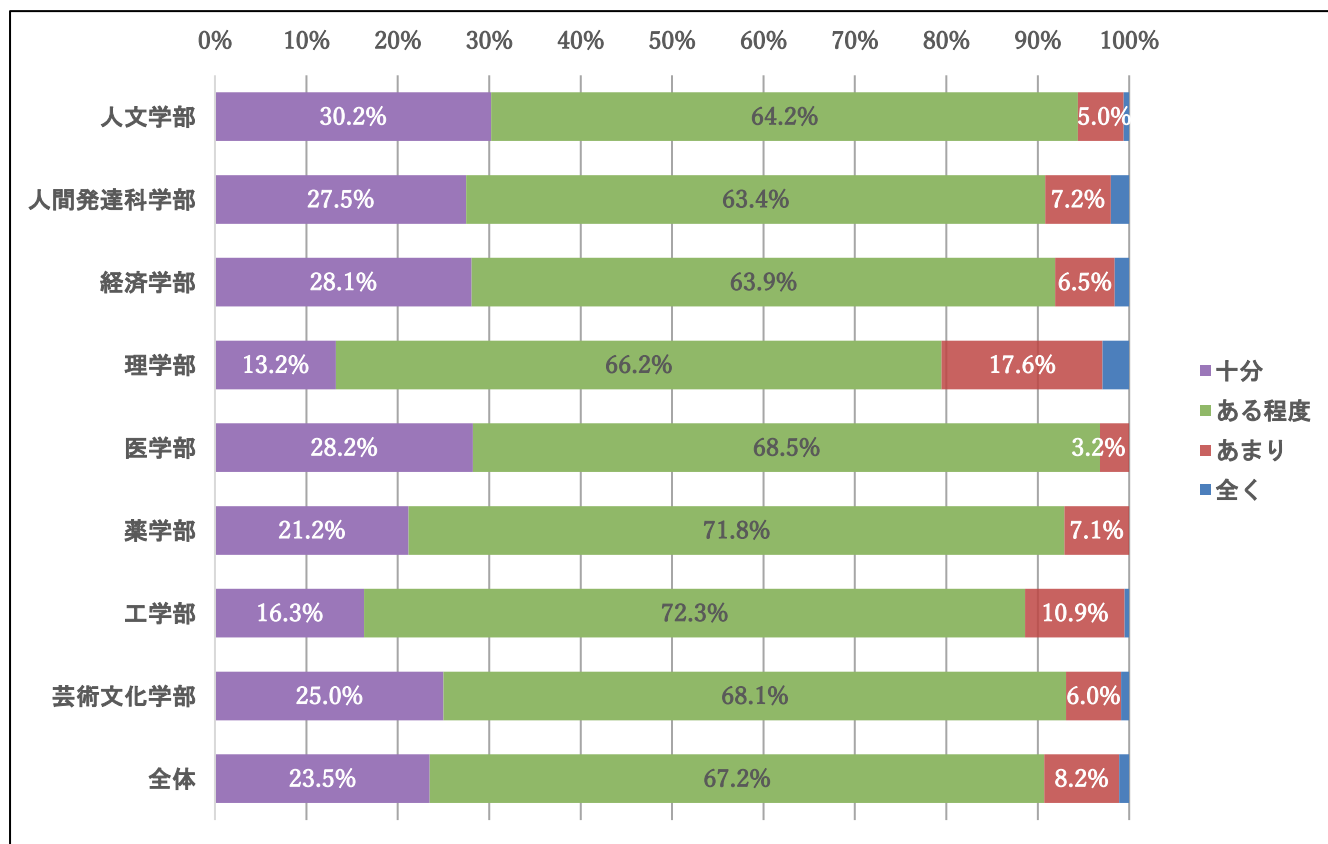
10)「地域を志向する意識」



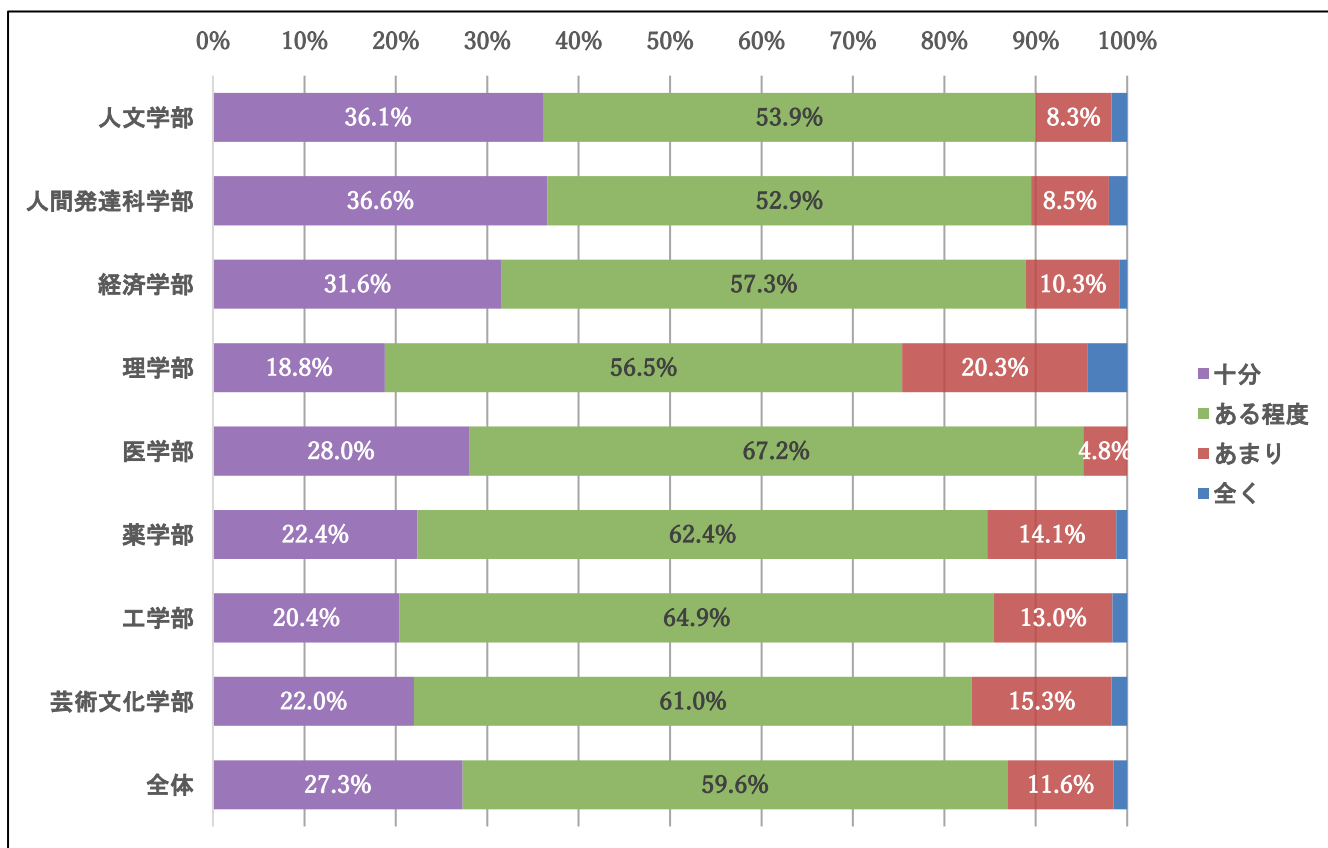
令和元年度卒業時調査における全学共通項目（DP 能力達成状況）回答状況

在学時に、以下の能力等をどの程度身に付けることができましたか？

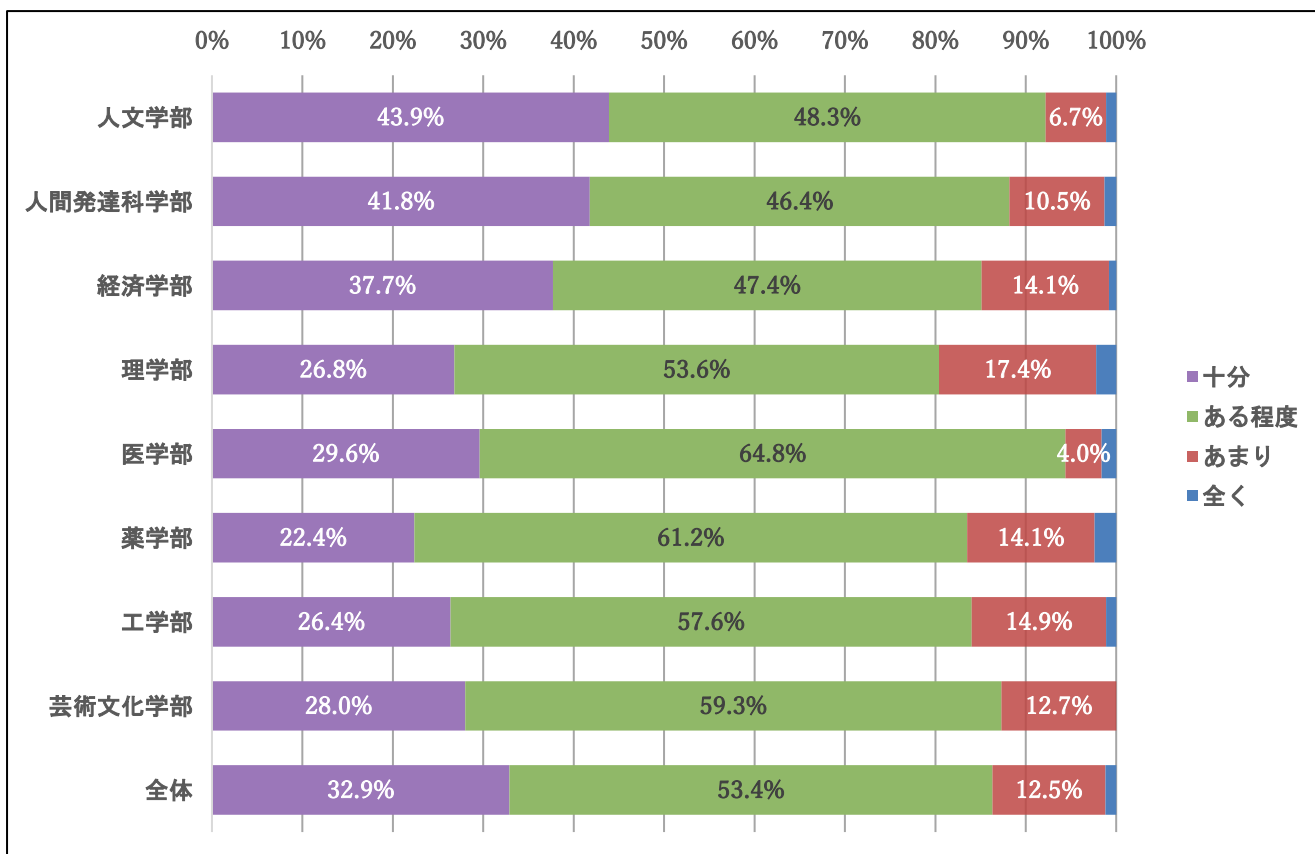
1) 「課題や問題を自ら解決する能力」



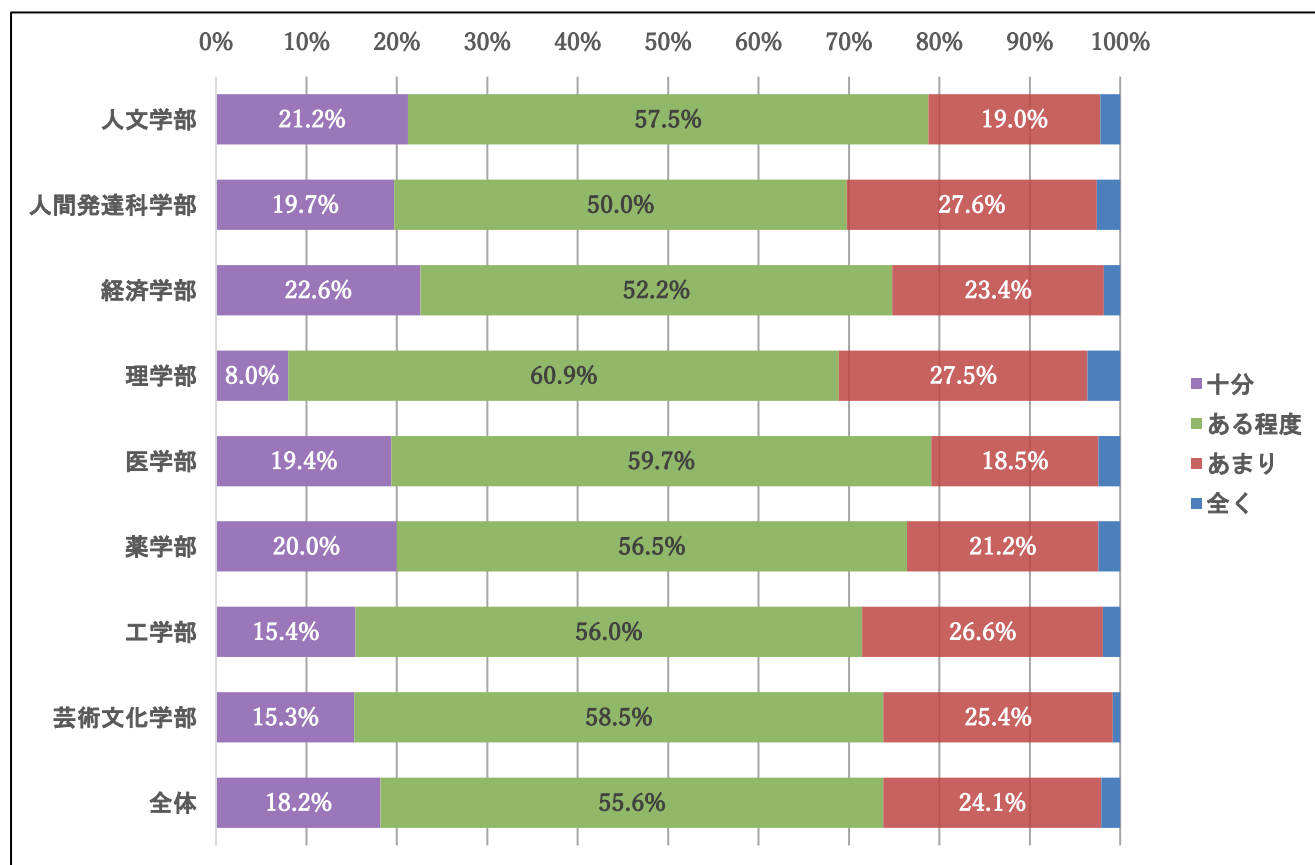
2) 「組織や社会の一員として責任を持って行動する能力」



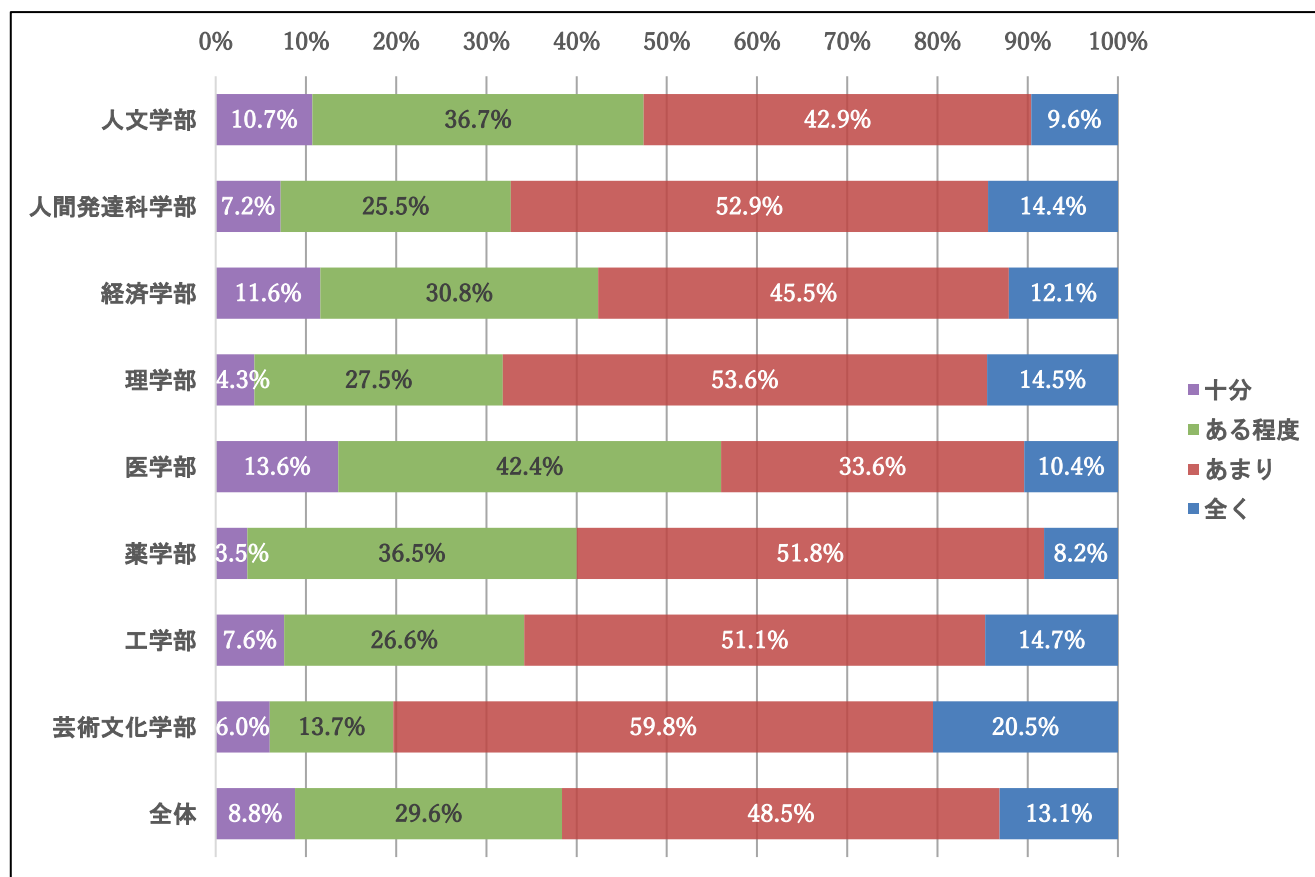
3) 「他者と協力し合うコミュニケーション能力」



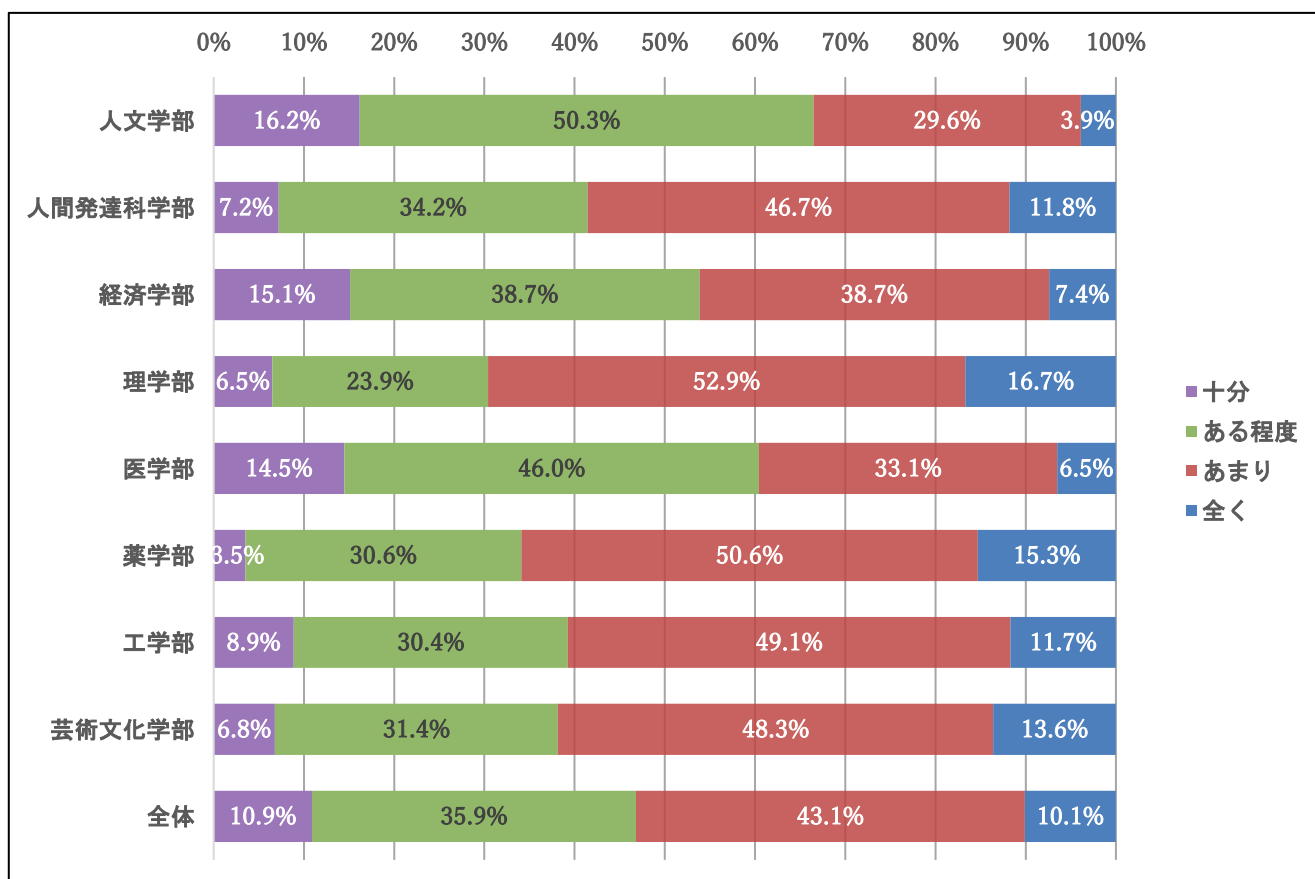
4) 「口頭発表，説明，討論などのプレゼンテーション能力」



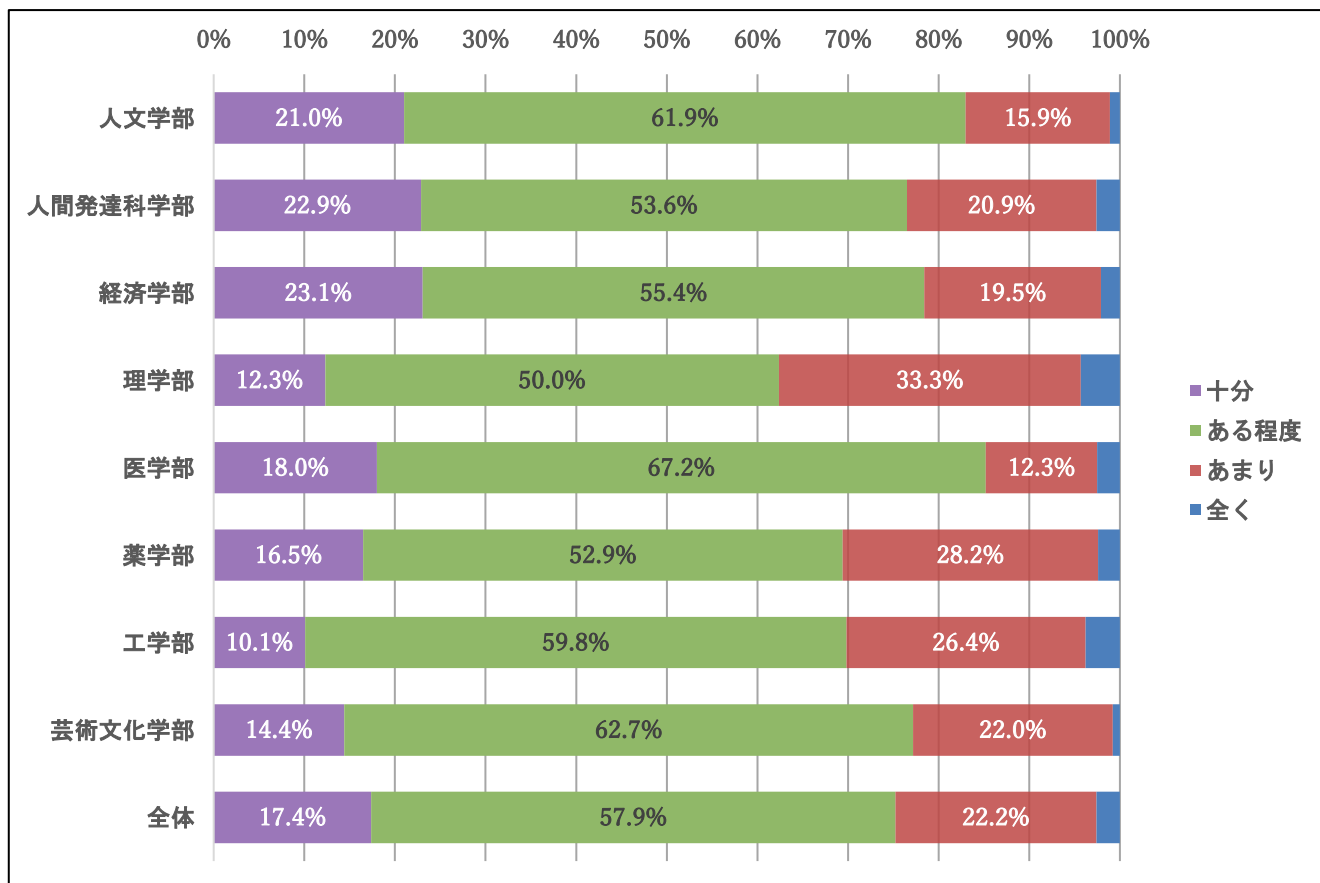
5)「母語以外の外国語（英語など）の語学力（聞く、話す、読む、書く）」



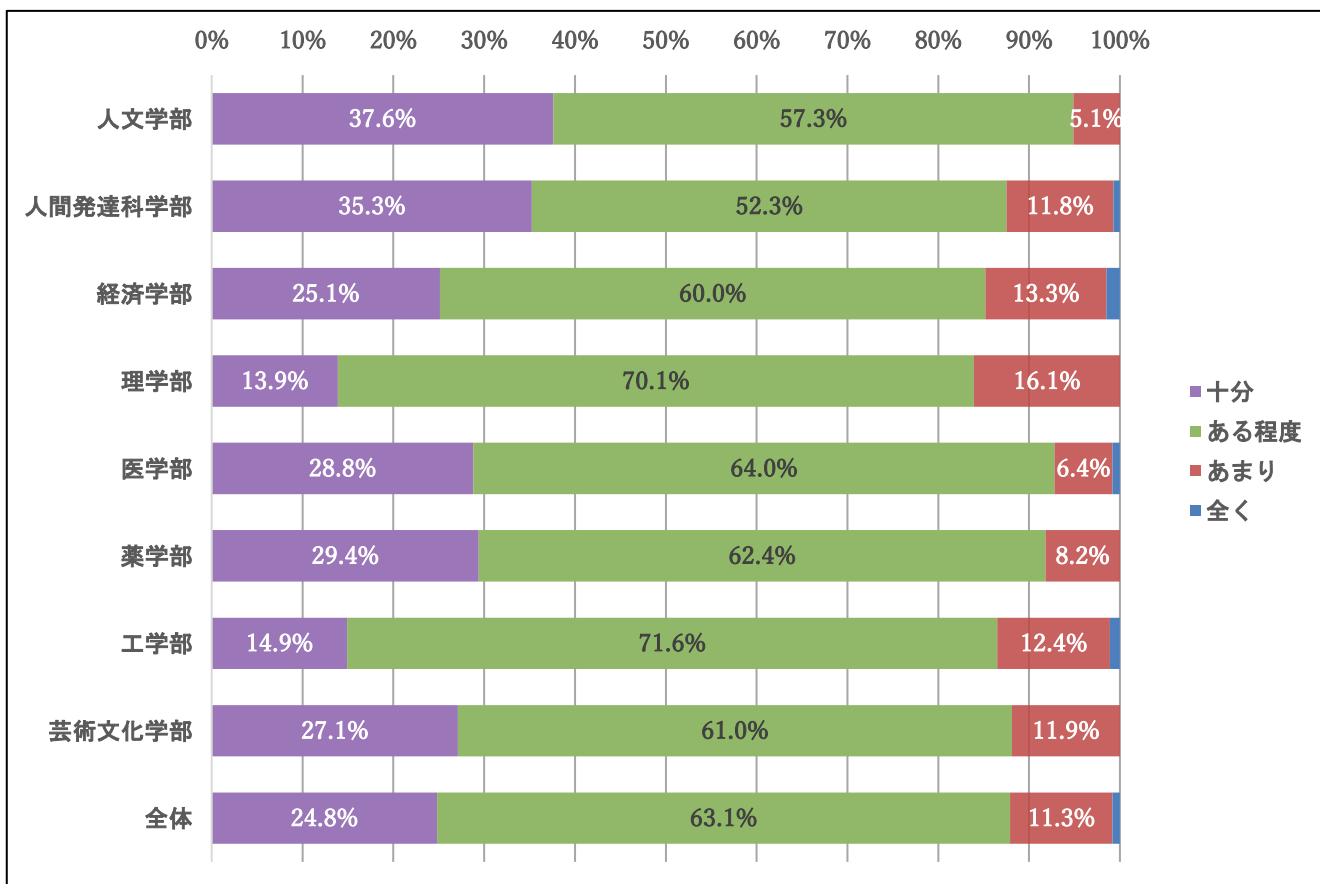
6)「国際的な視点で考えることや国際的な感覚」



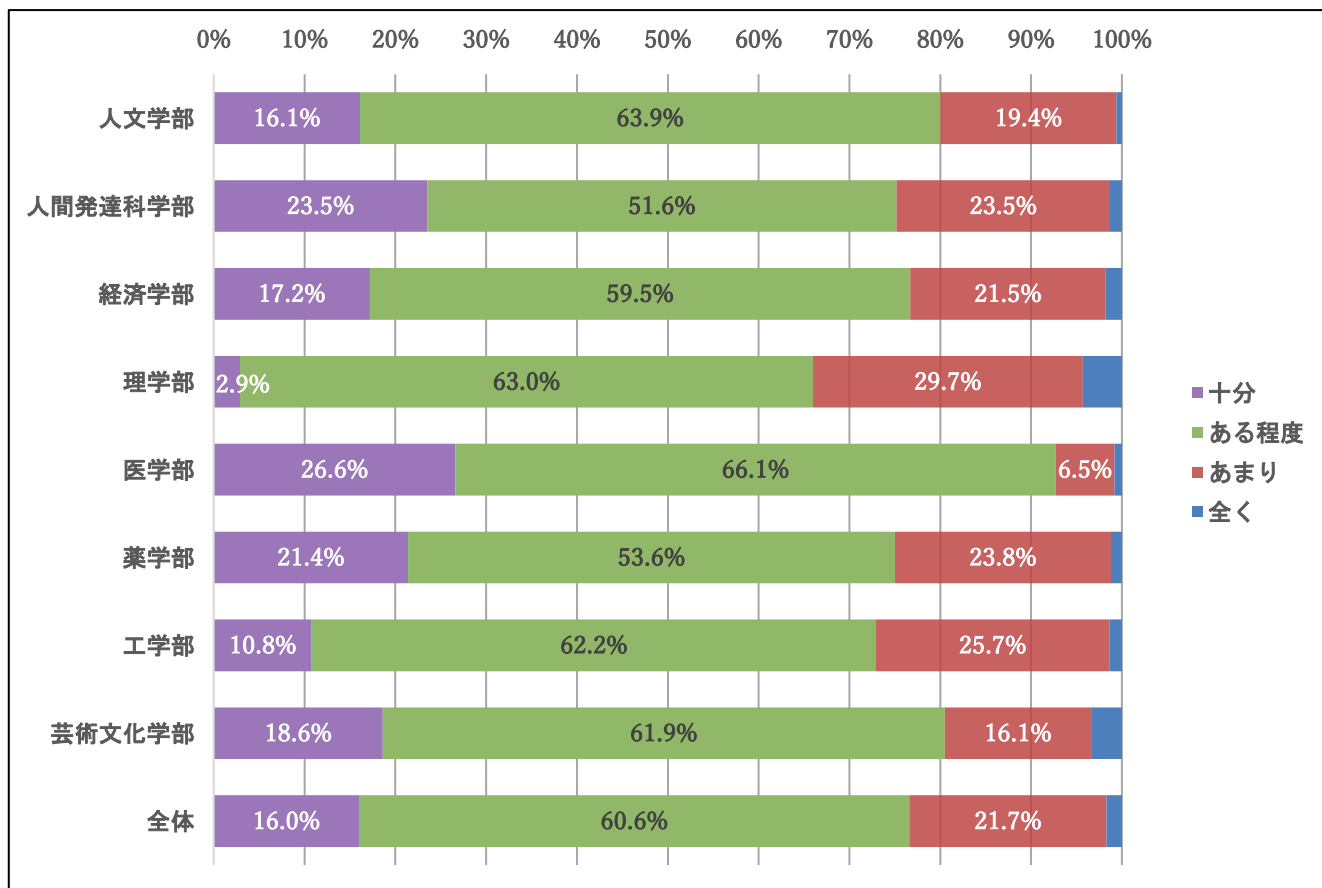
7)「教養教育等による幅広い知識」



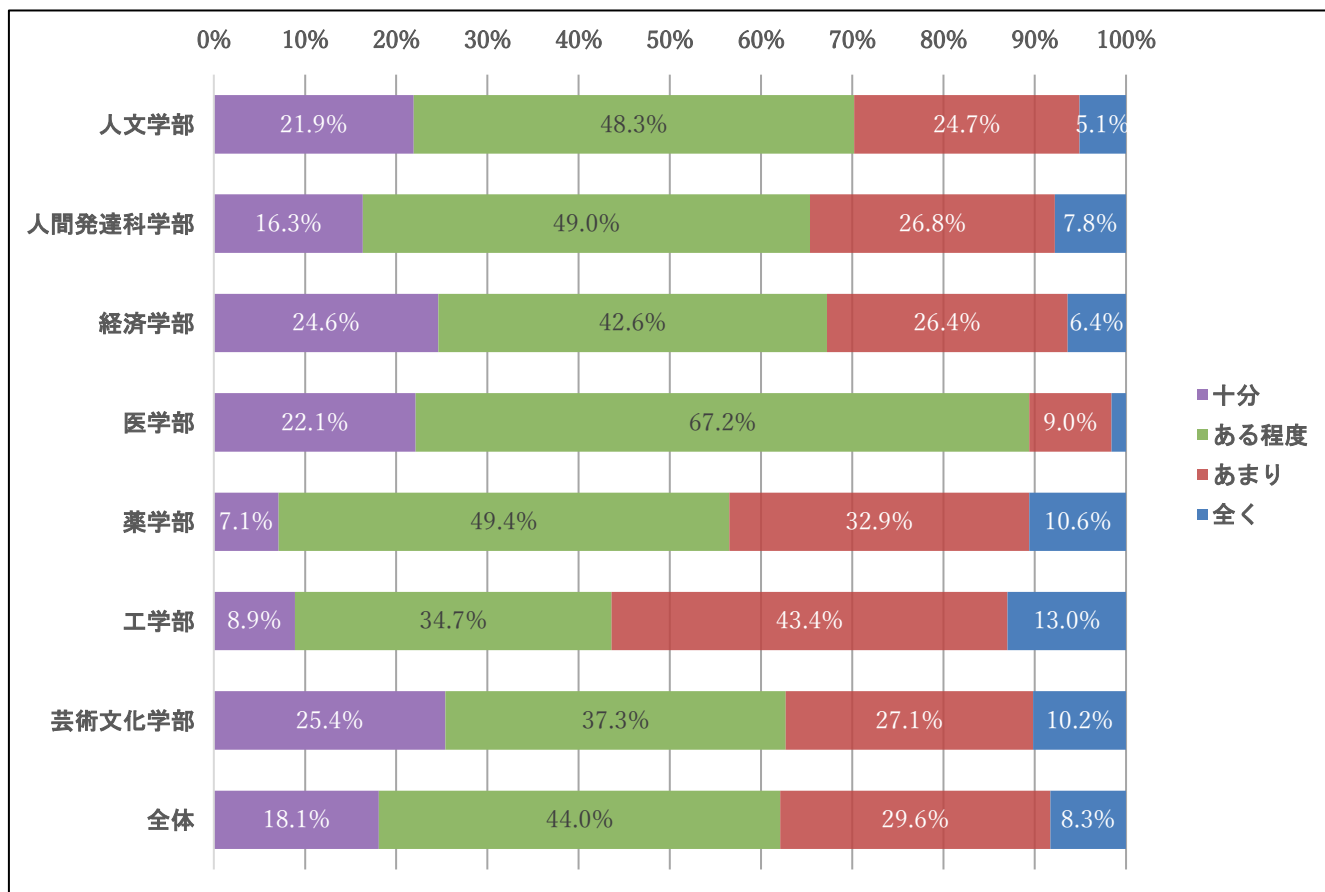
8)「専門教育による深い専門知識・技能」



9)「幅広い知識、深い専門知識・技能の修得により、社会で活躍できる能力」



10)「地域を志向する意識」※理学部実施なし



オンライン授業の受信環境調査

富山大学では現在、オンライン授業の準備を進めているところですが、学生の皆さんの情報通信環境を調査した上で適切な対応を行いたいと考えています。

ついては、以下の質問に回答下さい。

【問合せ先】富山大学学務課 E-Mail: j-gakumu@adm.u-toyama.ac.jp

【回答期限】4/17（金）終日

問1. オンライン授業を受信できる機器を持っていますか？

1. パソコンとタブレット端末、スマートフォンを持っている
2. パソコンとタブレット端末を持っている
3. パソコンとスマートフォンを持っている
4. タブレット端末とスマートフォンを持っている
5. パソコンのみ持っている
6. タブレット端末のみ持っている
7. スマートフォンのみを持っている
8. 現在は上記のいずれも持っていないが、購入予定である／入荷待ちである
9. 入手予定なし

問2. キャンパスに来ることができない場合、オンライン授業に参加する場所は確保できますか？

1. 自宅や寮などの個室（音声を出したやりとりに支障がない）
2. 寮などの公共スペース（まあまあ支障はない）
3. カフェテリアや近所の図書館など商業施設や公共施設
4. 思い当たる場所はない

問3. 登校しなくても、自宅や下宿先で利用できるインターネット環境はありますか？

1. 光ファイバー・ケーブルテレビなど固定の高速回線が来ており、スマートフォンやPCをWiFiでつなぐことで動画の視聴に問題がない
2. モバイルWiFiルータ（WiMax、ポケットWiFiなど）：月50GB程度速度制限無しで利用できるもの
3. モバイルWiFiルータ：速度制限無しで使える容量が月50GBに満たないもの
4. スマートフォン（SoftBank データプラン 50GB+, au データ MAX プランなど）：月50GB程度速度制限無しで利用できるもの
5. いずれもなし／分からない

問4. 学内外で、PC操作について相談できる人は近くにいますか？

1. 友人、知り合いが10名以上でいる
2. 何人かの友人がいる、もしくは遠隔であっても相談できる相手がいる
3. すぐに相談できる相手は思い当たらない

問5. 上記の質問項目では答えられなかった、不安な点があれば、差し支えない範囲で具体的に教えてください。（海外にいて入国できない、プライバシーに関する特段の配慮の必要性など）

※任意回答

オンライン授業の受信環境調査【回答期限：4/17(金)】

回答数と所属						
データの個数 / 学部コード		学年				
学部コード	学部名	1	2	3	4	総計
	10 人文学部	116	139	130	108	493
	20 人間発達科学部	165	158	164	164	651
	30 経済学部	276	246	217	163	902
	40 理学部	171	147	153	120	591
	50 医学部	120	15	5	2	142
	60 薬学部	33	7	2		42
	70 工学部	312	242	210	152	916
	80 芸術文化学部	85	71	61	35	252
	90 都市デザイン学部	121	94	82		297
C0	人文科学研究科（修士課程）	3	6			9
D1	人間発達科学研究科（修士課程）	8	17			25
F0	経済学研究科（修士課程）	5	3			8
K0	芸術文化学研究科（修士課程）	3	2			5
L0	医学薬学教育部（修士課程）		1			1
L3	医学薬学教育部（博士前期課程）	41	37			78
L4	医学薬学教育部（博士後期課程）	5	8	10		23
L5	医学薬学教育部（博士課程）	2	4	3	3	12
M0	理工学教育部（修士課程）	127	97			224
M5	理工学教育部（博士課程）	8	4	5		17
N5	生命融合科学教育部（博士課程）	3		5	2	10
P0	教職実践開発研究科（専門職学位課程）	13	13			26
総計		1617	1311	1047	749	4724

問 1. オンライン授業を受信できる機器を持っていますか？ ※回答必須

データの個数 / 【問1】		回答数
【問1】	集計	
3.パソコンとスマートフォンを持っている	74.20%	3,505
1.パソコンとタブレット端末、スマートフォンを持っている	17.97%	849
7.スマートフォンのみを持っている	5.08%	240
4.タブレット端末とスマートフォンを持っている	1.65%	78
5.パソコンのみ持っている	0.49%	23
2.パソコンとタブレット端末を持っている	0.40%	19
8.現在は上記のいずれも持っていないが、購入予定である／入荷待ちである	0.11%	5
6.タブレット端末のみ持っている	0.08%	4
9.入手予定なし	0.02%	1
総計	100.00%	4,724

問 2. キャンパスに来ることができない場合、オンライン授業に参加する場所は確保
できますか？ ※回答必須

データの個数 / 【問2】		回答数
【問2】	集計	
1.自宅や寮などの個室（音声を出したやりとりに支障がない）	96.91%	4,578
2.寮などの公共スペース（まあまあ支障はない）	1.21%	57
3.カフェテリアや近所の図書館など商業施設や公共施設	1.04%	49
4.思い当たる場所はない	0.85%	40
総計	100.00%	4,724

問3. 登校しなくても、自宅や下宿先で利用できるインターネット環境はありますか？ ※回答必須

データの個数 / 【問3】		回答数
【問3】	集計	
1.光ファイバー・ケーブルテレビなど固定の高速回線が来ており、スマートフォンやPCをWiFiでつなぐことで動画の視聴に問題がない	76.52%	3,615
2.モバイルWiFiルータ（WiMax, ポケットWiFiなど）：月50GB程度速度制限無しで利用できるもの	7.24%	342
3.モバイルWiFiルータ：速度制限無しで使える容量が月50GBに満たないもの	4.17%	197
4.スマートフォン（SoftBankデータプラン50GB+, auデータMAXプランなど）：月50GB程度速度制限無しで利用できるもの	3.87%	183
5.いずれもなし／分からない	8.19%	387
総計	100.00%	4,724

問4. 学内外で、PC操作について相談できる人は近くにいますか？ ※回答必須

データの個数 / 【問4】		回答数
【問4】	集計	
2.何人かの友人がいる、もしくは遠隔であっても相談できる相手がいる	64.23%	3,034
3.すぐに相談できる相手は思い当たらない	23.05%	1,089
1.友人、知り合いが10名以上にいる	12.72%	601
総計	100.00%	4,724

問5. 上記の質問項目では答えられなかった、不安な点があれば、差し支えない範囲で具体的に教えてください。（海外にいて入国できない、プライバシーに関する特段の配慮の必要性など）（自由記述）※任意回答

データの個数 / 問5の意見分類		※意見の分類は学務課による
問5の意見分類	集計	
機器操作・通信環境の不安、スペック等の情報提供要望	244	
オンライン授業への移行要望	80	
オンライン授業の形式、出席/試験/実験/ゼミ/質問等取扱いの情報提供要望	65	
自宅下宿等でのプライバシー不安（家族や隣室への音漏れ、自室の映像等）	14	
その他	10	
海外在留中	6	
その他（方針を早く周知して欲しい）	6	
その他（授業料取るのか）	2	
総計	427	

遠隔授業に関するアンケート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遠隔授業を実施しておりますが、授業を受講した皆さんからの意見を今後の改善等に役立てたいので御協力をお願いします。

【問合せ先】富山大学学務課 E-Mail : j-gakumu@adm.u-toyama.ac.jp

【回答期限】5/18（月）終日

<遠隔授業の受講環境・方法について>

問1. あなたの受講環境を教えてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. パソコンで受講 | 2. タブレット端末で受講 |
| 3. スマートフォンで受講 | 4. 大学の端末室を使って受講 |
| 5. その他 | |

問2. 受講した授業科目数を教えてください。

[] 科目

問3. 受講中問題のあった授業科目数を教えてください。

[] 科目

問4. 受講中問題のあった授業におけるトラブルは何がありましたか？（複数選択可）

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 問題のある授業はなかった | 2. 音声聞き取りにくかった |
| 3. 提示された資料が見えにくかった | 4. 回線が何度も中断した |
| 5. 操作がわからなかった | 6. その他 |

問5. 授業ではどのようなツールを使用しましたか（複数選択可）

1. Moodle 2. ZOOM 3. Youtube 4. Skype 5. Google Classroom 6. その他

問6. 授業において ZOOM に関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。

※任意回答

問7. 授業において Moodle に関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。

※任意回答

<今後の授業について>

問8. 今後、対面授業と遠隔授業が同一日で混在した場合、遠隔授業をどのように受講しますか？

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. パソコンを持参して受講する | 2. タブレット端末を持参して受講する |
| 3. スマートフォンを持参して受講する | 4. 大学の端末室を使って受講する |
| 5. その他 | |

問 9. どのような手段で通学しますか？

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 徒歩・自転車 | 2. 公共交通機関 |
| 3. シャトルバス | 4. その他 |

問 10. 今後の通学に不安を感じますか？

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 感じない | 2. あまり感じない |
| 3. どちらかと言えば感じる | 4. とても感じる |
| 5. その他 | |

問 11. その他，遠隔授業の感想・課題，要望等について自由に書いてください。※任意回答

問 12. 学校閉鎖になって困っていること，大学への要望等があれば書いてください。※任意回答

遠隔授業に関する学生アンケート結果

【方法】 ヘルシシステム掲示板にて通知 → Googleフォームに回答

【期間】 5/12(火)21時 ~ 5/18(月)

【記名】 無記名(所属学部・研究科, 学年を選択)

【対象】 全学生(学部生・大学院生)

※ 学部・研究科/学年の選択誤りも数件確認されています。(例)理学部・修士1年, 理工学教育部・学部1年, 経済学部・5年 等

※ 同一者が重複回答したと思われる回答もありますが除外していません

回答者の属性(学部・学年) ※学部生のみ

学年を選択してください	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計	学年別 回答率
学部1年	145	115	230	137	140	99	254	81	94	1295	70.5%
学部2年	85	85	131	84	82	54	126	26	60	733	39.2%
学部3年	75	94	135	66	93	62	129	34	45	733	38.0%
学部4年	57	70	47	43	66	63	46	16		408	20.5%
学部5年		1	2		27	5	1			36	23.4%
学部6年					17	10				27	16.8%
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232	40.7%
学部別在籍者数	761	717	1,518	873	1,000	559	1,609	474	431	7,942	
学部別回答率	47.6%	50.9%	35.9%	37.8%	42.5%	52.4%	34.6%	33.1%	46.2%	40.7%	

問1. あなたの受講環境を教えてください。※回答必須

問1. 受講環境を教えてください。	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンで受講	338	323	482	298	345	261	503	141	190	2881
2. タブレット端末で受講	6	16	24	12	57	9	18	8	2	152
3. スマートフォンで受講	14	22	36	18	21	23	30	8	7	179
4. 大学の端末室を使って受講	4	1		1	1		1			8
5. その他		3	3	1	1		4			12
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問1. 受講環境を教えてください。	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンで受講	93.4%	88.5%	88.4%	90.3%	81.2%	89.1%	90.5%	89.8%	95.5%	89.1%
2. タブレット端末で受講	1.7%	4.4%	4.4%	3.6%	13.4%	3.1%	3.2%	5.1%	1.0%	4.7%
3. スマートフォンで受講	3.9%	6.0%	6.6%	5.5%	4.9%	7.8%	5.4%	5.1%	3.5%	5.5%
4. 大学の端末室を使って受講	1.1%	0.3%		0.3%	0.2%		0.2%			0.2%
5. その他		0.8%	0.6%	0.3%	0.2%		0.7%			0.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2. 受講した授業科目数を教えてください。※回答必須

問2. 受講した授業科目数	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 0科目		1	2	3	1	6	5			18
2. 1~5科目	51	71	113	58	194	59	57	52	49	704
3. 6~10科目	96	91	203	90	93	35	134	36	66	844
4. 11~15科目	206	186	221	127	106	102	251	66	70	1335
5. 16~20科目	8	12	4	50	29	86	106	3	11	309
6. 21科目以上	1	4	2	2	2	5	3		3	22
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問2. 受講した授業科目数	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 0科目		0.3%	0.4%	0.9%	0.2%	2.0%	0.9%			0.6%
2. 1~5科目	14.1%	19.5%	20.7%	17.6%	45.6%	20.1%	10.3%	33.1%	24.6%	21.8%
3. 6~10科目	26.5%	24.9%	37.2%	27.3%	21.9%	11.9%	24.1%	22.9%	33.2%	26.1%
4. 11~15科目	56.9%	51.0%	40.6%	38.5%	24.9%	34.8%	45.1%	42.0%	35.2%	41.3%
5. 16~20科目	2.2%	3.3%	0.7%	15.2%	6.8%	29.4%	19.1%	1.9%	5.5%	9.6%
6. 21科目以上	0.3%	1.1%	0.4%	0.6%	0.5%	1.7%	0.5%		1.5%	0.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3. 受講中問題のあった授業科目数を教えてください。※回答必須

問3. 受講中問題のあった授業科目数	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目	168	225	319	189	255	170	354	85	81	1846
1科目	91	72	130	67	90	59	93	40	66	708
2科目	65	37	54	41	40	31	55	20	28	371
3科目	20	19	19	13	24	12	23	9	14	153
4科目	5	5	9	8	6	5	4	1	5	48
5科目以上	13	7	14	12	10	16	27	2	5	106
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問3. 受講中問題のあった授業科目数	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目	46.4%	61.6%	58.5%	57.3%	60.0%	58.0%	63.7%	54.1%	40.7%	57.1%
1科目	25.1%	19.7%	23.9%	20.3%	21.2%	20.1%	16.7%	25.5%	33.2%	21.9%
2科目	18.0%	10.1%	9.9%	12.4%	9.4%	10.6%	9.9%	12.7%	14.1%	11.5%
3科目	5.5%	5.2%	3.5%	3.9%	5.6%	4.1%	4.1%	5.7%	7.0%	4.7%
4科目	1.4%	1.4%	1.7%	2.4%	1.4%	1.7%	0.7%	0.6%	2.5%	1.5%
5科目以上	3.6%	1.9%	2.6%	3.6%	2.4%	5.5%	4.9%	1.3%	2.5%	3.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4. 受講中問題のあった授業におけるトラブルは何がありましたか？(複数選択可)※回答必須

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 問題のある授業はなかった	121	170	255	149	202	150	290	54	69	1,460
2. 音声が聞き取りにくかった	153	95	126	72	100	48	97	44	64	799
3. 提示された資料が見えにくかった	28	39	39	32	31	19	29	12	19	248
4. 回線が何度も中断した	46	52	30	27	34	13	41	13	24	280
5. 操作がわからなかった	13	8	55	22	18	14	47	10	4	191
その他の意見(分類前)	38	31	37	51	67	53	57	13	44	391
総計	399	395	542	353	452	297	561	146	224	3,369

(割合)

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 問題のある授業はなかった	33.4%	46.6%	46.8%	45.2%	47.5%	51.2%	52.2%	34.4%	34.7%	43.3%
2. 音声が聞き取りにくかった	42.3%	26.0%	23.1%	21.8%	23.5%	16.4%	17.4%	28.0%	32.2%	23.7%
3. 提示された資料が見えにくかった	7.7%	10.7%	7.2%	9.7%	7.3%	6.5%	5.2%	7.6%	9.5%	7.4%
4. 回線が何度も中断した	12.7%	14.2%	5.5%	8.2%	8.0%	4.4%	7.4%	8.3%	12.1%	8.3%
5. 操作がわからなかった	3.6%	2.2%	10.1%	6.7%	4.2%	4.8%	8.5%	6.4%	2.0%	5.7%
その他の意見(分類前)	10.5%	8.5%	6.8%	15.5%	15.8%	18.1%	10.3%	8.3%	22.1%	11.6%

問5. 授業ではどのようなツールを使いましたか？(複数選択可)※回答必須

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
Moodle	336	339	525	296	387	274	504	141	177	2,979
Zoom	361	362	488	322	299	164	541	156	198	2,891
YouTube	148	111	203	186	344	268	250	75	78	1,663
Skype		4	23	4	2	3	6		1	43
slack			7	1			11	2	18	39
Google Classroom	4	1	1		3		6	1	1	17
LINEもしくはLINE LIVE	1		7	1			1	1		11
電子メール					3		5			8
Drop Box			1	1		1	1	1		5
Microsoft Teams							4			4
Google meet			1				2			3
その他ツール		2	2		3	1	5	2	1	16
総計	850	819	1,258	811	1,041	711	1,336	379	474	7,679

(割合)

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
Moodle	92.8%	92.9%	96.3%	89.7%	91.1%	93.5%	90.6%	89.8%	88.9%	92.2%
Zoom	99.7%	99.2%	89.5%	97.6%	70.4%	56.0%	97.3%	99.4%	99.5%	89.4%
YouTube	40.9%	30.4%	37.2%	56.4%	80.9%	91.5%	45.0%	47.8%	39.2%	51.5%
Skype		1.1%	4.2%	1.2%	0.5%	1.0%	1.1%		0.5%	1.3%
slack			1.3%	0.3%			2.0%	1.3%	9.0%	1.2%
Google Classroom	1.1%	0.3%	0.2%		0.7%		1.1%	0.6%	0.5%	0.5%
LINEもしくはLINE LIVE	0.3%		1.3%	0.3%			0.2%	0.6%		0.3%
電子メール					0.7%		0.9%			0.2%
Drop Box			0.2%	0.3%		0.3%	0.2%	0.6%		0.2%
Microsoft Teams							0.7%			0.1%
Google meet			0.2%				0.4%			0.1%
その他ツール		0.5%	0.4%		0.7%	0.3%	0.9%	1.3%	0.5%	0.5%

問6. 授業においてZOOMに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計	47	47	64	33	57	18	66	26	33	391

問7. 授業においてMoodleに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計	16	16	38	23	45	23	43	14	12	230

問8. 今後、対面授業と遠隔授業が同一日で混在した場合、遠隔授業をどのように受講しますか？ ※回答必須

問8	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンを持参して受講する	194	220	278	193	214	144	333	104	142	1822
2. タブレット端末を持参して受講する	9	14	29	13	75	22	25	8	2	197
3. スマートフォンを持参して受講する	53	56	116	48	63	66	79	19	17	517
4. 大学の端末室を使って受講する	84	60	81	55	64	56	93	23	31	547
5. その他	22	15	41	21	9	5	26	3	7	149
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問8	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンを持参して受講する	53.6%	60.3%	51.0%	58.5%	50.4%	49.1%	59.9%	66.2%	71.4%	56.4%
2. タブレット端末を持参して受講する	2.5%	3.8%	5.3%	3.9%	17.6%	7.5%	4.5%	5.1%	1.0%	6.1%
3. スマートフォンを持参して受講する	14.6%	15.3%	21.3%	14.5%	14.8%	22.5%	14.2%	12.1%	8.5%	16.0%
4. 大学の端末室を使って受講する	23.2%	16.4%	14.9%	16.7%	15.1%	19.1%	16.7%	14.6%	15.6%	16.9%
5. その他	6.1%	4.1%	7.5%	6.4%	2.1%	1.7%	4.7%	1.9%	3.5%	4.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問8. 5. その他 の内容分類

問8. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
混在させてほしくない	2		8	2	4	2	4		2	24
自宅等に帰宅して受講する	16	14	27	17	4	2	19	3	4	106
対面型授業は出席しない	2		6				1			9
分類不能意見	2			2	1	1	1			7
未定		1					1		1	3
総計	22	15	41	21	9	5	26	3	7	149

問9. どのような手段で通学しますか？ ※回答必須

問9. どのような手段で通学しますか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 徒歩・自転車	254	212	373	265	196	144	456	49	170	2119
2. 公共交通機関	83	100	129	55	50	32	80	30	23	582
3. シャトルバス	3	2	2		55	45	1	48	2	158
4. その他	22	51	41	10	124	72	19	30	4	373
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問9. どのような手段で通学しますか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 徒歩・自転車	70.2%	58.1%	68.4%	80.3%	46.1%	49.1%	82.0%	31.2%	85.4%	65.6%
2. 公共交通機関	22.9%	27.4%	23.7%	16.7%	11.8%	10.9%	14.4%	19.1%	11.6%	18.0%
3. シャトルバス	0.8%	0.5%	0.4%		12.9%	15.4%	0.2%	30.6%	1.0%	4.9%
4. その他	6.1%	14.0%	7.5%	3.0%	29.2%	24.6%	3.4%	19.1%	2.0%	11.5%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ その他は恐らく自家用車か

問10. 今後の通学に不安を感じますか？ ※回答必須

問10. 今後の通学に不安を感じますか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 感じない	47	51	61	49	60	36	95	14	40	453
2. あまり感じない	58	68	70	60	67	45	96	19	37	520
3. どちらか言えば感じる	114	134	172	107	158	125	183	60	64	1117
4. とても感じる	141	111	240	113	138	87	179	64	58	1131
5. その他	2	1	2	1	2	3				11
総計	362	365	545	330	425	293	556	157	199	3232

(割合)

問10. 今後の通学に不安を感じますか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 感じない	13.0%	14.0%	11.2%	14.8%	14.1%	12.3%	17.1%	8.9%	20.1%	14.0%
2. あまり感じない	16.0%	18.6%	12.8%	18.2%	15.8%	15.4%	17.3%	12.1%	18.6%	16.1%
3. どちらか言えば感じる	31.5%	36.7%	31.6%	32.4%	37.2%	42.7%	32.9%	38.2%	32.2%	34.6%
4. とても感じる	39.0%	30.4%	44.0%	34.2%	32.5%	29.7%	32.2%	40.8%	29.1%	35.0%
5. その他	0.6%	0.3%	0.4%	0.3%	0.5%	0.5%	0.5%			0.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問11. その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。 ※任意回答

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計	99	80	121	64	123	92	125	38	46	788

問12. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。 ※任意回答

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計	108	81	116	84	101	58	133	42	53	776

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
1	人文	1年	40分で途切れた。音声が開き取りずらかった
2	人文	1年	zoomのリンクを貼る場所を統一してほしい
3	人文	1年	音質が非常に悪い先生の授業があり聞き取りにくい。知らずうしろでもミュートされていたり、チャットで気づいてくれたりとそのままの状態で授業が終わってしまう
4	人文	1年	ZOOMのグループチャットの時に音声が見れる
5	人文	1年	全員がマイクオンだと先生の声が開き取りづらい場合があった
6	人文	1年	音声が開き取りにくい先生がいるので改善していただきたいです
7	人文	1年	チャットによる出席確認ができているのかわからない
8	人文	1年	自分のパソコンの画面がブラックアウトしてしまった
9	人文	1年	先生の音声が開かなくなってしまう
10	人文	1年	途中で回線がきれたこと
11	人文	1年	自分のパソコンが落ちた
12	人文	1年	回線が落ちることがある
13	人文	1年	回線が落ちることも多い
14	人文	1年	事前に待機していたのに時間になっても始まらず、数分間受講できなかった(パソコンでミーティングに参加せず、代わりにスマホでログインした)
15	人文	1年	通信エラーで勝手に退出になってしまった(ログアウトした)
16	人文	1年	許可されず最後の30分授業に参加できなかった
17	人文	2年	Wi-Fiの調子が悪かったのか、途中でzoomの画面が消えて固まってしまうし、退出はせずにしばらく待つていると「ビコン」というような大きな音かして無事元に戻れました。しかし、途中で切れて入り直す場合に、遅刻だと勘違いされて入れてもらえないかなどと少し不安です。
18	人文	2年	金曜1限の人間発達科学部1 英語科教育法Ⅰの第二回目にて、授業に入るまでに時間がかかると人が複数いました(原因不明)。また、授業が40分で終了し、次のzoomのURLが更新されるまで20分以上かかりました。第一一回目のとごりに貼ってあったzoomのリンクは「定期的なミーティング」なのに、実際には毎回URLが異なったりなど、やや分かりにくかった。
19	人文	2年	画面共有で動画を見る時、音が小さかったら動画の動きが滞らなげやないことがある
20	人文	2年	インターネット接続が不安定ですと表示され、音声が途切れたり映像が止まったりすることがある
21	人文	2年	参加者全員にマイクをオンにするように指示された授業があったが、生活雑音が入ったり、咳をしたりなどの影響で話している人の音が遠くなることと度々あった。常にマイクをつける必要はないのでないだろうか
22	人文	2年	インターネット接続が不安定ですと表示され、音声が途切れたり映像が止まったりすることがある
23	人文	2年	zoomで画面共有して流す動画の音声が割れたり、途切れ途切れになる
24	人文	2年	音が時々折断きづらくなることがある
25	人文	2年	初期のカメラが用意できていなかったとき、カメラをオンにするよう指示されたのは困りました。
26	人文	2年	講師のネットワークへの接続不良で授業が中止となった
27	人文	2年	回線が不安定な授業があった(他の授業では安定していたためこちら側の回線環境問題ではないと思う)
28	人文	2年	途中で聞けない部分があった、先生が途中でいなくなつた
29	人文	2年	回線が一度だけ切れた
30	人文	2年	回線が落ちた
31	人文	2年	回線が途切れた
32	人文	2年	人数制限やURLの間違いによってzoomに入室できず、授業を受けられない人が出た。
33	人文	2年	zoomに入室出来なかった
34	人文	3年	送られてきたURLが間違っており、ミーティングに入らなかった
35	人文	3年	zoomのアップデイトが必要なのからず、気づいてアップデイトするまで授業の番号とパスワードを正しいものを入力しても授業に入らなかった
36	人文	3年	やや音声小さ
37	人文	3年	先生の回線が切れた、画面共有がうまくいってなかった
38	人文	3年	先生が映像を流されているとき、音声は共有できていなかったのか、映像の音声が非常に聞き取りにくかった。また、これはこれらの問題かもしれないが、映像がカクカクになっていた。
39	人文	3年	音が途切れることと度々ある。
40	人文	3年	先生の回線が切れてスムーズにいかなくなった。
41	人文	3年	画面共有をしようとして、ネット回線が不安定になり、強制的に退出になった。その後、入室して音声のみで話をしようとしてzoomを使いこなせていない
42	人文	3年	授業途中で中止になった
43	人文	3年	画面共有をしようとして、ネット回線が不安定になり、強制的に退出になった。その後、入室して音声のみで話をしようとしてzoomが落ちってしまった。
44	人文	3年	回線が重かったせいか途中で落ちた。
45	人文	3年	先生の回線が落ちる
46	人文	3年	動画が途切れた
47	人文	3年	動画がカクつく
48	人文	3年	ホストの許可がないと入れないのに、ホスト側に気づいてもらえない
49	人文	3年	ミーティングには入れなかった
50	人 発	1年	moodleに貼り付けてあったZOOMのURLをクリックしてもZOOMに入っていけなかったことがあった。
51	人 発	1年	共有された画面が定んたまま止まり、説明が分かりにくかった
52	人 発	1年	音声が開き取りにくい
53	人 発	1年	は発言者の後に先生がしやべっても前の発言者から音声が切り替わっておらず聞き取りづらい時があった
54	人 発	1年	なし
55	人 発	1年	たまに突然回線が途切れることがある

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
56	人 発	1年	実教にいて、妹も遠隔授業、頼もテレワークをしているときにかぶると回線が重くなる。動画や資料をスムーズに見れなかった。
57	人 発	1年	受講人数が130人を超える授業になると回線が重くなる
58	人 発	1年	箱に回線が悪くなる
59	人 発	1年	回線速度が落ち、画面が見えなくなったり、音声が途切れたりすることがあった。
60	人 発	1年	回線が悪い時がある
61	人 発	1年	自分のネット回線の接続状態が不安定になった
62	人 発	1年	Zoomの回線が切れて授業中に落ちてしまっって、その後もう一度入り直そうと思ったら入室許可待ち状態で30分近く待機させられたこと
63	人 発	1年	事前に待機していたのに数分間待たされて途中参加になってしまった
64	人 発	1年	ミーティングに参加できませんでした
65	人 発	2年	40分でできてしまった。
66	人 発	2年	ホストのzoomが授業中に時間切れになり、受講者が何度か入り直す必要があった。
67	人 発	2年	ホストのzoomが授業中に時間切れになり、受講者が何度か入り直す必要があった。
68	人 発	2年	40分でできてしまった。
69	人 発	2年	講義途中にzoomが切れてしまい、つなぎなおしたが先生の認証が必要で先生に気づいてもらえず、参加するまでに時間がかかった。
70	人 発	2年	なぜか部屋に入れたかったときに自己責任だから知らないといっって対応してもらえなかった
71	人 発	2年	なぜか部屋に入れたかったときに自己責任だから知らないといっって対応してもらえなかった
72	人 発	2年	突然10分のタイムリミットが始まった
73	人 発	2年	個人の問題ですが、使えなかったと思ったいたパソコンのマイクがzoomの時だけ何故か調子が悪く、出欠確認の際の返事や、指された時に話せなかったため、仕方なくスマートフォンで受けています。。。
74	人 発	2年	不安定になることがあったたまに
75	人 発	2年	回線が途切れることがあった。
76	人 発	2年	自分の家のネット環境のせいかもれないが、授業中に何度か映像が止まってしまうため大事なことろを聞き逃してしまったのではないかと、自分は当てられていないかと不安になることがたまにある。
77	人 発	3年	40分で切れる重さがある
78	人 発	3年	プライバシー保護のためビデオは利用しないといっったことが、マイクについて、生活音が入ることからあまり利用しにくいと感じている。チャットで済むならチャットのみで対応してほしい。
79	人 発	3年	カメラ、マイクの不良
80	人 発	3年	先生の声が聞こえない。
81	人 発	3年	音が聞き取りにくいことがあった。カメラもマイクもオンにするよう言う言う先生がいて、カメラをオンにすることを求められるのは抵抗がある。
82	人 発	3年	たまに先生の声が変になる。途切れる
83	人 発	3年	音が聞き取りにくいことがあった。カメラもマイクもオンにするよう言う先生がいて、カメラをオンにすることを求められるのは抵抗がある。
84	人 発	3年	回線が突然切れたり、音声は途切れたりする。
85	人 発	3年	学内の回線が重く、落ちる
86	人 発	3年	ある授業で、先生の声かどうぶつの森みたいになっていた。そして、先生が一旦中断されたあと、私は参加申し込みをしたのだが、それに気づいてくれず10分ほど授業に参加できなかった。参加申し込みやチャットなどの通知をしつかりとオンにしてほしい。
87	人 発	3年	zoomに入れない
88	人 発	4年	先生が全員のカメラとマイクを常にする事を求めるため、雑音やハウリングなどが起こる。
89	人 発	4年	何度も落ちるの、ミーティングに参加し直さなければいけないが、皆から「遅れて入ってきたらと思われたり大事な話を聞き逃したりするのが困る。また、アパートの隣人の方が度々大声で叫ぶため、発表のためのミーティングを削除してるときに、叫び声が皆に聞かれてしまわないかと不安。
90	人 発	4年	使いにくい
91	人 発	4年	ネットワーク環境が悪く、回線が途切れる事と、グループ活動によって騒音被害を生み出してしまっている事
92	人 発	4年	教員側の通信環境が悪く、教員の回線が落ちることがある
93	人 発	4年	教員側の通信環境が悪く、教員の回線が落ちることがある
94	人 発	4年	8:45頃や17時頃に回線が込み合うのか、決まって通信が途切れたり、音が切れたりする
95	人 発	4年	インターネット接続が悪くて、強制退出という形になった
96	人 発	4年	インターネット接続が悪くて、強制退出という形になった
97	経済	1年	送られてIDについてもらえないことがあった。
98	経済	1年	ID、パスワードを正しく入力してzoomに入らなかった。
99	経済	1年	URLがクリックできる状態ではないものが貼られていた。パスワードが違ってしまうことができなかった。よく分からないが最終的にはそのミーティングにはいれれた。原因はよく分かっていません。
100	経済	1年	指定されたurlから入ったのに、入室できなかった。
101	経済	1年	URLが二個送られてきてどっちからでも入れなかった
102	経済	1年	映像が流れないことがあった。音声が途切れるときがあった。
103	経済	1年	音声と映像が大学の先生へ伝わっていないことがあった。
104	経済	1年	音が時々聞こえなくなる
105	経済	1年	先生の声が急に聞こえなくなった
106	経済	1年	音量は十分に設定しているが、聞こえてくる音声が途切れ途切れたりする
107	経済	1年	こちらの音声が先生に届いていないことがあった。
108	経済	1年	他の生徒には聞こえていたんですが、先生には回線の都合が聞こえていなかったようです。
109	経済	1年	先生の音声が途切れて聞こえにくく語学の授業だったので理解が難しかった。他の授業では問題ないのでおそらく先生の声が開かなくていいかと思う。
110	経済	1年	先生の音が聞こえなくなる
111	経済	1年	複数人が喋ると教授の音の音量が小さくなる
112	経済	1年	音声が途中でかすれて聞きにくくなった
113	経済	1年	先生は画面を共有できている気がするが、画面が変わっておらずわかりにくかった。

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
113	経済	1年	たまに遅延があった聞き取れないことがあったり落ちたりする。
114	経済	1年	時々音声が消切れることがありました。
115	経済	1年	音声が聞き取りやすい部分が何回あった。
116	経済	1年	自分の声が相手に聞こえづらい
117	経済	1年	音声や映像の乱れがあった
118	経済	1年	ZOOMで出席をとっほい
119	経済	1年	スマートフォンの場合はグループワークの時、2画面に出来ない
120	経済	1年	授業の操作になれておらず、画面がすぐ小さくなったのを戻せなくて焦った。(戻し方は検索して解決しました)
121	経済	1年	設定がよくわからなかった
122	経済	1年	家の限られたところでしか使えない
123	経済	1年	途中でインターネットの接続が悪くなり、画面が止まることもある。
124	経済	1年	回線環境の違いで聞きやすさが違う
125	経済	1年	受講時間になったのに講義が始まらない。
126	経済	1年	データが重くて資料が見れなくて、さらに回線が切れた。
127	経済	1年	回線環境の違いで聞きやすさが違う
128	経済	1年	教授の回線が悪く授業が中断した
129	経済	1年	回線が悪い時があった
130	経済	1年	全員の時計とノート&ビデオ解除で音声が乱れ、回線が落ちました。
131	経済	1年	動画の音声の聞こえづらかったことがある
132	経済	1年	動画が流れないことがあった
133	経済	1年	授業に入れなかった
134	経済	1年	zoomに入室できないことが1度だけあった。
135	経済	1年	zoomに入れなかったり音声が途切れたりした。
136	経済	2年	映像が固まる
137	経済	2年	音声が聞き取れない、回線が切れて途中で授業に参加できなかった。
138	経済	2年	聞き取りにくいときがあった
139	経済	2年	音声が全く聞こえなかった
140	経済	2年	やはり機器取りにくい部分がある。
141	経済	2年	音声が聞き取れない、回線が切れて途中で授業に参加できなかった。
142	経済	2年	音声が聞き取れない、回線が切れて途中で授業に参加できなかった。
143	経済	2年	参加できないときがある。その対応での対応がない。
144	経済	2年	そもそもzoomを使った授業が今のところ一つしかない。
145	経済	2年	家のWi-Fiの環境が悪く途切れることがあった
146	経済	2年	自分の方の回線が何度も落ちた
147	経済	2年	zoomに入れない人が5人ほど
148	経済	3年	映像を流す授業で聞き取り難かったり、画質が悪くよく見えなかったりした授業があった。
149	経済	3年	配信者の音声が聞こえなかった
150	経済	3年	音声が聞こえなかった
151	経済	3年	音が一切入っていないかった
152	経済	3年	音声がハウリングするトラブルがあった
153	経済	3年	音声が聞こえなかった
154	経済	3年	教授側の音声が聞こえない(おそらく受講生全員) 操作が不慣れで時間通りに進まないときがある
155	経済	3年	間4その他に記重した通り。
156	経済	3年	特になし
157	経済	3年	人数制限
158	経済	3年	動画の共有の際、音声の乱れや動きの乱れがあった(なお、初回のみで辄ち解決済み)
159	経済	4年	雑音が入って聞こえなかった時があった
160	経済	4年	雑音が入って聞こえなかった時があった
161	経済	5年	音声が途切れることがある
162	理	1年	授業開始直前zoomのURLが送られてこなかった
163	理	1年	教員が違うミーティングを開いていたようで、指定されたURLで目的のzoomに入れなく、授業が30分判られた。
164	理	1年	学外の人と思われる集団からの荒らし行為があった
165	理	1年	いわゆるZoom Bombingに遭遇し、授業が中断された
166	理	1年	共有画面が飛ぶときがある
167	理	1年	音声が聞き取りにくいことがありました。
168	理	1年	音が聞き取りづらい
169	理	1年	時々音声が聞き取りにくい
170	理	1年	音声が途切れる
171	理	1年	先生のマイクで音が上手に拾えない時があるみたいで普通に聞こえたり、小さくくもってよく聞こえないということがある
172	理	1年	音が聞き取りづらい先生がいる。自宅のWi-Fiが弱く、受講中に回線が途切れてしまうことがあった。
173	理	1年	回線落ち
174	理	1年	動画を使った授業で、音声や動画が乱れて見づらかった
175	理	1年	入室出来なかった
176	理	1年	パスワードエラーが発生したため授業に入れない時があった
177	理	1年	事前に何も連絡がな急に授業開始時間に始めるのをやめてほしい
178	理	2年	ZOOM荒らしによって授業が途中で終了した
179	理	2年	画質が粗い、回線が重くなり配信が止まったことがある。
			画質が悪くて文字が読めない。
180	理	2年	入室許可が通い、 学生のミュート忘れ。

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
181	理	2年	画面の乱れ
182	理	2年	何度も回線が途切れ、授業をフルで聞けなかった。
183	理	2年	先生が提示するスライド内の動画が再生できない
184	理	2年	先生が提示するスライドに聞こえない
185	理	2年	Wi-F環境が悪くて落ちてしまった時があり、その部分の授業が聞けない。
186	理	2年	どうしても受講人数が多すぎてしまう事がある。
187	理	3年	zoomに入室できない、URLを間違えている。
188	理	3年	聞き取りにくいところが時折あった
189	理	3年	zoomを使わない教授がいて、その授業が週2回ある授業だから独学するには限界がある。資料がMoodle載ってはいないが、その範囲外の問題が課題になっていて、その課題で成績を決めると書いてある。せめて演習問題の解答がほしい。それが出来ないなら全教授にzoomを強制して欲しい。
190	理	3年	前述の通り
191	理	3年	接続不安定で回線中断
192	理	3年	zoomに入れない
193	理	3年	zoomになかなか入れなかった
194	理	4年	遅刻したり、開始時間以外にzoomtaiに入れてもらえない点。時間に間に合っていない、一度回線が落ちてしまった場合入れなくなる。
195	医	1年	ミーティングに参加する際、Moodle上にミーティングのリンク(URL)が掲載していない先生の授業で名前を指定されてもミーティングに入る際にはアカウントの名前で表示されるため変更できないことがある。
196	医	1年	全ての科目でURLだけでなくミーティングIDとパスワードを記載して欲しい。
197	医	1年	音声が流れない
198	医	1年	受講者による騒音や迷惑行為
199	医	1年	たまに変な声出して人がいる
200	医	1年	先生の音声が聞き取りにくくなることが多い
201	医	1年	時々音声が聞こえにくい
202	医	1年	先生の回線がPC自体が不安定で時々ラグが生じていた。
203	医	1年	たまに音声が飛ぶことがある
204	医	1年	先生とのコミュニケーションがうまく取れないことがある。
205	医	1年	音声が聞き取りにくい、画面の乱れ、音が途切れる先生がおられる。
206	医	1年	何度も授業中に画面が突然消えたり音が聞こえなくて授業が受けにくかった
207	医	1年	何度も授業中に画面が途切れて聞き取り辛いときがありました
208	医	1年	たまに音が聞き取りにくくなる
209	医	1年	先生が途中で消えてしまっていることがあります。また声の聞こえなことがあります。
210	医	1年	インターネットの接続が悪くなった時に授業を後から見れないこと
211	医	1年	先生が示したい資料が画面に写らなかった。 プレリアクティセッションに移れず、先生にしばらく自習を指示されました。
212	医	1年	外国人の先生があまりzoomに慣れていなかった
213	医	1年	講師による画面共有がうまくいかない zoom授業の被害をかなり受けております。
			先生の中には、仕方ないことですが、zoomの使い方をよくわかっていない方が多いです。 特に先生が海外の方だと本当に大変です。 ドイツ語コミュニケーション1の授業で、ドイツ人の先生のチャットが、僕だけにしか来ておらず、他のクラスメートに届いていなかったたので、僕が一度退出することで、状況を解決しようとした。(先生には英語を用いて、チャットでzoomのシステムの説明を何度もしましたが、全然伝わっていませんでした。)
			そして、改めて入室しようとしたのですが、先生に気付いてもらえず、ずっと待機室にいますままと成り、 そして、学務の方に電話して、先生に直接電話をかけてもらい対応してもらったものの、授業の8割を聞き逃してしまいました。
214	医	1年	また、解剖学Aの授業では、授業開始時間の前に入ったのにもかかわらず、(やむを得ない事情でギリギリに入ったのですが、時間内には入っていました。後で先生にメールで入室室のログを見せてもらって自分の入室時間を確認しました。)
			授業時間の前に先生が授業を始めてしまっていて、待機室で僕が待っていることに気付いてもらえず、今度の授業は授業をまるまる聞き逃しました。(学務の方にもすぐに電話して対応してもらいましたが、先生が学務からの電話に出るにありませんでした。)
			前者では、おそらく出席にしてもらっていると思いますが、ドイツ人の先生にまだ確認できていない状況です。 先生の連絡先がわかっていないからです。学務に伝えている条件なので、もし今後その授業が欠席扱いとなっていたら、学務に相談して出席にしてもらおうと考えています。 ただ、先生が発言されている口の動きを見てこそその授業であり、しかも8割授業を聞けなかった、さらに加えて僕に落ち度がゼロの状況です。
			また、後者の方では、先生と交渉して、出席扱いにしてもらい、ノートの一部を見せてもらい、その他の部分は教科書を自分で理解してついていて、また個別に質問対応しても良いとのことでした。しかし、到底これらはリアルタイム授業をまかなえるものではありません。質問は先生の話かしたことか。しかし、授業を受けていないと、教科書を読んてわかった気になるだけです。質問なんかないのです。この件では、こち

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
215	医	1年	特になし
216	医	1年	時々回線が中断するので、中断している最中に先生が重要なことを話していたら不安です。
217	医	1年	人数が多いので事前に途切れる
218	医	1年	1.スマホで参加すると音声が届くが、2.zoomの名前を出席にしている講義で、名前の変更が分からなかった。3.プロバイダの通信障害があると、オンデマンド授業なら後で視聴が出来るが、zoomだと取り返しがつかない。4.双方向きでない授業でzoomを使うのは無駄で、オンデマンド授業にして欲しい。
219	医	1年	途中で回線が途切れてしまった
220	医	1年	途中で回線が途切れた
221	医	1年	自分が誤操作をしたため1分間ほど先生の共有画面が見れなくなりましたが、先生はzoomを録画された方の方だったの。その1分間ほどの内容が分からなくなりました。
222	医	1年	何度も授業中に画面が突然消えたり音が聞こえなくて授業が受けにくかった
223	医	1年	途中で操作ができなくなった、切れた
224	医	1年	大人数でビデオをつけたらバーチャル背景を使うと重くなり画面が止まったり音声が途切れたりして授業が邪魔だけ聞けないことがある。
225	医	1年	途中で操作ができなくなった、切れた
226	医	1年	少し遅れたり、回線が断れて操作ができなくなると、先生が入室許可を失念されることがある。学務課に電話して、先生に伝えてもらってようやく入室できた。
227	医	1年	Zoomでチャットをした後戻ってこれなくなった
228	医	1年	途中でzoomが落ちたままの状態で授業が再開された。動画が長すぎて集中できなかった。
229	医	1年	Wi-Fiの調子が悪い等の理由で1回落ちたり切れたりすると、再度入ろうとしても、教授が気づいてくれず入室許可してもらえないために、居れなくなってしまうことがある。
230	医	1年	授業開始時、いきなり他の生徒さんの顔が画面に表示されることがあった。意図があるとは思えず、先生の側の操作だと思う。本人も周りも戸惑うのでできるだけやめていただきたい。
231	医	2年	使用していないため無し
232	医	2年	回線の関係でミーティングから弾かれた
233	医	2年	回線が落ちる
234	医	2年	パソコンがない。
235	医	3年	音声が聞き取りにくかった
236	医	3年	音声が途切れ、しまい聞き取りにくかった
237	医	3年	音声が聞き取りやすかった。動画が長すぎて集中できなかった。
238	医	3年	zoomの参加と動画の視聴を選ぶならzoomを。全部で良いと思う。
239	医	3年	Aパートの回線状況により、zoomの接続を強制的に遮断されることがある
240	医	4年	回線が不安定な人が音声が止まったり接続が中断したりしていた。
241	医	4年	接続が切断されやすかった。
242	医	4年	パスワードがエラーになる
243	医	4年	問題ではありませんが、マイク機能やカメラ機能がないパソコンであっても授業内容は理解できるので新しく購入したり、学校に出向かなくてもOKにして欲しいです。
244	医	5年	40分毎に切れてしまうのは先生も大変そうでした。音声もたまに途切れて聞えづらいくともありました。
245	医	5年	自分の声が他の人に届かないことが一度あった。
246	医	5年	音声トラブル
247	医	5年	教員側からの音声が学生側に聞こえず、中止になった回があった。
248	医	5年	許可申請に気がつかないことがあった
249	医	5年	誰かきいてないか把握できないのか一旦電波が悪くて落ちてしまうその他のメンバーに頼んで先生に連絡しなければ居ることが多い。
250	医	6年	音声の聞き取りにこそ、画像の乱れなどはなく、先生の乱れがあった。学校側の通信環境同タイミングで通話を行う学生たちとは音声、画像の乱れはなく、先生のみ乱れがあった。授業環境の悪さなのでしようか。
251	医	6年	音声の聞き取りにこそ、画像の乱れなどはなく、先生の乱れがあった。学校側の通信環境同タイミングで通話を行う学生たちとは音声、画像の乱れはなく、先生のみ乱れがあった。授業環境の悪さなのでしようか。
252	医	6年	動画を共有している際に、大学側の回線が中断した
253	薬	1年	zoomのURL、毎週同じものを使うのがわかりづらく遅刻しそうになった
254	薬	1年	たまに音声が途切れる
255	薬	1年	トラブルというほどではないが、たまに通信環境が悪くなり、音声が聞き取りにくくなることがあった。
256	薬	1年	声が聞こえにくいときがある
257	薬	1年	音声が途切れたり、ネット接続が切れて、動かなくなることがありました。
258	薬	1年	他の人の雑音で声が聞こえにくいことがある
259	薬	1年	学生側がミュートしておらず煩い
260	薬	1年	インターネットの環境は基本的にいいけれど、途中でネットが切れてしまうことがあり、一時的に授業が回線が落ちる、ブレイクアウトルームが入れなくなる場合がある、生徒のマイクをミュートにしない場合に教授の音が聞き取れないことがある
261	薬	1年	ミーティングホストによる参加許可が下りなかった
262	薬	1年	ブレイクアウトルームから居れなくなりました
263	薬	1年	発言するとき以外は生徒はミュート強制していないと雑音が多く聞き取りづらかった
264	薬	1年	ブレイクアウトルームから居れなくなりました
265	薬	2年	発言するとき以外は生徒はミュート強制していないと雑音が多く聞き取りづらかった
266	薬	2年	マイクとビデオをONにする授業だったのだが、生徒側の雑音がうるさかった。2回目以降の授業は基本的にマイクはOFFにすることになったが、途中で全員のマイクをONにしたため雑音がよく聞こえてきたため
267	薬	2年	初めマイクをオンにしよう指示があり学生の生活音がうるさかった。現在は改善された。
268	薬	2年	音声が途切れたりすることがあったり、聞き取りづらくなることがある。
269	薬	2年	途中でネット接続が悪化する場面があり、教授の音が聞き取れなかった
270	薬	3年	zoomのテストが期限を知らずにできなかった
271	薬	2年	いいえ

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
272	工	1年	教授から送られてきたURLからZOOMIに入ろうとしたら、ホストには進行中の別のミーティングがありまして表示され、なかなか本学のミーティングの方にいれなかった。
273	工	1年	IDとパスワードが担当教員から送られてこず入室できなかった。
274	工	1年	zoomのURLがどこにあるかわからなかった
275	工	1年	ID、パスワードを入力してもパスワードが間違っていると表示され、しばらく参加できなかった。
276	工	1年	zoom爆撃があった
277	工	1年	外部からの侵入があり、授業を妨害された。
278	工	1年	zoom爆撃が起きた
279	工	1年	先生側のほうで回線が切れた。
280	工	1年	たまに音声が途切れる
281	工	1年	音声が聞こえないことがあった
282	工	1年	音を切らずに雑音を出す人がいる
283	工	1年	オーディオに接続されなかった
284	工	1年	たまに回線が切れた
285	工	1年	時々電子音に混ざって先生の声が聞こえなくなる
286	工	1年	たまに音声が途切れる
287	工	1年	たまに音が飛んだり画像が見にくくなった
288	工	1年	マイクがonのままのひびいてノイズがうるさかった
289	工	1年	講義の先生のpadがうまく繋がらなくて困つたらしい
290	工	1年	チャットで質問しても先生がzoomを理解していないから答えることがなかった。
291	工	1年	遅れてZOOMIに参加した生徒への対応のために授業が中断することがあった。
292	工	1年	特になし
293	工	1年	自分の使っているパソコンの調子が悪く、授業中に動作しなくなってしまうことがたまにある
294	工	1年	特になし
295	工	1年	参加人数の多さ故かホスト側からの共有ができていないものがあった。
296	工	1年	zoomを使った授業で何度もホスト側が落ちた。
297	工	1年	授業後半にインターネット接続が不安定になりやすい。
298	工	1年	接続不良による切断
299	工	1年	回線によっては若干音がおかしくなったり、マイクによっては音が聞き取りづらい事がある。
300	工	1年	インターネット接続が不安定で説明を聞き漏らすことが頻度があった。
301	工	1年	授業開始時にzoomには入室できなかった(操作方法は含んでいます)
302	工	1年	入室許可に先生が気づかず、授業終了までミーティングに入らなかった。
303	工	1年	パスワードが入力されておらず入室するのに時間がかかった。
304	工	1年	その日の朝まで授業がzoomでおこなわれるのかmoodleのみなのかを周知されていなかった。
305	工	2年	URLが配布されてない
306	工	2年	声と映像の時差
307	工	2年	英語が聞き取りづらい
308	工	2年	ノイズが強く、聞き取れなかった
309	工	2年	ZoomのURLがMoodleにあげられておらず講義に連れなかった
310	工	2年	ミュートにしない学生からの生活音等の雑音もれ
311	工	2年	先生の回線が切断されて授業が中断された。先生がチャットを封じて先生に質問や問題の報告をしにくい回線が不安定になり何度も授業から退出になってしまい、授業に最初から出ていたにも関わらず授業への出席が疑われた
312	工	2年	特になし
313	工	2年	特になし
314	工	2年	同4と同様
315	工	2年	特にありません
316	工	2年	特にありません
317	工	2年	特になし
318	工	2年	ごくまれにzoomの部屋から追い出されることがある
319	工	2年	チャットで送信されたファイルが表示されなかった
320	工	2年	何書いてあるかわからない授業があった
321	工	2年	プログラミング基礎が何言ってるかわからない勝手に終わる
322	工	3年	動作が重い
323	工	3年	資料が講師による見えにくい
324	工	3年	かっこ
325	工	3年	ふいに生徒側のミュートが解除され笑い声などで先生の話が聞こえなくなった。
326	工	3年	時々声が聞こえなくなる。
327	工	3年	他の学生の騒音で集中できない。途中で映像が止まることがある。
328	工	3年	全員がビデオと音声をオンにする授業で、回線が重なり、画面が真っ暗になった。
329	工	3年	学生がマイクをオンにしていると音が重なり、教授のいい話が消えてしまう
330	工	3年	先生がミュートになっているのに気づかず話し続けることがあった。
331	工	3年	バーチャル背景画像を単独な画像にしている受講者がいて、ゼクハラを受けた。
332	工	3年	そもそもzoom使わない先生がおられる
333	工	3年	ない
334	工	3年	インターネット接続が不安定なためか、回線がときどき途切れた
335	工	4年	動画がスムーズに見れなかった
336	工	4年	学生側がミュートせず、生活音が聞こえていた。
337	工	5年	同4.その他同上

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
338	工	1年	・先生側が使い方を分かっておらず、第一回のガイダンスではガダガダだった。 ・ヘッドホンの相性が悪く、音声が出力されなかった。 ・通信環境に依存するのでは、電波が悪いと追いつけなかった。
339	工	2年	今までZOOMIで勉強するおとほは丈夫です。
340	芸文	1年	数秒、映像と音が止まったことがあった
341	芸文	1年	5月12日火曜3限符蔵紅先生のコミュニケーション1の授業において、話す人が切り替わったときに音声が小さくなり聞き取れなかった。しばらくしたら戻ったが、何度も繰り返して起こった。
342	芸文	1年	100人ほどの授業で学生と先生が一言にマイクとビデオをオンにしたら、学生どうしと先生の声は聞こえらるが、先生から先生へは音声が届かなくなかった。
343	芸文	1年	発言しているのに聞こえないと言われたことが何度もある。
344	芸文	1年	先生側の音声が全く聞こえなくなることがあった。
345	芸文	1年	zoom使用中、先生に生徒全員の音が届かなくなった
346	芸文	1年	授業中に突然、ある一人の音声のみが聞こえなくなった。
347	芸文	1年	音声の途切れ、画面が黒く資料の文字が読めない
348	芸文	1年	音声の途切れ、画面が黒く資料の文字が見えない
349	芸文	1年	たまに音途切れることがある。
350	芸文	1年	自分のPGIにカメラがなくて画像を流れないが画像の要求をされて困った
351	芸文	1年	回線切れ、先生が使い方をわかっていない
352	芸文	1年	先生が教科書の内容をZoomにうつしているとき、画面が黒くて何が書いてあるのか分からなかった。そのとき、Zoomでの先生側のネットワークの接続状況が良くなかったのが原因ではないかと思いました。
353	芸文	1年	先生が画面共有をしているつもりがされていなかった、など。 あと、授業によって毎回新しいzoomのURLを使う授業と、固定のURLを使う授業があってどっちかわからず焦ることがある。
354	芸文	1年	所々接続が不安定になり、聞き取りにくい部分があった。
355	芸文	1年	回線切れ、先生が使い方をわかっていない
356	芸文	1年	回線落ちしてしまう。
357	芸文	1年	途中からしか入室できなかったことがあった
358	芸文	2年	教授のカメラのピントが合わず、画面に書いてある内容があまり読み取れない。
359	芸文	2年	自分の名前の表示を統一して欲しい。名前だけにしてとか学籍番号にしてとか授業によって異なる。ニックネームで表示している人もいるし、隠れて出席確認するなら尚更決めておいて欲しい。
360	芸文	3年	音声が聞き取りづらい 回線が速い
361	芸文	3年	ビデオの回線が悪く、聞こえづらかった
362	芸文	3年	先生の回線が重い
363	芸文	3年	ホスト側の回線が重い
364	芸文	3年	受講者全員がビデオを起動しているせいで先生のZOOMが繋がりにくくなり、先生の発言が聞こえないこと回線が乱れる事があった
365	芸文	3年	無
366	芸文	4年	無
367	都市	1年	URLのみ表示されるとき初めどうすればいいかわからず入れなかった
368	都市	1年	ZOOMの更新はすべきか
369	都市	1年	リリースした
370	都市	1年	ミュートにしていない学生のせいで先生の声が聞こえなときがある
371	都市	1年	音が回線が悪く聞き取りにくい
372	都市	1年	音声が聞き取りにくい時がある、授業が途中で切れることがあった
373	都市	1年	先生に操作がわからない時があった、授業が3分ほど止まった。荒らしが入ってきた。
374	都市	1年	通信が途絶える。Wi-Fiが渋滞していた
375	都市	1年	途中で回線が切れ回復しなかった
376	都市	1年	途中で通信が切れる、音が聞こえない時がある
377	都市	1年	人数の多い授業科目でのみ回線が不安定で入りおすることが多々あった。
378	都市	1年	インターネットが不安定である
379	都市	1年	Wi-Fi環境が悪くなり退出になる。
380	都市	2年	正しいパスワードを入力してもパスワードが連打して表示され、授業に参加出来ないことがあった。
381	都市	2年	教授側がハッキングが振り音声が聞き取りづらいた
382	都市	2年	大きな影響はないが、映像や音声のミュートを大人数が解除するなど、通信回線が逼迫すると、教員の音声が聞き取れないときがある。
383	都市	2年	フットと音声が途絶えたり接続が急に困難になる
384	都市	2年	アパートなどでインターネット回線が授業時間に重なることが多々あり、音声が途切れる時があった
385	都市	2年	教授側がハッキングが振り音声が聞き取りづらいた
386	都市	2年	人数制限により授業が閉鎖されなかつた。
387	都市	2年	①100人の制限がかかっており、受講ができな人が多数出てたのにも関わらず最後まで続行した。 ②ネット回線などが不安定で途中で自分のzoomが終了してしまいもう一度入ろうとしたが、遅刻とみなされ受講出来なかつた。そもそもこちらにも不慣れなのに、授業開始時刻に遅れらなければならない理由でも参加出来ない
388	都市	2年	①100人の制限がかかっており、受講ができな人が多数出てたのにも関わらず最後まで続行した。 ②ネット回線などが不安定で途中で自分のzoomが終了してしまいもう一度入ろうとしたが、遅刻とみなされ受講出来なかつた。そもそもこちらにも不慣れなのに、授業開始時刻に遅れらなければならない理由でも参加出来ない
389	都市	2年	人数制限で入れなかった
390	都市	2年	人数制限で入れない授業があった
391	都市	2年	100人以上が受講する科目でシステムのトラブルにより100人しかZoomにログインすることが出来ず、パナコンの前を駆けないまま待たされ、結局休講扱いになった。
392	都市	2年	人数制限で入れない人がいた。
393	都市	2年	入室可能人数の制限
394	都市	2年	100人以上入室できない
395	都市	2年	定員制限で入室出来ないことがある

No.	所属	学年	問6. 授業においてZOOMIに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
396	都市	2年	受講者全員がzoomに入室出来なかった。
397	都市	3年	ノイズがうるさく、教授は気づいておられず。
398	都市	3年	ノイズがうるさく、教授は気づいておられず。
399	都市	3年	学生が発表するときに(学生が)画面共有の方法が分からず見送られた。
400	院人文	1年	zoomの強制的な回線中断がありました
401	院人文	2年	回線が不安定になり音声がデジタルブロッカイズのようにになってしまう事がある。
402	院経済	1年	苦善などの途切れ、コミュニケーション不足
403	院経済	2年	報告者の資料(PPT)の共用、ダウンロードの仕方やチャットの使い方が未習熟のため、授業には参加できたが、報告者の資料をダウンロードできずに授業が終わった。また、自分の報告の時、報告資料の展開やプレゼンテーションの仕方が理解できていないので不安である。
404	院経済	2年	まだないです。
405	院芸文	1年	音画や映像が途切れる。(重要な文書を逃した可能性がある)
406	院理工	1年	音が聞き取れない
407	院理工	1年	1度だけ映像と音声は切れたため、ZOOMを再起動しました。
408	院理工	2年	トラブルではないですが、黒板の板書等で画面共有では限界を感ずる瞬間は多々ありました。
409	院理工	2年	今のところ問題はないが、やはりセキュリティ面があまり強くはないと聞かため、心配である
410	院理工	1年	一回目の授業がzoomのトラブルでほとんどできなかった。
411	院教職	1年	雑音が入って聞き取りにくいことがあった。

No.	所属	問7. 授業においてMoodle!に関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
1	人文	スマホでログインの際に、正しいパスワードを打ち込んでも、1回でログイン出来ない。
2	人文	課題の出し方がわからなかった
3	人文	課題の提出方法が分からなかった
4	人文	学年暦が変更になったり授業日がきちんと変更されていないものがある。またそれによって課題提出が期限切れになったりなどして不安になった。先生方には万全の状態に更新してほしい。
5	人文	教授にメッセージを送ったが、返信が来ない。
6	人文	掲載されている資料が見れないことがあるのもう少しわかりやすくしてほしいです。
7	人文	時間になっている資料が表示されなかった
8	人文	情報処理で学んでいない方法で課題の提出を求められた時に操作方法を調べのに時間がかかって時間内に課題が提出出来なかった
9	人文	選択した科目のコースがmoodle上から消滅していた(現在は復帰)
10	人文	同じ講義やPDFが重複して個出しているなど、どうすればいいかわからないことがある。
11	人文	ある講義担当の先生が、授業の出席確認のためにミニレポートを提出する期限を長く設定していただいたために、Moodle上に提出できなかったこと。
12	人文	ディスカッションでの発言方法がわからない。
13	人文	何か新しく追加されたものがあれば通知やメールが来るようになってほしい。すべてをまとめてチェックしなければ予習や課題などを見落とすやしない。
14	人文	特になし
15	人文	入れたいときがあった
16	人文	提示資料が消えていた
17	人文	なかなか更新されずに授業の内容がわからなくなることが多々起きた。
18	人教	英語の授業で音声を送る課題があったが、声を録音する機能が使えなかった
19	人教	課題が授業開始時間になっても表示されないことがある
20	人教	課題が授業開始時間になっても表示されないことがある
21	人教	課題について書いてあるページが分りにくく、何を提出すればよいのか把握しずらかった。
22	人教	課題の受講開始時間と提出期限の時間が同じになっているものがある
23	人教	自分が登録したはずの授業がマイコースからなくなっていた
24	人教	出席確認したらうけと毎週課題提出求められるのだからいい
25	人教	本来ない課題が表示されたり、正しい課題が表示されなかったりする。
26	人教	教科書を読んで各自で勉強ということであつた授業ではなかった
27	人教	特になし
28	人教	配布資料が小さくて読みにくい
29	人教	初期画面にテンプレートが常に掲示しており、課題を提示された際、名前の変更がなく(初期設定の課題)となつており課題がある事に気づくことが出来なかった。
30	人教	特になし
31	人教	特になし
32	人教	Moodleで出欠確認を取る授業と取らない授業があるのもややこしい。
33	経済	なんにも指示がない。ずっと利用できませんのままでの授業。
34	経済	マイコースに授業がないままがあった。初年次教育がよくわからない。
35	経済	やりとを思て二回でも開くで課題が進行中のままで課題にかかった時間が累積に長く覚えてしまう点
36	経済	音声課題を提出出来なかった
37	経済	音声録音がよくわからなかった
38	経済	課題で何を提出したらいいかわからない
39	経済	課題はないのに Moodle 上では課題があることになっている時があった
40	経済	指定された書き方をしても違ってしまう。時折ファイルが添付できない。授業資料が見れないことがある。
41	経済	次の日の授業のコースがMoodle上から無くなること何度あった。
42	経済	資料を更新とかしたなら通知してほしい
43	経済	自分の授業のコースがMoodle上から無くなること何度あった。
44	経済	授業外で課題を出されると気づかない。
45	経済	出席確認のボタンが押せなかった。
46	経済	小テストで平均英数字や記号(α,β,γなど)を入力した時に、解答が認識されていない様子だったことがあった。
47	経済	数字の授業の採点がエラーと認識されたり、一回目に提出して二回目に間違っていた空欄の方を受験状況として採用されたりした。
48	経済	同じ課題が二つ提示されており、どちらに回答を入力すれば良いかわからなかった
49	経済	特になし
50	経済	課題の提出先が何処なのか分からず提出できているのか確認の出来ない講義がある。
51	経済	課題の提出した方がわからなかった時がある。
52	経済	同じ科目が2つマイコースに登録されていてどちらに課題提出すれば良いのか分からなかった。
53	経済	履修登録で落された講義がマイページにある
54	経済	Moodleそのもののトラブルではないですが、先生方がMoodleに掲載された資料(パワーポイントファイル)の日本語がおかしくて、授業内容の理解に苦しんでいます
55	経済	moodleのページが複数あるように、提出期限が表示されていないかつたにもかかわらず編集不可能になったりした。
56	経済	それに対して、教授からのメールの返事が来なくて困っています
57	経済	チャット機能について、他のタブを開くと自動的にログアウトされてしまつたため、資料と同時に見ることができない。
58	経済	課題の定義が曖昧だった
59	経済	課題の保存がうまくいかない
60	経済	課題へコメントされた場合通知が来ない
61	経済	課題を提出して確認メールも届いたのに後日ムードルにアクセスしたら未提出になっていた
62	経済	課題の保存がうまくいかない
63	経済	課題の保存がうまくいかない
64	経済	課題の保存がうまくいかない
65	経済	課題の保存がうまくいかない
66	経済	使い方をよく分かっていない教授が多いので、どうにかしてほしいです。
67	経済	特になし
68	経済	履修登録した際に追加した科目に抽選漏れした科目のコース登録を削除してほしい。

No.	所属	問7. 授業においてMoodle!に関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
69	経済	提出課題を提出できない時がある
70	経済	提出可能時間が定められているのならばはっきり明記してほしい
71	経済	毎回感想を送ることになっているが 確実には送られているのか確認方法がないので不安
72	経済	オンラインテキストが途中で切れて送られた。
73	理	ダウンロードに載っていない課題もある。ダウンロードに乗るようにして欲しい
74	理	ファイルが利用できなかった
75	理	ページが臭つけにくい
76	理	英語(リテランシー・コミュニケーション)のmoodleの説明文を全教員日本語で統一してほしい。解説が分かれる可能性があると思う。
77	理	授業があるかわからない教科があったからさっぱりとアナウンスメントなどに書いてほしい。
78	理	授業によっておとりせの位置が違い分りにくい
79	理	出席確認の仕方が分りづらい。質問ができない。
80	理	情報更新されていなかった
81	理	Moodleのオンラインテキストの文字数の制限が分りません
82	理	課題の採点の際の採点欄のメモのようなものを受け取れないため不正答している場合でも減点されている理由がわからない。理由を伺おうと思っても返信がなかなか来ない
83	理	資料掲示場所がおかしいため資料を手に入れるのが遅くなった
84	理	特になし
85	理	特になし
86	理	特になし
87	理	チャットボックスにメッセージが入らない
88	理	トピックの欄に直接長文を書いているが、すべてのトピックを一瞥で見づらくなった。
89	理	右側のチャットボックスにメッセージがつかず、次の内容が受け取れない
90	理	課題の提出方法が分からなかった
91	理	資料が正しいアップロードされない時があった
92	理	提出できるファイルの容量が少ない
93	理	問題やアンケートが掲示されないことがあった
94	理	問題提出が出来なかった。
95	医	メチが間違っていて設定されていることが数回あった
96	医	1.何が更新されているか分からないので、ログインするたびに全ての授業をチェックしなければ不安になり、負担が大きい。2.Moodleではなく、Active Mailの方に連絡が来ていて見落としかけることが多々あった。3.課題等の設定をそのままだしている先生がいて、「Moodleの利用方法について1000字でまとめよう」といった内容を本気にかける学生が多数いた。4.「ユニット1」等の区分が先生ごとにバラバラで、いつ、どのタイミングで受けるべきなのかわからないことが多い。5.一部授業が「臨床実習2024」に格納されていて非常にわかりづらい。6.中国語で書かれた意味不明のコース、「調査」情報処理」など消えているべきコースが残っている。7.講義の連絡を前日の午後にするといった、連絡不足のケースが多い。
97	医	1.何が更新されているか分からないので、ログインするたびに全ての授業をチェックしなければ不安になり、負担が大きい。2.Moodleではなく、Active Mailの方に連絡が来ていて見落としかけることが多々あった。3.課題等の設定をそのままだしている先生がいて、「Moodleの利用方法について1000字でまとめよう」といった内容を本気にかける学生が多数いた。4.「ユニット1」等の区分が先生ごとにバラバラで、いつ、どのタイミングで受けるべきなのかわからないことが多い。5.一部授業が「臨床実習2024」に格納されていて非常にわかりづらい。6.中国語で書かれた意味不明のコース、「調査」情報処理」など消えているべきコースが残っている。7.講義の連絡を前日の午後にするといった、連絡不足のケースが多い。
98	医	Moodleが更新されるのが遅かったりする上に、通知されないの、情報機器に疎い先生でもなるべくactive mailなどで通知するか、早めに更新するかしてほしい
99	医	Moodleの不具合は無かったが、先生が授業時間になってもMoodle内のページを更新していない事があり戸惑った
100	医	Moodle上の音声録音等の課題提出ができなかった
101	医	zoomのURLがどこに貼ってあるかわからなかった
102	医	サイレント修正されると気づかないので連絡してほしい。
103	医	なし。
104	医	なし。
105	医	医療学入門の動画が動いている場所まで行くのに、たくさんページを移動する必要がありすが、メニューからすぐ飛べるように変更していただけないでしょうか。なにが理由があるのなら大丈夫です。
106	医	一部講師のMoodle更新が著しく遅い。
107	医	科目によっては明らかに80分で終わらないものがある
108	医	課題の公開期限や終了期限の設定ミスがあった。
109	医	課題を提出していただき、と指示が出ていたが、何を使って提出すればよいかわからなかった。後日、メッセージ機能を使うことがわかりました。
110	医	課題期限のずれ
111	医	課題提出期限に不具合がある
112	医	課題提出期限に不具合がある
113	医	更新がされない。質問しても返事が来ない。
114	医	仕様がよくわからない時がある。
115	医	受講日時や時間が間違えて登録してある。
116	医	授業科目がMoodleから消えた
117	医	詳しい説明が不足していることがある。
118	医	上記のとおり。
119	医	通知が来ないため、授業当日の朝に確認しておいても、授業時間の直前に情報が更新されたりすると見落とす可
120	医	提出物を複数提出するとき仕方が分からない
121	医	動画を見る授業で、授業時間になっても動画が見られない状況になっていました。
122	医	特になし
123	医	特になし

No.	所属	所属	問7. 授業においてMoodleに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
124	医	1年	利用期間が間違っていることがある
125	医	2年	1回分の授業の資料が複数に分割でアップロードされるので、少々勝手が悪かった。
126	医	2年	HTMLで表示され、読み取りに難があるエラーが生じた
127	医	2年	一部でできるはずの操作が認識されなかった
128	医	2年	Safariでではできない操作がある
129	医	2年	タブレットに表示されない授業がある
130	医	2年	課題の提出方法が肩に1つ分かりにくい
131	医	2年	課題の内容を把握しにくい
132	医	2年	小テストの締め切りなど授業ごとにそれぞれ違うためわかりにくい
133	医	2年	質問コーナーを設けていない授業がいくつかあり、そういう先生はメールアドレスも公開しておらず、質問する手段が全くないこと。
134	医	2年	提出したはずの課題が未提出になっていた。
135	医	2年	動画によっては音が出ないものがあった。
136	医	3年	資料のアップロードミスや動画のリンクミスなど
137	医	3年	先生の声が小さいことがあった
138	医	3年	訂正が多すぎてわかりにくい、斜線ばかりで見にくい。
139	医	3年	youtubeのリンクミス
140	医	3年	映像が非公開設定となっており、みるこがでなかった
141	医	3年	特になし
142	医	3年	moodleでメッセージを送信しても先生に届んでいただけでいるのが分からない。
143	医	3年	moodle理め込みの動画に非常に非常に読み込みの遅いものがあった
144	医	3年	音ファイルの送信の仕方がわからなかった
145	医	3年	課題の提出ができなかったことがある。先生の連絡がmoodleで掲載されていなかったのであった。
146	医	3年	資料が提示されなかった、提示されたページへのアクセス方法がわかりづらい
147	医	3年	先生によって公開するに差がある
148	医	3年	提出期限の明記が遅い科目があり自分の分のタイムスケジュールに急な変更が必要になることがある。
149	医	3年	動画がエラーで再生できないときがあった
150	医	3年	動画が再生できないことがある
151	医	3年	特になし
152	医	3年	講義の資料や動画を開覧可能時間を設定してもらいその時間内で講義を受けられることは問題ないです。しかし、資料も講義開始時刻からしか見られなくなり、事前に印刷が出来ず講義を満足に受けられません。全ての科目で資料の早めめに公開していただき、講義は時間通りにして頂けたらと思います。
153	医	3年	授業名の曜日が重なったままになっていた
154	医	3年	小テストを出席していないが、説明不足な点が多々あると感じた。また、小テストの解答の幅が狭いなどもある
155	医	3年	pdfファイルがブラウザの権限によって印刷できないことがあった。
156	医	3年	修正していない授業も表示されてしまう
157	医	3年	moodle上YouTube動画の閲覧ができなかった。後に直接URLを示されYouTube上では閲覧できるようになった
158	医	3年	が、未だにmoodle上では閲覧できず不便
159	医	3年	Moodle上あげられたYouTubeの動画が見れなかった。
160	医	3年	Youtubeにアップされた動画がmoodle上で開けなかった
161	医	3年	リンク先が間違っていた
162	医	3年	外部講師の方の授業動画が番号付きでいくつかがついているが、再生されるべき順番に並んでおらずどれから再生するのか探さなくてはならない
163	医	3年	また、講義資料は事前に紙媒体で印刷しておきたいのに、当日の授業が始まる時間に公開となつてくるものも、自宅にすつという時間感覚や曜日感覚がなくなつてきており、何か通知機能がついたら(LINEやメール)と同じ様に受信音が鳴るなど忘れずに授業を受けられると思う。
164	医	3年	小テストの解答が正しく表示されない
165	医	3年	いいえ
166	医	3年	1度提出すると編集できないのが使いづらいです
167	医	3年	Moodle上にアップロードされた動画が再生できず課題提出が遅れてしまった。
168	医	3年	Moodle上のテキスト作成で表の作成は可能でしたが、送信後に再度確認すると表(セルや枠)が表示されずに表の効果が無効になって送信されてしまいました
169	医	3年	You Tube の埋め込みが視聴できない映像がある
170	医	3年	アップする時間を早くしてほしい
171	医	3年	マイクによる録音ができなかった
172	医	3年	マイクソフトストアからダウンロードしたMoodleのアプリから送った課題が自分のほうでは提出済みとなっており変更が効かない状態だが、届いていないと言われ、送られていないことになっている。サイトから送れば大丈夫でし
173	医	3年	科目によっては分りづらい
174	医	3年	科目によっては分りづらい
175	医	3年	課題を提出しろと教授が煽つてきて随分
176	医	3年	課題を提出しろと教授が煽つてきて随分
177	医	3年	課題を提出するボタンが出ず、下書き提出の状態になって課題を出していないことになった
178	医	3年	指示が正しい授業などがあった
179	医	3年	指定されたファイルが開けなかった
180	医	3年	授業時間短縮を短くmoodleのみの授業は回線が中断している間で受講できないままでも終了する場合が何回もありま
181	医	3年	授業時間短縮を短くmoodleのみの授業は回線が中断している間で受講できないままでも終了する場合が何回もありま
182	医	3年	授業のルートをsort()と打たないとポイントと授業方法がわからないことがある。

No.	所属	所属	問7. 授業においてMoodleに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
183	工	1年	提出したはずの課題が消えていた
184	工	1年	提出したはずの課題が消えていた
185	工	1年	特になし
186	工	2年	wordでの課題提出の科目があるが、wordを利用できない状態にある
187	工	2年	ページに記載が当日になつても何も無かつたことがあった。
188	工	2年	課題を出すだけの授業があったこと
189	工	2年	画像をあげたくも貼れなかった容量が少ないので、データpdfに変換しなければいけない
190	工	2年	字内のPOを使わねばできない課題が設定されている
191	工	2年	真ん中に、連絡が確認しづらい
192	工	2年	情報が悪い
193	工	2年	提出ファイルを開通した時に変更できない設定になっていた
194	工	2年	特になし
195	工	2年	特になし
196	工	2年	特になし
197	工	3年	Moodleに関してはあります。
198	工	3年	Moodleを使った小テストを行った時ロードに時間を取られて制限時間内にしつかりと回答することが出来なかつた
199	工	3年	コース登録ができな
200	工	3年	テストをしていたら途中で落ちた
201	工	3年	ない
202	工	3年	現在何回目の授業なのか分かりにくい
203	工	3年	授業内容に時間要する
204	工	3年	授業を受けようとして無いmoodleを開いたら、マイコースから今から受ける授業が消えており、zoomのパスワードもわからず授業がうけられなかった。マイコースの件について授業が始まる時間すぐに教務と担当教員に連絡したたが、結局 時間半以内には何の連絡もなくその回の授業が受けられなかった。その後マイコースは登録は復活したが、出席点や課題提出のある授業で私の落ち度なく授業を受けられなかったことにも憤りを感じている。このことについてなんらかの方法で出席にする、または振替授業をしてほしい。
205	工	3年	小テストでページを渡える際に、リリースした。
206	工	3年	提出物や課題、授業の説明が英語で書かれていて理解できない部分がある。
207	工	3年	板書だけでは理解が困難
208	工	3年	授業の開始をメールで行うと言っていたのにわからず、メールではなくmoodle上にその告知をしていただいた先生
209	工	3年	音声を録音したいのにできない。
210	工	3年	課題の提出ホームページが提出期限内なのに表示されていない
211	工	3年	課題の提出方法が定まってい
212	工	3年	完了してもチェックがついてない
213	工	3年	真ん中に
214	工	3年	資料及び授業の案内が、授業開始時刻後に配信された科目があった。休講になったと勘違いするので、必ず事前に学生に伝えるよう徹底して頂きたい。
215	工	3年	授業によって課題提出方法がちがうため、場合によってはわかりづらく提出し損ねるような時があった。特にmoodleのメッセージ機能を使った課題提出が、いまい
216	工	3年	授業の開始直前に更新されたことでZoomに参加することが遅れた。
217	工	3年	初めてのドット課題の授業がMoodleのみで理解できなかった
218	工	3年	小テストなどを実施してもチェックがつかないものがある
219	工	3年	新しくUPされたものを探すが大変だ
220	工	3年	先生がMoodle上にアップロードしたPDFが学生からは見ることができな
221	工	3年	先生がMoodle上にアップロードしたPDFが学生からは見ることができな
222	工	3年	無
223	工	3年	スライドだけで課題をする授業があり、とても大変、せめて音声ファイルなどで授業をしてほしい。課題やスライドを授けるのが大変で全体的に易しい
224	工	3年	音響設備の課題ができなかつた
225	工	3年	音響設備の課題ができなかつた
226	工	3年	完全オンデマンド授業と聞いてある授業にZoomが開講されていて出席できなかった。
227	工	3年	真ん中に授業のページに行くのが大変
228	工	3年	受講を完了した後に、進捗状況のところにチェックマークがつか
229	工	3年	課題の提出期限を伸ばすのに、延長申請はされずに提出出来なかつた。
230	工	3年	課題の提出期限を伸ばすと言っていたのに、延長申請はされずに提出出来なかつた。
231	工	3年	資料が上からついでない
232	工	3年	提出期限に30分遅れたら受け付け貰えなかつたのは先生の操作によるものなのか、不具合なのか(オンライン授業に限ったことではないが)Moodleを五月雨に更新する教員が多く、一方で更新通知がないので、授業に関する情報(レポート課題の要件など)を何度も確認しなくてはならない。
233	工	3年	本来あるはずのファイルがアップロードされていなかった。
234	工	3年	特になし
235	工	3年	特になし
236	工	3年	特になし
237	工	3年	特になし
238	工	3年	特になし
239	工	3年	特になし
240	工	3年	特になし
241	工	3年	特になし
242	工	3年	特になし
243	工	3年	特になし

No.	所属	所属	問7. 授業においてMoodleに関するトラブルがありましたらその内容を記入してください。※任意回答
244	院理工	2年	課題に対して回答を添付したかったが、添付する方法が分からなかった(添付ボタンがなかった)
245	院教職	1年	土日に教職実践開発研究科のmoodleが見れなくなっ

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
1	人文	1年	kadi mo hyouji ga wakarinaku, kadi no umu ga hitome de wakaru to voi.
2	人文	1年	1 課題が提出されているか月に不確実さを覚える
3	人文	1年	1人寂しいです
4	人文	1年	90分じゃやりきれない課題が出る科目があるので困る
5	人文	1年	Moodleに新着情報を表示して更新されたのをわかりやすくすることは難しいですか？
6	人文	1年	moodle上のコースズだけに授業に関する連絡を送るのではなく、Activeimallにも同時に送ってほしい。メール
7	人文	1年	YouTubelに上がっている動画を使用する授業だと、何度も見返せてとても助かる。オンライン授業だと、質問
8	人文	1年	ZoomやYouTubeの映像授業がなく課題だけの講義は分らないことが多くやりづらい
9	人文	1年	zoom授業が必要でない限り動画などにして繰り返し再生できるといいようにしてほしい
10	人文	1年	zoom授業はあまりして欲しくない、レポートの量き方など一年生にはわからないことが多いため、例を提示するなどやることがわかりやすくして
11	人文	1年	オンデマンドかと思っていたら、リアルタイムで行う形式だったことに気がついたが
12	人文	1年	すでに課題がしめきられていた
13	人文	1年	できれば授業の各回に1〜3分のトイレ休憩等があるといいと思います。
14	人文	1年	とても目が疲れます。
15	人文	1年	一般教養の英語リテラシーと英語コミュニケーションの課題が多いので減らしてほしいです。
16	人文	1年	一方的に聞く講義が多いので、途中で小テストを行ななどの、双方向的な講義を増やして欲しい。
17	人文	1年	遠隔による発音の練習が授業であつた。音ズレがあるため先生と生徒同士でうまくいかないことがあった。
18	人文	1年	遠隔授業で、参加しないうちから生徒同士の交流の時間を増やしていきたいです。
19	人文	1年	遠隔授業で、各応なしにコンピュータを使ったため、様々な機能を学べて、授業内外で、社会人になっても生かせるような学習をできたと思います。
20	人文	1年	遠隔授業では勉強している感じがあまりしない
21	人文	1年	遠隔授業で今の所問題がないのでそのまま遠隔授業でいいのではないかと思います。
22	人文	1年	遠隔授業なら実家でも受講できて安心である。
23	人文	1年	遠隔授業の出席を取り方は全部が統一されていないです。そのため、自分が出席したかどうか心配している
24	人文	1年	遠隔授業も良いです
25	人文	1年	遠隔授業を受けていると、やはり対面式の方がより理解が深まるだろうと思うことがよくある。
26	人文	1年	音声 が近く感じて分りやすいです。また、グループワークで発言するとき音声のすれなどで、コミュニケーションをとることが少し難しく感じました。
27	人文	1年	何らかのトラブルでZoomに入革できなかった場合の対処を提示してあれば助かります。
28	人文	1年	教員の重たいことが伝わらないことがあった。また、90分を想定して出された課題の量が多すぎて2〜3時間かかるものがある。
29	人文	1年	緊急事態宣言がもし解除されても、まだ大学に登校することには不安があります。
30	人文	1年	言語のコミュニケーション授業はオンラインでやりたくない。
31	人文	1年	語学系の授業は基本はミュートで、先生が発言してほしいと思つたときに全員ミュート解除にしてやってほしい
32	人文	1年	授業が面白くないって言うわけではないが眠くなるので、集中力が続かない
33	人文	1年	授業には慣れてきてほぼ不便なことはありません。
34	人文	1年	授業に必要なもの、出す必要のある課題などの提示をもっとわかりやすくしてほしい
35	人文	1年	授業の多くがzoomに偏重しており、オンデマント形式やyoutubeの限定公開機能を利用するなど、授業形式を多様化してほしい。教員側の問題により、授業が中断してしまう例に遭遇したので、ぜひご検討のほどよ
36	人文	1年	集中力が切れなくなってしまう
37	人文	1年	先生方が出席把握しているかどうかを知らせてほしい。
38	人文	1年	先生方が出席が正確に伝わってわかるようにいので、なるべく早くMoodleかヘルンシステムに出欠の状況を載せてください。
39	人文	1年	前期は全部オンラインにするなど、他の大学のようにはっきりと決めて欲しいです。直前に決定することが多く困っています
40	人文	1年	他の学生と会話する授業はわかるが、解説するだけの授業ならば、zoomでばく音声や動画を掲示する形にしてほしい。
41	人文	1年	長時間パソコンの画面を見ているので、目の疲労を感じる。目が弱い自分にとつては、連続でオンライン授業を受けるのが辛い。
42	人文	1年	高山は感染者の増加率が一時期とても大きくなったため、緊急事態宣言が解除されても前期だけはオンラインのみの授業にしていただけると不安も抑えられ、さらに感染のリスクも大幅に軽減されると思うので、オンラインに徹底してほしいです。
43	人文	2年	2ページ目で書いたような問題(Zoom)に飛ばない、回線(不安定)はありはしたがそれで授業を受ける機会を失ったというような事もないので概ね満足している。少なくとも5月いっぱい6月頃まではこのような形式で良いのではないかと感じる。
44	人文	2年	カメラもマイクも常時ONだと重くなったりする。家の音もうるさいのであまりONにしない。タイムラグが発生した時に喋るタイミングが図れないため発言しにくい。
45	人文	2年	たどえ緊急事態宣言が解除されても、とても不安を感じるため、当初の予定通り5月末までは遠隔のみで授業を行ってほしい。
46	人文	2年	ネット回線が不安定になったとき、自分だけ授業のある部分が聞き取れず支障が出ることもあり、困った。授業で出される大量の資料を自分ですべて印刷しなければならぬというのは負担が大きい。図書や文献を気軽に手にできる状況ではないので、それらをまとめたレポートやレジュメ作成には無理があると感じ
47	人文	2年	パソコンが修理から帰って来ず、スマホでの受講は大変不便です。
48	人文	2年	遠隔授業でも、概ね問題無く授業が受けられているため、毎日とても楽しいです
49	人文	2年	遠隔授業とてもいいです
50	人文	2年	遠隔授業と対面式授業が同時に行われると、パソコンのバッテリーが保つか不安。また、食堂やコンビニに人が密集すると思うので、対面式授業が行われるなら学校に登校する生徒とzoomなどを使って在宅する
51	人文	2年	遠隔授業によって、他キャンパスの専門の授業を履修しに行く生徒も増えたようで、ディスカッション等も様々な意見や価値観が見れ、とても新鮮です。

No.	学年	所属	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
52	2年	人文	遠隔授業の環境を整えてくださりありがとうございます。自粛解除になってもすぐに大学に通い始めるの、パスなども利用するので不安です。
53	2年	人文	遠隔授業は大きなトラブルもなく、比較的スムーズに行えています。人文学部の教授陣の対応も迅速で、授業内容も対面授業時に劣らず素晴らしいです。学校に通学するリスクが高いと感じるので、私個人としては、後期からの対面授業の再開を希望する。
54	2年	人文	公共交通機関が乗り降りしにくいという点、コロナウイルス感染が不安。前期中ではできるだけ遠隔授業が、私はアズモット・パンコンしか所有していないのですが、ビデオやマイクが必須である科目もあるので大学、端末室では不十分です。遠隔授業と対面授業は別の日にあると大変困るので、統一していただきたいです。
55	2年	人文	出席がきちんと取られているのかや、回線の問題で遅延や途中退室になった場合成績に関係してくるの
56	2年	人文	数学系の授業さんだからzoomで授業してください。Moodleで独学ししろは無理があります。統計学上
57	2年	人文	先生方に準備していただいたおかげで、悪いほど遠隔授業を受けやすいと感じて授業。統計学上
58	2年	人文	対面授業ではないことを補うために、やや課題が多い気がします。いろいろなバリエーションを待たず、可能な
59	2年	人文	で、大学の端末室を利用させてもらうつもりです。しかし、端末室を利用する学生が大勢いた場合、双方向
60	2年	人文	の授業だと自分が発言する際、音声が、タイムラグによっては他の学生の受けにくい双方向の授業に端
61	2年	人文	末室で決めたものしか載っていないが、遠隔と対面がある日の授業の受け方(対面)が対面と決ま
62	2年	人文	る時間は無いので遠隔授業をどこで受けるかの検討、ネット環境の確認などを考えたいのが対面と決ま
63	2年	人文	る時間について、やはりコマに複数の授業が集中して回線にトラブルが発生したりする危険性があるのが
64	2年	人文	【今後の授業については要望】
65	2年	人文	今後遠隔授業と対面授業が混在した場合、両立することが難しいのではないかと不安に感じています。ま
66	2年	人文	ずバリエーションの充実に学校内では出来ませんが、恐らく私のバリエーションでは無いと思いますが、その日の遠隔
67	2年	人文	授業が複数あれば何回か充電しなくてもいいかもしれませんが、またその場合充電している間は対面授業を受け
68	2年	人文	る可能性があり、その間、バリエーションの管理が十分に出来ないと思います。
69	2年	人文	また一度端末室で遠隔授業を受けると、次の授業開始まで15分しかかからない授業に間に合いません。
70	2年	人文	端末室で遠隔授業を受けると、充電と授業開始が15分しかかからないため、一時帰宅するのと間に合わないこと
71	2年	人文	を考慮した上で、家で受講する場合と比べて、端末室で受講する生徒の中には発言等を求められる人
72	2年	人文	もいると思うので、家で受講の場合と比べて、端末室での受講が集中することが出来る環境ではな
73	2年	人文	いと思います。個々の授業を考えると対面授業が出来るとも思いますが、一日の授業全体で考え
74	2年	人文	ると対面授業は難しいのではないのでしょうか。
75	2年	人文	今のところ遠隔授業を問題なく受講しております。コロナが収束し、どの授業も対面授業が可能になるまで
76	2年	人文	遠隔授業で統一して頂けて幸いです。
77	2年	人文	オンライン授業で今のごころ困ったところではないので、対面授業の開始時期は遅めに設定してほしい。講義室内で
78	2年	人文	いるためウイルスを貰って移すことのないよう外出は控えています。私は実家生で祖父祖母とも暮らして
79	2年	人文	いるため6月が心配です。大学内で1人で感染者が出ないよう、対面授業の開始日については慎重に
80	2年	人文	検討していただきたいです。よろしくお願致します。
81	2年	人文	バリエーションがないから、課題提出難しい、いつも遅くなる
82	2年	人文	遠隔に慣れればそれほど負担ではないので、対面授業の開始時期は遅めに設定してほしい。講義室内で
83	2年	人文	いくら感染防止策を講じていても授業時間外に学生が密になることが予想される。
84	2年	人文	遠隔の授業ができていて遠隔のみがいい
85	2年	人文	遠隔授業と対面授業の両立は、マイクに雑音が入り授業が滞る、屋内で人の密集が発生する・15分の間で
86	2年	人文	遠隔授業のセッティングが終わらないといった事態にならぬように絶対に出ないでください。
87	2年	人文	遠隔授業に向の受講もできないため、実技以外の遠隔で実施できる授業は今のまま続けたいほうが混乱が生じ
88	2年	人文	なく良いと思う。
89	2年	人文	遠隔授業は資料が貰えやすいし、質問がしやすいと受けやすかった。
90	2年	人文	家から出なくていいので安心です。
91	2年	人文	ほとんどの授業で不便もないので良いです。
92	2年	人文	緊急事態宣言が解除されたからといって、6月から対面授業を再開するのは時期尚早だと思う。緩和モード
93	2年	人文	の今、大勢の人が一つの部屋に集まって授業を受けるのはリスクが高い。自分は家からほぼ出ない生活を
94	2年	人文	してきてが、他の学生はバリエーションも付いている友達と会ったりしている。
95	2年	人文	医療現場ではマスクをつけていても医療崩壊が起きている。マスクをつけているから人が集まっても大丈夫
96	2年	人文	というわけではない。
97	2年	人文	対面授業は実習などの必要最低限のものにとどめるべき。
98	2年	人文	現在、大きな問題なく映像授業を受けることが出来ており、対面授業は感染が非常に不安である。よって、
99	2年	人文	収束が不確定な段階で対面授業を無理に再開することなく、本心に安心して授業を受けるまで映像授業を
100	2年	人文	今のまま遠隔授業を前期いっぱい続けたい
101	2年	人文	今後対面授業が可能になったら、遠隔授業と混在することがないようしてほしい。混在すると不便が
102	2年	人文	必ず出てくると思う。
103	2年	人文	私にとってもいいです。遠隔での不便を感じません。まだ通学や受講がとても不安なので6
104	2年	人文	月から対面開始とありますが、6月いっぱいば遠隔授業を行ってほしいです。

No.	学年	所属	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
81	3年	人文	実家生になって、遠隔授業はかなり生活が楽になつたと思う。特に1限の場合、5時に起床することなく、サークルなどの関係で帰宅が23時を過ぎるときもあるため、運動は減ったけれどもいいね、睡眠時間も長くなった意味ではまあいいかな。
82	3年	人文	ただ、教にバリエーションがないから同じ姿勢で座っている分、目や身体は普段とは別の意味で疲れやすい面はある。また、自宅で受講は家の事情によって騒音が入りやすくなることもある。そういった場合に席を立てても問題ないよう、担当教員が配慮を行うなどの対策は必要かもしれない。
83	3年	人文	メリットデメリットはあるものの、遠隔授業は新しい受講の形として成立していると思う。
84	3年	人文	本当にやめてほしいのは、対面授業と遠隔授業の混在である。実家生の個人的な感想ではあるが、大学まで来たために片道・時間「は」で「ら」で、かなりの負担がかかる。この生活スタイルを選んでいるのは自分なだけに、端末室で遠隔授業に出る人間、全員が受講するのは現実的に不可能ではないか。声を出して話し合う授業も珍しくはない。図書館での受講も流石に静かに本を読みたい人にとって迷惑に感じている。ノートパソコンを持ってきて教室、は感情面を言ってもええばもって嫌である。それなりに重い純粋なような精細機械を、大学で行われる講義に混在するいくつものオンライン授業を受講するためだけに持ってきたのではない。
85	3年	人文	以上の理由から、オンライン授業自体には感じていないが、1日に混在は不便なんでものではないので小慮やめてほしい。
86	3年	人文	授業3回分をこなさずに自主学習して提出というほうやりした課題ですませている授業があつて不安。
87	3年	人文	先生によって、WiFiやネット回線に関する知識に差があるように感じます。そのため、こちら側の事情をあま
88	3年	人文	りわかっていただけないことがあり、今後オンラインで行うことに不安があります。
89	3年	人文	他の大学や世論を気にして動くのではなく、富山大学で職員学生ファーストで判断してほしい。コロナの対
90	3年	人文	応で医学部系の大学の偉いさんが忙しければ、五福キャンパス独自の判断とかもしれないと思う。富山大学
91	3年	人文	という対面を気にするのではなく、中の人を気にしてほしい。
92	3年	人文	対面と非対面の混在はなるべくよくしてほしい。
93	3年	人文	対面授業と遠隔授業の混在をさせないでいただきたい。しばらくはすべての授業で遠隔授業を練らせていただ
94	3年	人文	きたい。事態の終息の目処が立たず、安全を確保できないうちは対面での授業を行わないでいただきたい。何よりも対面授業と遠隔授業の混在は避けていただきたい。
95	3年	人文	特にありません。
96	3年	人文	みなで話し合うことの多い演習授業では遠隔授業やえのやりづらさを感じることもあるが、狭い教室で密
97	3年	人文	集して話し合うリスクを考えると遠隔授業のほうがよっぽどよいと思う。
98	3年	人文	・前期については遠隔授業のため、県内の感染状況を考慮して対面授業に切り替わることがあるのか気になる。端末室であった場合、できるだけ感染リスクを減らしたい。
99	3年	人文	このまま、前期については遠隔授業にしてほしい。対面授業は、やめてほしい。
100	3年	人文	この遠隔授業やオンライン授業のクオリティでできていないことが残念です。緊急事態宣言が解除されたら、そのような
101	3年	人文	授業だけでなく対面でも対面で行っていただきたい。
102	3年	人文	授業だけでなく対面でも対面で行っていただきたい。授業内容についても対面授業と変わらず充実して
103	3年	人文	いる。今後就試験が控えているため、遠隔授業に継続して感染リスクを最小限にしたいと考えている。教員の話はただでさえ、研究でお忙しなので、この場を借りて感謝申し上げます。
104	3年	人文	教員の話はただでさえ、研究でお忙しなので、この場を借りて感謝申し上げます。
105	3年	人文	をしていただきたき、頭が上がりません。この場を借りて感謝申し上げます。
106	3年	人文	個人的には、遠隔授業の方が受講が容易でした。
107	3年	人文	思っていたより受講が受けやすかった。動作は慣れなくていいかなと思う。
108	3年	人文	少しでも感染の恐れがある限り、できるだけ遠隔授業を継続してほしいです。
109	3年	人文	少しでも感染の恐れがある限り、できるだけ遠隔授業を継続してほしいです。
110	3年	人文	通学に時間がかかると、午前の授業を受講する場合には朝早く出なければならなかったが、遠隔授
111	3年	人文	業ではむしろ家で受講できるため身体的にかなり楽です。
112	3年	人文	緊急事態宣言が解除されたとしても、感染者数が200人を超えて、家族に感染させてしまうことが一番怖い
113	3年	人文	です。自分が感染した場合もそうですが、学校の友人や先生・家族に感染させてしまうことが一番怖い
114	3年	人文	今のごころ、遠隔授業では不具合がないため、緊急事態宣言が解除されたとしても、しばらくは遠隔授業が
115	3年	人文	いいと思います。
116	3年	人文	便利なのでこれからも活用して欲しい。
117	3年	人文	Moodleのみの授業だと、質問が沢山ある際にメールで送るのが大変。また、直接聞いた方が理解にも繋が
118	3年	人文	zoomのURLやパスワードを貼るのがギリギリ過ぎて遅れることがある授業があるので前日に貼ることなど
119	3年	人文	を、統一してほしい。
120	3年	人文	一日中バリエーションと向き合うため大変疲れた。また、ストレスを感じています。また、Zoomでグループのディ
121	3年	人文	スカッションなどの授業は良いけれど、Zoomでたいていの授業は退屈に感じます。
122	3年	人文	一方的に解説する授業はzoomの必要性を感じない。動画や音声の繰り返し再生など、オンラインなら
123	3年	人文	ではのやり方を工夫して欲しい。
124	3年	人文	英語の課題の量が90分で終わるような量ではなく多すぎる。もう少し予定を早く決めてほしい。
125	3年	人文	英語リテラシーAと英語コミュニケーションAのオンデマンド形式の課題が授業時間を大幅に超える時間
126	3年	人文	を要するため、改善を求める。
127	3年	人文	遠隔授業は登校の時間が省かれるので時間の余裕はあるのですが、授業を受講する方が、提出しなけれ
128	3年	人文	ばならない課題を把握するのは自己責任なので、遅延などないようにもつと分かりやすく提示してほしい
129	3年	人文	遠隔授業を継続してほしい
130	3年	人文	課題の内容を詳しく書いてほしい。アサインの指定など。
131	3年	人文	課題量が適切でない授業がある。このような事態だから履修修正の期間はもっと長くしてほしい。どんな授
132	3年	人文	業か、いまい理解していないので履修登録に困っている生徒も大勢いると思う

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答
149	人 発	3 年	課題が多い
150	人 発	3 年	課題提出を忘れやすい。
151	人 発	3 年	学校で講義してほしい。
152	人 発	3 年	疲りが痛い
153	人 発	3 年	今期はすべて遠隔で良いと思います
154	人 発	3 年	今後、遠隔授業と対面授業を同一の日に同じことがないようにしてほしい。
155	人 発	3 年	今後対面授業が開始された場合、例えば1限が遠隔授業の限が対面授業になると、私の家が大学まで車で30分以上かかるため、2限に間に合うように出席することは困難です。そのような場合に、対面授業と遠隔授業を並行して行うなど、先生方一人ひとりに柔軟な対応を取っていただきたいと思います。よろしくお願ひい
156	人 発	3 年	最初に思っていたよりうまくいっていると思います
157	人 発	3 年	私はスマートフォンでzoom授業を受けていますが、とても充電の減りが早いです。これから対面の授業と遠隔授業が混在するようになったら、大学の構内が、電車の中で遠隔授業を受けなければならないことになると思います。そうなるスマートフォン充電の充電がもたないなと思います。
158	人 発	3 年	私はスマートフォンでzoom授業を受けていますが、とても充電の減りが早いです。これから対面の授業と遠隔授業が混在するようになったら、大学の構内が、電車の中で遠隔授業を受けなければならないことになると思います。そうなるスマートフォン充電の充電がもたないなと思います。
159	人 発	3 年	自宅が大学から遠いので、通学時間がからないう遠隔授業は助かっている部分が大変多い。また、新型コロナウィルスの影響がどれほどの期間続くか予想が困難だったため、通学のため使用していた電車の定期を払い戻してはいます。電車通学は大きな不安がまだ残るため、可能なならば前期中は遠隔授業を継続してほしい
160	人 発	3 年	受講者は必要時時以外音と映像は消すように指示してほしい、生活音が入ったり画面が切り替わったり取り入れたり、音声での発表の機会を増やしたりすることで、誰がサポートしているのか把握しやすくなると思う
161	人 発	3 年	正、意欲校は必要がなく、周囲の目を気にする必要がないため、ストレスなく受けられると感じています。YouTubeでは発言できるが、授業では発言できないのと同じです。友達と対面で交流できない、というデメリットはありますが、それも、ペーパーワークのときはビデオをオンにする、さまざまな交流会の類のもの企画するなど、対策は色々考えられます。コロナだからとは言わず、積極的に遠隔授業を取り入れてほしいです。
166	人 発	4 年	今学期中は遠隔授業にするなどある程度形式を早く構築してしまい、対面に戻るか戻らないか先が昇りzoomで議論するためにマイクをオンにするよう言うのは理解できるのですが、一度カメラをオンにするよう言われ不快でした。プライバシー保護のためにカメラはオンにしたくありません。いつからでも遠隔授業を実施するの気がなります。急に大学での授業を再開するとなると準備が必要なので、早めに知らせしてほしいです。もし学校での授業が開始になった際、時間割の続き方として1限が対面授業で2限が遠隔授業という流れは対応できるが、反対のバターンの場合は早急に遠隔授業が終わらないと対面授業の開始時刻に間に合わない。
167	人 発	4 年	遠隔授業を学校内でも受講できるとなっても、ゼミ室や様々な教室を指定したり開放したりしていただかな英語のコミュニケーションの授業で少人数で話す場合でも、コミュニケーションがとりやすいです。遠隔授業に不便を感じていないので、対面授業出なくても今期は遠隔授業で良いかなと思います。
168	人 発	4 年	下宿で受講するの、近隣に迷惑を掛けてしまっていること、回線の問題もありです。
169	人 発	4 年	家が遠い学生にとってかなり便利なので続けてほしい
170	人 発	4 年	学生のマイクは発言時だけオンにする事を許可して欲しい。他の人のくしゃみ、外の車の音、生活音、ハウリングなどが授業に影響を与えます。
171	人 発	4 年	現段階で、3回の授業全て質疑提示の目習になってます(1つ2つの講義だけです)
172	人 発	4 年	授業の質がかなり低下しているように感じています。
173	人 発	4 年	講義型の授業は自宅からの受講でも教室で聞くのとあまり変わらないので、遠隔だと自宅受講ができず授業を用いた遠隔授業が現時点では大きな不具合もなく、思った以上に便利。特に教員への質問ができず、授業の質がかなり低下しているように感じています。
174	人 発	4 年	Zoomを用いた遠隔授業が現時点では大きな不具合もなく、思った以上に便利。特に教員への質問ができず、授業の質がかなり低下しているように感じています。
175	人 発	4 年	た、学生同士のコミュニケーションを必要とするアクティブラーニングには向かない点や演習・実習科目が実施できない点も課題だと思う。アクティブラーニングにおいては、Zoomの機能で別室？のようなものを作って数人グループでの対話を実施したい授業があったので、そういったものが活用できれば授業の幅も広WiFi環境が悪いせいだが、途中でZoomミーティングが切れる事がしばしばあり、話を聴き逃したりするためやZoomのURLをせめて講義の前日までに知らせて欲しい
176	人 発	4 年	ZoomのURLをせめて講義の前日までに知らせて欲しい
177	人 発	4 年	zoomのURLをせめて講義の前日までに知らせて欲しい
178	人 発	4 年	zoomのURLをせめて講義の前日までに知らせて欲しい
179	人 発	5 年	zoomを使うず資料を出して課題を解くしやて zoom 使って授業してほしい
180	経済	1 年	
181	経済	1 年	
182	経済	1 年	
183	経済	1 年	
184	経済	1 年	

No.	学年	所属	質問.その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答
110	1年	人発	講義がないならない、zoomを使うのか使わないのかちゃんとMoodle(一事かActiveMail)で送るかなどしてほしい、Moodleに変化のない科目は何もなくていいのか単位などはどうなのか何度も確認してが不安になってしまった。
111	1年	人発	授業の前日になってもmoodleが更新されなかったり、zoomのURLの連絡がなかったりするので不安になる。授業の30分前まではアナウンスがあるようにお願いしたい。
112	1年	人発	授業情報は当日でいいから前日までに出しておいて欲しい。直前に出されると非常に困ります
113	1年	人発	授業内で口頭で説明ある課題の締切日とMoodle上に記載されている課題の提出締切日を揃えて欲しい。口頭で違う日と言われているだけでも混乱する。
114	1年	人発	授業内容をオンライン上に載せてもらえることで、復習を好きなタイミングでできた。
115	1年	人発	全授業のやり方を統一してほしいです。学校でなら全部学校でお願いします
116	1年	人発	対面授業と遠隔授業が混在したとき、パソコンはどこで充電すればいいのかわからない
117	1年	人発	当日の朝にならなないと授業があるか分からないものがあるのだ、前日のうちに知らせてほしいです。
118	1年	人発	動画を共有するとき重くなるので、動画は必要最低限にしてほしい
119	2年	人発	おそらく、今月で緊急事態宣言は解除されるかと思いますが、その場合、9月1日から対面授業が始まるのでしょ。確かに今、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあります。しかし、これはあくまで1波のピークが過ぎただけで、今後、第2波、第3波の到来が予想されています。そうした状況の中、6月から対面授業に戻すというのにはリスクが高過ぎるように感じます。加えて富山県は、特定警戒都道府県以外の34県ではトランプの感染者を出しているの多くは、クラスターによるものです。富山大学は、何千人もの人々が密集する場所です。このまま対面授業を再開し、もし富山大学関係者で感染者が出た場合、メガクラスターが起こればかねえです。少なくとも前期中は、遠隔授業を続けるべきだと思います。
120	2年	人発	一人、画面の前に座り、授業を受けるのが疲しい。早く対面授業になってほしいと思った。
121	2年	人発	遠隔授業の影響で通常より課題が増えた大変だが、大勢が集まって授業をするのは怖いので、コロナが完全に収まるまでは遠隔授業を続けてほしいです。
122	2年	人発	遠隔授業は楽しかった
123	2年	人発	家のネット環境によって授業に入れないことがあるので、授業を聞き逃したり、出席確認に間に合わなかったりすることが不安。
124	2年	人発	家を出ないでいいから、授業ギョギョに起きても間に合うのが嬉しい。
125	2年	人発	課題の期限とその内容について不満がある授業がある。同時双方向型の授業形式より、オンデマンド型授業での理解度が低い。そのため、そのような授業形式を廃やしてほしい。
126	2年	人発	課題の期限とその内容について不満がある授業がある。同時双方向型の授業形式より、オンデマンド型授業での理解度が低い。そのため、そのような授業形式を廃やしてほしい。
127	2年	人発	課題の量が多すぎる。出欠確認を兼ねているので仕方ない部分があるのかもしれませんが、毎時、ほぼ全ての授業で、それだけのレポートが課されるので、かなりカッカツです。もし、何らかの別の方法で代替できるのであればお願いしたいです。
128	2年	人発	今後緊急事態宣言が解除されたとしても、しばらくは遠隔授業のままがいいと思います。
129	2年	人発	富山に自生者が多く、祖父祖母と一緒に住んでいる人が多くても家族にうつってしまった場合危険だと考実家から住んでいるため、対面と遠隔が混在していることに形式が違っても、往復している時間がないことや交通費がかかる、事がい配です。もし、対面と遠隔が混在する場合は大学の端末を借りれないと授業を受ける実家まであるため通学に時間がかかるので、できれば遠隔授業なら遠隔授業、対面授業なら対面授業で割り切りたい。同一日に対面授業と遠隔授業が混在してしまうととても不便だと思う。
130	2年	人発	実習系(例えばプログラミング)などはやはりつらい
131	2年	人発	少しずつオンライン授業の期間を伸ばしてほしい。他の大学のように深く前期いっぱいオンラインにすればいいと思う。同一日にオンラインと対面授業があるのはやめてほしい。どちらかにしてほしい。
132	2年	人発	職員の方、先生方お疲れ様です。
133	2年	人発	対面授業と遠隔授業が同一日に混在することがないようにしてほしい。
134	2年	人発	短い制限時間でパソコンに打ち込む小テストはタイピングに時間がかかるためできれば選べて欲しい
135	2年	人発	短い制限時間でパソコンに打ち込む小テストはタイピングに時間がかかるためできれば選べて欲しい
136	2年	人発	特になが、遠隔と対面が混在するのはあまり好きくない。実家が通学があまりにも不便である。
137	2年	人発	1限から3限まで授業がある日、通信環境が安定してほしい。生徒が利用するのほもちろん、多くの先生がITGが定期的に切断され、不便。通信環境をずっとパソコンの画面を見続けているため、目が疲れるやうに感じているため、授業が途切れ、聞き取れないことがある。
138	3年	人発	このWiFiを利用しているため、授業が途切れ、聞き取れないことがある。
139	3年	人発	PCに向き合う時間が多すぎて疲れるです。授業目一杯PCを見続け、課題でもPCをずっと見続けるのは正直キツイと感じます。
140	3年	人発	ZOOMで一斉に指定された参考書の箇所を読み上げなさい、という指示はやりにくいのでやめてほしい。
141	3年	人発	また、いきなり指名されたとき、回答の関係性が不明で、聞き取れないことがあるので、反応が無かったら再度、指名していただきたいです。
142	3年	人発	これらの対面と非対面授業が混在して同日で行われたとき、端室で非対面授業を受けた場合、発言を求められ授業中でもあるので同室にいる周りの人たちに迷惑がかかると思う。
143	3年	人発	ただ、里に資料を画面に表示してそれを読むだけの授業をする人がいる。そんな授業だと全く意味がないので遠隔授業でも十分できることはできている、と思います。コロナが収束してきているけれど危険は残るので遠隔授業も効果的に使っていける環境が欲しい、なと思います。
144	3年	人発	遠隔授業も効果的に使っていける環境が欲しい、なと思います。
145	3年	人発	遠隔授業にも不便な受講でできているので、前期いっぱいこの形をとってくださる方が助かります。この状況で大学に行きたくありません。
146	3年	人発	遠隔授業を続けて欲しい。一時的に感染が収束しても対面授業で密集状態で作ったまま感染が広がる可能性がある。
147	3年	人発	音声によって説明されない、文字による説明のみの授業は頭に入りにくい。教授がZoomの参加の許可を忘れて、遅刻する。
148	3年	人発	何に、遠隔授業と対面授業が混在することになったときの話です。 私は、通常(一時間)かかる場所にすんでいて、遠隔授業は大学で受けることになりました。しかし、その場合、大学には周りに人がいる環境が多いため、静かに講義を受ける場所がない可能性があります。遠隔が対面か、どちらかにしてほしいです。

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
234	経済	2年	今後対面授業を再開する予定だと思えますが、帰省していた学生が再び富士山に移動するリスク、5月18日現在でも富士山県に感染者が出ていると言う現状を加味すると授業再開は相応しくないと。他の都道府県と富士山県は状況の違いがある。感染してからでは遅い。
235	経済	2年	今後対面授業を再開する予定だと思えますが、帰省していた学生が再び富士山に移動するリスク、5月18日現在でも富士山県に感染者が出ていると言う現状を加味すると授業再開は相応しくないとと思う。他の都道府県と富士山県は状況の違いが大きい。感染してからでは遅い。
236	経済	2年	資料が送られてきてよく説明がないと理解出来ない。 自分が受けている授業はMoodleで資料が出てきたので課題を提出するだけの授業が大丈夫であるのだが、このような自主学習とほぼ変わらないような内容で前年通りの学費を払わなければならないのが非常に不満だある。動画がzoomなどできたらと講義をして欲しい。
237	経済	2年	自分の受けている科目は遠隔でも特に問題なく感じる。 授業の取り組み方と課題の内容や提出方法について詳しく説明してほしい。 授業の取り組み方と課題の内容や提出方法について詳しく説明してほしい。 授業の取り組み方と課題の内容や提出方法について詳しく説明してほしい。 授業を受けながら、上での問題は特にないが、パソコンのモニター音が最近不快になり、学習に集中できないこと 2年の試みの中で、データベースの操作ミス等を得意な事情が可能な限り返り込んでほしい。
238	経済	2年	少く投げてやりにも感じる
239	経済	2年	先生方のしゅんひのおかげですが、そこまで不便ではないと感じた。
240	経済	2年	前期はこのまま遠隔授業で良いと思います。
241	経済	2年	前期は自身の感染から思うように進められませんでした。
242	経済	2年	対面授業と遠隔授業の両方をやるべきだと思います。
243	経済	2年	通学において不安を感じるのを、遠隔授業を継続してほしい。
244	経済	2年	労働法の授業で、コピペの防止のために、課題を郵送しなければならぬのですが、外出自粛が求められている中で、郵送のために封筒を買ったり、郵送したりすると、お金もかかるし、なにかと手間がかかるので、コピペが発見したら、単位を与えない。などのような連絡をした上で、moodleでの課題提出にした方が効率が良いと思います。
245	経済	2年	また、経済学部の授業は動画ファイルが添付されている授業もあるが、資料(レジュメ)を添付しただけでは、あとは自学自習というような授業スタイルも多い。これでは、自分の解釈が間違っていたとしてもそれに気づくことができない。zoomでのオンライン授業をしてほしいとまでは言わないが、少なくとも教授による授業の音声をmoodleにアップすることは必要だと思います。
246	経済	2年	3 Moodleにて、だんだんなくなってしまった。先生方が準備してくださっているおかげかなと思っています。ありがとうございす。週目にて、履修していない科目の授業が自動でマイコース登録されたままなので、消して頂きたいです。今後対面授業が始まることに伴って、対策を行うにしても多くの学生が一つの教室に集まると危険だしと思っています。帰省から帰ってくる人もいれば、現在も数人で集まって遊んでいる人もいます。そんな様々な所に行っている人達と一緒に教室で勉強することに対して不安があります。第二波でも懸念される中なのので、コロナウイルスが確実に収束までは、オンライン授業を続ける方針を取ることをお願いします。
247	経済	2年	Zoomで名前どろごらに、卒業番号と氏名を書いて受講することを求められる上で、顔を出すのは、100人以上受講しているのに個人情報という面で少し気になる。
248	経済	3年	ほとんどの科目が自分で学習していただけたのであまり授業を受ける気がなかった。
249	経済	3年	ほとんどの先生の課題をレポートするせいで、いくら自薦期間といえど、レポートに追われて課題が終わるまで、マナータイムで教科書が必要なのですね、生協の教科書販売のリストに載せておらず、買えないままで、通販でも売り切れているので、買う手段がありません。
250	経済	3年	マーケティング論の教科書の購入を生協として欲しいと言われたのですが、リストになかったのその場合は備考欄に一書として書くことで済みました。しかしその教科書だけ届かなかったので生協に問い合わせをしたら、今購入することは出来ません。購入するネットで購入するが購入が開いてからになると思われる。自分は富士山県外の生徒なので、生協に直接買いに行くことは難しいかもしれない。教員にやり方を教えてもらいたいんです。教科書は今後必要になってくるので買えるようにしてもらおうか、教授により方を変えてもらいたいです。同じように困っている人がいると思うのでご検討の程宜しくお願いします。
251	経済	3年	モバロや授業と呼べるものなのかどうかとも怪しい。資料掲載とMoodleなどでの課題のみで対面授業と同等の質を得られるはずはない。
252	経済	3年	経済学部の対応についてはかなり疑問を感じています。対面授業再開のための履修制限を行っていたが今の状況で対面授業を再開できるかは考えられない。そう思っているのなら考え直して頂きたい。このような状況で公共交通機関を使って登校するのは危険な学生の事をよく考えてほしい。
253	経済	3年	またアンケートの内容の対面授業と遠隔授業を同時に実施するというのも不可能。大学内で足並みを揃えて授業の実施をしてほしい。
254	経済	3年	一部の授業において、要約のみで、解説がなく、分りにくい場合があります。文章でも音声でもよいので、解説がほしいです。
255	経済	3年	映像や音声での解説があるかないかで、理解度が大幅に違っています。特に計算演習のある科目は文章では理解し兼ねる部分もありました。しかし、ZOOMの場合録画もあったりするのですが不安です。ある授業が、授業動画をいつでも見れるようになってあるのですが、そういう形の場合、接続障害で授業を受けられないという事象が無いので、これが一番受けやすい授業でした。
256	経済	3年	遠隔授業がとてもやりやすく充実している。
257	経済	3年	遠隔授業が自分のペースで学べることが多かったので何も問題は無く有意義に感じました。
258	経済	3年	感染の恐怖があるため前期学期は遠隔授業を希望しました。
259	経済	3年	263
260	経済	3年	
261	経済	3年	
262	経済	3年	
263	経済	3年	

No.	所属	学年	質問1. その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答
185	経済	1年	Zoomを使っているにも関わらずよくいうようにしてしてくれるとありがたいです。 Moodleの問題提出方法を全科目一緒にしてくれてくれる生徒側もやりやすいと思います。
186	経済	1年	そして、提出期限をしっかりと明示して欲しいです。
187	経済	1年	Zoomを使用している先生方の顔を見ながら受講できるのは嬉しいなと思いました。
188	経済	1年	カメラオンにするのがプライバシーなど面で少し不安です。
189	経済	1年	ずっとパソコンで授業を行っていてとても疲れる。
190	経済	1年	ビデオマイクを使う授業は少ないほうがいい。平日のほぼ毎日zoomを使って授業があって、家族も静かにしたいといけないから、いつもの生活じゃなくストレスが溜まっている。
191	経済	1年	ほとんどの課題提出に対する返信は、「何日か後に返信がある」という表記ではなく、たとえば「24時間以内」に返信を送るが、それが届かない場合はメールでの提出に不備があるというように制度にしていただきたいです。実際には前週の表記によっても不備になっていないまま返信を待ち続け、提出期限を過ぎてしまったりと悩んできたところですが、今後もしばしば遠隔授業を続ける方が安全だと思います。
192	経済	1年	レポートなどの課題について他の人からのように進めているのが情報がない。
193	経済	1年	内容や進捗が他人と比較し、自分の現在地を知りたい。
194	経済	1年	一年生のためムルデルでの課題の提出方法がわからなかったにも関わらず、手順の説明がなく困った。
195	経済	1年	英語の課題の量が多いので、90分どころか、2時間あたりまで終わらないです。
196	経済	1年	英語の課題の量が明らかに多すぎ(90分で絶対に終わらない)のを改善してほしい
197	経済	1年	遠隔授業だったら遠隔授業で対面授業で対面したときと同じようにしてほしいです、判断を早めをお願い致します。(この時期実家に帰ってくる学生も多いと思います。判断を早くしてもらわないと大きな混乱が起こります)
198	経済	1年	遠隔授業だと感染症に対する不安が大きいです。
199	経済	1年	遠隔授業だと感染症に対する不安が大きいです。
200	経済	1年	遠隔授業では移動時間をあまり考えずに課題ができるので、1日の計画を立てやすさ。また、これからも遠隔授業を進める程度は続けてほしい。
201	経済	1年	遠隔授業と対面授業を同日は控えてほしい。
202	経済	1年	課題が毎回ちゃんと出させているのか心配
203	経済	1年	課題が多過ぎず、やはり勉強ができてない。また、提供される講義にたいして求められている物の質が悪い。
204	経済	1年	課題や授業資料をもっと早くアップして頂けると安心できます。
205	経済	1年	課題を行えない場合がある。例えば、大学生協で頼んだ教科書が届いていないとき、買ってきてといわれる先生もおられます。
206	経済	1年	先先生成は、大学生協の教科書配布状況を知っていただきたいです。
207	経済	1年	今年度成績評価の基準を明確にして欲しい。ムルデル課題がどう評価されるのか。
208	経済	1年	授業の連絡をActive Mail でする授業とMoodleのみでする授業があるので統一してほしい。
209	経済	1年	出席名簿設定のスタイルを統一して欲しい。
210	経済	1年	専門科目は対面授業で受けたい。
211	経済	1年	対面と遠隔が混同するのではきれいに分けたい。
212	経済	1年	対面授業を開始する際はお互いだけの科目も同時期に開始してほしい。 大学メールには送らず、Moodle上の一部分にのみ授業の連絡を行う先生がいちいちやるのが、非常に分かりづらい。中には数分後に変更の内容が入ってしまうものもあり、毎日何度もMoodleの各コースに入り、複数の授業に対する連絡の確認をするのも限界がある。今は大学メールが一層の頼りなので、毎日こまめに確認していない。大学メールにも送っていただくはずなのに気づくことが出来る。同じ内容を送ってくださっている先生もいます。
213	経済	1年	遅くとも前日の朝までには授業の概要等を説明してほしい。
214	経済	2年	Moodle資料だけでは理解が困難な部分がある。
215	経済	2年	1日の授業日程の中に、対面授業と遠隔授業が混在した場合、一時的に帰宅するのに時間が合わない等の理由で、遠隔授業の際のネット回線や画質、音声などに不安があります。
216	経済	2年	1日の中で遠隔授業と対面授業が混在することのないようお願いします。
217	経済	2年	moodleにアップされたレジュメをすべて印刷するのは難しいこともあり、本当に理解できているのか不安。学習しているという実感がない。もう少し整理ができたらいいと思う。
218	経済	2年	moodle上に登録されている履修できなかったコースや同一教科で複数のコースがあるのを整理したい
219	経済	2年	SkypeやZOOM以外を使った授業の場合(例えばMoodleを使う場合)、自分の好きな時間にいつでも授業を受けることができるのが魅力的に感じました。コロナ収束後も、できるだけ一般授業で継続してほしい。
220	経済	2年	ZOOMで途中で回線が切れ復帰出来なかった授業について、再配信してもらいたい。
221	経済	2年	zoomが使わなくても良い内容の授業などもあり、個人的にはMoodle中心の自習形式の方がストレスもなくやりやすいです。
222	経済	2年	カメ意識しすぎて家の中が見られるのは恥ずかしいため、マイクのみの受講を希望する。
223	経済	2年	せめて前期は全てオンライン講義を希望します。
224	経済	2年	まだコロナ期の脅威が残っているとと思うので、しばらくは遠隔授業にしてほしいです。
225	経済	2年	もう少し詳しい情報が早期にほしい。
226	経済	2年	もし、遠隔授業と対面授業が1日に混在する日が生まれると、Wi-Fi環境が自宅にあるので、移動していると授業時間に間に合うのか心配です。
227	経済	2年	遠隔授業が何のメリットもないので、完全にウィルスが収まるまでは遠隔授業をお願いします。
228	経済	2年	遠隔授業でも意外とストレスなく受講できる
229	経済	2年	遠隔授業になつてからは、自宅で資料印刷をするのが増え、少々困っている。
230	経済	2年	大きな問題は特に無いため、授業を受けているうちに、これまでどお単位認定されることが不安だ。
231	経済	2年	遠隔授業のおかげで真面目に課題に取り組むようになったので、授業を受けると寝てるだけの対面授業より学業に専念できている気がします。ただ、一部の授業の資料がすぐにくらりにくい。
232	経済	2年	遠隔授業を続けるべき。
233	経済	2年	課題の種類が多いだけ管理が難しいです。 経済学部の方ほとんどどの授業がMoodle上で資料を読み、課題を出すだけで、授業と呼べるとは思えない。 より多くの講義でzoomでの遠隔授業を実施していただきたい。

No.	所 属	学 年	問 題 1. その他、遠隔授業の感想・疑問・要望等について自由に書いてください。※任意回答
264	経済	3年	経済学部が学務部の対応が酷い、遠隔授業への対応に関して、大学全体としても後手後手で酷かったが、経済学部は特に酷い。履修の抽選に因り今後の単位習得の予定も大きく狂わされたし、Moodleとヘルプシステムでの表示の遅延など、学生を困惑させるばかり。 煩悩にその面談を決定しようとした結果、オンラインへの移行が何もかも準備不足のまま進行している。県立大学の爪の垢を削るに似て頂きたい。 このアンケートの意図もよくわからず。対面講義とオンライン講義を混在させるのは如何なものか。クラスター発生の懸念が残るような状況で、対面講義を再開させるべきではない。そのような環境で学生が集中して受講できるとは考え難い。
265	経済	3年	経済学部の教務科に対してとても不満を感じた。前期の授業について授業科目が発表された時点で取ろうと決めていた科目をほとんど取ることができなくなった。これは何故かというと教務が対面授業を実施した際の人口密度を下げるためであるというが、そもそも対象科目を履修登録後に発表するのはおかしい。これは授業料を払って受講しているのに、自分の登録していた科目は半分以上落るとされた上に追加履修登録でも満足な単位数分の授業を履修できなかった。その上追加履修登録で落ちた時の救済はなしで、その一切行っていない状況なんだというようにも感じた。私は3年生だからいいものの、卒業がかわかっている状況なんだというつもりだったのか、単位取得の予定も狂い授業料を返還してほしいらしいの怒りだった。そもそも、教務の対応がとも運い。遅い故に履修できるとして買った教科書もいっくらも無駄になった。重要なことはもっと早く決めるべく伝達してもらわないと学生側も困ることを知っていたくたい。
266	経済	3年	現在実家から受講しているためもしも対面授業と遠隔授業が混在した場合、一週間のうちの二コマだけのためにわざわざ下宿先から通うのはバカにも無くなってしまう経済的に難しく、遠隔と対面を混在するのは良くないと思う。遠隔にしてしまえば実家から受講することも可能になるので経済的にほはありがたい。
267	経済	3年	現段階では特にならないのですが、私は車で50分ほどかけて通学しているのに、今後対面授業と遠隔授業が混合すると、とても不便だと思います。遠隔授業がズームでやべつたのりではないものだと、学校のどこかの教室でそれを見ないといけないというのは周りの音だっただけであつたろうし、空いている教室をいちいちみつけないといけないし、かなり不安です。ですのどこからかにしてほしいです。工学部は前期全部オンライン授業ということ聞いたのでそうなくてくれたほうがいいです。
268	経済	3年	現段階で通学して受講は怖いのでしばらくは遠隔授業で行って欲しい。
269	経済	3年	最初は使にくく感じたが、好きな時間に受講したいとする講義もあり自分の時間を管理しやすいから良かった。
270	経済	3年	私が履修している科目は、「資料を読んでも理解できない」「資料を読んでもテストに答えられない」「資料を読んでも理解した上で課題を提出して欲しい」という科目ばかりなのですが、パワーポイントファイルだけで全部理解しろというのは厳しいです。
271	経済	3年	また、必ずしもその曜日に受講しないといけないという現状が正直嫌です。後でやればいいやと思ひ、やる気が生まれません。
272	経済	3年	私は呼吸器疾患を持っており、感染したら重症化する可能性がある者です。
273	経済	3年	第二波が確実に来ると言われても関わらず対面授業を再開し、感染のリスクを高めることに疑問があります。
274	経済	3年	私は3年生で今期で単位を確実に取りたい事情があります。しかし、命に関わるかもしれないリスクを負いながら授業を受けることと単位をとるためには対面授業に参加しなければならぬということを天秤にかけられているようで、どうしても良いのか分りません。
275	経済	3年	私の他にも呼吸器疾患などの持病を持っている人がいます。大学側として、そのような人達がいる中でどのように対応していくのか、明確にして頂きたいです。
276	経済	3年	マイノリティとはいえ、命に関わっている人があることを知りて欲しいです。
277	経済	3年	資料だけ提供されても理解するのは難しいと思う
278	経済	3年	自宅にWi-Fiがないため、スマートフォンで受講しています。ムードル、ワードル、ワードルで購読しています。自分が動画を観るのを得ない場合、どうしても速度制限だと、厳しい面があります。
279	経済	3年	自分自身で映像を見て、周りで自習している人がいるため対面授業はとてもいい。
280	経済	3年	出来る限り映像での解説が欲しいです
281	経済	3年	出来れば遠隔授業は前期の間は継続してほしい。(テスト時は除く)
282	経済	3年	場所を問わず受講できることが遠隔授業の良い点。課題提出エラーが起きてしまったことが残念
283	経済	3年	人が集まる対面授業は当面の間しないほしい。間隔を空けるなどしてもどうしても人が集まり感染のリスクが高いように感じる。
284	経済	3年	人が集まる対面授業は当面の間しないほしい。間隔を空けるなどしてもどうしても人が集まり感染のリスクが高いように感じる。
285	経済	3年	前期中は、遠隔授業を進めてほしい。
286	経済	3年	前期中は、遠隔授業を進めてほしい。
287	経済	3年	対面授業を等分する必要はなく遠隔授業だけで十分であると考える
288	経済	3年	通学時間を省けて良い
289	経済	3年	授業の内容が少しかりにくい
290	経済	3年	通常授業は少人数で集まれるべきみにしてほしい
291	経済	3年	電車で乗るため通学が不安
292	経済	3年	当日ズームがあるのかないのかよくわからない授業などがあり毎回何回度も確認しています。

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答 特にありません。対面授業を前期からほぼ行っている学校の対応に不満・不安があります。
286	経済	3年	特になし。
287	経済	3年	特にありません。
288	経済	3年	非常事態宣言が解除されたからといって、新型コロナウイルスの感染が治まったわけではないので対面授業を行うという決断は早すぎたのではないかと感じています。
289	経済	3年	非常事態宣言が解除されたからといって、新型コロナウイルスの感染が治まったわけではないので対面授業を行うという決断は早すぎたのではないかと感じています。
290	経済	3年	修習制課程がされたが、本当に合理的な制度だったのか。
291	経済	4年	moodleの授業内容に更新があつたこととあるのもアサーティブに残して欲しい。
292	経済	4年	こちらの方が集中しやすいので前期の間はこのようなやり方の方が良いと思う。
293	経済	4年	せめて今期だけでも遠隔授業を行ってほしい。
294	経済	4年	就職活動が長期にわたっており、まだ準備がなまぬに行き可能性があり、対面授業を開始されると自分がクラスターになってしまふのではないかと不安があります。
295	経済	4年	遠隔授業に伴ってアンケートを引き払い実家から受講する事になりました。出来れば年内は遠隔授業を継続して欲しいです。
296	経済	4年	授業そのものには満足していますがこのまま続ければいけないと思っています。
297	経済	4年	少なくとも前期の間は遠隔授業を続けて欲しいです。感染して就活に影響が出たり、風評被害が出るリスクがあるのに困ります...
298	経済	4年	途中で遠隔授業から対面授業に切り替えるのは絶対によめてほしい。
299	経済	4年	少なくとも前期の間は遠隔授業のままで進めてほしい。
300	経済	4年	途中で遠隔授業から対面授業に切り替えてほしい。
301	理	1年	少なくとも前期の間は遠隔授業のままで進めてほしい。 この内容は必ず匿名で取り扱って頂きます。もし匿名でない場合、以下に記載された内容は必ず匿名であることが前提として記入させて頂きます。 他の大学より先んじて遠隔授業を行って下さりありがとうございます。 5月13日から始まった授業についてですが、長い準備期間があったにもかかわらずログインできない等の明らかな準備不足があり、公平性が全く保たれていない授業でした。 この授業以外には特に大きな問題は無く、先生方も臨機応変に対応して頂き非常に助かっています。ありがとうございました。
302	理	1年	Moodleだけの授業は大変やりづらく、分かりづらいです。質問ができない授業や、質問したくても教授のメールアドレスが分からない場合もあるのを、せめて質問ができるような環境をお願いしたいです。
303	理	1年	コロナウィルスに対する対応とその通知が悪い。
304	理	1年	とにかくやりづらい。
305	理	1年	パソコン力が大変。
306	理	1年	遠隔授業と対面授業が混在してしまうのは避けて欲しいです。対面授業が始まるならすべての授業で対面授業を実施してほしいです。
307	理	1年	遠隔授業と対面授業が混在しては困る。前期は全て遠隔が望ましい。
308	理	1年	遠隔授業は面白くないと思います。
309	理	1年	課題の期限をはっきり提示して欲しい。
310	理	1年	課題の量やZoom授業の代わりMoodleでの授業のやる内容を減らして欲しいです。私は一年生なのでまだよく分かりませんが、シラバスで成績評価は試験のみと書かれた科目でも課題が入ります。コロナで試験ができなくなってきたときにそれを考えていることもあると思いますが、もちろん成績にあると思います。パソコン操作慣れないないが、友達もないので相談することできません。なんぞ提出期限にギリギリ間に合っていた状態です。ずっと追われ続け一度も心も身体も落ち着ける日がありません。訪れません。90分目安になりました。ずっとならなくていい期間に作って冷ましていたものを切り崩して食べたい。親や祖母が送ってくれた食料を食べられない状況に作って冷ましていたものを切り崩して食べたい。親や祖母が生活するうえで必要とするべきでないものなのではないでしょうか。今の私は休みが受けたいために、自分がかた度落ち着かない状況で、世間の皆がおう時間経過の過ごし方を悩み、テレビでも特集がたくさんある中で、私は強いにやらなければならないことに追われそう言う状態には1度もなりませんでした。提出期限を伸ばすなどの対策を取っていただきたいです。先生方のなかには、今は時間があるだろうとおっしゃっている方も、そんな時間はありません。
311	理	1年	教科書毎回の授業ごとに受講方法が異なるのがとても対応が難しい。 教授それぞれ教える方が異なるのもよいのですが、学習を要求する場合は教科書のページを指定してほしい。シラバスに書いてあるものであることは、曖昧過ぎて、勉強効率が下がっています。または、そのように先を見据えて予習してこい、ということなどはどうか。
312	理	1年	質問箱を作ってください。
313	理	1年	手書きのものごと自身で持つて画面に映して講義してくださる先生がいっぱいやるが、正直見えないので、pc上で作った資料を画面共有で見せていただけたらありがたいです。
314	理	1年	授業のシステムが分からない授業はあるのでmoodleに明記してほしい問題点を貼るだけの授業は非常にやりづらいのでやめて欲しい。
315	理	1年	シラバスにアナウンスを兼ねるのはなくメールやmoodleに掲載して欲しい。
316	理	1年	対面授業と遠隔授業を同日で単行しないで行っていただきたい。学校でネットを使うことで不安があるし、ごちゃ混ぜにされること、必ず混乱する。コロナ禍が取まるまでは全ての授業を遠隔授業にしていただきたい。大学で密の状態をやらせないことにはほぼ不可能に近いし、自分自身が、喘息など、できるなら、前学期の授業を思い切って全て遠隔授業にするなどの対応が必要だと思う。
317	理	1年	対面授業には面白い面白さがあるのだけれどこれではいいですね、というのが個人の感想です。
318	理	1年	動画を見るタイプの授業は聞き取り部分が何度も聞かせないと聞かせるのが助かっています。
319	理	1年	難しいとは思いますが、大学の施設を使えないといけないのでその分のお金は返してほしい。

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答
345	理	3年	遠隔授業はすべてオンラン上で行われるため1日に何時間かパソコンを見る日が続いている。健康面やネット回線等々に少し不安を感じた。 またオンラン授業になったからか、各講義で出される課題の量がそれぞれ課題が重なっており、通席授業よりハードに感じる時がある。教員の方々に課題の量を見直してもらいたい。
346	理	3年	遠隔授業は気が散ることで遅れがちです
347	理	3年	遠隔授業は自主勉強が進むため、とてもやりやすい。
348	理	3年	何もかもをやるだけ入浴を避けてリヤク管理してる(つもり)であり、それを第3波、3波...を警戒してばかりは続けようと思ってるけれど、いざ席の間隔を詰めて、換気他の対策を講じていようと対面授業によってそれなりに人の集まってくるというところに行かざるを得なくなるため、感染リスクを下げるためにもいかに授業とはいいう講義室に行きにくくなった。というよりこの状況下では行きたい。特に人暮らしの人は急にバタバタと倒れた等何かがあったときに発見等が運くなる可能性はない。
349	理	3年	zoom等を用いてリアルタイム以外で行うオンデマンド等の授業は90分ではまったく足りない授業量を提示する教授が少なくないので...
350	理	3年	始業の延期、遠隔(オンラン)授業を決めるのは死ぬほど落つてひっくり返るくらいに対応が遅かったのに、対面授業の開始に関しては秒で決めるのはさすがにもおもしろい大学だと思います。原則オンラン、一部に限って対面というならまだしも、その逆で原則対面、一部に限ってオンランは意味が分からない。なぜそこまで対面授業にこだわるのか理由を示してほしい。
351	理	3年	資料配布で課題解くという形が多く、今まで以上に理解が難しい。
352	理	3年	つまらない。
353	理	3年	実験などは実際にやらないのでレポートが書きにくい。
354	理	3年	授業をせず資料と課題だけ配って、後はがんばって、の授業があり、手を抜いている感じがある。
355	理	3年	授業をせず資料と課題だけ配って、後はがんばって、の授業があり、手を抜いている感じがある。
356	理	3年	少なくとも前期授業は全てオンランにすべき
357	理	3年	対面授業であれば課してなかったであろう課題や授業時間外での動画や資料の閲覧が格段に増え、90分で講義を終了させるのが厳しくないこと。オンランだからと何でもいいたいわけではない。
358	理	3年	毎週の課題提出が重たい。オンラン授業になったから毎週課題提出を要求する授業ばかりで忙しく、自分の勉強ができなくなった。
359	理	4年	明らかに質が低下している。zoomが苦手な教授は授業さえしていない。これで悪い成績をつけられたらまたつまらないでしょう。
360	理	4年	明らかに授業の質が落ちてくるのに学習が例年と同じであることに納得できない
361	理	4年	みんなが一斉に授業を受けるからWi-Fiの接続が遅くなる。
362	理	4年	ムードでの授業内容の更新などがあった時に学校のactive mailでお知らせしてほしい
363	理	4年	水曜の授業がいきなり、金曜にあたりしれたのでわからなかった。毎日パソコンは立ち上げてますが、違う曜日の日に授業があることはさすがに気づかないです。
364	理	4年	前期の授業は、感染病が落ち着いたとしても遠隔のままで行って欲しい。
365	理	1年	前期の授業は、最後の回まで遠隔授業のほうが、安心できます。仮に、途中で対面形式になったとしたら、同じ空間で、不特定多数の学生と二メートルの距離を置いて、授業ができるのかが不安だからです。また、課外実習でも、ちゃんと三密にならないように対策できるのかが心配です。
366	理	1年	課外実習を、使えないようにしたいので敬謝いたします。
367	医	1年	画面のスクリーンショットの利用、PowerPointが早やすいなどの点から、対面式よりも理解が深まった印象。十人下の少数の授業しか利用してないのが映像の共有システムを用いると、教授からのコメントや指摘がしやすくなり、少数の授業には適していると感じた。
368	医	1年	・学生に履修している科目の先生の連絡先をすべて知らせること ・全ての先生にmoodleやactive mailで自身が教えるにしている科目に関する質問が来ていないか毎日三回以上チェックすることを義務付けること ・出席について、確認と措置をとること(システムが正常に作動しない場合があったりまたmoodleで学生が見落としてしまうところ)に出席確認用のアンケートなどがあつたりする)
369	医	1年	・課題や小テストに不備があつて訂正した場合はmoodle上だけでなくactive mailでも必ずアナウンスすること
370	医	1年	・zoomで授業をこのまま続ける場合、学生側に問題がなく、学生が授業を受けられないトラブルが起こった時に備え、授業のログをあらかじめ取ること、それができない場合は授業料を返還する措置をとること(今までにトラブルがあつた学生に関しては、先生に対応させることができるのも不不服だ)
371	医	1年	・コマ形式の学習量が確保される授業をお願いしたい。短すぎるのも長すぎるのも不服だ。
372	医	1年	Moodleでは、分かんなかった箇所を何度も見られるので、対面授業より利点があると思います。zoomの授業は、プレイアウトセッションをクラスメイトと話し出すのが難しいです。一年生なので、友達とほとんどできません。やはり対面授業で、クラスメイトと先生と話をしたり、教えてもらったりしたいです。
373	医	1年	Moodleのどこが更新されたかを確認するのにとても時間がかかる。更新場所を分かりやすく明示してほしい。(赤字にするとか、何月何日何時何分更新と記載するとか)
374	医	1年	moodleのみの授業は退屈に思えます。
375	医	1年	Moodle上の情報や資料、リンクが非常に早やすい科目と肩にくい科目がある為、全ての科目を早やすいものにしたい。また、整理の仕方によっては、新着の資料がすぐわかるような表記が出るはずなので、どの科目もそうしてほしい。(雑抄: 14/18というような表記)
376	医	1年	zoomでは画面が切れるかも知れない不安があるのと出来るだけyoutubeを介した授業にしてほしい
377	医	1年	zoomなどを用いて工夫して授業をして下さっていることはとてもありがたいです。外国語系の授業で音声CDの音が少し聞き取りにくかったです。
378	医	1年	zoomのURLや授業料を知らせはMoodle上全て載せて欲しい。
379	医	1年	zoom以外の授業と、質問コーナーに名前が出るので質問し辛いです

No.	所属	学年	質問.1.その他、遠隔授業の感想・課題、要望等について自由に書いてください。※任意回答
320	理	1年	休講や授業で教員が発言するときにばっばり発言してほしい 休講や課題等の連絡方法を Moodle に全教員で統一してほしい。シラバスのリアルタイムアドバタイズならやまだ分かるが、ヘンリクスシステムにあるシラバスのリアルタイムアドバタイズでのみ連絡した教員があり、ほとんどの受講者が情報を得られずに困っている。 Moodle で資料を読んだと課題をやらせという形式の授業があるが、課題内容が難しい。対面授業や教授に質問ができないう。すこしだけハードルを下げ、zoom 等を利用してほしい。 Moodle に資料をUPするだけでなく、zoom 等を利用してほしい。 Moodle で、明らかに授業の質が多すぎる講義も見受けられます。 Moodle 上、メールでの告知が増えたため、出された課題の把握が難しくなりました。まとめて見られる場が欲しい。 WF-F 環境により落ちてしまった授業について頂きたい。 アカラントを作る必要もあるのか 遠隔授業と書いても、資料や教科書を五に、各自で課題提出するものがないと、受講中の科目にありません。もちろん担当教員の方が熟考した上での判断だとは思いますが、これを授業と言っているのと同じようにお授業がまじいことを承知して望みたいのですが、現在上述の方法で行われている科目について、解説を zoom 授業又は動画等で行っていただけないでしょうか。学生の理解もより深まると考えられ、大変ありがたいです。学生の意見として、ぜひご検討ください。 家にプリンタがないので、プリントを印刷する様頼まれると、プリント代がかかるのが辛いです。 課題だけでなく与える授業はやめて欲しい zoom など先生から直接教えるのをしたい zoom 出席を判断されるので、負担が大きくなるので少し課題の量を抑えていただきたい。 zoom 出席を判断されるので、負担が大きくなるので少し課題の量を抑えていただきたい。 資料はホワイトボードか PDF で用意してほしいです 授業において先生たちのお話や説明が聞きづらいという理由でもあったので、遠隔授業の方法にたいして動画などを使我们、Moodle で自分でという方式にして授業をするのは動かしにくい。そうするのならば、授業料を払ってやる意義を見いだしたい。 新幹ではあるが通常の講義と比べると味気ない。またオンラインでは限界があり受講生の中で学力差が通常より大きくなるかと感じる。もし今学期の途中から対面になる場合はそのケアを、もしオンライン講義で終わるであれば単位を与える条件の緩和などがあると思っております。 多くの授業でオンライン授業が実施されていますが、そうではない授業もあります。本来は教授の話の間かないと理解できないような内容の授業でも、教科書や資料を読んで自分で考えて課題を出せというような丸投げの授業もあります。すぐに改善してもらいたいのです。理学部数学科2年の位相空間論(出口先生)です。せめて、授業動画を公開する等してもらいたいです。 ネット環境が整っていない生徒に配慮していることですが、そのような生徒は特別に大学に来て端末室で受講してほしいだけであって、言い訳のような気がします。すぐに改善をお願いしたいところです。 それ以外の授業に関しては、毎日快速に受講しています。それ以外の先生方が嫌々方法を考えて授業を実施されていて、大学に行かなくてもいいからと学ぶことが出来るのだと感じています。 今後もしよろしく願います。
335	理	2年	対面授業と非対面授業は雪でできない、ばっばり前期は非対面授業だけにしてくれればどうでしょうか助か。今の段階で対策は全く無にかえろ。 大学において遠隔授業を受けられる場合、図書館や端末室等のスペースが足りるか不安。 他にどこで遠隔授業を受けられる環境ではないか良質です。教授にたいしては説明しています。その反面、Moodle に資料と課題のみがあげられ、授業という授業が行われないのは恐らく対面に比べて質はかなり落ちていると感じています。
336	理	2年	実験に関して、実際に作業させてほしいです。動画の視聴をもっと説明とすれば、院進せずに学部4年で就職する学生にとっては尚更、技術面に不安があるという声を多く聞きます。SNSでも、そういった見はよく目につきます。 所属学科の教授が、遠隔授業における実験は「エア実験」だと話しています。現在私たち学生は、「エア実験」をし、それについてレポートや課題を提出しています。それが一通り完了すると、単位認定されるようです。 また、教員が遠隔授業をせずと決断したことは、"学部3年生にとってはそれと十分であり、技術や成績に影響がないか不安。
337	理	3年	自宅でのオンライン授業の受講環境を整えるための端末、通信回線、ヘッドセットなどは安くはなく、収入減の状態では万全な環境で受講できるとは言えない。
338	理	3年	オンライン授業での理解度の確認のためか、各授業で毎回課題が出されるため、長時間PC作業を行うことによる身体的負担が大きい。 その授業のみの資料が閲覧できなかったりすると、その授業で遅いにつけてすべて把握できなかつたときにとっても困ります
339	理	3年	できる限りの事はオンラインでやってほしい
340	理	3年	どの授業でも出席確認が行われていて課題が課せられ中には時間を要するものもあるが複数授業を履修しているのでも予習や内容の個人的な資格などの勉強の時間を確保しにくくなっている。出席確認代わりしての課題は分量や内容を少し考えて欲しい。
341	理	3年	もう少し音声を大きくして欲しい。
342	理	3年	もっと授業を受ける人の身になって考えてほしい
343	理	3年	もっと授業を受ける人の身になって考えてほしい
344	理	3年	もっと授業を受ける人の身になって考えてほしい

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
455	医	3年	先生ごとに普段より多くの課題が出ていてそれぞれ期限が短く、通常より課題に費やす時間が多いです。また、先生によっては他大学の先生のYouTubeのURLを貼ってそれについてレポートを書かせる先生もいます。それは授業として成立していないと思います。そこについて改善して欲しいです。文献等が必要なしポートも文献が手に入らない中での環境が考慮されていないように感じました。
456	医	3年	先生方が忙しいのもあると思うが、動画が短かったり資料をただ掲載しただけになっている授業がある。個人的には、そのような授業よりはむしろ資料と学習ポイントのみを提示してもらい、最初から学習するほうが積極的に取り組めるのではないかと感じている。
457	医	3年	対面授業より動画にしてしまったところと、重要点とめて説明してくれて今の今のままのところが自分に合っている。
458	医	3年	動画と自分から動いてそれを看して、理解できるまで見ることでいいので、対面授業よりも学ばやすいと思う。
459	医	3年	聞き逃したところや理解が通いづなかつたところをもう一度見られるのて良い。勉強への意欲は上がった。
460	医	3年	問8について、同一日に混在されていないでほしい。実習がある学年ならまだしも、そうでない学年学科は、どちらかに統一されてほしい。
461	医	4年	テストを先生に直接送信で自分のメールは送信済みになっていたが、先生には届いていない、それが原因で留年しそう。
462	医	4年	ライブ型の授業よりもオンデマンド型の方が自分の好きな時に受講できるので学習効率が高いと思います。
463	医	4年	遠隔授業でいい科目は、冬季等だけオンラインにするなどしてほしい。
464	医	4年	遠隔授業でいい科目は、冬季等だけオンラインにするなどしてほしい。
465	医	4年	遠隔授業への勉強に慣れたら勉強効率は非常に良いです。
466	医	4年	遠隔授業の方が聞き取れなかったところを何度も聞き直せたり、自分のペースで勉強できるので学習しやすいと思う。
467	医	4年	遠隔授業は快適である。
468	医	4年	遠隔授業は聞き逃したところを何度も聞けること、先生方に質問をしてもっともよい形で回答を用意していただけたので、学習には最良の環境でした。
469	医	4年	そのため、遠隔授業には不向きであると感じました。
470	医	4年	質問内容は授業に身についていると感じ、まだ「授業を切る」という概念が無くなるので、対面授業よりも学習内容が確実に身につけていると感じ、できれば継続して欲しい。
471	医	4年	学生から出た遠隔授業への不満は教師側が修正すべきことであり、無理に対面授業再開にして遠隔授業自体を無くそうとするのはそちらの努力不足なのでは。
472	医	4年	気軽に質問を与えて欲しいと思います。
473	医	4年	緊急事態宣言が解除されると言っても、前期ほどあるはず遠隔授業のみにするべきではないかと強く思う。広い講義室を使う学年はいいが、狭い教室に大人数入らなければならない学年が必ず出てくる。講義室の隅々にある狭い領域、大文字を取るのが大丈夫と正しく判断ではないかと。
474	医	4年	空講を自分の休日に合わせたり、仮に初を使って受講できるのでもっと快適です。
475	医	4年	実習はなるべく通常の実習の座席に座らせてオンライン授業によるデモグラフィは全く感じない。講義動画を上げてくたさっている先生に対しては少し認識に違いがあるように思う。昨今オンラインで授業を受けることに元々慣れている学生が多い。東進を初めとした予備校で高校時代から慣れ親しみ、高学年が受講するCBTや国試対策の多くの映像授業である。対面であらうがオンラインであらうがサボる者はサボるので、それよりもむしろ、繰り返し再生できて倍速機能を使えばより効率的に勉強できる映像授業のほうが、上ほど時代に合わせているのではないかと感じる。
476	医	4年	授業後の小テストを授業終了予定時刻の数時間後に公開するということがありやりにくかった。授業開始時刻からまだ生徒の要望を計てくれていないのに。
477	医	4年	少しは学生の要望を計てくれて欲しい。
478	医	4年	図書館を開放して欲しい。レジュメの印刷が出来なくて困っている。もしくはアパートにジェム式動送して前期は遠隔のままでいい。
479	医	4年	対面授業より遠隔授業の方が時間が有効活用できて良い。授業動画も倍速にしたりがわからなかったところは巻き戻しでき、また一時停止もできるため非常に勉強しやすい。moodleでの質疑応答もとてもよく、以前より気軽に質問できるし、他の人の質疑応答も見られて非常に勉強になる。対面授業よりもわかりやすくて拘束時間も短いのでこちらの感謝が断然いい。
480	医	4年	BSLがオンラインによる座学のまま認定となってしまふことで、実際に病棟に出られなかった診療科の実習内容に不安が湧く。
481	医	5年	実習で遠隔授業を取り入れてほしい。
482	医	5年	実習は毎日2回程度、義務で参加するものがあったり、臨床推論形式で。
483	医	5年	問8について、講義中に発言や質問を求められることがあるので、できれば声を出せる環境で授業を受けたらいい。そういうものが対面授業で行われるということか？
484	医	5年	臨床実習での低学年の講義のことは分からないが、試験は学校で行えるよう、日時、受験形式の調整が必要だと思います。
485	医	5年	家から受講できるのはありがたいですが、Pocket Wi-Fiとデータ通信で遠隔授業を使っており、遠隔授業が続くとデータ通信料が高くなるので嫌いです。
487	医	6年	緊急事態宣言が解除された後も安全のため、全て遠隔授業にしてほしい！
488	医	6年	全く有意義な内容ではない、やらない方がマシ。
489	医	6年	病棟で実習を行う事が出来ないのなら(後方での実習など)、今のままで遠隔授業のままで良いです。
490	薬	1年	officeを使用できない人に対する配慮をもう少ししてほしい。
491	薬	1年	

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
492	薬	1年	zoomで授業を行う場合回線が落ちる、あるいは音声が聞き取りずらい場合がある。※任意回答 zoomで授業を行うという利点は理解しているが、できれば録画してmoodle上に上げてほしい。いくつかの授業でzoomが落ちてしまつてしまつてもある程度授業内容が理解できるような資料が載せてあるが、そうでない授業もある。もし授業時間内に回線の事情などでzoom入れなかった場合でも出席として認められないのは仕方ないが、1回授業を聞けなかった学習進度の遅れは取り戻せない。特に1年生は同じ学級ですら友人を作る機会も少なく、同じ講義に出ている人から授業内容を聞くこともできない。 また、課題についてのも75分以上(最低限であり、満足いくものにするなら50分以上)かかる課題を90分以内に提出する必要がある。かつ、授業の開始時刻後にしか課題内容が公開されなかったこともあった。もう少し時間の余裕をとってほしい。レポートなど完成度によって大きく時間の差が出るような課題は時間制限を緩くするべきだと思う。調べる必要がある授業は通信速度、それ以上に多くの文字数を必要とする場合のタイピング技術の差は時間が短いほど大きい。それが授業の評価の差につながるのあれば到底納得することはできない。出席確認が必要であれば、そのほかに簡単な課題を出したり、特定のページに時間内にアクセスさせたり、他にもやり方があるためできれば改善してほしい。 zoomより動画のほうが授業を受けやすいです。 zoomを使わないで欲しい。ちゃんと90分で終わる授業内容にして欲しい。 いつもでも資料や映像を見れるようにしてほしい。 ノートをとつてメモをとったりしながら聞くことを想定した講義はzoomではなくオンデマンドに統一して欲しい。表示できる範囲が狭いので追いつけない。 パソコンやzoomにトラブルが起きることがあるので、遅刻に寛大な対応をお願いしたいです。
493	薬	1年	英語の課題が多く感じる
494	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
495	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
496	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
497	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
498	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
499	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
500	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
501	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
502	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
503	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
504	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
505	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
506	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
507	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
508	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
509	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
510	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
511	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
512	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
513	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
514	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
515	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
516	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
517	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
518	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
519	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
520	薬	1年	英語の課題が多すぎる。
521	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
522	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
523	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
524	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
525	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
526	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
527	薬	2年	英語の課題が多すぎる。
528	薬	2年	英語の課題が多すぎる。

No.	所属	学年	間11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
529	薬	2年	自分のペースで進められるため、対面にもないメリットを多く感じています。実習科目以外に關しては、このまま遠隔授業がメインで質問等のみ対面でも全く問題ないと思っています。むしろ、正直、そちらの方が個人的には学習しやすいと感じています。 ただ、どうしても授業を受けるのに90分かかるからかならないものかほとんどで、その際に無駄な空き時間ができてしまっています。(次のコマの授業が開始時間の制限でまだ見えないため。) リアルタイムの授業(zoomなど)以外は、その日の授業は朝にでも一斉に公開していただけたと、個人的にはより助かるかなと思います。
530	薬	2年	実験は自分の手でやりたかった。1人で計算をするだけで終わるのは何も面白くない。
531	薬	2年	実習等は仕方ないと思うが、同日で対面とオンラインの講義が混在するのはやめて欲しい。図書館や生協などで密着が起ころうと思ってる。
532	薬	2年	授業の通知があると思う。
533	薬	2年	授業は遠隔でも仕方ないと思うが、テストは対面式がいいと思う。自宅環境がそれぞれ違うので、対面授業だった時に、有利不利が出てくるから。
534	薬	2年	上記の遠隔授業と対面授業を同日に行うのは避けてほしい。時間割を変えらなければならぬ。アパートならwifi期間を定めて設けてその日その時間には受けなくてもいいようにしなければならぬと思う。アパートならwifiがあり回線に問題はないが大学では混みあうスマートフォン通信量の問題があり、なにより決められた場所がなければ場所を探す手間もあれば学生が集まる危険もある。そもそも対面授業を行う時点で昼食に於いて同様の問題が生じるため、対面授業を再開するのなら完全にとそうすべきで、配慮しながら対面授業は維持しないのはおかしい。
535	薬	2年	対面授業より説明がわかりやすいので遠隔授業の方が成績が伸びるはずですが、 中間試験や期末試験は大学構内で受けたい。オンライン試験は現実的でないところが多いと思う。記述式であるならば、図を書いて答えたり書き込んで答えたりすることをオンラインでやるとは難しいのではないかと感じる。また、個人によってネット環境やパソコン、スマートフォンなどの機器のスペックも異なるのを差をつけたい意味でもオンライン試験を避けたい気持ちがある。
537	薬	2年	添付の映像が合計で90分ギリギリの授業等は先生の喋る速度にもよるが、一時停止して振替をとりながらだいたいテストの回答なども含めると二時間以上かかってしまっているように感じる。
538	薬	2年	動画を見ているだけ人間じゃないような速さで進む授業もあるのが全然頭に入らず、一方ですべての授業でノートをとらなくては理解しやすいけれど、ノートをとる量が個人的に少なく、時間がもて余りかかって本気でやっていたら家にいるのに過剰になりそうな予感があるので、どうしたものだろうかと思っている。現在、私は無理しない範囲内でノートをとって理解に努め、もう無理だと思ったら動画を資料を保存して後でやることを、小テストをやっても無理失礼終わらせている。
539	薬	2年	落着いた科目について、対面授業になった場合まで受けたいのに途中で受けられなくなる点に困る。
540	薬	3年	せっかくオンラインで慣れた授業を途中で対面にするのは大変なので、せめて前期中はこのままのオンラインでやってくれ。
541	薬	3年	プリントの印刷枚数が多く、インク代が非常に高くなる。
542	薬	3年	レジュメの公開数をなるべく多くしてほしい。家にプリンターがないので外出するときにまとめて印刷しに行きたい。
543	薬	3年	遠隔授業で慣れたままだったので、前期はそれで統一してもらいたい。 しかし、テストなどは対面形式がいいと思う。
544	薬	3年	遠隔授業と対面授業を同一日にするのは意味がないと感じます。私の通学先は杉谷キャンパスですが下宿は杉谷ではないので、人のいる学校に週末を持ち込んで受講することになります。また、学内LANは接続者数が多いと不安定になるのでその点についても心配しています。 遠隔授業のリズムができてきた中、対面授業が始まるというところで戸惑いを感じています。 新型コロナウイルスの威力がやや落ち着いてきたとはいえ、不安があります。ゆえに、実習等の対面で行う必要性が高いもの以外、通常講義などは、遠隔授業で受講できると良いと感じました。
545	薬	3年	また、今後の動向の予測が難しいとは思いますが、実習の詳細がなかなか明らかにならないことへ不安を感じています。更新を重ねたとしても、前期の進め方の全体像が事前に分かるように頂ければ何ども繰り返し授業を開けるので学習しやすいです。一方で、映像授業の公開時間の自由度を高めていただけたらと、より学習しやすいと思います。
546	薬	3年	期末試験について、オンライン試験を行う可能性があるので、試験中に監督する人がいない状況では100%不正行為を防止するのは不可能と考えられます。この点に関して解決策があるのか教えて頂きたい。個人的に、授業を止められてメモをとれない分、対面でも理解しやすい。
547	薬	3年	資料のコピー、インク代がすごくかかる。
548	薬	3年	実習に関しては非対面でも仕方ないかと思いますが、講義に関しては前期はすべてオンラインにしたいなと思っています。(同じ家で実験科目を受講しているため、対面になると片方の講義が受けられなくなりまいた。
549	薬	3年	実習は自分の手を動かして実験をやったのでオンラインで終わるのはつまらないと思います。
550	薬	3年	実習を再開する場合には、通常時間なども考えて座学も対面にしてほしい。
551	薬	3年	実習科目について実習操作を実際にできないのは仕方ないのかみもれないのは今後の研究で不安が残る。
552	薬	3年	授業の質が落ちることにはようがないと思うが、納得のいかないものもいくつかあります。また、印刷費について何か対応をしてくれませんか。印刷のできない人もいます、これまで家で印刷しても50円ほどかかりました。これがそのまま続くこと、少し不安です。
553	薬	3年	授業動画や小テストが与えられる日時やオンラインの締め切り時間を明記してほしい。
554	薬	3年	双方同時性を確保した授業を展開するという意図は理解できるが、動画形式であれば後から見返す事が出来る方が復習にもなり学習への効果は高いと思われる。
555	薬	3年	多くの授業で課題が出されるが、明らかに各々の量が多く、全てをこなそうとすると1個1個にかけられる時間が短くなり、それぞれの質が低下している状態です。期末テストを実施できるかわからないこともあり、課題を出すのはいいと思いますが、量を減らしてほしいです。
556	薬	3年	対面授業と遠隔授業が混在するような日程は混乱が生じるので出来れば止めてほしい。例えば1限に1限に授業2限に遠隔授業があるような場合、遠隔授業のためにわざわざ家へ帰ったりせず、同じキャンパス内で友人と集団で遠隔授業を受けようとする学生も現れると思う。そうなった場合、遠隔にしている意味がある走らないと思うし、杉谷の場合は病院が隣にあることから、学生を一面所に集めるのは控えたほうがいい。
557	薬	3年	
558	薬	3年	
559	薬	3年	

No.	所属	学年	間11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
560	薬	3年	大学の講義とは異なり、動画による授業ではわからなかったところを巻き戻して聴けるので、対面型授業よりも理解度が深まった。
561	薬	3年	通学にかかる時間は自分ペースで取り組むことで、自宅では非常に集中して講義を受けることができている。動画形式の授業は自分のペースで取り組むことで、ノートもとりやすいので遠隔授業の方法として正解であったと思う。前期の途中で講義形式を変更されると、遠隔授業を行った回と対面授業を行った回で対応が異なる混乱する。ため、前期の講義は遠隔授業を続けてもらいたい。ただし、図書館などが使える状況であれば開放していただき、別々の場を提供していただきたい。
562	薬	3年	聞き逃した部分を見直せるからとてもよい制度だと思う。教授陣も1度撮影をすれば、研究に没頭できるのではないかと感じた。
563	薬	3年	pdfの資料を印刷するためにプリンターの紙とインクを用意しなければならなく大変だった。
564	薬	4年	YouTubeの講義動画は更新されていない科目がいくつかあり不安があります。
565	薬	4年	YouTubeでの講義動画視聴は、聞き逃しの再確認ができるととても便利だと思います。これからもうずっと動画で講義をしてほしいと思うくらいです。
566	薬	4年	わからなかったところは何回でも繰り返し見るのは非常に良いと思う。
567	薬	4年	遠隔授業だと講義動画を振り返り視聴することが出来るため、対面授業よりも便利だと感じた。
568	薬	4年	遠隔授業自体は、気になるところを何度も聞き直せるので、そのような点では良いと感じている。ただ、本来90分間の講義が30分40分ぐらひの長さになっているので、内容に漏れがあるのではないかと、心配になる。
569	薬	4年	講義資料は前もって聞ける・DLできるような感じでほしい(講義の前に印刷しておきたいので)。講義動画を分割してYouTubeにアップロードしては何か理由があるのでしょうか? いちいち開くのが面倒なので、全てつなげて1本の動画にしてアップロードすることはできませんか?
570	薬	4年	自分のペースで講義を聞けるのが良い。
571	薬	4年	説明がわかりやすくてよかった。
572	薬	4年	動画がYouTubeに投稿されているのだから聞きたくなるところやわかりにくいところを何度も再生できるので、対面授業よりも良いと感じている。
573	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
574	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
575	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
576	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
577	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
578	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
579	薬	4年	面授がZoomと対面が混在している。
580	薬	6年	私は、遠隔授業を講義受けたいですが、YouTubeの限定公開による講義は不都合を感じていません。むしろ不明な部分は何度も繰り返し見られるため、より理解が深まっています。さらにMoodleにて担当教員のフィードバックを受けることもあり、とても快適に講義を受けています。
581	薬	6年	準備期間の短いのが自分からするととても丁寧な授業をして下さりとても感謝しています。対面授業より要点が伝わりやす、自分のペースで学習でき個人的には気に入っています。
582	薬	1年	1人の反響だけを聞いて授業を進める先生がいて困っています。
583	工	1年	Moodleで一度見ると編集できないのが使いたい。
584	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
585	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
586	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
587	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
588	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
589	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
590	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
591	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
592	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
593	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
594	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
595	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
596	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
597	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
598	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
599	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
600	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
601	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
602	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
603	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
604	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
605	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
606	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
607	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
608	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。
609	工	1年	Zoomの授業は、授業を進める先生がいて困っています。

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
610	工	1年	遠隔授業であることによる、授業内容の理解不足が懸念されると思います。※任意回答 事実、ある授業では未習範囲の内容を躊躇い無く出題し、その説明すら無いためにほとんど理解が追いつかない状況です。 もちろん理解するための努力はしていますが、準備のない用語や公式も多く、辞書を引いたり調べたりしますが、そこで出てくる物も分からないため、辞書を引くために辞書を引いているような状況です。
611	工	1年	遠隔授業でのテストをやめて欲しい
612	工	1年	遠隔授業と対面授業は混在してほしくない
613	工	1年	音声が聞き取りにくいときや画面が止まるべきかまだ主にあります。外国語の授業でネイティブの先生が授業されるとき聞き取れないことがあっても誰かに聞けずしにそのまま終わってしまふので不安です。
614	工	1年	課題が多(90分)分が稼げなかった。例えば英語、90分で解ける内容と記載されていたが、とても90分で終わるような内容ではないこと。
615	工	1年	理解が押通しづらい
616	工	1年	基礎物理学の小テストをもう少し簡単にしてほしい。数式が難しく回答が困難なときがある。
617	工	1年	資料提出してほしくない。オンラインで特にzoomにやらない授業の出席確認は提出物で出席確認してほしい。
618	工	1年	資料だけでなくわかりづらい事があるのを詳しく書いてほしい。
619	工	1年	資料のみの授業はわかりづらいと感じるのを映像もしくはzoom等で受講・解説できるようにしてほしいで
620	工	1年	自習要請が解除され、前期のうちは遠隔にして良いと思う
621	工	1年	質問フォーラムの質問にたいし何らかの返信をしてほしい
622	工	1年	授業によって課題と授業量に差がありすぎと感じた
623	工	1年	授業の内容が当日まで分からないうことがあり少し困ることがある。
624	工	1年	授業の予定が分かりにくい
625	工	1年	集中しにくいので、動画をオンにするようにしたい
626	工	1年	上級生の知り合いがまだ居ないので、中間や期末テストの過去問がなく不安
627	工	1年	先生によって使うツールがバラバラで大変。先生は自分の使いやすいツールを使えるが、全て使えるようにならないといいたい(学生身の身にもなってほしい)
628	工	1年	前日までに次の日の授業に関する情報をすべて出しておいて欲しい
629	工	1年	全ての授業を対面で
630	工	1年	全ての授業を対面で
631	工	1年	全ての授業を対面で
632	工	1年	全体的に課題のペースが遅すぎます。
633	工	1年	対面授業を開始するにあたり、全科目一斉に対面でスタートしてほしいです。
634	工	1年	大学で対面授業を受けたことがないのでわからないがならなられているように感じている(回線などの影響)に、遠隔授業の間は対面授業は避けしてほしい。緊急事態宣言が出たから今の現状を踏まえて急には急を押して、遠隔授業は断ってほしい。コロナウイルスに感染してしまっただけで本来転校です。
635	工	1年	Moduleで資料は一括登録して 予習する時間が欲しい
636	工	2年	アパートのWi-Fiが一括契約のため、利用が集中すると通信速度が低下し、回線が安定しないことが多々ある
637	工	2年	このま前前期は遠隔授業にすぎたことと提案します。コロナウイルスへの不安も然り、対面授業再開を機に再度ウイルスが流行でもしたら今までの努力が水の泡となります。
638	工	2年	この講義に20万も払っていると思うとかわらない
639	工	2年	なぜ夏まで休みにして補講を夏休みに入れないのか理解できない
640	工	2年	どうせ講義を15回やらないといけないからつたりするんだらうが、遠隔授業で授業とは名ばかりの出席確認用の課題を出すくらいなら、いっそのこと全ての資料を公開して課題を15個提出すれば単位を認めるようにするのはどうか
641	工	2年	教授の必要性を感じない、ほとんどの講義がほぼ独学、通信講座の間違いでは？
642	工	2年	折角までもに講義をして頂いても、遠隔だからなのか内容が全、頭に入っていない
643	工	2年	まずModuleに資料貼って、課題やっついでみたいな授業は授業と云えない。独学と同じ。これで授業料取られてどと非常(？)に残念極まりない。あとあれ、プログラミングの実習を家でやける鬼畜さ。そもそも客だとプログラミングできる環境整てないしかならん、環境設定頑張っしてただけ全然できなく！俺なんで今こんなことやってんだらうって感じ。これは授業全額に言えることだが、とりあえずやる気も一度感染拡大が落ち着いたらいともそうして外に出始めの方により二次拡大がある。故にしばらく遠隔授業を続けて様子を見よう方良いと思う
644	工	2年	通習や特別なソフトを使わずにほしくない。授業などはオンラインでは限界があるので、その場合は学校を適宜で特別なソフトで利用させてほしい。
645	工	2年	遠隔について特に問題はないと思います。自費がすすんだため安定してきたのではないのでしょうか。まだ対面授業の決定はするべきではないと思います。
646	工	2年	遠隔の方が充実してます
647	工	2年	遠隔授業の方が自分が集中できる環境で出来るので良い。
648	工	2年	音質の改善。また、授業の録画をzoomで画面共有するとかいう訳の分からないことをするのはやめて欲しいです。画質音質が低下する上に教授側の雑音が届いてます。
649	工	2年	課題がわかりにくい
650	工	2年	課題が多すぎる
651	工	2年	今後遠隔授業可能な科目はできるだけ遠隔授業で受講したい
652	工	2年	授業内容の迅速さ、というが、資料配るだけ説明会の代わりにするのは無理がある
653	工	2年	情報開示の迅速さ、というが、資料配るだけ説明会の代わりにするのは無理がある
654	工	2年	実際、授業開始直前(初回授業のページが更新されていた)もあった

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
655	工	2年	生徒、教員共に遠隔授業で起こりうるトラブル(回線の中断など)について理解し、一方的に※任意回答遊んでるという印象をしないように情報を共有してください
656	工	2年	対面講義になり、成績評価についてオンライン、対面とで混同することに不安を感じる。
657	工	2年	対面講義と遠隔授業が同一日にあると遠隔授業の機材が自宅より減り受講するときの質が落ちると思うのでどちらか一方のみの実施にしてほしい。
658	工	2年	対面授業開始するつもりですか？実
659	工	2年	開始するとしたら明確な対策ともにクラスターが発生した場合の対応を具体的に提示してください あと、そっちの準備不足で春休み長くなったのになんで夏休み短くなるんですか？おかしくないですか？こんなことになるの想定出来なかったんですか？事前に動いた教授もいらっしやいます。学長変えましょ、行動力なさすぎます。今の時代に合っていない、変化に対応出来ない人材は潰れますよ。学長が良い例になって大動土になって前期は全て遠隔授業がいいと思します。特に富田は人数多いので不安です。
661	工	2年	当然ではあるが授業の方針が教授によって違い、把握しきれていない
662	工	2年	理由は分からないのですが、今日の時点で本当は3回講義を終えているはずの授業が全て休講になって一度も受講していません。教授の都合が悪いのか、後期に対面で開講するつもりなのか、履修登録済みの理由も述べられず休講が続いているので少々不安です。
663	工	2年	5月は遠隔で十分であるし、不安が解消される。
664	工	3年	moodleで課題提出は今後も続けてほしい
665	工	3年	YouTubeとかを使用すると何度も見れて理解しやすい
666	工	3年	YouTubeとかを使用すると何度も見れて理解しやすい
667	工	3年	YouTube等で説明の動画を含めた内容を求めます
668	工	3年	こんな時期は遠隔授業で進むほうがいいと思う
669	工	3年	ムードで課題のみ出され、それを解答するだけの授業が多く理解が非常に難しい
670	工	3年	また、多額の授業を払っているのだからとした授業を受けたいすべての科目で200Mなどで解説・説明やばり、こちら側と先生が見えない状態なので、ノートを取る前に次のスライドに移ってしまうことが、しばしばありました
671	工	3年	リズムは見やすく、声は聞きやすいが、PowerPointで授業を行う先生の場合、授業進度が早すぎて、ノートを取らないことがある。
672	工	3年	印刷しなきゃ見づらいものもあるが家にプリンターがないので印刷だけでも欲しい。資料だけ配布し遠隔授業して頂いてありがたいというのには授業と云えるのだろうか。
673	工	3年	遠隔授業について頂いてありがたいというのには授業と云えるのだろうか。
674	工	3年	いられ、学習意欲が湧きました。自宅で講義を受けられるのは便利だと感じました。
675	工	3年	遠隔授業でもどうやってテストを行うんですか？
676	工	3年	遠隔授業でも対面授業の同じ質のものが受けられることがよくわかりました。個人的には、不特定多数の人と接触するのはリスクであると考えており、対面授業は不安ではないです。非常事態宣言が解除されても今のところ少なくとも1ヶ月目は、オンライン授業を継続していただけたとありがたいです。
677	工	3年	遠隔授業の方が集中でき、授業の理解度が高く満足している。 緊急事態宣言が無効になっても感染拡大の心配もあるので、せめて前期一杯は遠隔授業で対応してもらいたいです。
678	工	3年	家で実験まで全てできるのが快適だった。
679	工	3年	課題が多過ぎ
680	工	3年	課題が多過ぎ
681	工	3年	課題の量と内容が授業の内容とあっていない
682	工	3年	課題を全てメール提出しなさいとわからなるのでメール提出にしたい
683	工	3年	回線の問題などで音声が途切れたりするのであると授業のアーカイブをのこして動画で後から見られるようにしてほしい、または生徒側にレコーディング許可をしてほしい。
684	工	3年	期末テストも全部moodleにしたい
685	工	3年	緊急事態宣言が終わったからといって直ぐに対面授業は始めないで欲しい。
686	工	3年	緊急事態宣言が撤回されたとしても前期は統一して遠隔で行ってほしい。
687	工	3年	工業部の授業方針がいろいろで、非常に使いにくい。授業のアナウンスをメールだけ、moodleだけ、度な分野を教えるにもなかなかわらず、授業をメールで、moodleに備えても不安を感じる。授業に關しては、高
688	工	3年	度な分野を教えるにもなかなかわらず、授業をメールで、moodleに備えても不安を感じる。授業に關しては、高
689	工	3年	度な分野を教えるにもなかなかわらず、授業をメールで、moodleに備えても不安を感じる。授業に關しては、高
690	工	3年	授業は全て講義動画をyoutubeに限定公開という形でアップして学生の理解に努めるべきだと感じる。授業資料のみの授業でも同じで、苦痛ではないが、苦痛ではない。その点、映像での授業は安心できる。これは他の者の存在を感じられるからだと考え、全くと金わない生活に、人差しを感じているのだから。
691	工	3年	授業内容を授業開始時間に開示されるのに、課題の締め切りが授業終了時刻という授業があり、90分で内容を理解しつつ課題も終わらせるのが難しい。
692	工	3年	前期の途中から登校というのの中途半端な感じになってしまふので、ウイルス第二波を懸念して、前期の間ははずっと遠隔授業なのがいいです。
693	工	3年	全て遠隔授業で対応してほしいです。
694	工	3年	他の学生の音声がうるさい
695	工	3年	対面の方が質問や話し合いしやすいので対面授業を望む
696	工	3年	対面授業はやめてください
697	工	3年	大学生の学習にはむしろ遠隔の方が向いているのではないかとと思う。聞くことに特化するだけでなく調べな
698	工	3年	大学生の学習にはむしろ遠隔の方が向いているのではないかとと思う。聞くことに特化するだけでなく調べなから学習ができるのは効率の面で良い。

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
779	都市	3年	データ入システムではslackというアプリを使うがその授業だけアプリが通っているのを使い勝手が悪い。全ての授業をチャットでするのでは時間がかかり非効率に感じる。
780	都市	3年	ほとんどの授業では質が保たれているが一部授業では質が低下しているように感じられる。
781	都市	3年	みなさん遠隔授業に対応してくださりありがたいのですが、もっと双方向授業を増やしてほしいです。通風に感じてしまう。
782	都市	3年	クワンが開始されるまではコロナウイルスの脅威は無くなりたいと思います。このまま遠隔授業を進めてくは授業に集中できない、課題が多い。
783	都市	3年	家で授業に集中できない、課題が多い。
784	都市	3年	学生の事情を確認できないので、大半の学生が理解できていないのに話題が流されることが多いと思う。
785	都市	3年	学生の事情を確認できないので、大半の学生が理解できていないのに話題が流されることが多いと思う。
786	都市	3年	感染症が完全に落ち着くまでオンライン授業だと安心できる
787	都市	3年	基本moodleに資料をあげてほしい
788	都市	3年	今後卒業まで遠隔授業で受けたい
789	都市	3年	混合はやはり欲しい、遠隔か対面のどちらからか統一して欲しい。
790	都市	3年	遠隔授業は十分あったにも関わらず、教員がカメラとマイクの付いている端末を持っているからという理由でチャット型の授業を行なっており、大変わかりにくい上に、細かな文字を3時間もの間継続して見るのは対面授業が始まるまで感度のリスクが高くなるのでも不便です。
791	都市	3年	授業が良すぎる、先生の声も聞き取りやすいので、オンライン授業は快適です。
792	都市	3年	今午休みの場所はまだです、毎日の通校がとても不便です。バスを追いかけなくては授業がでけるのは本当に助かります。しかし、学校が復旧になれば、私はやはり引越したほうがいいと思います。
793	院人文	1年	音声が開きづらい感じがしない
794	院人発	1年	非対面型授業(遠隔授業)の受講における注意事項(5月8日更新)について。 他大学等のオンライン授業がイデオラインには、「顔出しの是非」等、人権に配慮したものがあり、その大学の人権や情報リテラシーに対する見識の高さがうかがえるが、本学の注意事項は、大学運営上支障をきたす事項の禁止の要素のみであり、最善学府としての見識がない。オンライン授業をどのように考え、運営しているかについて、富山大学としての見識を示すような内容のある文章を掲載して欲しい。
795	院人発	2年	普段から良好なコミュニケーションが取れている先生の授業であれば、問題は無いと思ったのですが、他の受講生の顔色とか呼吸が全く分からない為、授業中に質問をするタイミングが掴めないのが大変困ります。よく放送大学はやっていっていると感じました。残念ですが大学の授業として、オンラインは馴染まないと思います。
796	院人発	2年	先生と、そして学生仲間たちと教室で議論を重ねないのだったから大学の魅力はありません、独学で本を読む方がいいかも知れません。もしくは映像コンテンツが豊富な放送大学の方が魅力的か？ いずれにしてもオンラインは生身の人間同士が議論を深めにくく研究を深められないと思う、コミュニケーション能力に問題のある人がますます増えるでしょう。そんな人材はこれからの社会では最も必要ではない人間だというのは誰の目から見ても明らかです。
797	院経済	1年	緊急避難的に使用するのなら仕方ありませんが、今後日常的に使うのであれば大反対です。
798	院経済	1年	遠隔授業は、移動時間がないので社会人としては、思っていたより良かったです。 音声が途切れていてもこちらの問題なのか、そちらの問題なのかわからないので、そのまま授業が進んでしまふ。遠隔授業でのディスカッションは困難だと思ふ。
799	院経済	1年	今の時期で、遠隔授業は最も安全な受講方法だと思ふ。緊急事態が解除されたが、富山県内の感染者はまだ大勢いる。対面型授業には、たくさん人の不便があると思う。もうすぐ夏が来るので、毎日マスクをつけたまま授業を受けるのが大変だ。
800	院経済	1年	復習したいとき、授業のビデオもう一度見えないので、ちょっと困っています。
801	院経済	2年	遠隔授業は便利で、学校にいなくても受講できるんですが、ずっとパソコンを見ると、めっちゃ疲れるので、効果的に勉強できるために、勉強内容を録画して、課題をやったりより有利と思います。
802	院経済	2年	履修科目と科目のうらち、遠隔授業は科目で実施された。1科目はヒアリングがあり、課題資料はアップされ、来週あたりに遠隔授業開始かも。別の1科目は、課題レポートと推薦図書が指示されたが、遠隔授業は準備中で開始案内が来ず、前期終了日程が心配である。 【メリット】・登校時間を削減でき授業準備に余裕を持つ事が出来る。 ・多少体調を崩していても授業に参加できる可能性がある。 ・レジュメが予め配布(UP)されるため、予習しやすい。 【デメリット】・回線状況により授業に集中できない場合がある。 ・対面授業と比較し受け取ることのできる情報量が少ない。 ・参考資料・図書を入手し難い。(版元や配送状況の関係が高額となっている場合が多い。図書館を利用し辛い。)
803	院芸文	1年	
804	院医薬	1年	今後、遠隔と対面が混在しないようにしてほしい。
805	院医薬	1年	対面を始めると、仕事の関係もあるので早めに分かるようにしてほしい。 最初はこの期間中は遠隔と言っている授業はその期間内は遠隔にしてほしい。そのつもりで調整しているのも、moodleで登録した授業のコースは存在するが、開始日時にコンテンツが不明のままの物が多い(コースを開いても詳細が書かれていない)。
806	院医薬	1年	スライドまたは資料による自己学習をし、課題のレポート提出ばかりで、きちんと学習が行えていない感じがします。そしてレポート提出が多く、とても苦しいです。
807	院医薬	1年	先生方も急な授業の方針転換により、お忙しいとは思いますが、効果的な授業をお願いしたいと思っています。最初、zoomも併用するものかと思ひ込んでおり、講義時間になってもMoodle上の資料しかアップされずYouTube上にアップされている動画について、Moodle上での再生ができないうものがありません。Moodle上に再生できず、YouTube上のURLを先生に聞き、アクセスすることで再生が可能となりました。Moodle上での再生は、3台の端末(全て別OS)でいくつかのブラウザで行ってみましたが、再生できなかったことから、アップされている動画の設定に問題があると思われます。Moodle上での再生ができる設定方法について、今一度、先生方に周知いただけたら、今後、こういった事態を防ぐことができると思います。ご多忙ではあると思いますが、対応いただけたら幸いです。
809	院理工	1年	ゼミは対面でやりたい
810	院理工	1年	ゼミは対面でやりたい
811	院理工	1年	遠隔授業の設備が大学側も私もそつてきたので、今後とも遠隔授業の方が良い。集団授業を受けることは

No.	所属	学年	問11. その他、遠隔授業の感想・課題・要望等について自由に書いてください。※任意回答
812	院理工	1年	可能な限り対面型の授業を受けたいです
813	院理工	1年	学生よりも、高齢の方が多い教授の方々に配慮してあげてほしい
814	院理工	1年	今までに無い対応だったと思いますが、大学事務、教務員含め全ての関係者の迅速な働きかけに感謝します
815	院理工	1年	今までに無い対応だったと思いますが、大学事務、教務員含め全ての関係者の迅速な働きかけに感謝します
816	院理工	1年	実習系を除いて、前期はすべてオンライン講義で統一をしてほしい。 やむを得ない理由で、帰省をしている学生もいるため、いざなり、教室に集合して、通常通りの講義を行うことは、方が一の事態の場合、精神的なダメージも研究に関するリスクも非常に大きいと思っている。(教員の講義は学年をまたいでいるため。)
817	院理工	1年	形谷での授業もあるため当分遠隔授業がいい
818	院理工	1年	先生によっては講義動画をアップロードしてくださるので、何度も見直しができる点は良い。
819	院理工	1年	前期は遠隔授業のままやり切っても構わないと感じた。
820	院理工	1年	対面に比べ、PDI等を使う授業が進行するため進度が速く理解が大変である。
821	院理工	1年	対面授業と遠隔授業が同日にあると負担が大きいので、やめてほしい
822	院理工	1年	問8のような遠隔授業と対面授業が混同するのは避けていただきたい。混同する状態が存在するのであれば、安全をとって遠隔授業で統一をお願いします。
823	院理工	2年	資料を配布されるのもプリンターがなく、不便。パソコンの画面で資料とZOOM画面を見るのは厳しい。授業・講義など教員から学生への一方向の会話で成り立つものならZoom等の遠隔授業では限界を感じます。また遠隔授業において、複数人が同時に喋ると聞き取りづらいこともあり、困ることもありました。
824	院理工	2年	大人数の講義は遠隔授業、少人数形式は講義室を使うという対応が個人的にありがたいです。先生方が配慮してくださって、遠隔授業の内容まで工夫していただいているので有り難いです。家の通信環境が不安定でzoomが流中で止まったり、相手の遠隔によって雑音が入って聞き取りづらい事があります。大学院はディスカッション、学校実習などの内容を予定していますが、できないので残念です。遠隔ではなく、大学で仲間と学びたいです。
825	院教職	1年	
826	院教職	1年	

No.	学年	所属	内容
1	1年	人文	仕方がないと思うが協賛が閉まっているプリンター-カートリッジなど早く買いたいのが買えない。教科書を注文したのですが、品切れになったものもあらしく、手元に届いていない教科書もある。Moodleに掲載してあると助かります。
2	1年	人文	教科書宅配をもう一度やって欲しい。
3	1年	人文	教科書販売による一部教材の入手が困難なことや奨学金等の書類の受け取りや申請についてが未だ分からず、研究室に訪問できない。
4	1年	人文	今後、対面授業を解禁するとしても、すべて遠隔にするか、すべて対面にするなど、できるだけ早くに統一対面授業と遠隔授業が混在するのではありません。
5	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
6	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
7	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
8	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
9	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
10	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
11	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
12	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
13	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
14	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
15	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
16	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
17	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
18	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
19	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
20	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
21	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
22	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
23	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
24	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
25	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
26	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
27	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
28	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
29	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
30	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
31	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
32	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
33	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
34	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
35	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
36	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
37	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
38	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
39	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
40	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
41	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
42	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
43	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
44	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
45	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
46	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
47	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
48	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
49	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
50	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。
51	1年	人文	道徳県、道徳県、道徳県に所属する学生はいるため、感染リスクが高まると思います。

No.	学年	所属	内容
52	2年	人文	図書、学食、チャームアップが望んでいるが不便と感じる。
53	2年	人文	図書、学食、チャームアップが望んでいるが不便と感じる。
54	2年	人文	課題のために読みたい本が図書館で借りられないこと。
55	2年	人文	今のところはない。大学図書館を利用できないので課題をやるときに参考文献を見たい。前期中と不便になるかもしれないが、今は再流行を防ぎ収束を目指す事が最優先であると思うので、例え前期中の授業全てが遠隔授業となっても構わない。
56	2年	人文	参考文献がない図書館を利用したいが実家生の場合などやりづらい。
57	2年	人文	参考文献がない図書館を利用したいが実家生の場合などやりづらい。
58	2年	人文	図書が使える分、横並びになっている中からレポートの資料を探したり、雑誌掲載の論文を探したり、辞典を引いたりということができず、学習や授業に困っています。
59	2年	人文	まだ春休みに実家に帰省してから富山に戻ることでできているが、どのタイミングで戻ればいいのか、また、戻ってから自宅を借りて、横並びになっている中からレポートの資料を探したり、雑誌掲載の論文を探したり、辞典を引いたりということができず、学習や授業に困っています。
60	2年	人文	介護等体験がどうなるのか不安。事前準備のようなものも連絡がないため何も分らない。
61	2年	人文	緊急事態宣言が解除されて、この先しばらくは遠隔授業を継続したい。
62	2年	人文	5月末まで休講の授業は単位が取れるのか不安。
63	2年	人文	連絡や今後どう準備するか考えて動くことができない。このような事態で混乱することはわかるが、生徒側にも都合があるので、もっとはやや、発表や連絡をしてほしい。
64	3年	人文	学内専用ネットワークの利用及びVPN接続を行うことができないこと。
65	3年	人文	コピー機を使いたい。
66	3年	人文	家に印刷機がないため大学で印刷したいが、学部がパソコン室に入りたい。
67	3年	人文	画面だと資料が見づらいので、印刷したいが、学部がパソコン室に入りたい。
68	3年	人文	学校でプリントアウトできないのが不便。
69	3年	人文	学部の端末室を開放して欲しい。情報の管理センターの利用時間は短い。限られて5限までの日がある。5限の終わる18時になった。多くの課題の締め切りは次の日の00時になった。利用時間短い。提出された課題の課外活動やイベント等の今後の見通し心配です。特に大学祭は去年も台風で中止になってしまったので、2年連続で中止になるかもしれないと思うことも寂しいです。
70	3年	人文	また、非常に個人的な感想になってしまっていますが、私はずっと自宅と遠隔授業を受けていると授業時とライブの線引きが曖昧になり、気が引き締まらなくなっていました。自分でどうにかすべき問題ではありますが、今後対面授業に戻ったとき、以前と同様の集中力がすぐに身につくのかとても不安です。
71	3年	人文	都立の自主練習を制限付きで解禁してほしい。
72	3年	人文	研究室の図書が利用できない。不便。
73	3年	人文	対面と遠隔の混在で頂きたい。間8にパソコンを待参して受講する」という選択肢があるが、大学内で受講するとは自宅と異なる周囲の音が入ってしまう。部屋や座席も限られており、学部一年など研究室を持たない学生は尚更苦しい状況に置かれると思う。お昼は人が密集するので、対面はなるべく少なくしてほしいです。
74	3年	人文	公共交通機関や講義室での感染が怖いので前回は対面授業を行わずにオンラインにしてほしい。
75	3年	人文	公共交通機関や講義室での感染が怖いので前回は対面授業を行わずにオンラインにしてほしい。
76	3年	人文	公共交通機関や講義室での感染が怖いので前回は対面授業を行わずにオンラインにしてほしい。
77	3年	人文	大学へ行ったら対面式授業を行うことで感染が怖いので前回は対面授業を行わずにオンラインにしてほしい。
78	3年	人文	来ない。
79	3年	人文	来ない。
80	3年	人文	来ない。
81	3年	人文	来ない。
82	3年	人文	来ない。
83	3年	人文	来ない。
84	3年	人文	来ない。
85	3年	人文	来ない。
86	3年	人文	来ない。
87	3年	人文	来ない。
88	3年	人文	来ない。
89	3年	人文	来ない。
90	3年	人文	来ない。
91	3年	人文	来ない。
92	3年	人文	来ない。
93	3年	人文	来ない。
94	3年	人文	来ない。
95	3年	人文	来ない。
96	3年	人文	来ない。
97	3年	人文	来ない。

No.	所属	学年	問12 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
98	人 文	4 年	図書館が使えない。また、五福キャンパスの図書館における外部者の入場を制限するため、学生証の保持をチャッとするべき。予算があるからゲートをつけるべき。図書館はわれわれが勉学に利用すべき施設であって、高学館の資料が閲覧できなければ、高校生がしやべる場でもない。
99	人 文	4 年	図書館の資料が閲覧できないこと。
100	人 文	4 年	図書館へ行けないこと(通知のためでもダメなのか)
101	人 文	4 年	本来であれば使えるはずの図書館や学生会館といった施設が使えない上アルバイトが出来ず収入が減ってしまつたので、授業料の減免を検討していただきたいです。
102	人 文	4 年	緊急事態宣言が解除されたとしても、しばらくは遠隔授業がいいと思います。
103	人 文	4 年	緊急事態宣言が解除されても遠隔授業を進めた方が混乱が少ないように思います。
104	人 文	4 年	今年前期に限っては、遠隔授業のまま授業を進めた方が混乱が少ないように思います。
105	人 文	4 年	支援金
106	人 文	4 年	就職キャリアセンターへ相談に行けない
107	人 文	4 年	就職キャリアセンターへ相談に行けない
108	人 文	4 年	卒論について調べ物が出来なかつたり、指導が十分でないことが不安である。
109	人 文	1 年	サークルが始まつておらず、先輩と後輩、話を聞く機会がない。
110	人 文	1 年	売り切れていた教科書を安く買えない オンライン授業と対面授業が混在すると、結局大学や公共施設のFree-WiFiを使うことになり、家に比べて回線速度の不安がある上、外だと大学の回線に負荷がかつたりと思うように学習出来ない環境となるかもしれないのかもしれないと思う。そうなら大学の回線に負荷がかつたりと思うように学習出来ない環境となるかもしれないので、授業方法をどちらかに揃えて欲しい。
111	人 文	1 年	大学の対面授業と遠隔授業を混在させること、結局大学や公共機関での受講となったこと、対面授業からそれらの機関ではWi-Fiの脆弱性が懸念されることや、駅などで大勢の人が溜まつてしまつてしまつたり、遠隔授業とどちらかが一方のみの開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
112	人 文	1 年	施設費を充分に使えていないので授業料を減らして欲しいです。
113	人 文	1 年	遠隔でできる授業はこれからも継続してほしい その一方で再開したとして、感染したら大学が責任を取ってくれるのか それが保証がないのに対面授業をするのはいかげなものか また、通学で時間がかかるため、家族や学生の負担を踏まえる遠隔授業が好ましいのではないだろうか。
114	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
115	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
116	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
117	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
118	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
119	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
120	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
121	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
122	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
123	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
124	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
125	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
126	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
127	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
128	人 文	1 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
129	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
130	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
131	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
132	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
133	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
134	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
135	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
136	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
137	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
138	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
139	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
140	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
141	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。
142	人 文	2 年	入学式の10分間開催を計画していた時点で、私は貴学の対応に困惑、失望した。 富山唯一の国立大学があるような対応をした時点で私の富山大学というイメージが最悪になっている。この意見を真摯に踏まえて今後の対応を考えてほしい。

No.	所属	学年	問12 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
143	人 文	2 年	前期の間はすべて遠隔授業にすれば良いのでは。どっちになるかわからないまま進んでいくよりはきり決めてしまった方がお互いのためになるのではないかと。
144	人 文	2 年	感染に關しておぼろげに慣れてきまして、いざ登校することになると、公共交通機関を利用する事になり、そこでの感染に不安があります。今まで、市内電車はなかなか混雑していたので、少し心配です。
145	人 文	2 年	予定している実習やその他の集まりなどの情報、連絡が来るまでわからないこと。
146	人 文	3 年	プリントの印刷が多く、普段なら大学でできるのですが家でしなければならぬので少し負担です。
147	人 文	3 年	印刷ができない
148	人 文	3 年	印刷ができない
149	人 文	3 年	授業のレジュメが印刷できない
150	人 文	3 年	6月の初めに都活動動脈(花見)的なのを全体でやりたい。
151	人 文	3 年	お金がない
152	人 文	3 年	学費の免除。学校施設を使えなくてもいいのに、今まで通りの学費を取られるのは困る。
153	人 文	3 年	1度対面授業にして、また遠隔に戻さなければならぬ状況になると学生も先生も困ると思うので、対面授業に回すタイミングはよく考慮してもらいたいです。
154	人 文	3 年	対面授業は無いので、できるだけやりたいです。
155	人 文	3 年	学食開けてください
156	人 文	3 年	現状は理解しているがなるべく早く対面授業に戻ることを望む
157	人 文	3 年	図書館で参考資料を自分で探すことができない
158	人 文	3 年	図書館に行つて、本を選ぶことができない。できるのであれば、自習スペースの使用を禁止した上で本を借りることだけできるようにして欲しい。
159	人 文	3 年	図書館に行つて、本を選ぶことができない。できるのであれば、自習スペースの使用を禁止した上で本を借りることだけできるようにして欲しい。
160	人 文	3 年	図書館の資料を利用できないのが痛い。県内でも資料を借りるために大学に行くのが困難な地域もあるのだから、郵送による貸出の適用範囲を考慮してほしい。
161	人 文	3 年	ない
162	人 文	3 年	ヘルシステムが閉まらないです
163	人 文	3 年	ヘルシステムが閉まらないです
164	人 文	3 年	健康診断が8月31日に延期されたが、検査実習の日程と被っているのが気がかりです。この場合どうすればいいかわからないので、健康診断の予約を入れることができます。
165	人 文	3 年	健康診断が8月31日に延期されたが、検査実習の日程と被っているのが気がかりです。この場合どうすればいいかわからないので、健康診断の予約を入れることができます。
166	人 文	3 年	新入生への心理的サポートを手厚くして下さい。
167	人 文	3 年	生協でお弁当販売してほしい
168	人 文	3 年	補講や集中講義、実習に関する連絡はなるべく早く緊急に教えてほしい
169	人 文	4 年	家にプリンターがないことで授業のレジュメが印刷して出せない
170	人 文	4 年	家にプリンターがないため、ゼミ室や端末室が利用できないのは辛い。
171	人 文	4 年	学校に置いてある教科書等のゼミ室が取りに行きづらいため
172	人 文	4 年	ゼミ室にある研究資料などが使えないこと。
173	人 文	4 年	ゼミ室にある資料を見ることができないため、卒業研究に支障をきたしている。
174	人 文	4 年	大学の施設がほとんど使えない状態なのに、どうして授業料は満額で支払うのか疑問です。
175	人 文	4 年	返金はしないので、早く対面授業を行うことにかなり抵抗があります。大変な状況の中、コロナ対策に尽力下さっている大学関係者の方々に感謝申し上げます。
176	人 文	4 年	食堂が開いていないので、自炊ばかりでとてもつらいです。
177	人 文	4 年	ゼミ室、図書館で勉強ができない。せめてそこは使わせて欲しい。
178	人 文	4 年	ゼミ室に荷物を取りに行きたい
179	人 文	4 年	図書館の文献取り寄せ・複写サービスが使えないこと
180	人 文	4 年	図書館の教科書の買い置きがなくなった際に生協が買い替えてくれたのが良かった。
181	人 文	4 年	端末室が使えないことで、大学でしか調べることが出来ない内容のことが、調べられなくなつた。端末室を使用している人もいえるように、本で許可されている人だけなのか、許可を受けていない人が使用した場合、ちゃんと罰則を受けるのか。
182	人 文	4 年	ネットワーク環境の問題に、日々不安を抱いているので大学施設を利用したいです。
183	人 文	4 年	感染リスクのある授業が怖い
184	人 文	4 年	黒板が使えないため、教員採用試験の対策(模擬授業の練習)ができない。
185	人 文	4 年	精神的ストレス
186	人 文	4 年	精神的ストレス
187	人 文	4 年	精神
188	人 文	4 年	大学の車の入校許可書を申請したが、許可されなかったため、一度も使えないのに他の駐車場代を払い続けなければならない。他の大学は前期は遠隔授業としていたところもあるのに、早期に決断をして欲しい。
189	人 文	4 年	端末室を時間制等にして、利用させて欲しいです。
190	経済	1 年	健康診断の結果や再検査の必要性を確認したいのだが、ヘルシステムに接続できず、VPN接続設定をするにしても学内でしかできないため、何らかの手段で確認できるようにしてほしい。
191	経済	1 年	コピーができない
192	経済	1 年	校内掲示が買われず、今後の就職・キャリア支援に関する情報や、各サークル団体の活動が分からない。
193	経済	1 年	教科書を注文したが品切れで一部商品が届かず、自分で購買で買ってしまった。なので早く購買で教科書を買いたい。
194	経済	1 年	授業で使う教科書や参考書を買いたいのが閉鎖しているため買えない。
195	経済	1 年	生協がやっていないので教科書を早くに入手できない。
196	経済	1 年	大学も困っているのは承知だが、やはり多少の授業料の肩直しはあってもよいのではないだろうか。
197	経済	1 年	オンライン上での遠隔授業の体制もある程度整っていると思う。
198	経済	1 年	緊急事態宣言が解除される方向だが、公共交通機関を使つて通学しているのでもまだ大学に通うことに対して非常な不安がある。対面授業のほうが先生方はやりやすいかもしれないが、対面授業を再開するのはもう少し先。

No.	所属	学年	問12. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。 ※任意回答
199	経済	1年	大学で対面授業を行う場合はしっかりとした感染対策を行ってほしい。
200	経済	1年	学食と生協のメニューOPを開けて欲しい
201	経済	1年	学食に行けない
202	経済	1年	学食食べたい。
203	経済	1年	専門図書館などを授受際に図書館を気軽に利用できないこと
204	経済	1年	特にない
205	経済	1年	対面授業の開始を延期する時はせめて1週間前には告知してほしいです
206	経済	1年	コロナウイルスが収束するまでは、オンライン授業を継続してほしい。
207	経済	1年	ピアラの練習ができない
208	経済	1年	ヘルシステラムに繋がらない、必要なので学外からでも使いたい
209	経済	1年	やはりほとんどがパソコンでやるのは疲れます。
210	経済	1年	安全第一でお願いします
211	経済	1年	もう1回、連絡を早くしていただくと助かります
212	経済	1年	家のWi-Fiの通信状況が悪くて資料についている動画が開けられないことが多く困っています。
213	経済	1年	家計は変わっていないがバイトができてく自由に使えなお金が減る一方で悲しい
214	経済	1年	今後、緊急事態宣言が解除されても登校禁止は5月31日で終わらないのをぼろぼろ書いていただくとありがたい
215	経済	1年	在学証明書がもらえない
216	経済	1年	視力検査の再検査を受けたい
217	経済	1年	人文学部はお茶会を開いて他生徒との交流の場があるから経済学部は無いのでそういった機会を設けて欲しい
218	経済	1年	先生のメールアドレスが分からない授業があり、質問できないことがあります
219	経済	1年	電子辞書の追加コンテンツ(第二外国語)を生協で割引購入する予定だったが、入構禁止によりそれができず
220	経済	1年	電子辞書の追加のデータの引換券をどうしたらいいのかわからない
221	経済	1年	富山県が特別警戒区域から外れるかもしれないですが、依然として感染者は増えているのでその事実を踏まえ今後の授業に対応してほしいです。遠隔授業にすることでしかも課題提出がmoodleの関係でうまくいかないことがあるので、うまくいかないと報告があったときなどはなるべく早く改善してほしいです。
222	経済	1年	友達作りの機会がない
223	経済	2年	コピー機を使わせてほしい
224	経済	2年	家電量販店が近くに無い為、生協本店でプリンターなどのインクなど普段購入しているものが必要な時に手に入らない事に困っています
225	経済	2年	学校のコピー機や重物を利用できないのが不便です
226	経済	2年	サークル棟内に忘れ物をしたので一日限定で解錠してほしい。
227	経済	2年	教科書販売所売店の向上
228	経済	2年	バイトも制限されており、学生への給付をしていただけたとありがたいです。また、大学が休校になっているため、学費の減額など検討していただきたいです 学校の施設が基本的に利用できないこと
229	経済	2年	授業の形式について もし対面授業の再開を考えているならオンラインなら全部オンライン、オフラインなら全部オフラインというようにし てほしい授業の形式を合わせて欲しい。オンラインとオフラインを同時した状態で授業が始まると学校の回線が 込み合う事が予想される。よって、満足に授業を受けられない生徒とそうでは無い生徒の間で不平等が発生す る可能性がある。 また中途半端な時期に対面授業を再開するのではなく、学期やタームの始めに再開するなどいなければ、バイ トや生活の都合で生徒が授業を受けられない可能性もある。 公共交通機関を利用する実家生による感染リスクなども考えられるのでそれらも考慮した上で授業形式を考え ていただきたい
230	経済	2年	対面授業と遠隔授業の混在は非現実的だと思いますので絶対にやめてほしいです。 コロナが完全に収束し たわけでもないのに対面授業そのものが不安です、対面と対面の間に遠隔授業を受けられる場合はどこで受ける のですか。 公共交通機関の中の受けくともあり得そうです。
231	経済	2年	端末書が使える、資料の印刷が困難です。pdf形式で枚数の多い資料は印刷自体を諦めてます、、コピー機だ けでも使えるようにしてほしい。
232	経済	2年	遠隔授業になった分、学費を減額してほしいです。
233	経済	2年	履修制限により、本来取ることができはる単位数を取ることができませんでした。不公平であると考えられ るため、履修料の減額などの措置とまでは重くありませんが、何らかし不利にならないような措置を取って ほしい。授業料の減額などらといって、すぐに対面授業を始めるとは、段階的に進めたいことを願う
234	経済	2年	開鎖になって困っていることではない、緊急事態宣言が解除されても、富山県内のコロナウイルス発症者の人数 等も鑑み、非対面式授業を継続してほしい。
235	経済	2年	いつも食事をミールを確保して大学内で断っているのにミールが食べなくて困る。
236	経済	2年	学食に行けないため、自炊しているが、調理や食材の調達の手間が非常に大変。
237	経済	2年	学食が開いていない。
238	経済	2年	学食が開いていないので食費がかかる
239	経済	2年	学食に行けません
240	経済	2年	ゼミでの調べ物をしたいのだが、図書館が臨時休館になっているので調べ物がしにくい点。
241	経済	2年	学校閉鎖により、本来取ることができはる単位数を取ることができませんでした。不公平であると考えられ るため、履修料の減額などの措置とまでは重くありませんが、何らかし不利にならないような措置を取って ほしい。授業料の減額などらといって、すぐに対面授業を始めるとは、段階的に進めたいことを願う
242	経済	2年	体育館などの大学の施設を全く使えないことを考慮すると、学費が昨年と同じであるのはおかしいのではない かと思います。少なくとも施設維持のための費用などの分は返還するべきだと考えます
243	経済	2年	難しいとは思いますが、図書館が開鎖されていると調べたい文献などの分は返還するべきだと考えます バイトもできない理由で出費がかさみ、少く経済的に厳しい面があるため、図書館が開いてほしいなと思 います
244	経済	2年	緊急事態宣言が解除された後、前期中でも対面授業を再開する事項で確認漏れがあったときに気づ けないことが怖い。
245	経済	2年	moodleやメールをより確認してほしいと感じる。
246	経済	2年	ゼミは対面にして欲しいと感じる。
247	経済	2年	ちゃんとした授業を受けたい

No.	所属	学年	問12. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。 ※任意回答
248	経済	2年	授業や課外活動を含めて少なくとも前期は登校しない方がいいと思う。
249	経済	2年	授業や課外活動を含めて少なくとも前期は登校しない方がいいと思う。
250	経済	2年	授業や課外活動を含めて少なくとも前期は登校しない方がいいと思う。
251	経済	2年	生協が使えるのが不便
252	経済	2年	体育館を使用可能にしてほしい
253	経済	2年	対面授業に行った事により学生やその家族が感染した場合、補償はどのようにになりますか？あと、友達と会うと、無意識にみんな農耕接触しあうのですが、学校としてどう対処するつもりですか？
254	経済	2年	単位の修得は大丈夫なのか
255	経済	2年	単位数が少なすぎる。
256	経済	2年	特にない。
257	経済	2年	履修制限によって抽選落ちした科目は来年度優先して受講できるようにしてほしい。
258	経済	3年	通常は大学でレジュメを印刷していたので、不便などは感じています。 教科書の購入への対応が遅いものだったと感じる。
259	経済	3年	生協が営業していないのは仕方ないと思うが、手帳料で1500円は高いなと感じ、また、履修制限により受けられなかった科目の教科書を先に買って、返品が可能ということだったが、生協がやっていたためですれ ばいいかわからない。
260	経済	3年	緊急事態宣言がなくなると対面授業が再開されることが考えられるが、対面授業の開始後に大学でコロナ感染者が増加した際のことを考えるとあまりにリスクが高いと思うため、もっと様子を見てから判断していただきたい。 また、質問の際には非対面式と対面式の授業が混在する可能性があるように感じられるが、これだけはやめたい。
261	経済	3年	教科書手配が大変でした
262	経済	3年	教科書販売所期間の延長がない。
263	経済	3年	問11に述べましたが、マーケティング論の教科書を買えるようにして欲しいです。
264	経済	3年	遠隔授業と対面授業を混在しないで欲しいです。
265	経済	3年	遠隔授業と対面授業を混在しないで欲しいです。
266	経済	3年	前期のうちのこのままオンライン授業を続けるべきだと感じる。対面とオンライン、混在すると受講しにくくなる。
267	経済	3年	購買を利用出来ないのが困る。
268	経済	3年	大学の購買で受け取りたい書籍がある コロナウイルスが一時収束したとしても対面授業を再開するのは怖いので、当分は非対面授業を望みます。
269	経済	3年	やっと遠隔授業に慣れたので対面授業にして感染リスクを増やさず、遠隔授業を続けて欲しいです。命を危険にさらすことはしたくない。今は実家で授業を受けていて外出もほとんどしてないのだから安全です が、対面授業が始まるととてと具をまたいで移動することになります。親にも大学へ行くことを反対されています。必ず第2波が来ると思います。せめて前期いっぱい遠隔授業が良いです。
270	経済	3年	遠隔授業を前期終わりまで続けて欲しい コロナが収束気味だからといって中途半端な時期に対面授業再開といったことは諦めてほしい 自宅からの通学者も大勢いると思うので通学時の感染リスクやほかにも狭い教室での密集など対面がスタートすれば感染のリスクはかなりのことかと思う カリキュラムも遠隔授業によってかなり変更されたから前期はこのまま遠隔授業のままにしてほしい
271	経済	3年	感染が流行り始めている段階で入学式を挙行しようとし、限定的に授業を押し切ろうとした大学なので何を言っても伝わらないと思いますが、講義途中で対面授業に変更となるとまたコロナコタが起こればもうのせめ てくわーまーでは遠隔授業にしておくのが良いのかなと思います。また大学間いちらう講義も大変だと 私には実家いるのですが、富山市でコロナの感染が拡大したことでも富山市に行きたくないと しています。もし緊急事態宣言が解除されたとしても、授業は遠隔の非対面式で行ってほしいです。 また、経済学部の専門の授業が抽選になったせいで、自分の思うような授業がとれず、単位数も予定していた 数より減りました。また、抽選結果の発表も授業開始日の前日だったり、反転もヘルソンとムードルで差がでた り、いろいろ対応がよいかんじました。コロナの影響で大変だったとは思いますが、今後はこんなことが 自分のパソコンを学内のネットワークにつながらないため、全ての授業が対面で可能になるまでは、全ての 授業を遠隔で続けて欲しい。
272	経済	3年	前期は遠隔授業で統一してほしいです。 前期は遠隔授業を再開しないならすべての授業で統一するべきだと思います。また、もし緊急事態宣言が解 除されても富山は特別警戒レベルで危険だと思うので解除されたからすぐに対面にするのは危ないかなと思 います。
273	経済	3年	判断するのはとても難しいと思いますが、前回のようにより2日前に発表するのではなく1週間前くらいには発表して 大学でクラスター感染が絶対に起こり得ないと言え、対面授業はしないで頂きたいです。万が一対面授 業が始まっても、遠隔授業で代替できるようにしてほしいです。対面授業が途中で学校が休止になると、 せっかく買った定期券の出費がないことが無駄になります。また対面授業開始時には学生同士が距離をとらないと罰 則をつけるといい、学生もみな濃厚接触しあうと思います。 大学にうつるぐらいにない、学生もみな濃厚接触しあうと思います。 ええ状況になるまで、遠隔での授業を希望します。また、対面授業が始まっても、しばらくは遠隔授業で代替 できるように配慮してほしいです。
274	経済	3年	非対面授業が始まれば皆助が外れたように外出し出すと思う。結果すぐ広まれば大学のせい、という風にな 図書館がやっていない
275	経済	3年	図書館が直接利用できず必要な資料をすぐに集めることが出来ない 図書館が自主学習をしたい
276	経済	3年	特にない
277	経済	3年	コロナが収束するまで遠隔授業でお願いします。再開するならば学生全員の検査をして下さい。私の家庭は二世 帯住宅です。大学が再開したら私を通して高齢の祖父にコロナを感染させる危険性があります。その場合 の保証はどうされるのでしょうか？また再開後富山大学の学生や教員に感染者や濃厚接触者がいた場合どう ずっと遠隔で大丈夫です
278	経済	3年	図書館が直接利用できず必要な資料をすぐに集めることが出来ない
279	経済	3年	図書館が自主学習をしたい
280	経済	3年	特にない
281	経済	3年	コロナが収束するまで遠隔授業でお願いします。再開するならば学生全員の検査をして下さい。私の家庭は二世 帯住宅です。大学が再開したら私を通して高齢の祖父にコロナを感染させる危険性があります。その場合 の保証はどうされるのでしょうか？また再開後富山大学の学生や教員に感染者や濃厚接触者がいた場合どう ずっと遠隔で大丈夫です
282	経済	3年	図書館が直接利用できず必要な資料をすぐに集めることが出来ない
283	経済	3年	図書館が自主学習をしたい

No.	所属	学年	質問2. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
362	理	3年	大学を運営する方々が日々頭を悩ませ、様々なことに対応し続けているのは学生の目にもうつります。しかし一言、理由や説明、今後に関する近況などをお伝えしていただければ、学生の不安も少しは和らぐと思います。教授や教務、そして学生間で生の意見を交換しあう機会も作れるのではないのでしょうか。
			すでに多くの意見があると思いますが、授業の質の低下や、大学を使えていないこともあり、授業料の減額や、学生向けの支援は個人的に希望しています。この現状に対し、月額に30万弱支払ってもらうのは心苦しいです。いっそのこと、今年1年間大学を休みにして、来4月からスタートしてはどうかと思うほどです。(笑)
			しかし、そうしない理由や意見があるのなら一考の余地はあると考ええています。
			今回の件で、大学というものは運営側と学生が手を取り合ってつくり上げるものだ実感しました。これを機に、双方が持つ意見が活発に交換されること、そして学生も、大学がこれからどう考え、どう動いていくかを理解した上で、自らが生きていきたい生活を送ることはどうすればいいかを運ぶことを願っています。
			端末室が使えるコピー機を持っていないため、資料の印刷に多くの費用がかかり困っています。
			対面授業の再開は、富士市のコロナウイルス患者が花口になって、その状態が1週間程度続かないのであれば、はしないではないです。授業出なくとも、登下校や授業前後で大勢の人とすれ違うため、少人数授業でも再開の条件を緩和するべきではないと思う。
365	理	3年	食堂が使えない
366	理	3年	食堂が使えない
367	理	3年	図書館が使えないこと
368	理	3年	図書館で自分の目で見たい本を選んで借りる本を選べないことに困っている。 私の考えです。
369	理	3年	周辺の大学を見てもまだ対面の授業に関しては案内が出ていなかったり、富山県より総感染者数も人口当りでの感染者数も少ない、富山よりも感染者未確認日数が多いある県のある大学では、前期は原則対面授業を決定している大学もあります。よそはそ、うちらはうしろにしてもあまりにも対面授業の開始の報告が早すぎる、なぜここまで対面にこだわっているのか。確かに遅いのは遅いので迷惑だけど、もう少し考えてもいいと思います。
			また、話したいことがあるという意味の分からない理由で入学式を強行しようとしたり(卒業式は遠隔だったと認識しております)、学長声明を出してまでわけのわからない理由で「対面授業を強行」しようしたり、今回の緊急事態宣言解除後秒で決まった対面始業だったりと世間の考えとは多少乖離した対応を行うのはいやばりおもしろい大学だなぁと思います。教室ほど「密」な場所はないと思いますが、原則遠隔に変更するという考えはなしのか教えていただきたいです。
370	理	3年	「富山県以外に在住している学部学生については、学修の準備と健康観察のため、少なくとも対面型授業の受講1週間前には富山県に戻って来てください。」笑わせないでほしい。正気ですか？5月いっぱい減価を決め飛んでない「期路」もあり、「1週間前までに富山」に戻れない学生も多少いると思います。チャーターでもして飛行機を飛ばしてあげるでいいよ。マスカの重宝と総務本部がマスクを配布してあげるでいいよ。うかうかうかうと要遠隔授業は、通常の授業と比較して、授業の内容についていけないと感じることが多かったです(特にYouTubeやZoomを使用しない)、資料やテキストを自分で読んて課題に取り組むだけの授業。難しいとは思いますが、通常の授業を受けたいことを希望します。
			各通りの授業を受けたいことを希望します。
			通常禁止の罰金を受ける場合、大学に入っていくか迷うのでその度に電話をするここと。
371	理	3年	通学禁止の罰金には門が全開に入れる
372	理	3年	実験がオンラインとなりレポートなどが課せられたが参考資料(論文や文献)が閲覧できない状態なのが不便であれ他の大学の様にリアルタイムで入る学生への支援をして欲しい、朝の収入に関係なくして欲しい。親の収入がある程度あっても、親に支援してもらえない学生がいることを理解して欲しい。
373	理	3年	大学にない教授ととの連絡がつかないこと
374	理	3年	端末室での印刷ができなくなり困っている。当り前のように印刷して準備しておいてと先生方は仰います。しかし、一人暮らしでそのような環境が整っている人は多くありません。
375	理	3年	しが、学校閉鎖が解かれても対面授業の開始はすべきでないと考えています。前期は全てオンライン授業と判断した大学が多いにも関わらず、弊学は何故かまだに対面にこだわっているのでしょうか？クラスタを起こしたのではありませんか？早く見通しのある正しいご判断を頂きたいです。
376	理	3年	対面授業と遠隔授業が混在した場合、同様に3密を避けるためにも、誰が使ったかわからないキーボード、マウスはよくアプレでも他の端末室も避けたい。データ使用量もあまり使いたくないため遠隔授業は家でと考えると家が大学の所要時間が15分弱であるため、連続して対面→遠隔→対面と続く場合、少しでも授業を延長されると次の授業に間に合わない遅刻とされる可能性も否めないため、対面授業と遠隔授業の混在はできず遠隔がどちらかオンラインにしたいが、対面授業の場合、換気のための授業はキャンセル。なので、対面からこの場合エアコンを付けても意味ないだろうし、これからの季節さすがにエアコンがなければ体調を崩す人も出てくるだろうキャンセル。実際に小中学校にエアコンがなかったが、暑くて授業にならなかつたのはずばろ。同様に教室の密度を下げるために、各教室で収容人数制限がなされた場合、授業を受けられない学生も出てきそう。そういうことも加味してもしよう、短くてもほぼ前期いっぱいには遠隔授業の方がいろいろと有難い。
			研究ができないうち、就職先で就活支援センターを利用できないことが不満に感じている。
			研究室では、学生どうしの席が近く(約30センチ)、一日中部屋にいてもいいこともあるので、密集している場が多いです。2メートルの距離がとれるように、席を変えたり、学生の分散登校を行うべきだと思います。所属している学生数の多い研究室はより気を付けなければならないし、学生数が少なくても気を抜いてはいけません。研究室での過ごし方の指針を出していただけたらありがたいです。
378	理	4年	卒業研究の休滞
379	理	4年	卒業研究の休滞
380	理	4年	卒業研究の休滞
381	理	4年	食堂を利用したい

No.	所属	学年	質問2. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
382	理	4年	図書館の資料を開覧したい。
383	理	4年	オンラインやを際試で勉強するようにしてほしい
384	理	4年	今後の閉鎖で相談したいことがあるのですが、学校に行けないため困っています。
385	理	4年	しかし、急に学校が閉鎖して感染が広まることは避けたいので無理に開くのは怖いと感じます。
386	理	4年	手紙を簡単にしてほしい。
387	理	4年	なんで、同じ市内で郵送しなきゃいけないのか。
388	理	4年	就職関係の支援
389	理	4年	生徒の安全、命第一に対応をお願いします。
390	理	1年	家で授業を受けているとメリハリがつくづらい
391	医	1年	プリンターがないので印刷できないのがとても不便。コンビニで出来ることは承知しているが、講義資料は枚数が多く、提出物はPDF化しないといけない。授業を再開する前でも書籍番号が偶数、奇数で登校許可日を作る、などの対策で良いのでは。もしくは講義資料は郵送してほしい。
			なんで、同じ市内で郵送しなきゃいけないのか。
392	医	1年	プリンターが無いので困っている。印刷機を使いたい。
393	医	1年	生活リズムと集中力を維持することが大変です。
394	医	1年	サークル活動やバスケを始めたいです。
395	医	1年	教科書が手に入らなくて困っています。
396	医	1年	教科書が買えないです。
397	医	1年	品切れにより手に入らなかつた教科書があることに困っています。
398	医	1年	急には対面授業を再開することに困っています。
399	医	1年	食堂が食べたいです。
			対面授業でないと授業が困難な授業があり、まだ休講が続いている科目があるが、その補講もやり切れるのかとても不安。また授業が開始されない授業が、何らかの形で開始されるかと思う。
400	医	1年	図書館が閉鎖しているため参考資料が読めないところ。図書館が閉鎖している困るが、状況が状況なので仕方ない。出来ることならオンラインで資料が閲覧できる制度があるといいなと感じ。
401	医	1年	中途半端に大学で対面授業再開になるのはやめてほしい。最近富山県でも感染者が少なくなっているが依然感染率は高く、多くの県から人が集まる大学に通うのは不安が大きいので前期が全てオンライン授業でも構わない。県内出身者は家族と同居している人も多く、家族に移してしまうのが一番怖い。
			先生や学務の方々も大変だとは思いますが、安心して通学出来るようになるまで引き続き対応をお願いします。
402	医	1年	特になし
403	医	1年	対面授業が開始する時は、出来るだけ早く知らせしてほしい
404	医	1年	コミュニケーションの場が欲しい
405	医	1年	ずっとオンラインの画面を見ていて体がどんなにバコン以外でできる課題を埋やしてほしい。
406	医	1年	マスク・手洗いや等感染対策を徹底するので、出来るだけ早く大学に行きたいです。
407	医	1年	可能であれば、Moodle上で、新しく情報更新された科目にマークなどを付けてもらえば、情報を見落とすことなく出来る。まだ友人もあまりおらず、会うことも出来ないのに、見落とすことに気づきにくい。
408	医	1年	学年からヘルプデスクチームの入り口ですと画面が止まります。どうやっても入るのが難しくお知らせか何かで学校外にヘルプデスクを設けてほしいです。(先生方の動線などでも授業日でない日に受講しなければいけないことがありまして。)
410	医	1年	教員に関して言えば、新型コロナウイルスの影響で開講されない科目があり(現代社会論)、その件について教養教育支援室に他科目への履修修正が問い合わせたがうにもならなかった。つまり、社会科学系の科目を前期で修めることが不可能な状況。昨今のような特別な状況で約予定制的に仕事をこなすのはいかに苦しいのか。私のような満足いく履修登録ができなかった学生は不利益を被っている。仮にその学生が多数いるというのなら、その不利益を被った全ての学生に対して妥当な措置を取るのか教養教育支援室の仕事なのではないのか。あんなだけを特別扱いするわけにはいかないし公平性云々を主張するだけの思考回路があるなら、その思考回路を公平性を保つことではなく学生の学修のために使っていきたい。
			その思考回路が従来とともに等諸者全員に公開される教科では、教員への報酬がはくづく困っている。
411	医	1年	質問内容が従来と異なり進められたいとき、中止ではなく延期にしてほしい。
412	医	1年	実験や実習が従来と異なり進められたいとき、中止ではなく延期にしてほしい。
413	医	1年	また、集中講義を取り消すと思っていたが、それがあつた等のお知らせをしてほしい。
414	医	1年	授業の説明が少ないうえに、授業開始の延期などのお知らせがくるのがとても迷惑かつ、早期の通知をお願いしたい。
415	医	1年	講義の説明が少ないうえに、授業開始の延期などのお知らせがくるのがとても迷惑かつ、早期の通知をお願いしたい。
416	医	1年	講義の説明が少ないうえに、授業開始の延期などのお知らせがくるのがとても迷惑かつ、早期の通知をお願いしたい。
			講義の説明が少ないうえに、授業開始の延期などのお知らせがくるのがとても迷惑かつ、早期の通知をお願いしたい。
417	医	1年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
418	医	1年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
419	医	1年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
420	医	1年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
421	医	1年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
422	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
423	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
424	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
425	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
426	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
427	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
428	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
429	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。
430	医	2年	文書ソフトで対応できない場合、学校の許可を頂きたい。

No.	学年	所属	質問	回答
471	4年	医	図書図書室を利用したい	図書図書室を利用しています。
472	4年	医	図書図書室を利用できないけども困っているの、特別利用だけでも再開してほしいなと思います。	特別にない
473	4年	医	オンライン授業で時間と拘束されなくなるのは学生も先生も同じだと思いますので、移動する必要があるぶん外館講師の先生も授業がしやすいものではないかと思っていました。しかし現実外館の授業が無くなる科目ばかりだったので少し疑問に感じました。もちろん学生には知り得ない事情もあるかとも思います。	テストの代わりと言われた最終レポートを提出したのも聞けらる、突然期末テストを夏休みに実施するなどののはやめて頂きたい。
475	4年	医	先生の声を少しは聞いたらどうか。何も聞かやしない。何が学生支援なのやら。	私は抗がん剤治療をしている高齢者や子どもと同居しているため、コロナに感染するリスクのある外出や登校はできる限り控えています。宣言が解除されても、例えば第2波も確認されないなど本当に落ち着くまでオンラインで待つて欲しいです。
476	4年	医	また、看護学科の伊井先生は夏休みには少人数であれば学内で集まって実習しても良いのではないかと考えているように思いますが、少人数であったり4年学生は就職試験やその準備など、伊井先生の予定通り進めたいとしても、感染するリスクが高まっているように思っています。伊井先生の予定通り進めたいとしても、私は私にとっても心配です。私は家族の命を犠牲にすることになる可能性のあることは避けたいです。しかし、私たち学生は先生に心配と言われたら行くしか選択肢がありません。実習が大切なことはよく承知していますが、実習についても特別扱いせず、実習の担当の先生に任せるのではなく、夏休み中も学校側から登校禁止を宣言されることを希望します。コロナについての感染感や警戒心は人それぞれだと思いますが、感染している人の感染予防に合わせ、生徒は大学に呆れていない。何も実習を止めていないその態度を見習ってほしいかたがた。	生後ば大学に呆れていない。何も実習を止めていないその態度を見習ってほしいかたがた。
477	4年	医	VON接続がうまくできない上に、VPN接続の再登録が学内端末からしかアクセスできないのはとても不便です。対面授業再開の時期に関しましては、生徒の安全についても考慮して頂きたいと思います。	図書館が使えないので家に参考書がない人は困っていると思う。honyaca.comで本を注文し、学校の生協経由で購入すれば10%オフで本が買えていたが、それができないのも辛い。ただ5万円の補助はありがたかった。
481	5年	医	図書館が使えないので家に参考書がない人は困っていると思う。honyaca.comで本を注文し、学校の生協経由で購入すれば10%オフで本が買えていたが、それができないのも辛い。ただ5万円の補助はありがたかった。	いつ再開するかをききさせて欲しい。
482	5年	医	他大学は期限を区切っているの、	医学部実習ですが、いつ実習再開になるのか、ある程度の目処でいいので立てていただけたらありがたい。
483	5年	医	生活費のために、アルバイトをやめられたい状況。実習再開となれば、入居者さんや医療従事者にうつわけには行かないので、アルバイトをやめる。実習再開の目処を立ててほしい。確信がなくていいので、現在、書生、文芸館を開けていたが、	先生方も慣れないながら工夫されておられ、天いに感謝している。
484	5年	医	困っていることはあまりないが、バイトもなくなり時間を待って余しているから、可能であれば他学部の講義などを聴講し、教養を深める時間にしたが、ゼキエリテ等の問題もあるかもしれないが、自由聴講可能なZoom授業などできないだろうか。富山大学の学生としてこの時間を無駄にしたくないと思いつつ、ひとりでばななかなやる気や集中力が続かないという学生は多いと感じる。	4、5月分の情報処理室での印刷ポイントと6月分を印刷して欲しい。
485	5年	医	今後再開するなら、印刷ポイントの上限を含めての分も含めて欲しい。もつと色んな連絡を早くして欲しい。	夏季休業が短縮され、就職活動に支障の恐れが高い。また、今後のハンデミック第二波の可能性を考えると、対面式にならざるを得ないadvanced OSCを8月に行うのは性急ではないか？と思う。
486	5年	医	図書館が図書館で自習する国家試験の勉強をすることができない。	図書館や自習室で勉強することができない。
487	6年	医	印刷代にお金がかかる	印刷代にお金がかかる
488	6年	医	印刷代にお金がかかる	印刷代にお金がかかる
489	6年	医	各自でコピーするものが多いため、学校で準備してもらったものを取りに行くと言う形が望ましい。	生協の教科書販売の対応がどうも悪いと思います。また、教科書が手元に届いていない可能性をもっと考慮してほしい授業があります。
490	6年	医	対面授業を開始するのであれば、対面授業と遠隔授業が混在することは避けたい	対面授業を開始するのであれば、対面授業と遠隔授業が混在することは避けたい
491	6年	医	大学の施設を満足に使用できないので、スーパーに行ってしまう。	大学の施設を満足に使用できないので、スーパーに行ってしまう。
492	6年	医	1年次は五福キャンパスは授業日にスーパーに行くことを考えていたため、食料品を買いに行く場所が近くになく、交通手段が徒歩しかないので無料シャトルバスが出ていないのが不便だった。	学食、図書館、生協（プリントのためのインクなど）が使える、買えない
493	6年	医	学食、図書館、生協（プリントのためのインクなど）が使える、買えない	学食、図書館、生協（プリントのためのインクなど）が使える、買えない
494	6年	医	生協の図書館が食べられず、毎日印刷のためのインクを食うこと。	生協の図書館が食べられず、毎日印刷のためのインクを食うこと。
495	6年	医	現在実家に帰省している。緊急事態宣言が解除されてから、実際に大学に通うのはいつからなのか、見通しが立たず困っています。今オンラインで受講している前期の授業分は、引き続き非対面授業が行われるという認識でいいのでしょうか。	ヘルプデスクが利用できないこと 申し込みなどで大学へ行っていいかわからないので困っています。 同じ学部学科の方々とzoomなどで、開く機会をつくってほしい。 本当に安全という状況になつてから開始してほしいです 友達ができない コピー機がないので、授業で用いる資料を印刷することが難しいです。 プリンター代がかかるので、パソコン室をあけてほしい レジューンなど、授業で資料を印刷して書き込む必要があるが、自宅にはコピー機がないので、大学のコピー機を使わなくて欲しいです。 印刷機が使えないという点がかなり大きい、たくさん資料があつて家でインクの消費が激しすぎて、本来呼くはずのお金がかかってしまう 印刷代がかかっているのでも思っています。 授業の資料の印刷に自宅（下宿）にプリンターを新しく購入して使用しています。必要最低限の印刷にとめていたつもりでも、インクの消耗が激しく、通も持たずに黒インクが切れてしまいました。インクも品切れが高いので、大学の印刷機が使えるだけ早く使用できるようにすることも助かります。
501	6年	医	ヘルプデスクが利用できないこと	ヘルプデスクが利用できないこと
502	6年	医	申し込みなどで大学へ行っていいかわからないので困っています。	申し込みなどで大学へ行っていいかわからないので困っています。
503	6年	医	同じ学部学科の方々とzoomなどで、開く機会をつくってほしい。	同じ学部学科の方々とzoomなどで、開く機会をつくってほしい。
504	6年	医	本当に安全という状況になつてから開始してほしいです	本当に安全という状況になつてから開始してほしいです
505	6年	医	友達ができない	友達ができない
506	6年	医	コピー機がないので、授業で用いる資料を印刷することが難しいです。	コピー機がないので、授業で用いる資料を印刷することが難しいです。
507	6年	医	プリンター代がかかるので、パソコン室をあけてほしい	プリンター代がかかるので、パソコン室をあけてほしい
508	6年	医	レジューンなど、授業で資料を印刷して書き込む必要があるが、自宅にはコピー機がないので、大学のコピー機を使わなくて欲しいです。	レジューンなど、授業で資料を印刷して書き込む必要があるが、自宅にはコピー機がないので、大学のコピー機を使わなくて欲しいです。
509	6年	医	印刷機が使えないという点がかなり大きい、たくさん資料があつて家でインクの消費が激しすぎて、本来呼くはずのお金がかかってしまう	印刷機が使えないという点がかなり大きい、たくさん資料があつて家でインクの消費が激しすぎて、本来呼くはずのお金がかかってしまう
510	6年	医	印刷代がかかっているのでも思っています。	印刷代がかかっているのでも思っています。
511	6年	医	授業の資料の印刷に自宅（下宿）にプリンターを新しく購入して使用しています。必要最低限の印刷にとめていたつもりでも、インクの消耗が激しく、通も持たずに黒インクが切れてしまいました。インクも品切れが高いので、大学の印刷機が使えるだけ早く使用できるようにすることも助かります。	授業の資料の印刷に自宅（下宿）にプリンターを新しく購入して使用しています。必要最低限の印刷にとめていたつもりでも、インクの消耗が激しく、通も持たずに黒インクが切れてしまいました。インクも品切れが高いので、大学の印刷機が使えるだけ早く使用できるようにすることも助かります。
512	6年	医	印刷機が使えないという点がかなり大きい、たくさん資料があつて家でインクの消費が激しすぎて、本来呼くはずのお金がかかってしまう	印刷機が使えないという点がかなり大きい、たくさん資料があつて家でインクの消費が激しすぎて、本来呼くはずのお金がかかってしまう

No.	所属	学年
431	医	2年
432	医	2年
433	医	2年
434	医	2年
435	医	2年
436	医	2年
437	医	2年
438	医	2年
439	医	3年
440	医	3年
441	医	3年
442	医	3年
443	医	3年
444	医	3年
445	医	3年
446	医	3年
447	医	3年
448	医	3年
449	医	3年
450	医	3年
451	医	3年
452	医	3年
453	医	3年
454	医	3年
455	医	3年
456	医	3年
457	医	3年
458	医	3年
459	医	3年
460	医	3年
461	医	4年
462	医	4年
463	医	4年
464	医	4年
465	医	4年
466	医	4年
467	医	4年
468	医	4年
469	医	4年
470	医	4年

問12. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答

図書館、情報室にいてもそれほど人が密集しているわけではないので(彩香)換気をした上で使わせて欲しい
特になし、むしろまだ閉鎖していてほしい。安全であるとか言えて、以前のようには外を歩けるようになるまでは
対面授業を行うべきではないかと考えている。
ヘルメックスが使えること
時間外バスの申請ができてない
勉強のモチベーションが上がらない
生活リズムが狂ってきた
自然学習の回数が増え、結果的にスーパードライなどに出向くことが多くなった
生理学の試験と解剖実習がぶついている、解剖の日程が土曜日まで入っているのも、試験に向けて勉強する時間を確保できるから不安。
先生方、事務の方々が、とても丁寧に対応してくださるので、特にありません。また富山大学からの5万円支給は、とてもありがたかったです。大事に使わせていただきます。ありがとうございました。
更新されたVPN接続のID等を確認してしまいました。ありがとうございます。
ず、学内ネットワークが使えないままです。
プリンターがないので家で資料の印刷ができません。できれば学校のプリンターで印刷できるようにしてほしい
プリンターが家にないので授業のプリントをコピーしたいときに困る。コンビニでもいいですが、毎月1500ポイントのまわす分が与えられるのにコピーはほしい。コピー用紙代も授業料に含まれているんですか。もし含まれているならコピーだけ払えばいいです。
プリンターが家に無く、コンビニで印刷するのもお金がかすくかかるため困っています。今までは情報センターを開いていたのですが良くなかったのはレジューをコピーできなくて困っています。今までは情報センターを開いて印刷するのが大変だったので、資料の印刷にはコンビニのプリンタを使い、沢山の現金がかかってしまうのが困ります。
情報基盤センターが関係のない大量の紙とインクがなくなり、資料の印刷にはコンビニのプリンタを使い、沢山の現金がかかってしまっています。
授業が始まってからも、今まで映像授業で使っていた資料を印刷するのは大変なのでデジタル媒体でそのまゝ閲覧可能にしてほしいせめてテストが終わるくらいまでは)
課外活動は対面式授業と同時に開始可能になるのでしょうか。彩谷キャンパスの部活動は病院と併設されているという観点から他キャンパスより遅い開始になるのではなかろうか。
遠隔授業と対面授業が同時期に混在すること自体がおかしいです。学校閉鎖しているのだからしっかりと対応すべきです。学習分の授業が同一日に混在するのは意味がわかりません。対面授業が可能になって登校しているのに対して、遠隔授業を受けさせられるのは納得できません。
学習を返してほしい
食堂や生協が利用できるようなところがいいです。
対面授業に参画したときでの教室や学習の密度が不安なのでその対策をお願いします。
この非常事態において、学生の学習状況を少しでも維持しようとする先生方や学務の方方には感謝の意を表じ得ます。本当にありがたいことです。
要望としては、医薬学図書館を可能な限り一日でも早く開放してほしいです。一階自習スペースは席を一席ずつ空ける。消毒やマスク着用の徹底、換気などを徹底し、感染リスクをかなり低く抑えられると感じます。
また、オンライン化による授業時間の短縮や、調べたいことを図書館の膨大な資料を十分に利用して調べることができるようになった点からも学習者の満足度がなされることに図書館を感じます。国立大学という組織の特性上とが考えられなかった点からもう一言申し上げますが、議論していただきたいです。よろしくお願いたします。
難しいことなのかもしれませんが、譲渡していただく方がよいです。よろしくお願いたします。
使えるなら図書館を使いたい
授業が遠隔で行われていることに関しては全く問題はありませんが、図書館が開かれていないことにより自習自習の場が設けられていないことが困っています。確かに自宅で学習できるので、ゼロではないのですが、図書館で勉強していたころよりも集中できません。現在はテストもオンラインにて行われていますが、目安として、今後状況が正されてテストのときたきに登校するというようなスタイルになった際には、図書館の開校（もちろん何らかの条件付きで構いません）も同時に実行してほしいのではないかと思います。
図書館が開けていないためレポートを書く際に必要な資料が少なく不便です。
不満は至くなく、自分に合ったペースで授業を受けることができるのもむしろこのままの授業形式のほうがいいくらいである。
大学で授業の資料などを印刷することが多かったのですが、学校閉鎖により端末室も使えなくなり、自宅やコンビニで印刷することになるので負担が大きいです。学科や学年で利用日や時間を分けて、端末室だけでも利用させてほしい。
資料の減額をしてくださっていただけないです。
資料の印刷が全てできていないので、図書館を開放していただけないです。また、学生食堂も開放していただけないです。食生活面でも助かります。印刷の件に関しまして、情報処理室のポイントが足りずCBT試験に向けると勉強や授業資料の印刷ができない状況が以前からありました。今は閉鎖されていますが仮に情報処理室のみ開放した場合はポイントが不足してしまい、思うように勉強できない事実もあるかと思いますが、ポイントが足りない現状では、各自追加でポイントを購入するなどのは様があることも助かります。難しい要望かと感じています。
図書館、情報処理室、食堂を徐々にからにも開放して欲しい。
図書室と食堂を開けて欲しい。
折笠先生は医療統計学の試験を夏休みにもとおっしゃられています。試験に代わる課題提出があったこと、初学年に不適切な難易度のPDF、動画講義の実施を行っていない、CBTの直前であること、今回のコロナの影響によって、他の科目も夏休みに入念に復習したいと思っています。試験の実施は自顧にしたいです。
図書館が使いやすいことが不便であり、重畳がスムーズに進まない、資料に制限がある。
図書館が閉鎖していること。本は借りれることは知ったが、内容を見て貰ひたいから結局借りるのを躊躇して、図書館の本をいつも借りていたので困った。家ではいつも勉強しないので、図書館、情報処理室が使えず、学習を怠っていました。

No.	所属	学年	問12 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
513	薬	2年	家のプリンターの調子が悪いのが、印刷できる資料とそうでない資料がある。すべての授業の資料を印刷しよ うとすると、紙とインクがすぐになくなってしまうので、大学の端末室をレンタルしたい気持ち。 早起きで使っているのは薬だが、友達や先生に会えないので少しさみしい。後輩に部活を紹介する機会がない 部活で使う楽器が学校にあり、この自粛期間中練習ができていないため、自室で練習できるように楽器を取り に行けるといいなと思った。
514	薬	2年	対面授業をもう少しずつ始めるのであれば、午前だけ、午後だけなど学生が学内で昼食をとらなくても済むよう にすべきだと思う。以前授業されていたことについて、弁当の持参は可能だが持参しても食べる場所は限られ ているため密集は避けられないと思っている。
515	薬	2年	いろいろな本数だと思いますが、頑張ってください。
516	薬	2年	家にすつっているのがしんどい。
517	薬	2年	感染のリスクが少しでもある状態なら、支障が出ない科目は遠隔でこのまま行っていほしい。
518	薬	2年	全員のレジュメが印刷出来ない(コンビニは、レジュメ量が膨大すぎて料金の負担が大きすぎる)
519	薬	2年	山梨には感染患者が多く、他県よりもリスクは高いと思うので、緊急事態宣言に関わらず5月いっぱいはいは全てオ ンラインにして欲しい。
520	薬	2年	富士山には感染患者が多く、他県よりもリスクは高いと思うので、緊急事態宣言に関わらず5月いっぱいはいは全てオ ンラインにして欲しい。
521	薬	3年	レジュメが印刷出来ない(コンビニは、レジュメ量が膨大すぎて料金の負担が大きすぎる)
522	薬	3年	資料の印刷代がかかる
523	薬	3年	私は下宿生ですが、自分の家にプリンターが無く、moodleの授業用資料はコンビニのコピー機で印刷していま す。しかしいくつかの授業では、資料に閲覧パスワードのかかっているものがあり、それらはUSBから印刷する コンプレのコピー機で印刷できません。そこで授業資料印刷のためのでもいいので、学校の端末室を解放 対面型授業と遠隔授業が混在するとかやってくるので、全て対面型授業にするか、あるいは全て遠隔授業に するか、どちらかに統一して欲しい。
525	薬	3年	前期はこのまま遠隔授業を進めてもよかつたと思う。
526	薬	3年	図書館に置いていたものを取りに行けない。図書館の学習スペースが使えない。
527	薬	3年	図書館が使えず勉強がやりづらい。
528	薬	3年	図書館が使えないのでレポート課題が満足にできない。実際に本を見て探す文献が必要があるので取り寄せ ては対応できない。
529	薬	3年	図書館が使えないのは不便であるので、状況を見て早めに閉鎖を決定していただけたら嬉しい。また、11に書 いた通り前期は遠隔授業のまま対応してもらいたい。
530	薬	3年	図書館が利用できること。
531	薬	3年	図書館の学習スペースの利用ができないこと。
532	薬	3年	図書館の図書が使えない。
533	薬	3年	図書館等の文献の使用や集中できる場所がなくなるので、少し不慣 れ。
534	薬	3年	オンラインでの試験が検討されていますが、広い教室を使ったり、実学科と創薬科学科で教室を分けるなどし て、なんとか大学で試験をできる体制にしてほしいです。オンラインでは不正を防ぐことは難しいと思います。
535	薬	3年	実習はビデオではなく実際に手を動かして作業したい。
536	薬	3年	実習はビデオではなく実際に手を動かして作業したい。
537	薬	4年	vpnが繋がらず、論文を参照できない。
538	薬	4年	アバートにプリンターが無いので、授業の資料を印刷できない。パソコンの画面上で見ているが、できれば大学 のプリンターを使用して印刷したい。
539	薬	4年	レジュメが印刷できない、コンビニと高い。情報処理室を使いたい。
540	薬	4年	家にプリンターがなく今まで情報処理室のプリンターを使っていたが、学校閉鎖になってからコンビニで印 刷しています。大学の情報処理室のプリンターは月1500ポイント制でお金がかからないので、そちらを利用させ てほしい。
541	薬	4年	授業プリントを自分で印刷するとかなり費用がかかり、困っている。
542	薬	4年	お金をください。
543	薬	4年	バイトできなくて収入が減ったので金銭援助してほしい。
544	薬	4年	現在授業として座学が1つだけしかなく、あとは基本的に研究室での実験が90%以上を占めています。実験はオ ンラインで行うことは不可能であり(論文セミナーなどは可能なのでやっています)、大学に登校できていない 現在、実験が全く進められなく、その座学以外は何もすることができません。 正直なところ研究をメインとしている学年の学部生や修士課程の学生において前期の学費に見合った満足の いく学びができていないとは言えません。 金銭的に大変な学生に関しては大学からの奨学金の案内をメールでいただきたが、そうではなく、授業料 に関して大学として何か検討(授業料の免除や減額など)をしていただきたいです。 また、論文(Pub meo)も満足に見られないため、VPN接続すると学内と同様に有料の論文が見られるようになる などの対応をしていただきたいです。
545	薬	4年	図書館が使えない
546	薬	4年	可能なら金銭補助をお願いしたいです アルバイトができず生活が困窮しています
547	薬	4年	定期テストはオンラインではない方が良いと思う
548	薬	6年	家にプリンターが無いので、講義資料を印刷する時に不便を感じています。
549	薬	6年	緊急事態宣言解除の可能性もあるが、万が一今解除されてもすぐに大学へ入籍する許可を出すべきではない
550	工	1年	図書館や端末室に行きたくいけど、行けない
551	工	1年	文房具やプリント用紙を買えないこと
552	工	1年	サークル活動の参加について
553	工	1年	教科書が重すぎて履き、生協にも連絡が取れない。
554	工	1年	教科書が重くて切れるものが4冊あったが、生協で買えば5%引きで買えるため学校に行けるようになってからも 間に合うのか? できるだけ安く買いたい
555	工	1年	教科書が用意できない
556	工	1年	教科書が重くて切れるものが4冊あったが、生協で買えば5%引きで買えるため学校に行けるようになってからも 間に合うのか? できるだけ安く買いたい
557	工	1年	教科書購入した品切れ
558	工	1年	生協の教科書販売で未入荷で得られなかった教科書は今、登校して、購買で買えるのか

No.	所属	学年	問12 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
559	工	1年	生協の書店がやっていたため、追加で足りた教材を買いに行けなかった。※任意回答
560	工	1年	注文した品切れとなっておりキャンセルされた教科書が生協の店舗で注文できないこと。
561	工	1年	対面と遠隔の混在するのが通信環境やバッテリーなどで困難なため統一してほしい。
562	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
563	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日に混在しないようにしてほしい。
564	工	1年	対面授業にするならば、一部の授業ではなく全部の授業にしてほしいです。
565	工	1年	授業料を安くして下さい
566	工	1年	どうか対面授業の再開はコロナが十分に収束してからにしてください。
567	工	1年	まだ学校に行っていないので、遠隔授業を受けるのは感染の不安があるため、前学期中は非対面授業で行っていただき 緊急事態宣言が解除されたらという、すぐに対面授業を開始したいです。第2波の危険性を考慮する と、前期は全てオンライン授業にするのが望ましいと思う。青山大学の対応は他大学に比べて遅すぎるかと 感じています。対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
568	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
569	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
570	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
571	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
572	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
573	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
574	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
575	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
576	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
577	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
578	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
579	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
580	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
581	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
582	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
583	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
584	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
585	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
586	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
587	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
588	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
589	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
590	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
591	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
592	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
593	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
594	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
595	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
596	工	1年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
597	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
598	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
599	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
600	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
601	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
602	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
603	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
604	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
605	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
606	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
607	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。
608	工	2年	対面授業と遠隔授業が同一日にあった場合、どこで遠隔授業を受けたいのか分からないので、受けられる 場所の例などを挙げてもらいたいです。

No.	所属	学年	問12. 学校閉鎖になって困っていること、大学への要望等があれば書いてください。※任意回答
798	院理工 1年	1年	資料の印刷にお金がかかるとのこと
799	院理工 1年	1年	課外活動が再開されたいです。
800	院理工 1年	1年	閉鎖中のサークル棟に自身のものを置いてあるので、これを回収したい
801	院理工 1年	1年	研究がしたいので早く登校禁止を解除していただきたい。
802	院理工 1年	1年	研究ができない、学校のプリンターが使えない
803	院理工 1年	1年	研究が進まない
804	院理工 1年	1年	研究活動ができないことが一番困っています。博士課程の学生だけでなく、修士課程の学生にも研究活動を許可して欲しいです。各研究室の修士、博士課程の学生の人数を制限すれば、三密を回避することできると思います。
805	院理工 1年	1年	直ちに研究を再開できるようにして頂きたい。
806	院理工 1年	1年	直ちに研究を再開できるようにして頂きたい。
807	院理工 1年	1年	連日、夜間もアパートの他の部屋や外から騒ぎ声が聞こえてきます。間違いないと一定数の学生は、何も目撃しない休日と同様に過ごしています。 奨学金賞与を受けている等の理由で、「行かない」という選択肢を自ら選択することが不可能な学生が多くいます。緊急事態宣言解除後も、授業実施に関しても問題が解決しないままです。緊急事態宣言解除後も、授業実施に関しても問題が解決しないままです。
808	院理工 1年	1年	特になし。
809	院理工 1年	1年	入学前に奨学金を予約採用したが、その後の返還誓約書の手続き等の情報が出ていないので困っている。
810	院理工 2年	2年	証明書を発行に手間がかかる。研究を進められない、印刷が出来ない、就活の相談や本の買出しが出来ない、な
811	院理工 2年	2年	現在コロナウィルスの影響によりアルバイトができなくなったりと、大多数の学生の収入が減少しているのにもかかわらず、世帯収入が低く授業料を免除されている学生や私費留学生のみが5万円を支給することの対象となっている部分にとっても問題があると感じています。全学生が平等に苦しんでいる状況であるため、支援に関しても平等であるべきだと考えています。ぜひ、一律の生活支援をお願いしたいと思います。
812	院理工 2年	2年	院生なので日々の研究を研究室でできないことが困っています。自宅に資料を移動させることはしていますが、大学からこそこそでできることができないこともあるので、条件付きでもいいので早急に研究室使用開放を望みます。
813	院理工 2年	2年	研究がかなり遅れている。修士研究や学会などもあるので、卒論、修論生だけでも通学可能にしてほしい、研究室や実験室の密などは自分たちで解決できる。
814	院理工 2年	2年	研究が進まない
815	院理工 2年	2年	学食を開けてほしい食費がもたない
816	院理工 2年	2年	端末室が自由に使えるようにしてほしい、研究活動ができないので登校を許可してほしい
817	院理工 2年	2年	修論の為に実験が出来なく不安に思っています。
818	院理工 1年	1年	VPN接続していないのでヘルプデスクで特設版に書かれる情報はメールで送ってほしい
819	院教職 1年	1年	プレイリスト・ミングなど、話し合い活動を実施で行えず残念です。図書館の利用も気軽に行いたいです。
820	院教職 1年	1年	6月以降も遠隔授業ばかりになった場合、大学に行けず健康診断の再検査が7月までに行えないかどうかわからないことが心配である。
821	院教職 1年	1年	子どもがいると、集中して遠隔授業に取り組み環境を作りにくい(小学校も休校のため)
822	院教職 2年	2年	図書館の貸し出しが始まると聞き、有難いです。

遠隔授業に関するアンケート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前学期中はほとんどの講義科目において遠隔授業を実施しました。後学期は対面授業で行うことを基本方針として準備を進めていますが、感染が拡大した場合には、速やかに遠隔授業に変更する必要があります。そこで授業を受けた皆さんからの意見を聞いて、今後の授業改善等に役立てていくためアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

【問合せ先】 富山大学学務課 E-Mail : info-kyoyo@adm.u-toyama.ac.jp

【回答期限】 8/14（金）終日

<所属学部・研究科を選択してください>

<学年を選択してください>

問1. 遠隔授業を受講した主な端末を教えてください。（1つ）

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. パソコンで受講 | 2. タブレット端末で受講 |
| 3. スマートフォンで受講 | 4. 大学の端末室を使って受講 |
| 5. その他 | |

問2. あなたの受講環境（端末・ネットワーク環境）で問題なく授業が受けられましたか？

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 特段問題なく受講できた | 2. やや問題はあったが受講できた |
| 3. かなり問題があり受講が困難だった | 4. その他 |

<Zoom などを用いたリアルタイム型授業を受けた方は答えてください>

※この次のセクションで Moodle、YouTube などを用いたオンデマンド型授業の質問があります。

問3. Zoom などを用いたリアルタイム型授業を何科目受けましたか？

自由記述 ○科目

問4. リアルタイム型授業の満足度はどうでしたか？

- | | | | |
|-------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 不満 | 2. どちらかといえば不満 | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足 |
| 5. 満足 | | | |

問5. リアルタイム型授業で良かったのはどのような点ですか？（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. トラブルなく受信できた | 2. 説明・発言が聞きやすかった |
| 3. 提示された資料がよく見えた | 4. 授業に集中できた |
| 5. チャットなどを通じて質問しやすかった | 6. その他 |

問6. リアルタイム型授業で悪かったのはどのような点ですか？（複数回答可）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 回線が何度も中断した | 2. 中断後、再入場できなかった |
|---------------|------------------|

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 3. トラブルを連絡できなかった | 4. 音声聞き取りにくかった |
| 5. 提示された資料が見えにくかった | 6. (自分が) 操作がわからなかった |
| 7. 教員が操作になれていなかった | 8. 教員の指示が不十分だった |
| 9. 目や身体への負担が大きかった | 10. 授業に集中できなかった |
| 11. 十分な質疑ができなかった | 12. その他 |

<Moodle、YouTube などを用いたオンデマンド型授業を受けた方は答えてください>

問7. Moodle、YouTube などを用いたオンデマンド型授業を何科目受けましたか？

自由記述 ○ 科目

問8. オンデマンド型授業の満足度はどうでしたか？

1. 不満 2. どちらかといえば不満 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足
5. 満足

問9. オンデマンド型授業で良かったのはどのような点ですか？（複数回答可）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. トラブルなく受信できた | 2. 資料・動画が見やすかった |
| 3. 資料・動画を繰り返し見られた | 4. 資料・動画を好きな時間に見られた |
| 5. 資料・動画の閲覧に集中できた | 6. チャットなどを通じて質問しやすかった |
| 7. その他 | |

問10. オンデマンド型授業で悪かったのはどのような点ですか？（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 回線が何度も中断した | 2. ページが更新されたことがわからなかった |
| 3. 資料がダウンロードできなかった | 4. 課題制作に必要なソフトを持っていなかった |
| 5. 課題をアップロードできなかった | 6. (自分が) 操作がわからなかった |
| 7. 教員が操作になれていなかった | 8. 教員の指示が不十分だった |
| 9. 目や身体への負担が大きかった | 10. 授業に集中できなかった |
| 11. 十分な質疑ができなかった | 12. 説明が不十分で内容が理解しにくかった |
| 12. その他 | |

<遠隔授業全般について>

問11. 遠隔授業全般について、どのような問題を感じますか？（複数回答可）

1. 双方向性が乏しく、画面からの情報も限られるので十分なコミュニケーションができたと思えない
2. 学びが浅い
3. 実習など遠隔授業に適さない科目がある
4. 友達との交流の機会がない
5. 教員による授業の質の差が対面授業より大きい
6. 課題や自宅学習の負担が増える
7. 用意すべき機器やソフト等の費用負担が大きい

8. 授業に集中できる場所を確保することが難しい
9. その他

問 12. 遠隔授業全般について、効果があると感じられることがありますか？（複数回答可）

1. 対面授業よりしっかり勉強できている
2. 課題やレポートの指示が明確になる
3. 質問がしやすい
4. オンデマンドの学修では、自分のペースで学べる
5. 通学が不要で時間を有効に使える
6. 感染リスクがなく安心できる
7. その他

問 13. 授業で行われた効果的な取り組みがあれば記入してください。（教材の提示方法、利用したソフト、発言機会の提供、グループワークの進め方、スマートフォンの活用等）

問 14. 対面授業を行う場合でも、活用したら良いと思う遠隔授業の教育方法がありますか？（複数回答可）

1. Moodle による授業資料の事前提供
2. リアルタイム配信（Zoom 等）を併用した授業
3. YouTube 等を用いたオンデマンド教材の活用
4. スマホを用いた質疑やアンケート
5. その他

<大学からの情報発信について>

問 15. 大学からの情報発信は複数の媒体で行っていますが、日頃確認している媒体を選択してください。（複数回答可）

1. 大学ウェブサイト
2. 所属学部のウェブサイト
3. Moodle
4. Active!Mail
5. ヘルン・システム
5. とみだい iNfo

問 16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。

遠隔授業に関するアンケート 集計結果

【方法】Moodle・ヘルプシステム掲示板にて通知 → Googleフォームに回答
【期間】8/4(火)18時 ~ 8/14(金)終日
【記名】無記名(所属学部・研究科, 学年を選択)
【対象】全学生(学部生・大学院生)

※ 学部・研究科/学年の選択誤りが数件確認されていますが、修正していません
※ 同一者が重複回答したと思われる回答もありますが、除外していません

回答者の属性(学部・学年) ※学部生のみ

学年を選択してください	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
学部1年	106	88	191	89	104	56	123	55	67	879
学部2年	64	50	94	62	65	37	72	13	33	490
学部3年	77	73	96	48	62	37	60	17	35	505
学部4年	36	50	45	24	24	42	14	6		241
学部5年					6					6
学部6年					8	18				26
(空白)	3	1				1				5
総計	286	262	426	223	269	191	269	91	135	2152
学部別在籍者数	761	717	1,518	873	1,000	559	1,609	474	431	7,942
学部別回答率	37.58%	36.54%	28.06%	25.54%	26.90%	34.17%	16.72%	19.20%	31.32%	27.10%

問1. 遠隔授業を受講した主な端末を教えてください。

問1. 遠隔授業を受講した主な端末を教えてください。	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンで受講	268	239	396	209	220	171	249	76	128	1956
2. タブレット端末で受講	6	13	12	5	40	9	6	6	2	99
3. スマートフォンで受講	10	10	15	8	9	11	14	9	5	91
4. 大学の端末室を使って受講	2		2	1						5
5. その他			1							1
総計	286	262	426	223	269	191	269	91	135	2152

(割合)

問1. 遠隔授業を受講した主な端末を教えてください。	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. パソコンで受講	93.71%	91.22%	92.96%	93.72%	81.78%	89.53%	92.57%	83.52%	94.81%	90.89%
2. タブレット端末で受講	2.10%	4.96%	2.82%	2.24%	14.87%	4.71%	2.23%	6.59%	1.48%	4.60%
3. スマートフォンで受講	3.50%	3.82%	3.52%	3.59%	3.35%	5.76%	5.20%	9.89%	3.70%	4.23%
4. 大学の端末室を使って受講	0.70%	0.00%	0.47%	0.45%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.23%
5. その他	0.00%	0.00%	0.23%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.05%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問2. あなたの受講環境(端末・ネットワーク環境)で問題なく授業が受けられましたか？

問2. あなたの受講環境(端末・ネットワーク環境)で問題なく	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 特段問題なく受講できた	185	155	308	146	199	154	187	54	89	1477
2. やや問題はあったが受講できた	100	102	115	72	66	37	79	36	44	651
3. かなり問題があり受講が困難だった	1	3	1	2	3		3	1	2	16
4. その他			2	3	1					6
総計	286	260	426	223	269	191	269	91	135	2150

(割合)

問2. あなたの受講環境(端末・ネットワーク環境)で問題なく	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 特段問題なく受講できた	64.69%	59.62%	72.30%	65.47%	73.98%	80.63%	69.52%	59.34%	65.93%	68.70%
2. やや問題はあったが受講できた	34.97%	39.23%	27.00%	32.29%	24.54%	19.37%	29.37%	39.56%	32.59%	30.28%
3. かなり問題があり受講が困難だった	0.35%	1.15%	0.23%	0.90%	1.12%	0.00%	1.12%	1.10%	1.48%	0.74%
4. その他	0.00%	0.00%	0.47%	1.35%	0.37%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.28%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問3. Zoomなどを用いたリアルタイム型授業を何科目受けましたか？

問3. Zoomなどを用いたリアルタイム型授業を何科目受けま	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目		1	7	2	37	40				87
1~5科目	47	63	262	85	101	63	77	14	10	722
6~10科目	168	126	145	95	83	46	134	65	80	942
11~15科目	65	67	2	35	16	5	48	8	40	286
16~21科目		1		1			4		2	8
総計	280	258	416	218	237	154	263	87	132	2045

(割合)

問3. Zoomなどを用いたリアルタイム型授業を何科目受けま	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目	0.00%	0.39%	1.68%	0.92%	15.61%	25.97%	0.00%	0.00%	0.00%	4.25%
1~5科目	16.79%	24.42%	62.98%	38.99%	42.62%	40.91%	29.28%	16.09%	7.58%	35.31%
6~10科目	60.00%	48.84%	34.86%	43.58%	35.02%	29.87%	50.95%	74.71%	60.61%	46.06%
11~15科目	23.21%	25.97%	0.48%	16.06%	6.75%	3.25%	18.25%	9.20%	30.30%	13.99%
16~21科目	0.00%	0.39%	0.00%	0.46%	0.00%	0.00%	1.52%	0.00%	1.52%	0.39%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問4. リアルタイム型授業の満足度はどうでしたか？

問4. リアルタイム型授業の満足度はどうでしたか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
不満	7	11	19	20	11	12	12	3	9	104
どちらかといえば不満	35	41	50	37	32	19	39	10	20	283
どちらともいえない	77	73	139	67	76	40	83	24	32	611
どちらかといえば満足	111	100	139	74	65	32	86	33	56	696
満足	55	36	75	22	40	25	48	21	16	338
総計	285	261	422	220	224	128	268	91	133	2032

(割合)

問4. リアルタイム型授業の満足度はどうでしたか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
不満	2.46%	4.21%	4.50%	9.09%	4.91%	9.38%	4.48%	3.30%	6.77%	5.12%
どちらかといえば不満	12.28%	15.71%	11.85%	16.82%	14.29%	14.84%	14.55%	10.99%	15.04%	13.93%
どちらともいえない	27.02%	27.97%	32.94%	30.45%	33.93%	31.25%	30.97%	26.37%	24.06%	30.07%
どちらかといえば満足	38.95%	38.31%	32.94%	33.64%	29.02%	25.00%	32.09%	36.26%	42.11%	34.25%
満足	19.30%	13.79%	17.77%	10.00%	17.86%	19.53%	17.91%	23.08%	12.03%	16.63%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問5. リアルタイム型授業で良かったのはどのような点ですか？(複数回答可)

問5. リアルタイム型授業で良かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. トラブルなく受信できた	94	83	195	73	81	58	120	31	48	783
2. 説明・発言が聞きやすかった	57	43	98	46	49	25	60	31	30	439
3. 提示された資料がよく見えた	173	133	195	110	84	32	161	58	76	1022
4. 授業に集中できた	63	39	122	43	64	37	70	27	28	493
5. チャットなどを通じて質問しやすかった	140	96	77	64	71	30	81	42	52	653
6. その他	16	25	13	17	17	10	12	14	13	137
総計	543	419	700	353	366	192	504	203	247	3527

(割合)

問5. リアルタイム型授業で良かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. トラブルなく受信できた	17.3%	19.8%	27.9%	20.7%	22.1%	30.2%	23.8%	15.3%	19.4%	22.2%
2. 説明・発言が聞きやすかった	10.5%	10.3%	14.0%	13.0%	13.4%	13.0%	11.9%	15.3%	12.1%	12.4%
3. 提示された資料がよく見えた	31.9%	31.7%	27.9%	31.2%	23.0%	16.7%	31.9%	28.6%	30.8%	29.0%
4. 授業に集中できた	11.6%	9.3%	17.4%	12.2%	17.5%	19.3%	13.9%	13.3%	11.3%	14.0%
5. チャットなどを通じて質問しやすかった	25.8%	22.9%	11.0%	18.1%	19.4%	15.6%	16.1%	20.7%	21.1%	18.5%
6. その他	2.9%	6.0%	1.9%	4.8%	4.6%	5.2%	2.4%	6.9%	5.3%	3.9%

問5. その他 の内容分類

問5. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
通学が不要で時間を有効に使えた	12	9	5	2	4		3	9	6	50
十分なコミュニケーションが取れた				1	4			1	1	7
説明が分かりやすかった			2	1	1	2	1			7
リラックスして受講できた	1	1		2	1	1				6
感染リスクがなく安心できた		4					1	1		6
予習・復習がしやすかった		1		1	1	1	1			5
資料が使いやすかった				1			1		2	4
発言・質問がしやすかった	1			1		1		1		4
遅刻や欠席が減った	1	1		1				1		4
場所を選ばず授業を受けられた	1	1			1					3
人と関わらずに済んだ			1							1
課題が少ない		1								1
リアルタイム型授業を受講しなかった		1	1		1	4				7
特になし		6	3	6	3	1	5	1	3	28
分類不能意見			1	1	1				1	4
総計	16	25	13	17	17	10	12	14	13	137

問6. リアルタイム型授業で悪かったのはどのような点ですか？(複数回答可)

問6. リアルタイム型授業で悪かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 回線が何度も中断した	54	90	65	42	36	21	43	27	21	399
2. 中断後、再入場できなかった	17	19	24	22	13	6	21	9	14	145
3. トラブルを連絡できなかった	32	31	25	30	18	8	25	12	13	194
4. 音声が届き取りにくかった	144	116	158	105	83	50	97	38	46	837
5. 提示された資料が見えにくかった	35	33	45	41	39	26	27	13	24	283
6. (自分が)操作がわからなかった	18	22	46	26	36	12	24	10	15	209
7. 教員が操作になれていなかった	81	92	93	87	80	27	81	33	58	632
8. 教員の指示が不十分だった	45	54	54	60	36	17	46	9	40	361
9. 目や身体への負担が大きかった	130	112	134	91	72	39	94	51	47	770
10. 授業に集中できなかった	112	83	110	100	41	25	92	33	38	634
11. 十分な質疑ができなかった	21	35	36	44	19	10	31	7	20	223
12. その他	13	15	19	20	14	6	13	4	9	113
総計	702	702	809	668	487	247	594	246	345	4800

(割合)

問6. リアルタイム型授業で悪かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 回線が何度も中断した	7.7%	12.8%	8.0%	6.3%	7.4%	8.5%	7.2%	11.0%	6.1%	8.3%
2. 中断後、再入場できなかった	2.4%	2.7%	3.0%	3.3%	2.7%	2.4%	3.5%	3.7%	4.1%	3.0%
3. トラブルを連絡できなかった	4.6%	4.4%	3.1%	4.5%	3.7%	3.2%	4.2%	4.9%	3.8%	4.0%
4. 音声が届き取りにくかった	20.5%	16.5%	19.5%	15.7%	17.0%	20.2%	16.3%	15.4%	13.3%	17.4%
5. 提示された資料が見えにくかった	5.0%	4.7%	5.6%	6.1%	8.0%	10.5%	4.5%	5.3%	7.0%	5.9%
6. (自分が)操作がわからなかった	2.6%	3.1%	5.7%	3.9%	7.4%	4.9%	4.0%	4.1%	4.3%	4.4%
7. 教員が操作になれていなかった	11.5%	13.1%	11.5%	13.0%	16.4%	10.9%	13.6%	13.4%	16.8%	13.2%
8. 教員の指示が不十分だった	6.4%	7.7%	6.7%	9.0%	7.4%	6.9%	7.7%	3.7%	11.6%	7.5%
9. 目や身体への負担が大きかった	18.5%	16.0%	16.6%	13.6%	14.8%	15.8%	15.8%	20.7%	13.6%	16.0%
10. 授業に集中できなかった	16.0%	11.8%	13.6%	15.0%	8.4%	10.1%	15.5%	13.4%	11.0%	13.2%
11. 十分な質疑ができなかった	3.0%	5.0%	4.4%	6.6%	3.9%	4.0%	5.2%	2.8%	5.8%	4.6%
12. その他	1.9%	2.1%	2.3%	3.0%	2.9%	2.4%	2.2%	1.6%	2.6%	2.4%

問6. その他 の内容分類

問6. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
課題が多かった	3	5	2	5	1		1		1	18
音声・動画のトラブルがあった	2		1	3	2	1	2		4	15
十分なコミュニケーションが取れなかった		5	2	1	1				1	10
通信回線に不具合があった	2	1		1	2					6
授業の進度が速かった				1			1		1	6
説明が分かりづらかった	1						2		2	5
受講環境が整っていないかった		1			1			1		3
緊張感がなく意欲がわかなかった				1			1	1		3
予習・復習がしづらかった			1		1					2
質問がしづらかった					1		1			2
実践的な内容が身に付かない		1			1					2
通信料がかかった			1							1
資料準備が大変だった	1									1
リアルタイム型授業を受講しなかった			1		1	4				6
特になし	1	1	3	4	1		2	2		14
分類不能意見	3	1	8	4	2		1			19
総計	13	15	19	20	14	6	13	4	9	113

問7. Moodle、YouTubeなどを用いたオンデマンド型授業を何科目受けましたか？

問7. Moodle、YouTubeなどを用いたオンデマンド型授業を何	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目	46	30	13	16	3	1	29	9	29	176
1～5科目	174	185	224	144	91	42	123	52	80	1115
6～10科目	21	17	139	45	122	72	82	15	7	520
11～15科目	5	3	18	2	20	51	14	2	2	117
16～21科目			2			12			1	15
21科目以上									3	3
総計	246	235	396	207	236	178	248	78	122	1946

(割合)

問7. Moodle、YouTubeなどを用いたオンデマンド型授業を何	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
0科目	17.39%	12.20%	3.92%	9.43%	1.59%	0.70%	11.17%	6.25%	18.09%	8.40%
1～5科目	71.20%	78.05%	48.04%	71.70%	44.44%	29.37%	46.70%	70.31%	71.28%	56.67%
6～10科目	9.24%	8.54%	41.83%	17.61%	44.44%	45.45%	36.55%	21.88%	6.38%	28.53%
11～15科目	2.17%	1.22%	5.56%	1.26%	9.52%	23.08%	5.58%	1.56%	1.06%	5.93%
16～21科目	0.00%	0.00%	0.65%	0.00%	0.00%	1.40%	0.00%	0.00%	0.00%	0.27%
21科目以上	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.19%	0.20%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問8. オンデマンド型授業の満足度はどうでしたか？

問8. オンデマンド型授業の満足度はどうでしたか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
不満	9	13	20	24	2	2	14	1	5	90
どちらかといえば不満	34	26	59	36	16	10	42	17	13	253
どちらともいえない	63	85	103	65	58	37	84	21	32	548
どちらかといえば満足	64	69	129	45	93	84	63	20	39	606
満足	47	34	94	33	96	58	45	20	13	440
総計	217	227	405	203	265	191	248	79	102	1937

(割合)

問8. オンデマンド型授業の満足度はどうでしたか？	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
不満	4.15%	5.73%	4.94%	11.82%	0.75%	1.05%	5.65%	1.27%	4.90%	4.65%
どちらかといえば不満	15.67%	11.45%	14.57%	17.73%	6.04%	5.24%	16.94%	21.52%	12.75%	13.06%
どちらともいえない	29.03%	37.44%	25.43%	32.02%	21.89%	19.37%	33.87%	26.58%	31.37%	28.29%
どちらかといえば満足	29.49%	30.40%	31.85%	22.17%	35.09%	43.98%	25.40%	25.32%	38.24%	31.29%
満足	21.66%	14.98%	23.21%	16.26%	36.23%	30.37%	18.15%	25.32%	12.75%	22.72%
総計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

問9. オンデマンド型授業で良かったのはどのような点ですか？(複数回答可)

問9. オンデマンド型授業で良かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. トラブルなく受信できた	94	102	185	71	134	91	107	36	36	856
2. 資料・動画が見やすかった	83	81	170	56	134	86	84	36	38	768
3. 資料・動画を繰り返し見られた	138	140	281	139	230	165	161	60	58	1372
4. 資料・動画を好きな時間に見られた	156	165	312	164	237	145	182	58	69	1488
5. 資料・動画の閲覧に集中できた	56	54	117	61	132	70	67	26	28	611
6. チャットなどを通じて質問しやすかった	22	7	31	7	30	14	21	6	13	151
7. その他	6	4	3	3	11	3	6	1	7	44
総計	555	553	1099	501	908	574	628	223	249	5290

(割合)

問9. オンデマンド型授業で良かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. トラブルなく受信できた	16.9%	18.4%	16.8%	14.2%	14.8%	15.9%	17.0%	16.1%	14.5%	16.2%
2. 資料・動画が見やすかった	15.0%	14.6%	15.5%	11.2%	14.8%	15.0%	13.4%	16.1%	15.3%	14.5%
3. 資料・動画を繰り返し見られた	24.9%	25.3%	25.6%	27.7%	25.3%	28.7%	25.6%	26.9%	23.3%	25.9%
4. 資料・動画を好きな時間に見られた	28.1%	29.8%	28.4%	32.7%	26.1%	25.3%	29.0%	26.0%	27.7%	28.1%
5. 資料・動画の閲覧に集中できた	10.1%	9.8%	10.6%	12.2%	14.5%	12.2%	10.7%	11.7%	11.2%	11.6%
6. チャットなどを通じて質問しやすかった	4.0%	1.3%	2.8%	1.4%	3.3%	2.4%	3.3%	2.7%	5.2%	2.9%
7. その他	1.1%	0.7%	0.3%	0.6%	1.2%	0.5%	1.0%	0.4%	2.8%	0.8%

問9. その他の内容分類

問9. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	19.都市	総計
予習・復習がしやすかった			1	1	3	1	3		9
時間を選ばず授業を受けられた	1					1	1	1	4
場所を選ばず授業を受けられた	1				3				4
通学が不要で時間を有効に使えた		2			1				3
資料が使いやすかった					1		1	1	3
授業の理解が深まった	1			1					2
オンデマンド型授業を受講しなかった	2		1		3	1		3	10
特になし	1	2	1	1			1	2	8
総計	6	4	3	3	11	3	6	7	43

問10. オンデマンド型授業で悪かったのはどのような点ですか？(複数回答可)

問10. オンデマンド型授業で悪かったのはどのような点です	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 回線が何度も中断した	1	4	4	3	7	6	4	1	4	34
2. ページが更新されたことがわからなかった	50	37	77	42	55	40	44	15	9	369
3. 資料がダウンロードできなかった	11	14	21	14	21	17	9	4	5	116
4. 課題制作に必要なソフトを持っていなかった	4	5	14	7	13	3	19	17	5	87
5. 課題をアップロードできなかった	6	6	20	10	10	5	10	5	5	77
6. (自分が)操作がわからなかった	14	19	37	18	15	13	23	7	7	153
7. 教員が操作になれていなかった	9	6	28	18	39	29	20	8	4	161
8. 教員の指示が不十分だった	29	22	50	38	32	29	45	12	20	277
9. 目や身体への負担が大きかった	62	62	111	51	63	54	59	25	22	509
10. 授業に集中できなかった	62	62	111	51	63	54	59	25	22	509
11. 十分な質疑ができなかった	51	54	53	55	31	19	47	19	21	350
12. 説明が不十分で内容が理解しにくかった	68	62	116	100	55	28	95	25	24	573
13. その他	42	36	70	58	55	51	50	18	28	408
総計	409	389	712	465	459	348	484	181	176	3623

(割合)

問10. オンデマンド型授業で悪かったのはどのような点ですか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸術	19.都市	総計
1. 回線が何度も中断した	0.2%	1.0%	0.6%	0.6%	1.5%	1.7%	0.8%	0.6%	2.3%	0.9%
2. ページが更新されたことがわからなかった	12.2%	9.5%	10.8%	9.0%	12.0%	11.5%	9.1%	8.3%	5.1%	10.2%
3. 資料がダウンロードできなかった	2.7%	3.6%	2.9%	3.0%	4.6%	4.9%	1.9%	2.2%	2.8%	3.2%
4. 課題制作に必要なソフトを持っていなかった	1.0%	1.3%	2.0%	1.5%	2.8%	0.9%	3.9%	9.4%	2.8%	2.4%
5. 課題をアップロードできなかった	1.5%	1.5%	2.8%	2.2%	2.2%	1.4%	2.1%	2.8%	2.8%	2.1%
6. (自分が)操作がわからなかった	3.4%	4.9%	5.2%	3.9%	3.3%	3.7%	4.8%	3.9%	4.0%	4.2%
7. 教員が操作になれていなかった	2.2%	1.5%	3.9%	3.9%	8.5%	8.3%	4.1%	4.4%	2.3%	4.4%
8. 教員の指示が不十分だった	7.1%	5.7%	7.0%	8.2%	7.0%	8.3%	9.3%	6.6%	11.4%	7.6%
9. 目や身体への負担が大きかった	15.2%	15.9%	15.6%	11.0%	13.7%	15.5%	12.2%	13.8%	12.5%	14.0%
10. 授業に集中できなかった	15.2%	15.9%	15.6%	11.0%	13.7%	15.5%	12.2%	13.8%	12.5%	14.0%
11. 十分な質疑ができなかった	12.5%	13.9%	7.4%	11.8%	6.8%	5.5%	9.7%	10.5%	11.9%	9.7%
12. 説明が不十分で内容が理解しにくかった	16.6%	15.9%	16.3%	21.5%	12.0%	8.0%	19.6%	13.8%	13.6%	15.8%
13. その他	10.3%	9.3%	9.8%	12.5%	12.0%	14.7%	10.3%	9.9%	15.9%	11.3%

問10. その他 の内容分類

問10. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸術	19.都市	総計
課題が多かった	2	5	7	3	1		3		1	22
音声・動画のトラブルがあった	2			1	1					4
課題の提出期限・方法が分かりづらかった			2			1			1	4
操作が分かりづらかった		2		1		1				4
説明が分かりづらかった	1	1			1					3
資料が分かりづらかった		1		1						2
緊張感がなく意欲がわかなかった			1							1
授業が理解しづらかった							1			1
オンデマンド型授業を受講しなかった			1							1
特になし	2	2	6	3	2	1	1	1	2	20
分類不能意見			1			1				2
総計	7	11	18	9	5	4	5	1	4	64

問11. 遠隔授業全般について、どのような問題を感じますか？(複数回答可)

問11. 遠隔授業全般について、どのような問題を感じますか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸術	19.都市	総計
1. 双方向性が乏しく、画面からの情報も限られるので十分な	100	90	97	93	63	33	89	32	43	640
2. 学びが浅い	98	84	143	110	60	29	106	29	50	709
3. 実習など遠隔授業に適さない科目がある	110	125	86	105	110	86	108	49	65	844
4. 友達との交流の機会がない	196	169	240	140	139	94	155	65	92	1290
5. 教員による授業の質の差が対面授業より大きい	77	75	112	83	83	50	112	22	45	659
6. 課題や自宅学習の負担が増える	188	175	283	165	126	103	170	59	85	1354
7. 授業に集中できる場所を確保することが難しい	83	73	78	68	53	40	67	15	31	508
8. 用意すべき機器やソフト等の費用負担が大きい	41	32	44	30	31	13	31	12	16	250
9. その他	8	11	11	12	13	7	14	3	5	84
総計	901	834	1094	806	678	455	852	286	432	6338

(割合)

問11. 遠隔授業全般について、どのような問題を感じますか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸術	19.都市	総計
1. 双方向性が乏しく、画面からの情報も限られるので十分な	11.1%	10.8%	8.9%	11.5%	9.3%	7.3%	10.4%	11.2%	10.0%	10.1%
2. 学びが浅い	10.9%	10.1%	13.1%	13.6%	8.8%	6.4%	12.4%	10.1%	11.6%	11.2%
3. 実習など遠隔授業に適さない科目がある	12.2%	15.0%	7.9%	13.0%	16.2%	18.9%	12.7%	17.1%	15.0%	13.3%
4. 友達との交流の機会がない	21.8%	20.3%	21.9%	17.4%	20.5%	20.7%	18.2%	22.7%	21.3%	20.4%
5. 教員による授業の質の差が対面授業より大きい	8.5%	9.0%	10.2%	10.3%	12.2%	11.0%	13.1%	7.7%	10.4%	10.4%
6. 課題や自宅学習の負担が増える	20.9%	21.0%	25.9%	20.5%	18.6%	22.6%	20.0%	20.6%	19.7%	21.4%
7. 授業に集中できる場所を確保することが難しい	9.2%	8.8%	7.1%	8.4%	7.8%	8.8%	7.9%	5.2%	7.2%	8.0%
8. 用意すべき機器やソフト等の費用負担が大きい	4.6%	3.8%	4.0%	3.7%	4.6%	2.9%	3.6%	4.2%	3.7%	3.9%
9. その他	0.9%	1.3%	1.0%	1.5%	1.9%	1.5%	1.6%	1.0%	1.2%	1.3%

問11. その他 の内容分類

問11. その他(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸術	19.都市	総計
課題が多い	1	3	1	1	1		3	1	2	13
目や体への負担が大きい	2	1		2	1	1	2		1	10
十分なコミュニケーションが取れない	2	1		3			1		1	8
資料準備の負担が大きい	2		2		1	2				7
課題等の指示が分かりづらい				1	1		2	1	1	6
通信環境が悪い場合、受講に不都合が生じる		2	1				2			5
授業料に見合わない		1		1	1		1			4
音声・動画のトラブルがある		2		1						3
質問がしづらい				1	1	1				3
受講環境の確保が難しい	1		1							2
画面上の操作が大変						1				1
説明が分かりづらい							1			1
特になし			4	2	3	3	2	1		15
分類不能意見		1	2		3					6
総計	8	11	11	12	13	7	14	3	5	84

問12. 遠隔授業全般について、効果があると感じられることがありますか？(複数回答可)

問12. 遠隔授業全般について、効果があると感じられることか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 対面授業よりしっかり勉強できている	34	28	104	28	104	69	43	16	25	451
2. 課題やレポートの指示が明確になる	72	44	119	64	77	53	78	23	43	573
3. 質問がしやすい	120	55	74	42	69	30	54	28	33	505
4. オンデマンドの学修では、自分のペースで学べる	139	144	292	139	220	148	142	57	62	1343
5. 通学が不要で時間を有効に使える	246	213	334	181	231	153	214	79	102	1753
6. 感染リスクがなく安心できる	227	199	342	168	232	146	212	81	107	1714
7. その他	8	3	1	6	12	5	8	3	8	54
総計	846	686	1266	628	945	604	751	287	380	6393

(割合)

問12. 遠隔授業全般について、効果があると感じられることか	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 対面授業よりしっかり勉強できている	4.0%	4.1%	8.2%	4.5%	11.0%	11.4%	5.7%	5.6%	6.6%	7.1%
2. 課題やレポートの指示が明確になる	8.5%	6.4%	9.4%	10.2%	8.1%	8.8%	10.4%	8.0%	11.3%	9.0%
3. 質問がしやすい	14.2%	8.0%	5.8%	6.7%	7.3%	5.0%	7.2%	9.8%	8.7%	7.9%
4. オンデマンドの学修では、自分のペースで学べる	16.4%	21.0%	23.1%	22.1%	23.3%	24.5%	18.9%	19.9%	16.3%	21.0%
5. 通学が不要で時間を有効に使える	29.1%	31.0%	26.4%	28.8%	24.4%	25.3%	28.5%	27.5%	26.8%	27.4%
6. 感染リスクがなく安心できる	26.8%	29.0%	27.0%	26.8%	24.6%	24.2%	28.2%	28.2%	28.2%	26.8%
7. その他	0.9%	0.4%	0.1%	1.0%	1.3%	0.8%	1.1%	1.0%	2.1%	0.8%

問12. その他 の内容分類

問12. その他の意見(分類後)	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
予習・復習がしやすい				1	6	2	2		2	13
リラックスして受講できる	2	1		1		1			1	6
集中できる	1	1			1	1	1			5
通学が不要で時間を有効に使えた	2					1		1		4
授業内容が充実している				1	2		1			4
十分なコミュニケーションが取れる	1							1	1	3
資料が見やすい							1		1	2
場所にとらわれず受講できる							1			1
説明が聞き取りやすい					1					1
特になし			1	3			2		3	9
分類不能意見	2	1			2			1		6
総計	8	3	1	6	12	5	8	3	8	54

問13. 授業で行われた効果的な取り組みがあれば記入してください。

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

設置区分 学部

	列ラベル	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計		51	45	63	31	40	26	37	23	24	340

問14. 対面授業を行う場合でも、活用したら良いと思う遠隔授業の教育方法がありますか？(複数回答可)

問14. 対面授業を行う場合でも、活用したら良いと思う遠隔授業	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. Moodleによる授業資料の事前提供	220	156	327	169	207	136	202	72	109	1598
2. リアルタイム配信(Zoom等)を併用した授業	99	102	167	65	67	34	90	36	59	719
3. Youtube等を用いたオンデマンド教材の活用	105	91	159	86	189	127	104	39	53	953
4. スマホを用いた質疑やアンケート	119	87	133	76	95	77	83	40	55	765
5. その他	6	4	2	3	5	2	4	1	2	29
総計	549	440	788	399	563	376	483	188	278	4064

(割合)

問14. 対面授業を行う場合でも、活用したら良いと思う遠隔授業	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. Moodleによる授業資料の事前提供	40.1%	35.5%	41.5%	42.4%	36.8%	36.2%	41.8%	38.3%	39.2%	39.3%
2. リアルタイム配信(Zoom等)を併用した授業	18.0%	23.2%	21.2%	16.3%	11.9%	9.0%	18.6%	19.1%	21.2%	17.7%
3. Youtube等を用いたオンデマンド教材の活用	19.1%	20.7%	20.2%	21.6%	33.6%	33.8%	21.5%	20.7%	19.1%	23.4%
4. スマホを用いた質疑やアンケート	21.7%	19.8%	16.9%	19.0%	16.9%	20.5%	17.2%	21.3%	19.8%	18.8%
5. その他	1.1%	0.9%	0.3%	0.8%	0.9%	0.5%	0.8%	0.5%	0.7%	0.7%

問14. その他 の内容分類

行ラベル	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
Moodle上での課題の提示・提出	1	1	1	1	1	1	1		1	7
授業の録画配信	2					1		2		5
オンラインでのコミュニケーションの場の提供					1		1	1		3
天候不良時・感染症流行期(インフルエンザ等)にも遠隔授業;	1	1			1					3
対面授業と遠隔授業の併用	1		1							2
オンデマンド型授業						1				1
キャンパス間の同時配信									1	1
授業内容の事前提示		1								1
電子ファイルでの資料配付						1				1
毎授業での小テストの実施							1			1
分類不能意見	1	1				1			1	4
総計	6	4	2	3	5	2	4	1	2	29

問15. 大学からの情報発信は複数の媒体で行っていますが、日頃確認している媒体を選択してください。(複数回答可)

問15. 大学からの情報発信は複数の媒体で行っていますが、	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 大学ウェブサイト	97	54	130	76	71	38	70	24	32	592
2. 所属学部ウェブサイト	8	2	37	8	7	4	3	6	8	83
3. Moodle	248	213	357	187	239	156	231	84	116	1831
4. Active!Mail	261	237	377	197	240	169	252	86	119	1938
5. ヘルン・システム	39	31	59	38	47	20	8	10	11	263
6. とみだいInfo	94	46	101	45	52	24	36	23	19	440
総計	747	583	1061	551	656	411	600	233	305	5147

(割合)

問15. 大学からの情報発信は複数の媒体で行っていますが、	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
1. 大学ウェブサイト	13.0%	9.3%	12.3%	13.8%	10.8%	9.2%	11.7%	10.3%	10.5%	11.5%
2. 所属学部ウェブサイト	1.1%	0.3%	3.5%	1.5%	1.1%	1.0%	0.5%	2.6%	2.6%	1.6%
3. Moodle	33.2%	36.5%	33.6%	33.9%	36.4%	38.0%	38.5%	36.1%	38.0%	35.6%
4. Active!Mail	34.9%	40.7%	35.5%	35.8%	36.6%	41.1%	42.0%	36.9%	39.0%	37.7%
5. ヘルン・システム	5.2%	5.3%	5.6%	6.9%	7.2%	4.9%	1.3%	4.3%	3.6%	5.1%
6. とみだいInfo	12.6%	7.9%	9.5%	8.2%	7.9%	5.8%	6.0%	9.9%	6.2%	8.5%

問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。

(意見を回答した者の数)→個別の回答内容は別紙参照

設置区分	学部									
	列ラベル									
	11.人文	12.人発	13.経済	14.理	15.医	16.薬	17.工	18.芸文	19.都市	総計
集計	91	89	124	69	102	48	77	32	42	674

問13. 授業で行われた効果的な取り組みがあれば記入してください。
(教材の提示方法, 利用したソフト, 発言機会の提供, グループワークの進め方, スマートフォンの活用等)

No.	取り組み事例	主な意見
-----	--------	------

①教材・課題の提示方法, 授業実施方法

1	電子媒体での資料掲載・課題提出 (Moodle)	・資料が授業予定日より前に提示されたことで授業当日にスムーズに課題に取り組めた。 ・授業後にスライドなどの資料をmoodleに載せてもらったことで保存して復習することが出来た。 ・講義スライドPDFの配布: タブレット端末でノートなどと共に一括で管理でき、非常に利便性が高かった。 ・VPNを介さない課題提出ができるため、非常に楽だった。
2	画面共有・ホワイトボードの使用 (ZOOM)	・ZOOM上でスライドを表示しながら説明し、不足分は画面上のホワイトボードとペンタブを利用し板書し、授業後に質疑応答の時間が設けられていたこと。 ・先生が画面共有で資料を提示し、カーソルで示してくださることが多く、対面型よりも理解がしやすかった授業があった。
3	授業動画のアップロード (Youtube)	・1回の講義に対し、短めの動画をいくつかYouTubeにあげる形式の講義が、集中力が続き、とても勉強が捗った。 ・YouTubeで繰り返し授業内容が確認できる
4	チャット機能 (Moodle)	・Moodle上でチャットを利用して授業時間に解説をすること。資料丸投げで課題を出されるよりもきちんと学びにつながる遠隔授業をしてくれたと思う。
5	オンデマンド型授業	・音声ファイルを再生しながらダウンロードしたファイルを見るという授業形式は、オンデマンド型でありながら対面に近いものであったと思う ・オンデマンドだが生徒を意識して体験型にしてくれる内容(穴埋めと一緒にやる、ブレイクを入れる、実験の内容を簡易的にやる等) ・オンデマンドを基本として、授業時間は自由参加の質疑応答形式の授業が一番有意義に感じた。 ・オンデマンド型において資料を提示しながら教員が書き込みをする取り組み

②利用したソフト

6	slack	・slackを使用した授業が良かった
7	スマートフォンアプリ	・スマートフォンで単語ゲームのようなものをした。 ・スマートフォンでの匿名型質問 ・ドイツ語基礎でのQuizletの利用
8	googleフォーム	・グーグルフォームズでの出席確認
9	Comment Screen	・生徒のコメントを授業画面に流す

③発言機会の提供

8	チャット機能 (ZOOM)	・ZOOMのコメント欄に授業のことや日常生活で不安に思っていることなどを自由に書き込んで良いと言われて教授が様々な質問に答えていたため、授業内での疑問もオンライン授業になったことへの不安も聞いて貰えて少し気持ちが楽になった。 ・ZOOMのチャットで質問をしやすかった。
9	質問対応 (ZOOM)	・質問時間を別日にZOOM上で設けているところ。 ・発生学、谷井先生のZOOMでの質問会が良かった
10	質問対応 (Moodle)	・毎回、質問フォームを設けていただけた先生がいて、質問しやすかった ・小テスト内に自由に書けるところがあり、そこで気軽に質問することができた。
11	質問対応 (LINE)	・LINE公式アカウントを利用した質問受け付けが質問しやすく、対面授業よりも質問のハードルが低かったです。

④グループワークの進め方

12	ブレイクアウトルーム (ZOOM)	・グループセッションの時間が設けられており、少ない人数で会話しやすかった。また、それらのグループも教授が見て回っていて、有効な使い方だと感じた。 ・グループワークがあることにより、自分の意見を言う機会が設けられたので、学ぶ内容に対する理解をより深めることができた。 ・グループワークで話し合った内容をその後授業で発表する時間が設けられていると、発表する意見をまとめるためにグループワークでの話し合いが活発になったため、取り組みとして効果的だった。
----	-------------------	---

問16.これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。

所属	学年	問16.これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
人文	1年	Moodleのみの講義は教員の怠慢といわざるを得ない。どれほど対面型との違いがあるか。せめて一律で行うべきであったZoomを使うなど。
人文	1年	Moodleのみの授業の場合、課題をこなしても教員からのフィードバックが全くといっていいほど無いため、自分がどの程度理解できているのかが把握できなかった。解答が出ても課題内容を完全に理解するに足りるものではなかったため、ただ課題をこなす作業になってしまっていた。
人文	1年	VPN接続ができなかったため、ヘルプシステムに掲載される情報を確認できません。
人文	1年	インターネットの接続が不安定になると、講師が共有している画面や声が届かなくなり、パソコンの再起動やzoomへの再入場が必要になる。
人文	1年	これからはもう少しお困りします。
人文	1年	そろそろ対面する期さを見てほしい。後期から全部対面ですと言われても心身つかれるみんな一斉に帰ってくるからだからコロナにかかるとリスクが増える。少しずつみんな平等な対面の機会を与えてほしい。
人文	1年	ただ課題を出されるだけの授業がある。この状況だから仕方ないのはわかるが、そうするならば通常の対面授業と同じ学習はしたい。
人文	1年	テストも含め、一部対面にするとかやりづらいので、完全に遠隔でやるのが完全に対面でやるのかをはっきりさせてください。
人文	1年	またコロナ感染者が増えている中で対面再開に不安を感じます。
人文	1年	一人で勉強するのが無理です。あと授業料って安くならないですか？
人文	1年	遠隔・対面のどちらにするか統一して欲しい。1時間目遠隔→2時間目対面の場合、1時間目までは大学に行かなければならぬという、1時間目対面→2時間目遠隔の場合、どこで受講すれば良いのかが分からない。また、緊急の会議で授業が休講になることも多かつたため、補講を多くこなしている。
人文	1年	遠隔授業はやはり課題が多いです。
人文	1年	課題を少なくしてほしい。
人文	1年	完全オンデマンドの資料配布・課題だけの授業は友達との確認ができず、また自分の理解がどれあるのか分からない。何らかの対策をしてほしい。
人文	1年	感染リスクを考えて、遠隔がいいです。
人文	1年	後学期は遠隔授業で進めてほしいです。
人文	1年	後期に対面で授業を行うかどうかの最終的な決定はいつ行われるのか教えていただきたいです。
人文	1年	後期の授業が対面になると、感染リスクが気になります。
人文	1年	後期はさすがに対面授業をしてほしい。あと、様々なサークルを知る機会を改めて設けてほしい。
人文	1年	後期は基本的に対面と聞きましたが、感染の第二波がくるこの状況で、すべてを対面にするには反対です。雪山大学は、入学式をききりぎりまで対面で行おうとするなど、感染症に対する意識が甘いのではないかと思えます。富山県でもじわじわ感染者が出てきてしまっています。後期の方針を考えてほしい。
人文	1年	後期は対面授業を希望します。
人文	1年	今後はzoomと併用した授業を行ってほしいです。
人文	1年	今後は感染が怖いので遠隔授業がいい。
人文	1年	私は1年生だが、教養教育の授業がとて初學者向けで作られたとは思えない。大学の先生方も長い間その分野について研究しているのにもかかわらず、こちらの目標まで親密度を落とす授業を行えないのが不思議。研究者であり、教育者ではないという言い訳をするにも酷い授業が多い。そんな人たちの授業を受けるならば、教養教育の授業なんてやめて、専門の授業をした方が双方にとってメリットしかない。今のままの授業であれば、学生連何の力もつかないだろう。うめ、先生たちも時間を無駄に使うことになってしまう。
人文	1年	自分は石川県から約1時間半かけて電車通で大学に通っているため、対面授業と非対面授業(特にリアルタイムで行われるもの)が併用した形態になると授業を受ける事が困難になります。その点を把握していただきたい所存です。
人文	1年	授業後の課題が多すぎる。
人文	1年	生徒間での交流がそのような場を設けてくれなければ出来ないこと、どうしてもパソコンを長い時間使用するようになり目が悪くなったりと頭や肩が痛くなるのが問題点だと思ふ。後期は対面なら全対面で行い、遠隔と対面両方行うことは移動時間的に不可能であると思うので止めるべきだと思う。
人文	1年	対面授業をするのであれば、途中で非対面授業に代わるなどということがないように十分な対策を願います。
人文	1年	同じ日に遠隔授業と対面授業の両方が行われるのはなるべく避けていただければ幸いです。例えば1限遠隔授業、2限対面授業のように。
人文	1年	特になし
人文	1年	富山県をはじめ全国で若い世代のコロナ蔓延が顕著です。後期を対面型にするとおっしゃっていますが、無症状感染者がいることは考慮しないつもりです。県外に出ていく学生や大人は多いです。無症状で感染を拡大されるのが一番怖いのです。私自身初めての大学生生活にこのようなスターで友達たちもに出来ず、寂しいです。対面でやりたい思いはとて大きいです。実習しなればならない科目があるのも重々承知しています。しかし自分の言い分だけで家や学校などに感染を拡大してはあげられません。全職員が感染防止を徹底している訳ではなく、気を抜いている人もいます。最近では市中感染も増えているので注意すべきだと思います。確定したものは仕方ありません。従いますが、もう一度検討していただけないでしょうか。長々と愚痴のようなことを書いてしまい申し訳ありませんでした。
人文	1年	様々な決定は早く決めて欲しい。
人文	2年	zoomで雑談がモードにできておらず、雑音で先生の話が聞き取りにくいときがあります。先生の方で全員をミュートにして下さると嬉しいですね。
人文	2年	オンラインによって課題は本当に多くなり、様々なことに手が回らないのでもう少し課題を減らして欲しい。また、後期もコロナウイルスが不安なので、オンライン授業にしてほしい。ただ、オンライン授業にすると不慣れた講義などは教員による資料を増やして欲しい。

所属	学年	問16.これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
人文	2年	ゼミなどの演習は対面がいいですが後期も感染が怖いので出来るだけ非対面で授業があるといいです。
人文	2年	ゼミなどの演習は対面がいいですが後期も感染が怖いので出来るだけ非対面で授業があるといいです。
人文	2年	パソコンのソフトを用いた実習を伴う授業(情報系)は遠隔授業だとパソコンが苦手なわたしには辛かったです。パソコンが得意な人と苦手な人でより一層差が開いてしまってます。
人文	2年	遠隔授業に適応するためにかかると負担が、学生側、教員側によって異なると思うのですが、迅速に様々な状況に対応してくださった方に感謝します。
人文	2年	可能であれば、このまま遠隔授業を続けてほしい。
人文	2年	課題の量が多く、毎日勉強しているにも間に合わない品。
人文	2年	画面の見過ぎが目が痛くなる。頭がぼーっとして集中できない。後期はできれば対面が良いが、観戦状況に応じて柔軟に対応してほしい。
人文	2年	回線が切れた時の不安。出席の際、対面は学生証のタッチや紙を提出することで出席確認取れるがオンラインの場合は確認漏れがあったら怖いと思ってしまう。
人文	2年	感染が怖いので遠隔授業自体には賛成ですが、対面授業より学びにくくなったのは確かだと思います。資料がこちらに丸投げされるだけでなく授業の質が落ちたものもあり、大学自体の施設も使いづらい状況にあるため、払っている学費に充てていないのではないかと思います。
人文	2年	現在、後期の授業は対面の予定とのことですが対面、非対面が確定した場合後期が始まる前にもう一度連絡が欲しいです。
人文	2年	後期は対面型の授業を希望します
人文	2年	後期も対面が良い
人文	2年	資料を全て自分で印刷しなければいけないのが、金銭的にも手間の面でも大変です。学校に気軽にに行ける距離ではない場所に住んでいると、自分で印刷できる資料には限界があります。
人文	2年	時々接続が悪くなった以外は特に問題なく受けられたので、個人的にはこのまま遠隔でもいいなと思った。
人文	2年	実家生なのでオンラインと対面が混ざるのが1番困る。学校でオンラインを受けてもいいがイベントや発表をする授業が多いので個別の空間が確保できないので学部内で方針を出して必ず統一してほしい。
人文	2年	対面授業になった時、大学へ通うまでの公共交通機関の密集合を考えると、コロナ第二波の影響もあるので少し怖いです。
人文	2年	知らない間にアクティブメールに重要なお知らせが来ていてあてずっぽうで承認することがある。確認するようにはしているが一日に何回も確認しなければならぬのは負担であるため、転送設定などを安全に行えるようにしてほしい。
人文	2年	中学、高校に通っていた大学では人の出入りの規模が違つたため、現状遠隔授業でも問題なく進められている学部などとは遠隔授業を継続していいかと思っています。
人文	3年	1科目1科目の課題が重いです。
人文	3年	zoomの使い方を充分に知らないという数授が多い。例えば生徒をミュートにしたりとホスト側で出来る機能を知らない数授が多い。また授業は非対面で行い感染対策をしたに、最後のテストだけ対面でやるのは意味がわからない。狭い講義室に生徒を密集させてクラスターを発生させたのかと疑問に思う。
人文	3年	いくら講義中の感染防止策を講じていても教室移動等で密になることは避けられないので、対面開始の可否は慎重な判断を求めます。
人文	3年	オンライン授業への急な転換を考えたことは多々ある負担もあったと思う。大変ありがたいと思っています。しかしやはりオンライン授業の質を考えると学習者相応のものとは思えません。知人の履修した科目では資料の指示のみがされ、あとは全て目習いしたものでありました。何か事情があり学習を変えることができないのなら、せめて全教員、科目に最低限の講座レベルを示していただきたいです。
人文	3年	コロナがだんだん増えにく中で、後期対面授業への不安が少しある。
人文	3年	コロナの感染状態やリスクが現在と同様である場合は、前期のように、判断を遅らせることなく速やかに非対面授業を行うことを決定してほしいです。
人文	3年	とにかく集中できない。再び感染が富山でも確認されているので、専門科目の集中講義を遠隔授業にしてほしい
人文	3年	ヘルプシステムのVPNが、今学期から使えなくなってしまう。対面授業が始まっても、感染状況に応じてzoomでの参加も可能にするなど併用した形にして欲しい。
人文	3年	マイク・カメラオンを必要とする数授があり、結果として非常に授業内容が聞き取りづらかったことがあったので、できる限りカメラオフ・ミュートで授業を受けられるようにしてほしい。
人文	3年	やはりまた感染が怖いです。五福周辺に住んでいる生徒はまだしも、市電やバスを使って通学する生徒の場合、時間帯によってはかなり満員の密状態の中に長時間いる必要はない状況です。個人的には、非対面型授業を希望したいです。
人文	3年	一日にこんなでもない数のメールが来るのが困ります
人文	3年	遠隔授業だとどうしても発生する一番の問題点は、やはり目や身体への負担だと感じる。
人文	3年	可能であれば対面型授業がしたい。後期の授業方針が確定次第速やかに連絡がほしい。(前期がバタバタしていたように感じたので)
人文	3年	教授が事前に資料を作る、または生徒の姿が見えないことにより、生徒がメモをとる時間が考慮されずスライドが変わるスピードが早く感じる。
人文	3年	研究室、中央図書館の素書出の本を学外に持ち出せず、課題に使用したい本があった場合には不便です。
人文	3年	後期も対面は不安です。できればzoomやmoodle、youtubeなどを使用するかたちを継続してほしいです。
人文	3年	市中感染が緊急事態宣言時より拡大しているのにも関わらず、対面授業再開の判断をした理由を明示していただきたい。感染リスクが非常に高まるので、対面授業に参加しにくくなります。
人文	3年	市中感染が緊急事態宣言時より拡大しているのにも関わらず、対面授業再開の判断をした理由を明示していただきたい。感染リスクが非常に高まるので、対面授業に参加しにくくなります。
人文	3年	出来れば早めに対面授業を再開して欲しい。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
人 免	2年	履修している科目の内容や数にもよると思うのですが、対面授業の時よりも課題の量が圧倒的に多かったように感じました。私自身、毎日課題に追われながら生活していました。今後もしオンライン授業を実施する場合は、もう少し学生のことを考えて課題を出したり、課題の量を調節したりして頂けると助かります。ご検討のほどよろしくお願いいたします。
人 免	3年	カメラで資料や板書を映されても画面や大ききの問題で目にいいことがあつた
人 免	3年	バイトもコロナでなくなつたので、非対面授業が嫌と、その分友達にも会う機会が減るため、ずっと一人でいてつらくなる感じがあります。
人 免	3年	ヘルンシステム が開かなくなりました。
人 免	3年	ヘルンシステム が開かなくなりました。
人 免	3年	英文の和訳を先生が一方的に永遠としやべり続ける授業が眠わらない
人 免	3年	遠隔授業でも問題なく受けられる授業にに対して、対面授業をしないで欲しい。さらに遠隔授業だからといって、多くの教科で授業時間外へのレポートが多く、授業以外でもほとんどパソコンを使用しなければならぬ状態に負担が大きかった。
人 免	3年	遠隔授業と対面授業が同じ日に行われることがあり、通学時間の関係で遠隔授業を大学で受けなければならなかったの使っていないため学習を怠るのが遅い。また、定期代が何万も無駄になった。授業の質が落ちた。学校の設備を全く使っていないため学習を怠るのが遅い。
人 免	3年	遠隔授業を行う日と対面授業を行う日を分けて欲しい。
人 免	3年	遠隔授業をすることを決断するのが遅い。また、定期代が何万も無駄になった。授業の質が落ちた。学校の設備を全く使っていないため学習を怠るのが遅い。
人 免	3年	課題が格段に増え大変だった。
人 免	3年	課題が多すぎて学びに集中できない。同等の学費で受けている授業とは思えない。
人 免	3年	課題の負担が大きすぎたので、課題の量の直しをしてほしい。
人 免	3年	課題の負担が大きすぎたので、課題の量の直しをしてほしい。
人 免	3年	感染のリスクがなくなるまでは遠隔で対応できる科目は遠隔にするべき。
人 免	3年	感染のリスク、利点を踏まえて後期もオンラインが良いと感じた。
人 免	3年	感染リスクについて考慮し、後期の授業に関しては対面か遠隔かの判断を早めにしてもらえると、混乱も少なく準備もできるなと思います。
人 免	3年	教師の目が全くない状態で受講する講義もある。zoomに参加するだけで講義自体に参加していない生徒がいる。また、遠隔授業になったことでどこでも授業内容の質が一気に落ちたように感じた。また、すべての講義を遠隔授業を受けているので、学校の設備(トイレ、印刷に必要なインクや紙、パソコン、水道など)を一切使用していない。また、遠隔授業をするということによって教員はさまざまな手間を省けているはずである。そのため、対面授業が実施されていたときと学費が同じであることにより非常に違和感を感じる。遠隔授業を受けていた期間の学費を何割か返金、または対面に戻ったときの学費を減額して欲しい。
人 免	3年	後期から対面にするつもりらしいですが、不適切だと思いますね。もしコロナにかかった際に100%受診料や単位等保証してくれるのなら対面でやれば良いと思います。
人 免	3年	後期から対面にするつもりらしいですが、不適切だと思いますね。もしコロナにかかった際に100%受診料や単位等保証してくれるのなら対面でやれば良いと思います。
人 免	3年	後期も遠隔にすべき
人 免	3年	後期も遠隔にすべき
人 免	3年	今後遠隔授業が良い
人 免	3年	今後遠隔授業が良い
人 免	3年	大学の施設を利用していない、教員からの指導も浅いのと同じ学費を徴収するのは納得がいけない。せっかくゼミも始まったので対面にしてほしい。
人 免	3年	通信トラブルで応答できないことがある。それで欠席扱いにされたら評価が下がってしまったりするのは心外。マイクを利特にない
人 免	3年	コロナ第二波が来ていて、第一波の時より感染者が増えているのに、後期は対面というのが信じられない。慎重に対応してほしい。
人 免	4年	ヘルンはVPN接続のやり方が難しく、大学に行かないと開けないので添付データなどはmoodleにした方がいいと思った
人 免	4年	遠隔授業の方が分がかりやすかつた授業もあった。
人 免	4年	教養や大勢が集まる学部の授業など、基本的に先生が一方的に話す講義形式の授業は遠隔で良いと思う。しかし、少数人だけの話し合いや実技の科目は対面が良いと思う。
人 免	4年	授業の進み速度が早すぎてついていけないことがある。
人 免	4年	対面で行う方が効率が良いと思いますし、集中できます
人 免	4年	対面で行う方が効率が良いと思いますし、集中できます
人 免	4年	対面の方が良い
人 免	4年	大学の端末室で遠隔授業の音声を大音量で流して受講している生徒がいてとても不快でした。6人ほどで端末室では授業の音声を流しグループで大声ではしゃぎながら受講している生徒もいて、遠隔で行っている意味はあるののと思いましたが、授業にかかわらず、例えば介護等体験の説明会の音声の端末室に響き渡っているときもあり、今後の受講生の態度の改善をお願いいたします。
人 免	4年	端末室のPCにはカメラが付いておらず、リアルタイム型の授業で不便を感じたため、カメラを導入してほしい。
人 免	4年	特に無し
経済	1年	zoomやmoodleでできるはずの出席確認を課題の提出によって行う科目がほとんどなので、課題の負担が大き、予習復習が十分にできない。テストに関する連絡が非常に遅く、学習計画含め、予定を立てにくかつた。
経済	1年	インターネットの接続が不安定なときがあった。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
経済	1年	オンデマンドを利用できる開始時間が間違っていて、戸惑ったことがあった。課題が多かった。
経済	1年	オンデマンド授業で細かく時間を指定しているものがあるが、やめてほしい。遠隔でやっているのだからその利点を生かし、好きな時間に授業を受けさせてほしい
経済	1年	オンラインだと課題の提出で出席を取る場合が多く負担が大きい。また、学習へのやる気が出づらい。
経済	1年	オンライン授業であるのに、被験している時と同じ授業料を払っていることに納得がいけない。ただ、コロナ禍である現在、どちらからいえば、このまま非対面授業を続けるべきだと思う。夏季休業が大幅に減ったこと、そして登校が可能な状況下にも関わらず、夏季休業中に集中講義を行うといったことは納得がいけない。
経済	1年	これまでの遠隔授業に問題はありませんでした。必要であれば今後遠隔授業で構いません。
経済	1年	コロナウイルスがまた増えてきているので、全面対面授業になるのがかなり不安です。オンライン授業は通学時間もかからないし、好きな時間に受講できるものもあると意外と利点も多いと思います。ただ、対面と非対面が1日の中で混ざると大変でした。
経済	1年	コロナウイルスの感染が県内でもまた増えているので後期の授業を全面対面授業にするのは不安です。
経済	1年	コロナが収束していないため無理して対面で授業しないほうがいいと思う
経済	1年	パスワードが間違っても自宅から使えない
経済	1年	ヘルンシステムが自宅から使えない
経済	1年	ヘルンシステムに入れないのが不便です。成績評価が不安です。知らないうちに課題が出されていて怖い。対面の授業がよいです。
経済	1年	もっと価値のある授業をしてほしい。わかりづらい資料だけわたされて課題は難しくされたりするので困る。
経済	1年	もっと提出期限をわかりやすくして欲しい。同じ授業でも先生によって負担の大きさに差がありすぎる。
経済	1年	英語など、コミュニケーションをとったりしないならやる授業は対面にして欲しい
経済	1年	遠隔講義に質がある程度保たれている教科に聞いたら、今後とも遠隔授業で良いと思った。
経済	1年	遠隔授業と対面授業で質がある程度保たれている教科に聞いたら、今後とも遠隔授業で良いと思った。
経済	1年	対面に行くとわかる意味が分からない。
経済	1年	遠隔授業なら遠隔授業、対面授業なら対面授業とハッキリしてほしい
経済	1年	遠隔授業なら遠隔授業、対面授業なら対面授業とハッキリしてほしい
経済	1年	遠隔授業の場合、特にオンデマンド型の授業では、教員の方が資料を提示し課題を与えるのみにしてほしい、どうして分からないところや理解しづらい部分が出てきてしまします。
経済	1年	何も学べていない気がする。大学に入った意味がわからない。
経済	1年	科目によって対面授業が望ましいものがあつた。
経済	1年	課題がとて多く、きつい課題があり、精神的につらかつた。
経済	1年	課題が多すぎて、初めてで全く分からない状態での遠隔授業は精神的に辛かつた。
経済	1年	課題が多すぎる。一つの授業で一つの課題が出されるので、一週間の授業で13個の課題が出ており、毎日課題を提出することになり精いっぱいだった。どこにやられた。
経済	1年	課題の出し方に關して予告無しですぐに対応するという、非常に厳しいモノがある講義も中にはありました。それぞれの講義で出し方が違うのは、理解できますが予告無しで急に出来るのは、非常に困ったのでそこは改善して欲しいと思います。
経済	1年	課題を減らしてください。家にいると暇だと思われがちですが、授業を受けているので暇ではないです。あと、今後の授業はオンラインだけで、対面だけの二択をお願いします。少人数の授業だけ週に1、2回ある状態で富士山に一人いるのは精神的に辛いです。とにかくオンラインと対面の混在はなしをお願いします。
経済	1年	課題を出しすぎ
経済	1年	学生同士の交流の機会
経済	1年	感染リスクを背負いながら通学や対面授業を行うのは不安なので、後期も遠隔授業を中心にやってほしいです。
経済	1年	感染者が出ている間は遠隔授業を継続してほしい。
経済	1年	後期は対面授業であることを願っています。
経済	1年	後期もオンラインにしてほしい。免疫力が弱いので不安です。
経済	1年	今後、対面で行う場合は、同じ日に、zoomと対面の授業を混ぜてほしい。
経済	1年	今後、対面で行う場合は、同じ日に、zoomと対面の授業を混ぜてほしい。
経済	1年	資料だけでは難しく理解しきれない科目もあるので、そういった科目はどんな方法でもいいので口頭でも説明が欲しいです。
経済	1年	授業内容が変わったのにシラバスが変更されていない科目が多い。遠隔授業で教員の負担が増えたこととは分かるが、成績評価の部分など対面式の内容から全く変更されていない科目が多くあつた。
経済	1年	出欠簿の取り方を統一して欲しい。実情に出席扱いになっているのかもしれないが、こちらから確認することの出来ない授業もあり、とても不安なまま過ごしました。
経済	1年	情報処理の授業では、自分のパソコンで出来ないことが多く、学校に行かねばならない事が多かったため情報処理は、対面で行って欲しい。
経済	1年	人との交流が少なく、なかなか友達ができにくい

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
理	3年	実験がオンラインであったので実験操作や器具の扱い方をあまりに学べなかったように感じる。
理	3年	授業は細心の注意を払った上で対面が望ましいが、学科内における学生・教員との総意で綿密に決定して欲しい。対面で行う場合も、オンラインで行う場合も、教員に対する質問(オフィスアワー)な時間を別に設けてくれると嬉しい講義中に質問が思い浮かばないことの方が多いと考えられるため)
理	3年	対面授業を現在一つ受けているが、マスク着用の中、この高い気温の中でエアコンを付けずに受けるのはかなり苦しい。窓を開けて換気することは仕方ないのではあるが、エアコンを付けずに授業を続けたいなら、授業も集中です。ただ、気合悪くなるために大学に来てしまうようなものである。マスク着用を強制するから、エアコンは付けて教室が良い環境で授業を受けられるようにしてほしい。
理	3年	駐車場の増設、駐車場を利用できる条件の見直しを求め。
理	3年	特になし
理	4年	教員間の不慣れ、チャットでの質問や発言を見ていない、音声が出切らない、マイクから遠いところまで話している。質問をあげるべきかと思えます。なんといってもYouTubeで動画少し見て、レポートだと学びが浅いと思いますし、学生が大変に感じます。私は受けておりましたが、後期も継続するのであれば改善すべきかと
理	4年	小中高は対面授業が始まっているのにも関わらず、大学で対面授業をやらない理由がわかりません。ある程度のオンライン授業も必要だと思っていますが、コミュニケーション不足にならないよう対面授業と併用して授業を行いたいほうがいいと思います。
医	1年	COVID-19の感染再拡大により、富山県でも感染者が少しずつ増加しており、感染リスクの高まりに恐怖を感じているので、後期も遠隔授業を希望する。
		zoomを用いたリアルタイム授業よりも動画配信によるオンデマンド授業の方が良いと思います。リアルタイム授業は生徒の理解度によって、授業のペースを変化させたり内容の強弱が比較的容易だと思います。しかし、その瞬間だけしか見られないという特徴から回線状況により重要な部分が途切れ途切れで聞こえないという大きな問題点があります。この点が対面によるリアルタイム授業とオンラインのリアルタイム授業の差です。対面のリアルタイム授業のリアルタイム性は至るく授業を見てもらい、授業時間の一部だけ出席確認と質問対応をするというスタイルを構築します。前期の授業は事前に授業を見てもらい、授業時間の一部だけ出席確認と質問対応をするというスタイルを構築します。前期の授業で、医学1年生の基礎化学Aを担当した杉森保先生や、同じく医学科の生命科学1-Aを担当された谷井一郎先生など、この方式を取っている先輩方がいまいます。質問対応の部分だけをzoomで録画することで、出席したか否か一部先生のみが、zoomで録画が不安定になった場合でもその箇所を聞き直すことが容易です。(zoomの録画が最大15分のため、全授業をzoomで録画しようとする授業の流れが重くならず) また、オンデマンドの良い点として学生が適宜体調を崩しながら勉強をすることが出来るという点です。オンラインでの授業は身体的な負担が大きいです。違和感を持ったまま授業を聞いているため学習効率は高くありません。しかし、リアルタイムのオンライン授業では生徒の事情は関係なしに進んでいます。一方、オンデマンドでは区切りの良い部分まで分割された授業なので、一般学生がたこくでストロークなどをすることも可能です。実際オンデマンドの授業ではそのようにして受けていました。非常に頭に入りやすかったです。今までは対面で行われてきたリアルタイム授業に比べるのではなく、授業により学生が吸収できる成果とその効率に焦点を当ててオンライン授業を行って欲しいです。お忙しいとは思いますが、よろしく願いいたします。
医	1年	あんまりちゃんと勉強できている気がしない
医	1年	コロナウィルスの感染者がまた増えてきているので、後期も非対面と問題ない科目については、このまま非対面授業の継続を希望します
医	1年	テストについての説明が不十分。
医	1年	それにか先生間の授業の質をそろえてほしい。資料も送ってほしい。それこそ授業料を返せと言われても仕方ないと思う。
医	1年	リスクを買ってまで対面授業を受けたくないです。実際に情報教の大学でクラスターが起こっています。いつ誰と接触したかがはっきりし、ない不特定多数の学生、教師と接触するのは本当に不安です。感染者が出てからでは遅いと思います。できれば後期もオンライン授業を行っていただきたいです。
医	1年	医学科であつたように他の学科でも同じ学科の1年生のオリエンテーションを行ってほしい。友人ができず困っている。
医	1年	一部の授業で対面授業があるが、そのある一部の授業で実際に講義室に集まっても感染対策上人とコミュニケーションをとることができず、先生の授業も遠隔でしか内容がわからないので、授業の意味がわかりません。
医	1年	遠隔授業はほとんどスマホやパソコンを使うことになるので、とにかく目の負担が大き、困っています。マスク着用・間隔を開けた座席などを徹底し、後期は対面授業にしていただきたいです。
医	1年	音声ファイルを開発配布している教員に限って、資料の朗読しかしていないのでたの時間の浪費(読む方が速い)。音声再生が成績に反映されているかは知らないが。
医	1年	各地の大学でクラスターが発生しているため、後期もオンライン授業にしてほしい。授業自体はソーシャルディスタンスが保たれていても、友達とは近づいてしまふし、先輩に食事を誘われたら断れない。同学年の仲を深めるために一緒に食事をとる機会も絶対に失われる。それらを防ぐためにも、オンライン授業を継続し、富山大学から感染者が出るのを阻止してほしい。サークル活動なども禁止してほしい。運動系ではマスクをつけず、至近距離で話す機会も多いため。
		感染者が増えている状況では難しいと思いますが、現在住んでいるアパートの部屋の部屋の契約を継続するか否かを決めるためにも後期をどうするか早めにか決定してほしい。
医	1年	期末レポートの数が多くなってしまった
医	1年	急に土曜日に対面授業になったり、相續でzoomで授業を受けるのは良くないと思う。
医	1年	後期に対面授業を開始することによって不安を感じる。
医	1年	後期は対面を望みます
医	1年	後期も非対面授業を強く希望する。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
医	1年	後期もオンライン継続をよろしくお願い致します。
医	1年	後期も遠隔授業にしてほしい
医	1年	後期も対面ばかりに拘らず、感染拡大の予兆が見られた場合には速やかにオンラインにしていきたいと思います。前期のようになりぎりでオンラインにするのはやめていただきたい。
医	1年	今後対面授業になった場合の感染リスクが気になるので、教養教育は遠隔を続けてほしい
医	1年	授業コマののために大学にいかねばならない状況にあるが、その授業内容が対面でもやる必要のある内容ではない。後期もオンライン継続をして欲しい。
医	1年	授業の資料がMoodleに上がってからは、後で見返すことができるので、今後も続けてほしい。
医	1年	授業を遠隔にしているのにテストだけ対面にしたのでは、感染リスクを抑えるために行ってきた遠隔授業の意味がありません。後期もオンライン継続をよろしくお願い致します。
医	1年	周りの友達には、夏休みの帰省を考えている人が多いです。感染拡大防止のためにも、遠隔授業で十分に学習ができている授業(特に教養教育科目)は、後期も遠隔授業を続けてほしいと思います。
医	1年	対面授業になった場合、気温が高くて授業に集中できなかつたことがあります。
医	1年	第1言語は発音が全く分からないので、オンデマンドで受けるのは難しかったです。
医	1年	特にありません。
医	1年	必要な情報すべてActiveMailから確認できれば非常にありがたいです。できればzoomは質問対応だけにするなどzoomによる授業を減らしてほしいです。回線が途切れ、授業をすべて聞けことが出来ませんでした。先生方の負担もありますので全てとは言いませんがYouTube等を利用した動画配布による授業のほうが復習もしやすく、学びも深まるように感じます。
医	1年	妨害行為をする者がいると、それを抑止する方法が教員に共有されておらず野放しになるケースがあったので改善してほしい。今後は対面授業にするにしても、授業を録画したものをYouTubeにあげるなど、状況によってオンラインも運べるようにしてほしい。
医	1年	目が疲れる。大学のWiFiが繋がらないこと(学校で課題がしにくい)
医	1年	オンラインでの授業は時間配分に余裕があるので、練習して学習することのできないリアルタイム授業は避けてほしい。
医	2年	理論系の教科は理解に時間がかかるので、練習して学習することでも続けて欲しい
医	2年	このようなアンケートが来ても回答できるようなすれば、何かあったときすぐに要望などを出せそうと思う
医	2年	レジュメをコピーしてほしい。せめてパソコン室のコピー機を自由に使用させてほしい。
医	2年	レポートの指示を分かりやすくして欲しい
医	2年	遠隔授業で十分学習できたと感じています。
医	2年	遠隔授業は自分の時間と自由で何回も閲覧できるので良いと思う。
医	2年	遠隔授業は自分の時間と自由で何回も閲覧できるので良いと思う。
医	2年	感染が拡大した場合とありますがすでに富山県内でも若年層での感染が広がっております。一部ではバイトや部活に積極的な学生もいると聞いております。果たして、感染が拡大したと認識してから遠隔授業に入る形でのいいのでしょうか？金沢大学での病院実習中の学生の感染や新潟大学でもコロナ感染者が出ていること、三重大学医学部の学生がコロナに感染してサットで大きな問題になっていることも考えますと、富山大学には最後の砦として徹底したコロナウイルスに対する対応をお願いいたします。具体的に後期の遠隔授業の早い実施です。マスク需要が十分であると思われたいです。医学部医学科は対面で行った場合も感染者が出てしまつと自分たちだけではな病院で臨床される先生方にも迷惑がかると思います。東京、大阪、名古屋といった大都市では45月以上に感染が広がっていること、富山大学にも大都市圏から学生が入学していることを考えるとお盆を過ぎてからは一刻も早く遠隔授業の移行をしてもらいたいです。遠隔授業の準備にはまだ間に合うかと思っています。よろしく願いいたします。
		感染が拡大した場合とありますがすでに富山県内でも若年層での感染が広がっております。一部ではバイトや部活に積極的な学生もいると聞いております。果たして、感染が拡大したと認識してから遠隔授業に入る形でのいいのでしょうか？金沢大学での病院実習中の学生の感染や新潟大学でもコロナ感染者が出ていること、三重大学医学部の学生がコロナに感染してサットで大きな問題になっていることも考えますと、富山大学には最後の砦として徹底したコロナウイルスに対する対応をお願いいたします。具体的に後期の遠隔授業の早い実施です。マスク需要が十分であると思われたいです。医学部医学科は対面で行った場合も感染者が出てしまつと自分たちだけではな病院で臨床される先生方にも迷惑がかると思います。東京、大阪、名古屋といった大都市では45月以上に感染が広がっていること、富山大学にも大都市圏から学生が入学していることを考えるとお盆を過ぎてからは一刻も早く遠隔授業の移行をしてもらいたいです。遠隔授業の準備にはまだ間に合うかと思っています。よろしく願いいたします。
医	2年	繰り返し授業を局されるのが勉強しやすい。後期もオンラインがいい。全国から帰省したひとが来てくるだろうという対面をそなにしたがっているのかよくわからない。富山を富山として独立で考えているのは良いなと思う。
医	2年	警戒地域にある実家に帰ると言っている同級生がいます。実習が詰まるので、ウイルスを広げられたらとても迷惑です。もっと注意喚起をして欲しいです。
医	2年	後期は対面授業を望んでいるようにうだが、富山でも感染が重く拡大している現状を考えると難しいのではないかと。特に医学部が感染すると金沢大学や三重大学のように社会的にも激しく非難される。対面で行う必要のある実習等は別として、通常の講義は後期もオンラインで行ってほしいと考えている。
医	2年	後期も実習以外は、遠隔授業が望ましいと思います。
医	2年	後期も非対面授業を強く希望する。
医	2年	後期も非対面授業を強く希望する。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
医	2年	講義すらなく復習を載せ閲覧しておくように、どだけの授業が来り、同じ学費を払っているのになんとなく不公平さを感じた。正国国家試験の参考書を使って自分で進めた方がコストは効率も良いと思った。
医	2年	講義はオンデマンド授業が良い。グループワークや実習は対面の方が良い。両方のバランスとして授業予定を作ってもらえると助かる。テスト期間を密着1週間1週間に複数なくさせないで欲しい(他大学は1週間おきにテストらしい)
医	2年	講義はオンラインのままでいいと思う。オンラインの方が時間の無駄が少ない。一人一人体温感温度やその時の体調は異なるため自分の受けたい時に効果的に授業を受けることができる。また、通学時間などを自宅学習にあることができて、対面の時より明らかに成績が上がった。
医	2年	資料のPDF配布はこれからも続けしてほしい。
医	2年	対面型より、通かにメリハリがあると感じられました。対面なくとも良い授業は積極的に、オンラインで行っていただきたいと思います。地方で感染者がばると講師中傷はもはや避けられませんが、このようなリスクを考えると極力オンラインで行ったほうが良いのではないのでしょうか。
医	2年	対面授業のある日と遠隔授業のある日を分けて欲しい。
医	2年	対面授業の方が勉強する空間や時間がしっかりと確保されるので理想的だと思うが、インフルエンザの流行する時期にコロナウイルスも流行する、新たなウイルスも発見されていることを考えると、これからこのような感染症が多く出てくるのではないかと思う。そうならないように、オンライン授業へ移行する考えを今後のためにもしっかりと定めて提示してほしい、今回の経験を活かして教員や職員の方々も非常に時にすぐに対応できるようにしてほしい。
医	2年	日々刻々とコロナウイルスの流行状況や、それに対する大学の対応が変化の中で、情報更新の有無をこまめにチェックするのが大変だった。Active Mailの転送が禁止されている現状、スマートフォンなどに通知が届かないので元来メールはそのようなものかもしれないかもしれませんが、能動的にログインしてメールをチェックしたり、moodleの画面に目を凝らしたりする必要のあるのは手間が不便だった。
医	2年	友達と接する機会が薄り、とても寂しいですが、今の状況で後期は対面授業、というのはなかなか現実的ではない気がします。もちろん対面授業の方が授業の質も上がり、集中して受けることができますが、コロナが再び蔓延しているこの状況では、間違いないでコロナに対する不安の方が打ち勝ってしまうかとも思います。対面授業でやろうとしてくれているのはとてもありがたいですが、今のこの情報も一つかり見ていただきたいです。
医	3年	オンライン授業が対面授業に劣っているところがあるんじゃないかと思う、対面での授業でいかに無駄話が多いのが実感した。後期もこのままオンライン授業にして欲しい。
医	3年	ずっとこれだけいから、学費を下げて欲しい。
医	3年	遠隔授業が可能な物は今後を進めていき、遠隔ではできない授業は対面式にする方が、感染の心配もなく効率よく学習できる。
医	3年	遠隔授業では、なんの問題もなく受けることができ、むしろ学習効率や学習習慣をつけることができた。集中力も上がって、まだコロナが終息しないこの状況下で、対面授業を行うのは、極めて危険だと感じる。自分が感染するものももちろん怖い、大学で感染して文外で他の人へうつしてしまったり、他のところへ感染して大学内の患者さんなどに感染を拡大させてしまうことが最も怖い。
医	3年	遠隔授業では、出欠の確認が難しいことは分かるが、zoomのリアルタイムの授業やオンデマンドの授業を受けた後の課題が多く、多くの授業を受けていると課題を完全にこなすことができて、対面授業よりも負担が溜まっていると感じる。毎日出欠確認のために課題を提出しなければならぬのは、本来の授業時間以外で時間を確保しなければならず、困難であった。出欠確認の在り方をもう少し配慮してほしい。
医	3年	遠隔授業も対面授業もそれぞれ一長一短あり、組み合わせで行うことを検討してほしい。
医	3年	課題が多すぎる
医	3年	課題の締め切りをもっとわかりやすくアナウンスすべき
医	3年	感染拡大が進む今、リスクをとってまで対面授業を行う利点があるとは思えない、大学でのクラスターも実際に発生している、対面ではなくオンラインで授業を行うべきだと思う。
医	3年	感染拡大地域などへ帰省している学生も多いことだとも思う。学内で感染者を出さないためにも、9月いっぱい我慢と言わず、少なくとも今度後はオンライン授業を継続していただけたら、コロナウイルスの感染を防ぐことが可能だと思うし、感染の不安を減らし精神面の負担を軽減することができると思っています。
医	3年	感染対策のために後期もオンラインで受講できたら嬉しいですが、
医	3年	感染率の問題もあるの、後期もオンライン授業のほうの方が安心できると思います
医	3年	感染率から遠隔授業の方が良いと思います。特に医療キャンパスは感染者が出た時に報道されやすいので
医	3年	後期もオンラインがいい、YouTubeなどだと講義をいつても何回も見られる、オンラインのデマリットが感じられない。
医	3年	後期も非対面授業が良いです。時間に自由ができ、自主学習を進められる。
医	3年	今後オムニチャンド型授業を継続したい。マスクをずすとしているのも苦しく集中できないので、教室での対面授業は出席したくない。
医	3年	医学の授業は、遠隔授業が良いと思います。
医	3年	医学の授業は、遠隔授業が良いと思います。
医	3年	三重大学医学部におけるクラスター発生について医学部生への講師中傷が多々見受けられた。自分なりに感染しないように気をつけて生活しているつもりがもしも感染し、狭い教室内でクラスターになってしまったらと思うと怖い。感染者数もまた増え始めているので後期もオンライン授業を続けてほしい。
医	3年	授業の内容が速く進んでいるのが大変不満であった。
医	3年	授業内のアンケートと課題提出はやめていただきたいです。通信環境がいいときにはムードルなどを開いて答えることができて、通信環境が悪いとzoom以外のネットワークを繋ぐことができていないため。
医	3年	前期の授業が非対面になったことにより浮いた光熱費などを施設の補修費に当てて欲しい。
医	3年	対面と遠隔授業のハイブリッドが最良だと思う。遠隔授業を取り入れることには大賛成。医学生は特に感染すると大きな社会的批判が待ち受けているため尚更。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
医	3年	対面授業を行う場合、学習効果は高いと思いますが、密閉空間・密集場所がクリアできないので、荷入れし出しする立場にあるいはそのような学年と接触する機会が多い立場とて課される責任やリスクは大きいように感じます。
医	3年	方々を考えると、後期も遠隔授業の方が安心できます。対面授業は不安です。
医	4年	オンデマンド授業は自分のペースで何回でも学習することができるので、対面授業より学習効果は高く、効率もよかったです。
医	4年	コロナ状況や夏休みなどの学生の移動を考慮すると、少なくとも9月の間には対面授業は避けるべきだと思う。この状況下において対面授業を強行するのは愚作であると思います。worst case scenarioを考慮した場合、少なくともハイブリッド型の授業にすることが大学の責任を考えると上も無難な選択だと思います。医学生が感染した場合、SNSなどの講師中傷などもあるようなので無理に対面授業にする必要は全くないと考えます。
医	4年	しばらくコロナの感染拡大が続くそうなので、実習などを除き後期もオンライン授業継続にありたい。隣県の大学でも感染者が出たが、学内の感染者が出た場合、新聞やSNSなどで広く取り沙汰され講師中傷を受けそうで不安、杉谷キャンパスは特に狭い世界なので噂が回って感染者の身元も割れそう。もし学内で感染者が出ても個人情報が出たり守られるの心配。
医	4年	しばらくコロナの感染拡大が続くそうなので、実習などを除き後期もオンライン授業継続にありたい。隣県の大学でも感染者が出たが、学内の感染者が出た場合、新聞やSNSなどで広く取り沙汰され講師中傷を受けそうで不安、杉谷キャンパスは特に狭い世界なので噂が回って感染者の身元も割れそう。もし学内で感染者が出ても個人情報が出たり守られるの心配。
医	4年	医学科4年の10月の授業はオンデマンドでいいと思います
医	4年	一定の授業の質が保証できるのもあれば遠隔授業のメリットを無視することはできないと思います。
医	4年	後期もコロナの感染予防の面からオンラインでの授業を希望します。
医	4年	重要な点が分かりにくいスライドでは、対面よりも勉強しづらいと感じました。わかりやすく、簡潔な説明を心がけてくださって先生よりましでしたが、そうでない先生や説明の動画のない先生の授業はしんどいと感じました。理解できない先生もありません。また、小テストで出席をとることが多いですが小テストの解答設定に誤りがあったり、解答可能期限に誤りがあることがあることについて。
医	4年	杉谷キャンパス：講義棟の情報処理室(大)だけでなく、看護学科棟の情報処理室(中)も開放してほしい。課題をする為の行き先が不便だとも思うときがある。
医	4年	オンライン講義なら授業料を下げてほしい
医	5年	移動の自由は基本的人権であり、大学にこれこれ言われれば防衛はありませぬ。
医	5年	現在は感染していない教養科目からZoomをやめてほしい
医	5年	三重、金沢、長崎などの各大学でクラスターが発生した際に医学部生は全日本で報道・非難され、とても恐ろしかった。医局での実習やオンライン実習で十分学べる、ことがわかったので、第二波が来ている現在、オンライン実習などにしてほしい。
医	6年	zoomの講義で、始終ビデオをオンにしないといけないのは負担だった。スマホやタブレットで観る場合、GBの消費が激しく、通信速度制限にかかる月ももあった。
医	6年	zoomの講義で、始終ビデオをオンにしないといけないのは負担だった。スマホやタブレットで観る場合、GBの消費が激しく、通信速度制限にかかる月ももあった。
医	6年	感染のリスクを考えると、授業やテストを行なって欲しいです。対面でやる必要性が無いものはzoomでやって頂けるとありがたいです。
医	6年	自分の学年に不必要な連絡が多すぎて振り分けに大変だった。一斉送信をもう少し工夫して欲しい。
医	6年	集中力と、パソコンのバッテリーの関係でzoomは60分以内に終わって欲しい
医	1年	zoomだと落ちたとしても授業を受けられないことが不安
医	1年	コロナウイルスに感染しないように、全員で安全な状況が作れるように、これからも遠隔で行ってほしい
医	1年	遠隔で問題なく行っている授業に関してはこれからは遠隔で行ってほしい
医	1年	遠隔授業の課題の多さに対して不満がある人はかなり多いと思う。一部の教員が暴走して課題を過剰に出したりしたために睡眠時間が削られることもあった。また、zoomでリアルタイムの小テストや科目があったのだが、その内容が発表された文を聞き取って回答するもので、通信環境が不安定な時は全然聞き取れなくて不公平が生じていると感じた時もあった。
医	1年	遠隔授業を続けてほしいです
医	1年	課題が多すぎる
医	1年	感染対策をじつと対面授業を受けていたです。
医	1年	教科によってオンライン形式授業の完成度(基本操作や、画面共有、音声、ネットワーク、pdf資料など)がまったく違うことが問題
医	1年	個人的には、遠隔授業には満足している。対面授業が始まるのは不安、クラスターが起ってしまっただけでは遅いのではないかと不安です。
医	1年	後期の授業が対面で行われることになればシャトルバスを利用することになりますが、利用者が多く車内が密になるのではないかと不安です。
医	1年	後期の進め方について、できるだけ早くお知らせしてほしい。
医	1年	後期も遠隔を希望します
医	1年	通学時間が長いのでヘルプシステムを使うために遠隔授業の合間に通学するのが大変でした。
医	1年	特にごさいませぬ
医	2年	Moodleでのファイル形式による課題、レポート提出はパソコンのみが対応していると思うので、メールなどによるファイルの送信(アップロード)も利用できるようにして、スマートフォンでもレポート、課題提出を可能にしてください。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
薬	2年	zoomの講義で、先生が全体をミュートにしてその後解除するとき、自分からはミュートにしていけないのに、先生がミュートを解除しても自分のミュートは外れなかった。最後までなぜだかわからず、ミュートを解除しない授業に消極的な人だとは先生に思われにくいため、そういうことを把握していただきたかった。オンラインでの講義は自分の都合のいいタイミングで何度も見ることができるとは思うが、できれば昨年度以前のように対面授業を友人たちと受けていた。だが、これはどうかがないことだが、コロナ対策のために開講を避けなければならぬ、実習が簡易的なものになるというのは残念である。
薬	2年	オープンフォーラムが質疑の場として活用されている科目はほぼ無い。私も使いたいとは思わない。オープンフォーラムが匿名で使えるなら使いたいと思う。
薬	2年	オンライン授業では、動画やリソースが残っているの、で、せっかくなら出席確認をしたラスト前には改めて公開していただき、勉強に役立たい。
薬	2年	オンライン授業の利点として、動画を繰り返し見ること、小テストを振り返ることができるとは思うが、閲覧の期間制限がかけられて見ることができなくなっている教科もあり非常に残念であった。
薬	2年	ただただ一人で受けていることが辛かったし、疑問点が出てきても誰にもすぐに相談できないのは学びの質の低下に繋がると思う。
薬	2年	リアルタイム型の方が先生の雑談や追加の知識などが聞けて、そのような話と結びつけて授業内容を理解している私にとってはリアルタイム型の方が好きだった。映像授業に慣れているという点上手な取り組み方があるが、いま前期が終わってしまっている感じがするので、後期はもしリアルタイム型になった場合はリアルタイム型の授業を増やして欲しい。
薬	2年	遠隔、対面に関わらず、方針を直前に出すのをやめてほしい。前もって準備する必要があるの、連絡はもう少し余裕を持って行なってほしい。
薬	2年	今現在感染が再拡大している状況で後期から対面授業を始めようとしていることに驚きました。大学に通う限り大人数での飲食は避けられせん。全国から学生が集まる環境で、安全面を考えると後期も遠隔授業を進めていただきたいです。
薬	2年	正直のところ、対面授業よりも遠隔授業(特にオンデマンド授業)の方が授業を受ける際のメリットが大きいと思いますので、直接操作するスキルを習得する必要がある授業(実習など)以外の授業(講義など)についてはこのまま遠隔授業を進めたいと強く思う。
薬	2年	早速送りたい教科がある、コピーに必要なインクや紙の費用がかかる。
薬	2年	電子で文字を手書きする先生はいたがこの場合、肩や首のこむ、目にくるものが結構多かった。なので、なんとかしてほしい。またzoom等リアルタイムのものでの画面の切り替わりをす時に書ききれないのに切り替わってしまうということが何度もあったので気を付けていただけたらありがたいです。
薬	3年	アクテブメールに自分のメールアドレスに受信通知がくるとありがたい。また、ムードルで自分のいままでの授業がちゃんと出席できているか確認できるようにしてほしい。さらに、まだ判断できないのはわかるが、早めに連絡していただけたらありがたいです。
薬	3年	オンデマンド授業の動画は従来の対面授業よりも話の要点がわかりやすく、より集中して聴き続けられるため、今後遠隔授業の方が勉強がしやすいと感じました。
薬	3年	遠隔授業と対面授業が混在する時は大変だった。対面授業の1コマ前の遠隔授業が通学時間になってしまい、その遠隔授業をその時間に受講できず、後回しになって溜まってしまう。
薬	3年	寮にいない時間が多くなり学生に時間の余裕があると思う先生方が多いが、課題の量がとてもストレスであった。生協食堂を利用できない、買物や家事に割く時間も増えるため、課題に充てられる時間は対面講義時と比較してそこまで増えておらず、結果睡眠時間を大幅に削ることとなった。提出した課題についてフィードバックがあるものは少なく、課題によって授業の双方向性は確保できていないと感じた。
薬	3年	感染者数が落ちたように思っても再び増加することが多く、感染リスクはまだまだ考慮しなけいばならないと感じています。準備(動画や資料)の不備を除けば、遠隔授業は、健康への不安を減らした状態で学習できる良いものであったと思います。また、動画は一時停止や繰り返し視聴ができるため、通常授業よりも記憶の定着がよかつたと感じています。個人的には、後期も遠隔授業を継続することを希望します。
薬	3年	教科によっては、明らかに授業時間よりも長い時間がかかってしまう教科があったこと。
薬	3年	後期が始まる前までにコロナが収束するとは思えず、実習暮らしで寮生活に後学心配も大きいため出来るだけ対面授業は選んで欲しい。午前午後をまたぐとお昼ご飯を学校で食べる必要があるためこわい。
薬	3年	後期が始まる前までにコロナが収束するとは思えず、実習暮らしで寮生活に移す心配も大きいため出来るだけ対面授業は選んで欲しい。午前午後をまたぐとお昼ご飯を学校で食べる必要があるためこわい。
薬	3年	後期の授業で、冬ということもあり乾燥のため、ウイルス感染のリスクがあるため、遠隔授業が望ましいとは思いますが、加えて、夏季休業明けというところもあり、多くの学生が帰省や旅行に行くと思われるため、感染リスクが非常に高いことから遠隔授業を断行していただきたいです。
薬	3年	今再び感染が拡大しており、お盆が終わって再び富山に集結した際に感染が広まってしまうのではないかと不安がある。また、前期は2眼まで授業、その後13時から実習開始、などというスケジュールで食事の時間すらなく、余裕のないスケジュールだったの、もう少し開始時間を遅らせるなどの対応をしてほしいと感じた。
薬	3年	再び感染拡大しつつあるの、で遠隔授業できる科目はほしいと考える。
薬	3年	資料配付のみの授業はやめてほしい。
薬	3年	実習が午後から対面であるのに、通学に時間がかかるため、結局午前中から学校に出てくる必要があった。
薬	3年	授業していただきありがとうございます。
薬	4年	学生が各自印刷する前提で資料を公開する場合、1ページに枚数などで印刷しやすいようなスライドサイズにしてほしい。
薬	4年	生徒が大講義室に集まって、講師のみがzoomを用いて授業をするといった内容の授業があったのだが、講師が感染防止の観点からzoomを使うなら生徒も大講義室に集まらずにリモートで授業を行ってほしい。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
薬	4年	対面だけでなくオンデマンドで十分な科目がいづつかあった。
薬	4年	対面講義でビデオのみを見せるのはやめて欲しい。それならWebで事足りるので。
薬	4年	無理に対面授業に戻すと新型コロナウイルスに感染するのではという不安感が強い。実習以外の授業であればできるだけ遠隔授業を行なってほしいです。また実習についても人数を減らすなどしてほしいです。
薬	6年	YouTubeなどにあげた動画の視聴期間を延ばしてほしい。オンラインでは授業スピードが遅いため、受ける側は動画を観直したい、見直すと1教科に必要な時間が大幅に増えてしまう。
薬	6年	今後実習等対面の必要が無い授業はオンラインを活用するべきだと思う。
薬	6年	今年から、薬学科6年は就活しつつ必修の授業を受けなければならないので、コロナが収束してもyoutubeの授業の方が良いと思う。
工	1年	Moodleで課題を期限内に提出しにも関わらず、何故か遅れて提出されたことになっていて、0点になっていたことがあった。
工	1年	クラスター発生の恐れが十分あるため、対面授業完全再開は慎重になつた方がよいと思う。
工	1年	これらの授業はほとんど先生の講義に依存することになり、準備が遅れた教員措置を取らなかつたです。しかし、本当に一部の先生が頻りに遠隔授業の文句を言っている。こちらは授業料を払っているのだからしっかりと講義をしてほしい。今後は、遠隔授業になったことで時間を効率よく使うことができ、入学からずっと遠隔授業でやってくる生活に慣れたのでこのまま遠隔授業を続けてほしいです。コロナの第2波が来ることも心配で、無理に対面にして対応が遅れるようなことがあったら怖いので遠隔授業を希望します。
工	1年	コロナ感染が怖いので、後期は教養科目は遠隔授業を希望します。
工	1年	まだまだにコロナウィルスの感染が収束せず、つい最近も富山県で感染者が出たので、後期も遠隔授業を希望します。
工	1年	一般教養の授業で、非対面だと通達できないため夏休みにも集中講義を行うものがある。しかし、夏休みまであと1ヶ月を切っているのに、集中講義の日程がわからない。インターンシップや自動車学校などの予定が組めないために早く日程を決め、生徒に教えてほしい。
工	1年	遠隔での音声の聞き取りにくかった科目が何個もありました。それに、富山大学の学生が新型コロナウイルスに感染してしまつたとき、遠隔のテストは回収状況が悪く、教員との連絡がとりにくいのでもやめてほしい。
工	1年	遠隔授業の方が、理解を深めやすいと感じた。遠隔授業だと友達ができにくいという問題点があるが、対面授業だと感染リスクもあり、今年の冬はインフルエンザと新型コロナウイルスの感染時期が重なると言われていることもあり、後期も遠隔授業を進めていただけたらと感染リスクも低下するので、後期も遠隔授業を進めていただけたことを望みます。
工	1年	可能な限りコロナが落ち着くまでは非対面授業、落ち着いたら対面授業にしてほしい。また、実験などは対面で実施するのはよいと思う。
工	1年	科目によって授業の質が違いすぎると思っています。
工	1年	課題が多い、手が回らない
工	1年	課題が多すぎて、手が回らない
工	1年	課題が多すぎると感じた
工	1年	画面をずっと見ているので疲れる。
工	1年	感染者は増えてくるので遠隔授業は続けた方がいいと思います。
工	1年	感染者は増え続けている、遠隔でも十分に授業が受けられるため無理に対面授業にする必要性を感じません。前期で受けた講義は、資料をよく読めば、ついていける範囲で済むかと思いますが、今後より難しくなっていく理解が浅い学生が多くなるのであれば、専門科目を対面にするには賛成します。しかし、教養科目に関しては、遠隔で行って欲しいです。できる限りの外出を制限してきたのに、大学で感染して家族に、うつすようなことはしたくないです。
工	1年	教員によって難易度と分量の差が激しい。
工	1年	教師によって一切説明をせず、教科書だけを読ませてテストをするため、大学の授業を受ける意味が無い
工	1年	教養教養科目はオンライン授業で行い、専門科目を対面形式で行ってほしい。
工	1年	現状を鑑みると、安全面、モラル面共に後期の対面授業は絶対に避けるべきであると考えます。
工	1年	後期は絶対に対面にしてほしい。
工	1年	後期も遠隔授業がいいです。
工	1年	今のところ特にないです。
工	1年	実習などの登校の必要のある科目は仕方ないが、感染のリスクを考えると対面授業と非対面授業の併用が望ましいのではないかと考える。
工	1年	授業外でも色んな人が話す機会があればいいと思う。
工	1年	週1回の登校だと帰省するわけにもいかず食料を買いに外に出なければいけないし、コミュニケーションをとることができないので完全遠隔が完全対面のどちらからかしてほしいです。
工	1年	先生からすると簡単な課題でも生徒では大変ではない課題があり、感覚の違いが大きいことがある。
工	1年	専門科目はzoomやYouTubeなどの動画形式にしてほしい
工	1年	対面をお願いします
工	1年	対面と遠隔が混在してくると遠隔授業を家で受けてすぐに学校へ行かなくてはならないことがあり、通学時間的に不可能である
工	1年	第2波がきていて、感染が拡大しているの、で今後前期と同様の授業方針で進めてほしい
工	1年	通学上新鮮感を使用するため都市部の感染が落ち着くまでは遠隔で行ってほしい。
工	1年	特になし

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
工	1年	非対面だと授業を実施できなかったため、夏休みに集中講義を行う一般教養の講義がある。しかし、その集中講義の日程が夏休み1週間前となった今でも不明である。サークル活動やインターンシップ、自動車免許取得などの予定を組めないため、早く集中講義の日程を決めてほしい。
工	1年	富大infoに立たなかった
工	1年	本アンケータが添付されたメールに後期は対面授業で行うことを基本とすると記載されていたが、新型コロナウィルスの第2波が講義に始まっており、富山の感染者が増加しているのにもかかわらず対面授業を行おうとするのはとても危険がたい。後期もオンラインにすると決定した大学がいくつもあるというのになぜ富山大学だけは危険を冒してまで対面授業を推進し進めようとするのか。前期の時も本当にぎりぎりまで入学式を挙げようとしていたが、富山の総感染者は全国で見てもかなり上位であり、今後また、さらに増加していくと考えられるので、安全を考慮して、できれば後期も基本オンラインで授業を行ってほしい。
工	2年	オンライン授業への移行決定が遅すぎたせいで、夏休みが従来の半分のしかない。あんな方大のせいで、生徒はさることながら教授達にも大変な迷惑をかけています。このようにならないでほしい。富山大学は慣れたことがありますが、後期がオンラインが対面にどちらにもなるのでも構いませんが、早期に方針を決めて頂きたいです。前期のようなことは一度と起こさないで下さい。
工	2年	コロナが終わるまでは要警等を除き遠隔で良い気がします。
工	2年	コロナ感染が怖いので対面の授業や対面式のテストを今学期は控えて欲しい。
工	2年	ソロツキヒナ先生の授業が主に英語で進められていたこととzoomでリアルタイムで資料を渡してくれないので内容をほとんど理解できませんでした。課題の難易度も自分には高く感じてしまいましたが手をつけられることができました。ほかの先生にも授業で利用された資料を消去する方がおられます。資料は常に見られるようにして下さるとありがたいです。対面式にはないオンライン授業におけるメリットであると思うのでぜひそうしていただきたいです。
工	2年	パソコンが壊れたり、Wi-Fi環境が悪くなったりしたときの対応が大変だった。
工	2年	一部学生がサークル等の集まりでEBQや飲み会を行っているため注意喚起を徹底して下さい
工	2年	課題が多い
工	2年	教員の音質改善を早急に行って欲しい。授業時間中にしかmoodleの資料を閲覧できないようにするの必要はないと感じた。
工	2年	教科書をわざわざ買う必要はなかったと感じた。
工	2年	教授の質が低い
工	2年	授業の進度が対面の時よりも早く感じ、理解が追いつかず説明を十分に聞けなかったことが多くあった。
工	2年	対面授業や対面の試験に慣れず動きではなく遠隔授業をよりよいものにする動きをするべきである。誰かが感染してからは遅いと思いますが、誰が見てもリスクが大きい環境作りが出来ては思えません。実際富山大学が周りの変化への対応が速いという点で、学卒の対応の悪さも有名です。もとは致滅病ではないですが、課題の本質に対して目的と手段がおかしくなっているように思えます。なぜ前期の始業が遅れたのか、なぜ後期は対面授業にすべきなのか、文面ではなく直接説明するべきだとも思います。こちらとして何点か対応について聞きたいことがあるので時間を設けて頂きたいです。
工	2年	前に時期があるので、焦って対策が不十分のままだと後期に授業をやるならオンラインでやっても良かった方が安心して学習に取り組める。質の悪い授業は避けたいが授業を夕食時にも聞けてほしい。
工	2年	木曜日の三限のプログラミング基礎機械のソロツキヒナ先生のバワボが英語ばかりで、日本語も片言なので何を言っているのかわからなかった。質問をメッセージでも返信がなく、大学としてどうなのかと思った。他の受講している人も同じようなことを言っていた
工	2年	木曜日の三限のプログラミング基礎機械のソロツキヒナ先生のバワボが英語ばかりで、日本語も片言なので何を言っているのかわからなかった。質問をメッセージでも返信がなく、大学としてどうなのかと思った。他の受講している人も同じようなことを言っていた
工	3年	1.理系は課題をこなすことが重要なので、授業中に問題の解き方のヒントを出すの、ゆとりは必要だと思う。2.授業時間がオーバーする場合は、後日moodle上に音声データ等を資料掲載したほうが生徒は喜ぶ。3.対面とzoomの両方で受講可能な授業タイプにしたい
工	3年	Moodleで資料を提供し、レポートを提出させるだけの授業に、昨年と変わらない授業料を払わなければならないのは、おかしいと思いました。また、成績の配点シラバスに記したのから変えることが出来ないという聞き、今の状況下では学生の負担が大きすぎると感じました。
工	3年	Zoomでの講義をスムーズに行っており、ありがたいです。講義中に考えさせられるものは印象に残り、興味を持ってました。遠隔、対面問わず受講者が考えるきっかけを作れるような講義を増やしてほしいです。遠隔講義の場合は動画を録しておいて下さるものであれば、時間割上必修科目と重なって受け入れられない他の講義などを受けられることができるようにしていただきたいです。同じコマに科目目録を登録可や、動画をYouTubeなどに載せておき、履修者が好きなときに受講できるフリー枠の科目を作る等。遠隔講義を活用すれば、学びの幅を広げることができるのではないのでしょうか。
工	3年	オンデマンド授業のうち、動画も大きく資料を配布して課題を出すだけの授業が多数あったが、非常に内容が理解しにくかった。この内容で授業料が抑え置きなのはおかしいと思った。
工	3年	これからすべてのベースを遠隔授業としてほしい。
工	3年	遠隔授業で問題のない科目も多く見られた。しかしながらこれらは各々の事情によって見方が異なると考えられるため、対面の有無は受講者側が判断できるようなシステムであればありがたい。 電話は少しオンライン授業開始にあたって説明が不親切であった。
工	3年	遠隔授業の方が圧倒的に集中できた。対面だとやりづらい。
工	3年	課題が多い

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
工	3年	課題が多すぎて精神的負担が大きかった。
工	3年	学習をしっかりやらせている割にはその対面が支払われていないと感じます。今までの対面のようにはいかないとは思いますが、複雑なことを学ぶという点で口頭での説明がしっかりとらないと、独学では理解することは難しいです。
工	3年	後期もオンライン化を強く望みます。
工	3年	講義資料の配布は今後とも積極的に続けてほしい。
工	3年	私が受講した講義の中心はムービーでのオンデマンド方式であり、スライドが配られるだけの授業と呼べないものも数多く存在した。学生が学びを深めるためには最低限、YouTubeなどの動画配信、できればzoomを用いた双方方向での講義が良いと考えている。
工	3年	授業の対応証明の問題で unnecessary 課題が多い。そのため1日中パソコンの使用による疲労、バイトなどの時間の確保ができないなど不満だらけである。
工	3年	授業料を割割かせを返して欲しい。
工	3年	初めての遠隔授業でしたが、特に目立った問題もなく受けることができたので良かったです。大学という場所の性質上、全国様々な地域から集まってくるのに、現在のコロナウィルスは、他国に旅行に行くなどして感染するケースも多いので、このままの感染状況で後期から対面にするのは、少し抵抗があります。できる限り後期の授業もオンラインでお願いできればというのが率直なところですが。
工	3年	大人数の授業は遠隔授業にして、実験などは対面にするのがいいと思います
工	3年	動画を全て録画して出して欲しい
工	3年	非対面で行った授業のテストを対面でやるのは、資料の補足などが対面よりも少ないため例年より負担が大きく、適正な評価が出来るのか疑問に思いました
工	3年	複雑な計算が要求される公事ばYouTube授業にすべきだと感じました。
工	4年	授業料返せ。遠隔授業に1円の価値もない。
工	4年	転送メールが出来なくなったことが、非常に不便。LINE等のSNSでの教員とのやり取りを行わざるを得ない。通直連絡を取り合える手段を確立してほしい。
工	4年	転送メールが出来なくなったことが、非常に不便。LINE等のSNSでの教員とのやり取りを行わざるを得ない。通直連絡を取り合える手段を確立してほしい。
英文	1年	zoomを用いたオンライン授業ですが、先生によって質の差が大きかったです。かといって、今後対面型授業が中心となるのも不安です。現在、感染者はさらに増加してきていますし、お盆休みに入るに備蓄する人も増え、さらに感染者は増加するの目に見えています。教員の方々もお忙しいのは重々承知ですが、入学式の有無もギリギリでの判断でなし、正直困惑する事が多いです。早く大学に行きたいです。対面型授業を受けたいのが本音ですが、やはり対面型授業をするにしても最小限に行うべきだと思います。
英文	1年	オンデマンド授業自体は良いとは思いますが、パワーポイントのみアップする授業(しかも教科書のほぼ丸写し)は授業と言えるのか疑問(ドイツ語基礎1)
英文	1年	ほとんどの大学が後期も全面オンラインでの授業を考えているのに対して富山大学は今のところ対面授業を予定していることが不安です。できれば対面で行いたいというのは教員側も学生側も同じだと思いますが富山県内でも感染が再び拡大してきたとき、もう少し慎重に考えたほうがいいのではないかと思います。
英文	1年	まだ、コロナの感染リスクが心配である。
英文	1年	一般教養は後期もオンラインがいいです
英文	1年	課題が多い
英文	1年	課題が多い。VPN接続ができない、授業内容の理解が深まらないのにテストや課題は今までと同じ難易度でやらないで欲しい
英文	1年	教養科目は後期も非対面が良いです。シヤトルバス以外に五福に行く方法がないので困っています。
英文	1年	教養科目は後期も非対面授業、専門科目は対面授業が良いです。
英文	1年	芸術文化学部で高画質に住んでいるのですが、教養教育の五福キャンパスまで往復2時間かけてバスで移動します。コロナが流行っている時期は適度に密になるバスに様々な場所から乗る学生らと共に乗って2時間の移動をするのは感染リスクが怖いとも思っています。そのため後期の教養教育は遠隔授業を希望しています。
英文	1年	後学期は少しすべての対面の授業を増やすこととしてほしいです(後学期開始時からすべての授業が対面となると、対面授業に慣れないので不安な部分が多いです)
英文	1年	後期は対面授業になるが、遠隔授業との混在はやめてほしい
英文	1年	後期も講義式の教養教育科目は遠隔でもよいような気がします。シヤトルバスや食堂などはコロナ対応の人数では足りないので思うので。
英文	1年	今後対面授業を行うようになつたときに、遠隔授業との混在は困ります。大学のコンピュータは人員分確保できるのでしようか。また情報基盤センター端末室でzoomの授業は受けられないのではないのでしょうか。
英文	1年	実技科目は対面の方が効果的だと思いますが、教養教育科目などの場合、実技科目と実施するキャンパスが違ふことから移動時間等の制約以外の時間が減ってしまうので、遠隔で行った方が効果的だと思います。ここからは個人的意見になり申し訳ありませんが、授業時に遠隔だった科目がテストの際だけ対面になる必要はあまり無いと思います。
英文	1年	授業中にミーティングが外れていてとてもうるさいのに、先生が注意をしない、zoomで非対面のため、こちらから授業を妨害してまで注意をくれることが難しく、相談し合える人がほとんどないなかつたため、ずっと不安な状態が続いている。遠隔だと他学生の様子が分からないのが、デメリットだと思う。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
芸文	1年	先生から提示された資料に誤りがあり、それによって課題内容に悪影響が出てしまったことおそく先生側の意図でいて課題を提出できなかった。
芸文	1年	大学側から、後期から対面授業になるとのアナウンスがありましたが、そのため、五福キャンパスへ行くのにシャトルバスを利用しますが、シャトルバス内は3密状態になるのではないかと懸念しています。対面授業の感染対策は十分なものであると考えられますが、シャトルバスなど交通機関の利用に対しての対応策が甘いように感じられます。また、後期から対面授業にすることによって大学内でクラスターが発生する可能性がゼロではないことから、コロナウイルスに感染したくない気持ちを持つことが対面授業に参加することが怖いです。大学で決められたことには従いますが、感染への恐怖感が残る中で授業に集中することは難しく、コロナに対しての恐怖感が残る中で、対面授業を受けに行くのが怖いです。取り上げられないか分かりませんが、コロナに対しての恐怖感が残る中で、対面授業を受けに行くのが怖いです。今、規制緩和するとしても、次の自粛で早い段階でコロナウイルスの収束につながるかと懸念している。先生方、大学関係者の方々として、学生側からの視点で考えると対面授業開始は時期尚早なのではないかと懸念している。先生方、大学関係者の方々としては、この後期での対面授業開始により、最悪の場合にはクラスターが発生してから、感染者が発生してから大学が対応するということ形になってしまっているように考えられると思う。以上より、大学側のコロナウイルスへの考え方が甘いように感じている。遠隔授業に満足感を得ているため、後期でも遠隔授業を望む。実家にも帰省できないし、大切な家族をもう失いたくないです。コロナウイルスに感染したくないです。
芸文	1年	同学年・先輩との交流の機会が欲しい
芸文	2年	ある程度コロナウイルスが治まるまでの間は、講義内容を見ても遠隔でも十分に講義ができるものほできるだけ、遠隔授業にしてもらえようと学生側としても安心できる。また、初めから遠隔を前提とした講義を想定することで、学生や先生の心理的・物理的負担が減り、前期のように講義開始に遅れが出ないのではないかとと思う。
芸文	2年	こんな授業で同じだけの授業料を払う必要があるのかと、思わざるを得ない授業もあった。実習系の遠隔授業に關しては残念な気持ちが大い。今後遠隔授業はまた続きそうなので複雑な心境です。また、課題が以前より多く、期間が重なるものが多い。
芸文	2年	講義系の授業は、このまま遠隔の方が良いと思う。通学時の感染リスクや手間が省け、実際出席率も上がっている、と先生も仰っていました。また、課題や音声をmoodle等に置いておいて、学生の好きな時に取り組めるオンデマンド型は非常に助かっています。今後にも組み込んで欲しい。
芸文	2年	時間の分刻みでの管理がしやす、通学の時間や忘れ物を気にすることもなく、聴力にややや難があり集団授業での聞き取りが大変だったのですがそれらが解決し大変充実した授業経験ができました。後期からは対面と遠隔どちらでも授業が受けられるようなシステムを導入していただけたらとても嬉しい。
芸文	2年	他大学で講義より遠隔授業が効果的だと、思わざるを得ない授業もあった。実習系の遠隔授業に關しては残念な気持ちが大い。今後遠隔授業はまた続きそうなので複雑な心境です。また、課題が以前より多く、期間が重なるものが多い。
芸文	2年	対面授業より遠隔授業が効果的だと、思わざるを得ない授業もあった。実習系の遠隔授業に關しては残念な気持ちが大い。今後遠隔授業はまた続きそうなので複雑な心境です。また、課題が以前より多く、期間が重なるものが多い。
芸文	3年	Android端末でのVPN接続をできるようにしてほしい
芸文	3年	コロナウイルスの第二波が来ている為、後期も非対面で行って欲しい。また、キャンパス間の移動が必要な授業は配信やLIVE中継などにして欲しい。
芸文	3年	対面授業のスクリーンに映写するのが目への負担が大い
芸文	4年	私が受けていた講義ではないのですが、友人が受けていた講義のzoomのルームが毎授業変わるらしく、講義前にルームのURLが添付されたメールが届く仕組みだったのですが、授業開始から15分以内経ってもメールが届かない不具合がありました。私もその場に何度か出向して、講義に授業を固定してくださるとうれしいです。また、出欠権が認が声で返答たに聞かれない、気づかれないことがあるのでチャットに打ち込むなどの工夫をお願いしたいです。
都市	1年	コロナがこれほど拡大しているのに、なぜ富士山大学は対面授業を基本方針としているのか。授業の先生の話によると他大学は非対面授業を基本方針としているのにコロナの危険性を感じていないのか。入学式を10分で行おうとして1年を因りさせた過去、始業式で除染作業が実施されたこと、講義に授業を固定してくださるとうれしいです。また、出欠権が認が声で返答たに聞かれない、気づかれないことがあるのでチャットに打ち込むなどの工夫をお願いしたいです。
都市	1年	どこか課題が多いです。自主学習する時間があります。他の授業との兼ね合いを考えると、一つの授業で2つもの課題を出してくる授業があります。後期は課題を減らすように検討して欲しいです。
都市	1年	パソコンの操作に慣れていない教授の講義と違って、授業の講義がかなり分かりやすかったです。
都市	1年	ヘルンシステムについてはまだよくわかっていない
都市	1年	課題が多いです
都市	1年	課題が多いと感じます
都市	1年	課題の提出先や書式、期限などが明確になっていないものが多かった。明確にするよう通知などして欲しい
都市	1年	後期も教養は遠隔で進めてほしい
都市	1年	後期も教養は遠隔で進めてほしい
都市	1年	後期も教養は遠隔で進めてほしい
都市	1年	後期も教養は遠隔で進めてほしい
都市	1年	今後コロナ感染対策のため遠隔授業を続けるべきだと思います。授業の中にはグループ討論など実際に会話をすることがあり大変危険だと思いました。また富士山でも感染経路不明者が出ており、登下校時に感染する可能性があります。これを避けるため遠隔授業を続けるべきだと思います。
都市	1年	今年入学した学生は学外からのヘルン・システムの利用が出来ないのにヘルン・システムに添付するのはやめてください。聞質できません。
都市	1年	通常よりも課題が多いので、課題提出以外での出欠確認をする方法にして欲しいです。
都市	1年	特になし。
都市	1年	友達ができないこと
都市	2年	Zoomでオンライン授業をした後、その授業の録画を公開してもらえらるわかつた所を後から何回でも見れるので良い。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
都市	2年	そもそも、後期以前に前期試験を対面で行うこと自体、感染者数が急増しているのに間違えた判断ではないか？
都市	2年	テストだけ対面にするのはやめてほしい。それなら全で対面が全で遠隔のように分けて対応してほしい。
都市	2年	遠隔授業起きた
都市	2年	遠隔授業起きた
都市	2年	遠隔授業起きた
都市	2年	実習は対面です
都市	2年	実習は対面です
都市	2年	対面授業の再開を切に願っています。
都市	2年	対面授業の再開を切に願っています。
都市	2年	4月からの対面授業開始は社会情勢を鑑みても不可能であったにも関わらず、実施する方針を固めたことは非常に遺憾。この判断を誤ってはいけません。1週間早く開始することができた。結果的に2週間の遅れが発生し、講義や就活に多大な支障が及んだ。4月に対面授業を開始しようとした理由と結果的に発生した更なる遅れによる多方面への影響について説明して欲しい。
都市	3年	moodleのアナウンスメントの追加がメールで送られてくるのだが、屋前に送られたものが夜の22時に来る場合があるなど、出席に困るような不具合があるのでmoodleでの変更を加えてアクティブメールで通知してほしい
都市	3年	Zoomは通信が悪い時があるので、レコーディングしたものをmoodleにあげてほしい
都市	3年	このまま遠隔授業をやれば、健康を害する人が多数出ると思います。はっきり言ってまともな生活を送れる人があまりいないと思います。自前心がないような気がします。
都市	3年	なし
都市	3年	レポが多すぎず。睡眠時間削られて正直辛い。授業のレベルとレポートの質が釣り合っていない。質の良いレポートを提示するなという質のいい講義をして欲しい。
都市	3年	悪ふざけでYouTubeやビデオをオンにする不届き者がいた点。
都市	3年	遠隔だと出入りして良い点もあるものの、その反面下宿では環境が整っていないために集中しにくかったり、外からの雑音(特に工事の音)などの問題もあるため、一概にどちらが良いとは言えない。
都市	3年	遠隔授業では、入目を気にしすぎて自由に立ち回ることができるという利点があった。90分座ったままただ聞いているというのは、脚にも頭にも悪いと思うので、対面授業が始まって時々休憩を入れたら学生側にも配慮してほしい。90分耐えて精神を鍛えることが教員一方通行の授業の目的ではないはずだ。双方方向にする工夫を加えるなどして考えてほしい。
都市	3年	課題が増えたこと
都市	3年	急に初対面の人とグループワークをするのは対面ではないと感じた。
都市	3年	後期も遠隔でお願いします
都市	3年	後期も遠隔でお願いします
都市	3年	実習など対面で行う必要がある授業もあるが、遠隔で十分な授業もあると思う。
院人衆	修士1年	コロナ感染の心配があるので、オンライン授業と対面授業を併用して欲しい
院人衆	修士1年	教員および学生どちらからの回線が、落ちたり止まったりすることによって授業が中断して時間の無駄なので、回線のキヤパを改善してほしい。
院人衆	修士2年	ゼミのZoom配信のセッティングを主に1人の担当者が行っているが、負担ではないかと感じています。また機材もその人の自前のものだと思います。心苦しく思っています。大学で補助できないでしょうか？
院人衆	修士2年	遠隔授業では質問がしにくい。特に教室内で他の学生の顔を見て、彼らがどこまで理解しているのかなどを窺い知ることが難しいため本当の意味での深い学びにはつながらないと思う。こんな遠隔で大学教育が今後進むとすれば、日本の教育水準はどうなってしまうのか心配になってくる。くれぐれも遠隔授業をこれ以上拡大することの無いようにして頂きたいと存じます。
院人衆	修士2年	学生の顔が見えない場合は学生の反応が見えないため、教員側が不安になる
院経済	修士1年	状況に応じて、対面授業と遠隔授業(Zoom、オンデマンド)を併用する。
院経済	修士1年	オンライン化を進めてほしい
院医業	修士1年	ハワホを基り付けて終わりにしてほしい
院医業	修士1年	院の授業は時間的制約が無いと嬉しい。
院医業	修士2年	質問やコメントの形式がなぜかほとんどオンデマンドフォーラムのため、質問等するのに抵抗がかなりあった。オープンフォーラムを利用するのなら、クロードかつ気軽に質問等ができる方法を用意していただきたい。
院医業	修士2年	I do not have any problem so far.
院医業	修士2年	I have no problem concerning distance learning
院理工	修士1年	オンデマンド形式は何回も講義を見直せるので良かったです。
院理工	修士1年	安全が確保できる範囲内では対面が好ましいです。受講人数が多すぎると授業のリアルタイム授業はやむを得ませんが、少人数の講義は対面にしてほしいです。
院理工	修士1年	遠隔の方が安心できます。
院理工	修士1年	家にネット環境が無い人のために、自由に大学の端末室やWifiを使用するように整備してほしい。

所属	学年	問16. これまでの遠隔授業の問題点や、今後の授業の進め方、その他大学への要望等があれば自由に書いてください。
院理工	修士1年	感染拡大防止の取り組みとして遠隔授業が行われているが、学内では対面授業が行われている学部・学科が存在します。この差は学生間の感染リスクに対する考えにズレを生むと考えられます。いくらメールなどで周知しても、1学校が閉鎖されているわけではないという考えから、自分の周囲は安全であると錯覚を起こすと考えられます。(実際、緊急事態宣言発令前は、富山大学が登校禁止にならなかったため、そう思っていました)そこで、遠隔で行わなければならない授業なのか、対面で行ってもよい授業なのかを判断する基準を根拠とともに明確にする、もしくは対面授業の禁止・継続をすべての授業に対して一律で判断する、などさらなる対策をとっていただければ幸いです。学生からの一意見として、ご一考いただければ幸いです。
院理工	修士1年	対面授業と遠隔授業が交互にある場合、遠隔授業をどこで受けるか困る。
院理工	修士1年	大勢の人が集まる対面授業は感染症のリスクが怖いです。
院理工	修士1年	二学期は原則対面授業としているが、オンライン授業を行うべき、かなり放任的な授業がある。授業時間通りに資料の配布を行ってほしい(遅れる場合はメール等で連絡がほしい)。手書きのレポートを写真でとって提出に関して疑問がある。
院理工	修士2年	権力大学入校を禁じない方針がいい
院理工	修士1年	good to go with it
院理工	修士1年	です
院教職	修士1年	難しい判断だとは思いますが、コロナウイルス感染拡大防止のためではありますが、できるだけ対面授業を継続していただきたいです。

6. 全部局FD活動一覧及び 参加状況

令和2年度FD参加状況(令和2年4月～令和3年3月)

令和3年3月31日現在

部局名等	参加率	FD参加者数 (人)	学部教育を担当する教員数	備考
人文学部	96.2%	50	52	(目標参加率達成)
人間発達科学部	67.9%	36	53	次年度はオンラインでの研修会開催を増やす等、参加しやすい環境を考慮し参加率を上げる予定。
経済学部	93.1%	54	58	(目標参加率達成)
理工学研究部(理学)	98.3%	59	60	(目標参加率達成)
理工学研究部(工学)	89.9%	80	89	(目標参加率達成)
理工学研究部(都市デザイン学)	98.0%	49	50	(目標参加率達成)
医学薬学研究部(医学)	96.3%	154	160	(目標参加率達成)
医学薬学研究部(薬学)	96.1%	49	51	(目標参加率達成)
芸術文化学部	100.0%	42	42	(目標参加率達成)
教養教育院	95.8%	23	24	(目標参加率達成)
大学院教職実践開発研究科	100.0%	8	8	(目標参加率達成)
和漢医薬学総合研究所	86.4%	19	22	(目標参加率達成)
附属病院	100.0%	111	111	(目標参加率達成)
教育・学生支援機構	100.0%	1	1	(目標参加率達成)
研究推進機構	100.0%	18	18	(目標参加率達成)
地域連携推進機構	100.0%	4	4	(目標参加率達成)
国際機構	100.0%	2	2	(目標参加率達成)
総合情報基盤センター	100.0%	6	6	(目標参加率達成)
環境安全推進センター	100.0%	1	1	(目標参加率達成)
保健管理センター	100.0%	5	5	(目標参加率達成)
FD参加率	94.4%	771	817	

【調査方法】

今回の調査は、令和2年4月1日から令和3年3月末までのFD参加状況を各部局に照会したものである。
参加率の算出に当たり、対象は、学部等に所属する専任教員のうち、「学部教育を担当する専任教員」であり、FDの参加者数については、延べ人数ではなく、実人数を記載したものである。よって、1人の教員が複数回(全学、自学部、他学部、教養教育等)のFDに参加してもFD参加数は1カウントとしている。
昨年度の同調査では、全体のFD参加率は93.7%であった。

令和2年度 F D 活動実施状況一覧

No.	研修会等名称	内容	開催日	所要時間	開催場所	主催部局	主催者組織	対象者	参加者数	講師名（所属）	他部局参加可否	備考
1	令和2年度前期オンライン授業緊急対応説明会	令和2年度前期オンライン授業に対応できるように説明会を開催した	2020/4/8 (水)	2H	オンライン開催	人文学部	人文学部	人文学部教員	42人	佐藤 裕 教授 (人文学部)	不可	人文学部第4講義室を会場とした
2	第1回学部FD研修会「ICT講習会」	遠隔授業等における『ICT活用説明会（講習会）』	2020/4/8 (水)	1H	人間発達科学部大会議室	人間発達科学部	人間発達科学部FD委員会	人文学部教員 人間発達科学部教員／ 教職実践開発研究科教員	29人	黒田 卓 教授 (教職実践開発研究科)	不可	
3	第1回経済学部FD研修会	経済学部Moodle講習会	2020/4/10 (金)	1H	経済学部大会議室	経済学部	経済学部FD委員会	経済学部教員	34人	柳原 佐智子 教授 (経済学部)	不可	
4	理学部・理工学教育部（理学領域）合同FD研修会	オンライン講義に関する情報交換会	2020/4/17 (金)	1H30M	理学部多目的ホール及び オンライン開催	理学部	理学部教務委員会、 理工学教育部（修士課程） 理学部地域社会教育委員会	理学部教員	51人	理学部教員	可	
5	第1回医療安全講習会	1. 医療機器の安全な取り扱いについて 2. 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂等 3. 富山大学附属病院における医療安全の基本 4. 抗がん剤の曝露対策	2020/4/21 (火)	1H	臨床講義室I	附属病院	医療安全管理室	全職員	1986人	1. 佐藤 邦昭（医療機器管理センター） 2. 小野 毅夫（薬学部） 3. 長島 久（医療安全管理室） 4. 竹本 朋代（看護部）	不可	当日受講、ビデオ受講、e-learning、DVD配布
6	遠隔授業での工夫に関する情報交換会	遠隔授業の実施における取組事例の紹介並びに意見交換を行う	2020/6/19 (金)	2H	オンライン開催	教養教育院	教養教育院教育改善推進WG	本学教職員、教養教育担当非常勤講師、本学1年次学生	85人	名執 基樹 教授 石木 孝 准教授 大橋 集人 講師 (いずれも教養教育院)	可	当日受講、ビデオ受講、e-learning、DVD配布
7	第1回院内感染対策講習会	感染制御の重要性～新型コロナウイルス感染症対策を中心～	2020/6/23 (火)	1H	日医エオデーシアム	附属病院	感染制御部	全職員	1985人	山本 善裕 教授 (医学部)	不可	当日受講、ビデオ受講、e-learning、DVD配布
8	第1回医学部医学科FD	コロナ禍時代のOSCE実施方法～3密を避け能力評価を行う～	2020/6/26 (金)	1H15M	大講義室	医学部	医学部教務委員会 医師キャリアパス創造センター	医学部教員	66人	関根 道和 教授 石木 孝 准教授 三原 弘 助教 (いずれも医学部)	不可	当日受講、ビデオ受講、e-learning、DVD配布
9	理学部・理工学教育部（理学領域）合同FD研修会	遠隔授業における期末試験に関して	2020/7/8 (水)	30M	オンライン開催	理学部	理学部教務委員会、 理工学教育部（修士課程） 理学部地域社会教育委員会	理学部教員	72人	藤田 安啓 教授 (理学部)	可	

10	『教理・データサイエンス教育の 全学必修化と北陸地区の大学連携 による地域への普及』事業キック オフ オンライン シンポジウム	基調講演（送野大学の取組み）及び 北陸3大学の教理・データサイエ ンス教育の現状と課題の共有	2020/7/29 (水)	2H	オンライン開催	データサイエ ンス推進センター	データサイエンス推進 センター	北陸3県の高等 教育機関の教職 員、学生等	198人	竹村 彰通 氏 (滋賀大学 データサイエンス学部教)	可	
11	令和2年度薬学部・大学院医学薬 学教育部薬学系部会FD	講演会、グループ討論及び発表	2020/8/25 (火)	6H45M	杉谷キヤンパス 講義実習棟	薬学部・大学院 医学薬学教育部 薬学系部会	薬学部・大学院医学薬 学教育部薬学系部会	薬学部及びび道 医学薬学総合研究 所の教員	70人	會澤 宣一 教授 (工学部)	不可	
12	遠隔授業に関する準備、授業方法 及び問題点等に関するFD研修会	ブレイクアウトルームを活用したグ ループ議論を行い、遠隔授業の実施 方法等についての情報交換を実施	2020/8/26 (水)	1H	オンライン開催	芸術文化学部	芸術文化学部	芸術文化学部教 員	34人	—	不可	
13	他大学の教養教育の現状に学ぶ	教養教育の改善に向けた他大学の優 れた取組みについて、熊本大学教員 から紹介いただくとともに、山口大 学・鳥栖大学での授業内容を本学教 員から報告する	2020/9/1 (火)	2H	オンライン開催	教養教育院	教養教育院教育改善校 討WG	本学教職員	43人	川越 明日香 准教授 (熊本大学) 杉森 保 准教授 (教養教育院) 名執 基樹 教授 (教養教育院) 稲田 翔 准教授 (教養教育院)	可	
14	学生生活に関する 理学部FD研修会	新型コロナウイルスの影響を受けた学生につ いて（生活やメンタル等への影響）	2020/9/2 (水)	30M	オンライン開催	理学部	理学部学科長会議、 理学部学生生活 委員会	理学部教員	73人	八島 不二彦 (学生支援課 学生生活相談員)	不可	
15	第2回経済学部FD研修会	授業満足度の向上に向けて	2020/9/9 (水)	1H	経済学部 301講義室	経済学部	経済学部FD委員会	経済学部教員	41人	王 大鵬 教授 廣橋 祥 准教授 増田 友樹 准教授 (いずれも経済学部)	不可	
16	遠隔授業におけるスライドチャター 活用可能性について	スライドチャターのデモを行うことで遠 隔授業の新しい可能性を教員間で共 有し、さらなる活用のアイデアを 検討することを目的として実施する ものである	2020/9/14 (月)	1H30M	経済学部棟1階 極東地域研究センター戦略室	研究推進機構	極東地域研究センター	全教職員	7人	山本 雅資 教授 (極東地域研究センター)	可	
17	学生生活に関するFD研修会	学生の自殺防止対策にかかる講演	2020/9/16 (水)	30M	オンライン開催	都市デザイン学 部	学生生活委員会	都市デザイン学 部教員	42人	八島 不二彦 (学生支援課 学生生活相談員)	不可	
18	医学部看護学科・大学院 医学薬学教育部看護学FD	I 看護学科全教員による 看護学科運営の検討 II 学生とのカリキュラム 検討	I 2020/9/25 (金) ~ 12/31 (水) II 2020/12/2 (水)	I 各教員に より異なる II 1H	I メールによる開催 II 看護学科棟会議室	医学部	看護学科 統務委員会/FD担当	看護学科 教員	I 30名 II 5名	—	不可	
19	UDトーク	オンライン授業について	2020/9/26 (土)	4H	オンライン開催	UDトーク 実行委員会	UDトーク実行委員会	全学教職員、学 生、一般市民	39人	—		

20	遠隔授業の実施に関するF D研修会	遠隔授業の実施における優れた取組事例の紹介	2020/9/28 (月)	2H	オンライン開催	教育推進センター	教育推進センター	全学教職員	222人	安藤 知子 准教授 (人文学部) 小川 亮 教授 (人間発達科学部) 岩田 真一 教授 (経済学部) 三原 弘 准教授 (経済学部) 三原 弘 助教 (医学部) 友成 岳 助教 (工学部) 黒田 武俊 准教授 (工学部) 奥 敬一 准教授 (芸術文化学部) 矢口 忠憲 教授 (都市デザイン学部) 杉森 保 准教授 (教養教育院)	可	
21	第2回医療安全講習会	レジリエンス・エンジニアリング理論に基づく医療安全への統合的アプローチ	2020/10/9 (金)	1H	日医エオードトリウム	附属病院	医療安全管理室	全職員	1988人	中島 和江 事 (独立行政法人労働者健康安全管理機構)	可	当日受講、e-learning、DVD配布
22	第2回医学部医学科F D	授業満足度向上に向けて	2020/10/12 (月)	1H	臨床講義室(1)及びオンライン開催	医学部	医学科教務委員会 医師キャリアパス創造センター	医学部教員	65人	岸 裕幸 教授 三原 弘 助教 (いずれも医学部)	可	
23	第3回経済学部F D研修会	新型コロナウイルス感染症対策の実践	2020/10/14 (水)	50M	経済学部301講義室及びオンライン開催	経済学部	経済学部F D委員会	経済学部教員	45人	山本 善裕 教授 (医学部)	不可	
24	カリキュラムや授業の改善に関する学生と教員の意見交換会	都市デザイン学部のカリキュラムや授業の改善について、学生と教員の意見交換を実施	2020/10/26 (月)	1H30M	理学部棟多目的ホール	都市デザイン学部	教務委員会	都市デザイン学部教員・学生	59人	—	不可	
25	クォーター制に関するF D研修会	クォーター制導入の動向、教育効果、問題点等について	2020/10/28 (水)	1H	オンライン開催	芸術文化学部	芸術文化学部	芸術文化学部教員	36人	—	不可	
26	全学F D2020	遠隔授業の今後のあり方を議論する	2020/11/4 (水)	2H30M	オンライン開催	教育推進センター	教育推進センター	全学教職員、学部生、他大学教職員	73人	小助川 貞次 教授 (人文学部) 杉森 保 准教授 (教養教育院) 益田 耕佑 (都市デザイン学部1年)	可	
27	理学部F D研修会	学生の授業満足度を高める工夫について	2020/12/2 (水)	30M	オンライン開催	理学部	理学部教務委員会	理学部教員	71人	上田 肇一 教授 今野 紀文 講師 (いずれも理学部)	可	
28	生命融合科学部F D研修会	富山大学大学院改革の方向(仮)	2020/12/8 (火)	1H30M	医薬イノベーションセンター 日医エオードトリウム 及び オンライン開催	大学院生命融合科学教育部	大学院生命融合科学教育部教務委員会	生命融合科学教育部担当教員 医学部教務部担当教員	71名	豊岡 尚樹 教授 (工学部)	可	大学院医学部 大学院医学部支援

29	令和2年度前期オンライン授業の成功と失敗について	令和2年度前期オンライン授業の成功と失敗の実例を検証した	2020/12/9 (水)	45M	オンライン開催	人文学部	人文学部	人文学部教員	48名	安藤 智子 准教授 大西 宏治 教授 (いずれも人文学部)	不可	人文学部入会 議室を会場と した。
30	第4回経済学部FD研修会	PROGテスト(1年次「初年次教育」の結果報告会及びPROGテスト(3年次等)の解説会	2020/12/9 (水)	1H	経済学部 301講義室	経済学部	経済学部FD委員会	経済学部教員	43人	谷川 雅之 氏 (株式会社リアセックキャリア 総合研究所)	不可	
31	第2回院内感染対策講習会	感染制御と抗菌薬適正使用の重要性 ～当院の現状と課題～	2020/12/9 (水)	1H	日医工オーデトリウム	附属病院	感染制御部	全職員	1490人	山本 善裕 教授 (医学部)	可	当日受講、ビ デオ受講、e- learning、e- DVD配布
32	第3回医療安全講習会	サイバー犯罪防止の 取り組みについて	2020/12/15 (火)	1H	臨床講義室 I	附属病院	医療安全管理室	全職員	84人	富山県警察本部サイバー犯罪対策課	可	当日受講、ビ デオ受講、e- learning、e- DVD配布
33	教養教育院FD2020 「ガッドプラクティス事例紹介 -授業満足度の向上に向けて-」	教養教育科目における授業満足度向上へ向けた授業運営の取組み事例について、本学教員から紹介する	2020/12/16 (水)	2H	オンライン開催	教養教育院	教養教育院教育改善検討WG	本学教職員、本 学学生	51人	福田 翔 准教授 (教養教育院) 杉森 保 准教授 (教養教育院) 萩原 英久 准教授 (研究推進機構) 堀 悦郎 教授 (医学部) 高崎 一朗 准教授 (工学部) 尾山 真 特命准教授 他2名 (地域連携 推進機構)	可	
34	文化財保護法改正についての勉強 会	文化庁の文化政策の動向について	2020/12/23 (水)	1H	オンライン開催	芸術文化学部	芸術文化学部	芸術文化学部教 員	37人	文化庁地域文化創生本部研究官 朝倉 由希 氏	不可	
35	データサイエンス・オンラインFD	データサイエンス・AI教育の重要性・ 本学の取組等の共有	2020/12/24 (木)	1H30M	オンライン開催	データサイエ ンス推進センター	データサイエンス推 進センター	富山県内高等教 育機関の教職員	69人	中川 大 教授 (都市デザイン学部) 栗本 猛 教授 (教養教育院)	可	
36	理工学教育部 (理学領域) FD研修会	大学院教育の企業・学生アンケート の結果とその教育へのフィードバック	2021/1/20 (水)	30M	オンライン開催	理工学教育部修 士課程理学領域 部会	理工学教育部修士課程 理学領域部会教育委員 会	理工学教育部 (理学領域) 教員	72人	安江 健一 准教授 立石 良 准教授 (都市デザイン学部)	不可	
37	多様な新ニーズに対応する「がん 専門医療人材 (がんプロフェッ ショナル) 養成プログラム」 北信がんフロFD講演会	腫瘍循環器 (Onco- Cardiology/Cardio-Oncology) ～あゆみとこれから～	2021/1/20 (水)	1H30M	附属病院 カンファレンスルーム2 及び オンライン開催	北信がんフロ	金沢医科大学	がん医療に興味 を持つ者	12名	志賀 太郎 (公益財団法人がん研究会香明病院 腫瘍循環器・循環器内科 部長)	可	
38	工学部FD研修会	コロナ時代に授業満足度をあげるに は	2021/2/10 (水)	1H	オンライン開催	工学部	工学部FD委員会	教職員	80人	R1年度ガ・ティーチャー (工学部)	可	

39	STEM教育について	STEM教育とは、芸術文化学部にて何 かできるか等について	2021/2/10 (水)	1H	芸術文化学部 B-212教室	芸術文化学部	芸術文化学部	芸術文化学部教 員	26人	—	不可	
40	学修成果の可視化の取組にかかる FD研修会	都市デザイン学部で導入した先進的 取組みである「学修成果の可視化」 について、導入経緯及び、運用にお ける設定の流れ、実施結果等につい て情報共有を図り、全学的な導 入を図ることを目的とする。	2021/2/17 (水)	1H	オンライン開催	都市デザイン学 部	都市デザイン学 部	全学教職員	72人	堀田 裕弘 教授 (都市デザイン学部)	可	
41	保健管理センターFD	メタ認知トレーニングについて	2021/2/10 (水)	1H	オンライン開催	保健管理セン ター	保健管理セン ター	部局員	14人	荻澤 貴史 (保健管理センター)	不可	
42	第3回医学部医学科FD	C B T 問題作成技法	2021/2/12 (金)	1H	臨床講義室 (1)	医学部	医学部	医学部教員	50人	医学部教員	不可	
43	令和2年度岡山大学大学院教職 実践開発研究科教育フォーラム	学び手の学びに寄与する教え手のふ りかえりのあり方、方 ～3つのリフレクシヨンの 実践とセルフスタディを学ぶ～	2021/2/27 (土)	1H30M	オンライン開催	教職実践開発研 究科	教職実践開発研 究科	人間発達科学部 教員／ 教職実践開発研 究科教員	36人	前武蔵大学教授 武田 信子 氏	可	
44	「授業満足度の向上と選修授業の 手法に関する意見交換会」	令和2年度に開催した「選修授業の 手法」及び「授業満足度の向上」につ 関するFDにおいて得られた知見につ いて整理・分析を行うとともに、そ れらの知見を踏まえた授業運営の事 例について意見交換を行う	2021/3/3 (水)	1H30M	オンライン開催	教養教育院	教養教育院	教養教育院教 員、令和2年度教 養教育科目授業 担当教員	28人	—	可	
45	Moodle活用講習会(第1回)	前年に作成したコンテンツを新しい コースに移行する方法や、データの 保存方法などを中心としたMoodle の活用方法について	2021/3/9 (火)	1H30M	総合情報基盤センター 第4 端末室	総合情報基盤セ ンター	総合情報基盤セ ンター	全職員	16人	遠山 和太 講師 (総合情報基盤センター)	可	
46	Moodle活用講習会(第2回)	前年に作成したコンテンツを新しい コースに移行する方法や、データの 保存方法などを中心としたMoodle の活用方法について	2021/3/9 (火)	1H30M	総合情報基盤センター 第4 端末室	総合情報基盤セ ンター	総合情報基盤セ ンター	全職員	7人	遠山 和太 講師 (総合情報基盤センター)	可	
47	Moodle活用講習会(第3回)	前年に作成したコンテンツを新しい コースに移行する方法や、データの 保存方法などを中心としたMoodle の活用方法について	2021/3/11 (木)	1H30M	総合情報基盤センター 第4 端末室	総合情報基盤セ ンター	総合情報基盤セ ンター	全職員	8人	遠山 和太 講師 (総合情報基盤センター)	可	
48	Moodle活用講習会(第4回)	前年に作成したコンテンツを新しい コースに移行する方法や、データの 保存方法などを中心としたMoodle の活用方法について	2021/3/11 (木)	1H30M	総合情報基盤センター 第4 端末室	総合情報基盤セ ンター	総合情報基盤セ ンター	全職員	10人	遠山 和太 講師 (総合情報基盤センター)	可	

49	北陸地区データサイエンス・オンラインFD	基調講演（静岡大学の取組み）及び北陸3大学の取組み報告等	2021/3/15 （月）	1H30M	オンライン開催	データサイエンス推進センター	データサイエンス推進センター	富山県内高等学校 教職員の教職員	148人	須藤 智 准教授 （静岡大学 大学教育センター）	可	
50	授業満足度の向上に向けて	授業満足度向上に向けた取り組みについて	2021/3/24 （水）	1H	芸術文化学部 B-212教室	芸術文化学部	芸術文化学部	芸術文化学部教員	35人	—	不可	

7. 各種資料

教育成果の評価についての基本方針

1. 趣旨と目的

認証評価等で学修成果の評価が求められている状況に対応し、富山大学においても学修成果の組織的な評価を行う。

その目的は、学修成果を明らかにして教育の質保証を行うとともに、評価に基づいた教育活動の水準の維持・向上を図ることである。

2. 評価の基準

学修成果は、どのような能力を身に付けたかによって評価することが求められている。そのため、同様の趣旨で制定された学位授与方針を評価基準とすることが適切である。

3. 評価の方法

以下の 4 つの方法によって評価を行う。

- 1) 在学中の自己評価
- 2) 卒業・修了時の自己評価及び客観的な資料による評価
- 3) 卒業・修了後数年を経た時期の自己評価
- 4) 就職先による評価

それぞれについての具体的な方法は、教育推進センター全学 F D ・教育評価専門会議が企画・実行し、教育・学生支援機構会議等に報告する。

4. 評価の実施体制

- ・各学部等，大学院において，自己評価を行い，課題を析出する。
- ・教育推進センター全学 F D ・教育評価専門会議において，各学部等，大学院の評価を取りまとめ，全学的な課題を析出する。
- ・教育推進センター会議において評価によって得られた課題等を提言する。

富山大学教育・学生支援機構教育推進センター専門会議要項

平成 27 年 6 月 16 日制定
平成 27 年 12 月 2 日改正
平成 28 年 6 月 23 日改正
平成 29 年 11 月 10 日改正
平成 30 年 3 月 27 日改正

(趣旨)

第 1 条 この要項は、富山大学教育・学生支援機構教育推進センター会議内規（以下「センター会議内規」という。）第 7 条第 3 項の規定に基づき、富山大学教育・学生支援機構教育推進センターに置く専門会議（以下「専門会議」という。）に関し必要な事項を定める。

(専門会議)

第 2 条 専門会議として、全学 F D ・教育評価専門会議、学芸員養成科目専門会議及び大学院教務専門会議（以下「各専門会議」という。）を置く。

(機能)

第 3 条 各専門会議は、センター会議内規第 7 条第 2 項の規定に基づき、富山大学教育・学生支援機構教育推進センター会議（以下「センター会議」という。）から付託された次に掲げる事項について審議し、実施する。

(1) 全学 F D ・教育評価専門会議

- イ 学部等の教育の質保証に関すること。
- ロ 学部等の教育評価に関すること。
- ハ 全学的 F D に関すること。

(2) 学芸員養成科目専門会議

- イ 全学の学芸員養成科目に関すること。

(3) 大学院教務専門会議

- イ 大学院の教育の質保証に関すること。
- ロ 大学院の教育評価に関すること。

(組織)

第 4 条 各専門会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 全学 F D ・教育評価専門会議

- イ 富山大学教育・学生支援機構教育推進センター長（以下「センター長」という。）が指名したセンター会議の委員 若干人
- ロ 各学部の F D 担当組織の長
- ハ 教養教育院の F D 担当教員 1 人
- ニ 学務部学務課長
- ホ その他センター長が必要と認めた者

(2) 学芸員養成科目専門会議

- イ センター長が指名したセンター会議の委員 若干人
- ロ 人文学部, 人間発達科学部, 理学部, 芸術文化学部及び都市デザイン学部から選出された教員 各1人
- ハ 学務部学務課長
- ニ その他センター長が必要と認めた者

(3) 大学院教務専門会議

- イ センター長が指名したセンター会議の委員 若干人
- ロ 各研究科から選出された教員 各1人
- ハ 生命融合科学教育部から選出された教員 1人
- ニ 医学薬学教育部の医学系及び薬学系から選出された教員 各1人
- ホ 理工学教育部の理学系及び工学系から選出された教員 各1人
- ヘ 学務部学務課長
- ト その他センター長が必要と認めた者

- 2 前項第1号ハ及びホ並びに前項第2号ロ及びニ並びに前項第3号ロ, ハ, ニ, ホ及びトの委員の任期は, 2年とし, 再任を妨げない。ただし, 欠員が生じた場合の後任の委員の任期は, 前任者の残任期間とする。

(議長)

第5条 各専門会議に議長を置き, 前条第1項各号イの委員から, センター長が指名する委員をもって充てる。

- 2 議長に事故があるときは, 議長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第6条 各専門会議は, 委員の過半数が出席しなければ開会できない。

- 2 議事は, 出席委員の過半数をもって決する。ただし, 可否同数のときは, 議長がこれを決する。

(意見の聴取)

第7条 各専門会議が必要と認めたときは, 委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

(議事の報告)

第8条 各専門会議は, 原則として議事内容をセンター会議に報告する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか, 各専門会議に関し必要な事項は, 各専門会議において定める。

(事務)

第10条 各専門会議の事務は, 学務部学務課において処理する。

附 則

この要項は、平成 27 年 6 月 16 日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成 27 年 12 月 2 日から施行する。
- 2 この要項の施行日において委員である者の任期は、第 4 条第 2 項の規定にかかわらず平成 29 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この要項は、平成 28 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成 29 年 11 月 10 日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に選出される第 4 条第 1 項第 5 号ロ、ハ、ニ、ホ及びトの委員の任期は、第 4 条第 2 項の規定にかかわらず平成 31 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この要項は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

教育・学生支援機構教育推進センター全学FD・教育評価専門会議 委員名簿

令和2年4月1日

職 名 等		氏 名 等	備 考
センター長が指名したセンター会議の委員（第1号イ委員）		教授 副センター長 教育・学生支援機構 はしもと まさる 橋 本 勝	（議長）
各学部FD担当委員長 （第1号ロ委員）	人文学部	教授 こすけがわ てい じ 小助川 貞 次	
	人間発達科学部	准教授 やま ぐち のり かず 山 口 範 和	
	経済学部	教授 ほん ま てつ し 本 間 哲 志	
	理学部	教授 こ だ たか し 古 田 高 士	
	医学部	教授 きし ひろ ゆき 岸 裕 幸	
	薬学部	教授 とも ひろ たけ のり 友 廣 岳 則	
	工学部	教授 いそ べ まさ はる 磯 部 正 治	
	芸術文化学部	教授 おお うじ まさ し 大 氏 正 嗣	
	都市デザイン学部	教授 まつ だ けん じ 松 田 健 二	
教養教育院のFD担当教員（第1号ハ委員）	教養教育院	准教授 すぎ もり たもつ 杉 森 保	
学務部学務課長（第1号ニ委員）		むら もと さだ のり 村 本 定 則	
その他センター長が必要と認めた者（第1号ホ委員）			

結びに代えて

橋本 勝(教育推進センター)

2011 年に本学に着任して以降、全学的なFDの責任者として 10 年間、微力を尽くしてまいりましたが、今年度をもって私の役目は終わります。参加者同士が教育改善を自分の問題として捉えるためには討議型FDが必要だと考え、また、その教育改善が学生にとって有効なのかどうかを確認しながら推進することの重要性から学生参画型FDを可能な範囲で取り入れてきました。また、楽しむFDという要素もできるだけ加味してきました。

最終年度はコロナ禍で対面式授業や対面式会合が思うように展開できないという特殊な状況でしたが、それでも一定のことはできたのではないかと考えています。いやむしろ、そんな状況だからこそ、教育の原点を見つめ直したり、何ができるかをより真剣に考えたりすることもできたような気がします。今、本報告書に目を通されている皆様も同じではないでしょうか。

かつて、あるFD講演の場で、参加者の一人から、「FDのゴールはどこですか」という質問を受けたことがあります。私は即座に「FDや教育改善にゴールはありません。永遠に新たな課題が出てきます。」と答えました。今年度のような特殊な状況を想定していたわけではなく、教育改善には不断の努力が必要だという考えからそう述べたのですが、遠隔授業の全面展開という状況の中で、大学教育は今、大きな転換期を迎えています。With コロナの中で、来年度以降も私たちの試行錯誤はさらに続きそうです。

来年度以降のFD活動は一層重要度を増すはずです。今後の本学の教育の充実と発展に大いに期待しています。

富山大学における F D 活動報告書 2 0 2 0

発行／2 0 2 1 年 3 月

編集・発行／富山大学教育・学生支援機構教育推進センター
富山市五福 3 1 9 0 番地